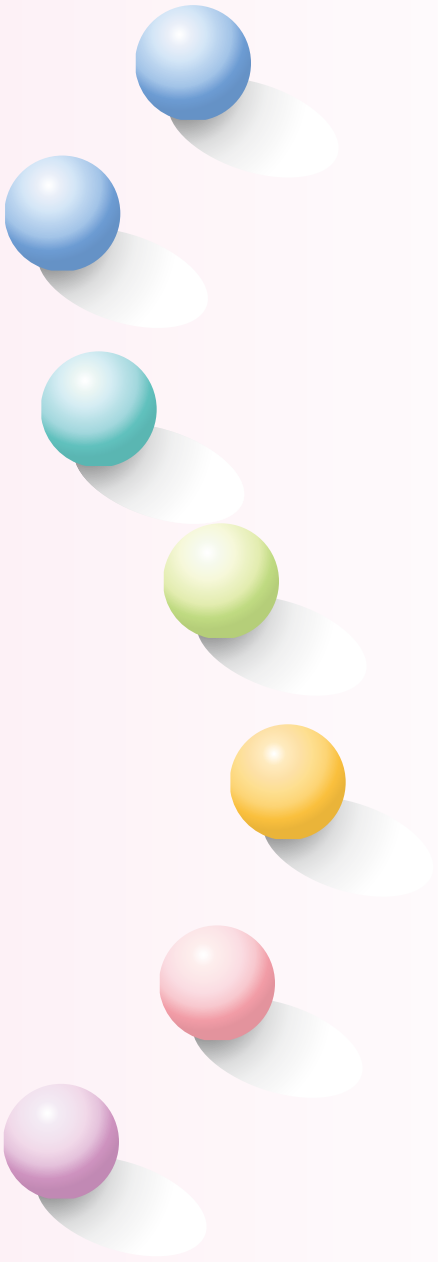
STUDENT'S MANUAL
2010

昭和女子大学　平成22年度　学生便覧



開講の詞

日本女子高等学院

開講の詞

夜が明けようとしてゐる。
五年と云ふながい間、世界の空は陰惨な雲に掩はれて、人々は暗い檻の中に押し込められて、身動きも出来なかった。けれど、今や、一道の光明が空の彼方から仄めき出して、新らしい文化の夜が明けようとしてゐる。人々は檻の中から這ひ出し、閉ぢ込められた心を押し開いて、文化の素晴らしい光を迎へようとしてゐる。

夜が明けようとしてゐる。
海の彼方の空にも、わが邦の上にも、新らしい思想の光が、ながい間漂うてゐたくろ雲を押し破って、眩しいばかり輝き出そうとしてゐる。それを迎へて叫ぶ人々の声をきけ。霊の底まで鳴りひびく声を、力強いその叫びをきけ。既に目ざめた人々は、文化の朝を迎へる可く、身にも心にも、仕度が十分調ってゐる。

夜が明けようとしてゐる。
われ等の友よ。その愛らしき眼をとじたまま、逸楽の夢をむさぼる時はもう既に去った。
われ等は、まさに来る文化の朝を迎へるために、身支度をとり急がねばならぬ。正しき道に歩み出すために、糧を十分にとらねばならぬ。そして、目ざめたる婦人として、正しき婦人として、思慮ある力強き婦人として、文化の道を歩み出すべく、互ひに研き合はなければならない時が来たのである。

大正九年九月十日

日本女子高等学院

学園目標

校　訓

清き気品
篤き至誠
高き識見

平成 22 年度　学生便覧目次

Ⅰ　昭和女子大学について

1　昭和女子大学の沿革
1　大学の沿革 …… 6
2　学園の創立と発展に尽くされた先生方 …… 8

2　昭和女子大学の組織
1　大学の組織 …… 10
2　教育組織、会議体 …… 10
3　クラスアドバイザー制 …… 12

Ⅱ　教育課程

1　入学から卒業まで
1　卒業要件単位 …… 14
2　一般教養科目 …… 15
3　外国語科目 …… 15
4　専門教育科目 …… 16
5　文化講座 …… 16
6　学寮研修 …… 16

2　履修登録
1　履修計画 …… 21
2　シラバス …… 21
3　履修単位数 …… 22
4　WEB 履修登録 …… 22
5　特別履修 …… 23
6　聴講 …… 23
7　履修の取りやめ …… 24
8　副専攻制度 …… 24

3　授業
1　授業時間帯 …… 25
2　出席・欠席・遅刻 …… 25
3　公欠と緊急時の取扱 …… 25
4　休講・補講 …… 26
5　授業改善アンケート・授業公開 …… 26

4　試験、単位認定、成績
1　定期試験と成績評価 …… 27
2　受験資格 …… 27
3　追試験 …… 27
4　再試験 …… 28
5　特別試験 …… 28
6　卒業論文 …… 28
7　英検・TOEIC・漢検の単位認定 …… 29
8　単位互換協定 …… 29

5　学籍と修業年限
1　修業年限と在学年限 …… 30
2　休学 …… 30
3　復学 …… 30
4　退学 …… 30
5　除籍 …… 31
6　進級制限 …… 31
7　褒賞 …… 31
8　長期履修 …… 31
9　早期卒業 …… 32
10　転科 …… 33
11　再入学 …… 33

6　海外留学
1　昭和ボストン …… 34
2　協定校への留学 …… 36
3　協定校以外の留学 …… 37
4　海外研修プログラム …… 37

7　学内進学制度と科目等履修生制度
1　大学院 …… 38
2　大学編入学 …… 39
3　短大専攻科 …… 40
4　科目等履修生制度 …… 41

8　学生サポート
1　昭和女子大学オープンカレッジ …… 43
2　各種サポート …… 45

9　課外活動
1　学友会 …… 46
2　委員会活動 …… 46
3　クラブ活動 …… 46

Ⅲ　開設授業科目一覧

カリキュラム表の見方 …… 48
1. ①　一般教養科目 …… 50
　一般教養科目として履修できる各学科専門科目 … 54
1. ②　教職に関する専門科目 …… 56
1. ③　図書館に関する科目 …… 57
1. ④　外国語科目（大学） …… 58
1. ⑤　外国語科目（短大） …… 61
1. ⑥　外国語科目（留学生） …… 62
2　コミュニティ・サービスラーニング科目 …… 63
3　日本語日本文学科 …… 64
4　英語コミュニケーション学科 …… 68
5　歴史文化学科 …… 74
6　国際学科 …… 78

7 心理学科 …… 86
8 福祉社会学科 …… 90
9 現代教養学科 …… 94
10 初等教育学科 …… 102
11 環境デザイン学科 …… 107
12 健康デザイン学科 …… 115
13 管理栄養学科 …… 118
14 文化創造学科 …… 121
15. ① 国語国文学専攻 …… 125
15. ② 英語英文学専攻 …… 126
15. ③ 生活文化学専攻 …… 127
15. ④ 食物科学専攻 …… 128
16 大学院 …… 130
16. ① 日本文学専攻 博士前期課程 …… 132
16. ② 日本文学専攻 博士後期課程 …… 133
16. ③ 英米文学専攻 博士前期課程 …… 135
16. ④ 英米文学専攻 博士後期課程 …… 137
16. ⑤ 言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程 …… 139
16. ⑥ 言語教育・コミュニケーション専攻 博士後期課程 …… 141
16. ⑦ 生活機構学専攻 博士後期課程 …… 143
16. ⑧ 生活文化研究専攻 修士課程 …… 146
16. ⑨ 心理学専攻 心理学講座 …… 148
16. ⑩ 心理学専攻 臨床心理学講座 …… 149
16. ⑪ 福祉社会研究専攻 修士課程 …… 151
16. ⑫ 人間教育学専攻 修士課程 …… 153
16. ⑬ 環境デザイン研究専攻 修士課程 …… 154
16. ⑭ 生活科学研究専攻 修士課程 …… 156

Ⅳ 諸資格の取得

取得資格一覧 …… 158
1 教育職員免許状 …… 160
2 博物館学芸員 …… 183
3 司書・司書教諭 …… 184
4 日本語教員 …… 185
5 社会福祉主事 …… 186
6 考古調査士 …… 187
7 社会調査士 …… 188
8 臨床心理士 …… 189
9 学校心理士・学校心理士補 …… 189
10 臨床発達心理士 …… 190
11 社会福祉士 …… 190
12 精神保健福祉士 …… 191
13 保育士 …… 191
14 建築士等、インテリアプランナー、JABEE に関する資格 …… 193
15 商業施設士等に関する資格 …… 196
16 衣料管理士 …… 196
17 人間工学準専門家 …… 197
18 栄養士・管理栄養士 …… 198
19 健康運動指導士 …… 199
20 食品衛生監視員及び食品衛生管理者資格 …… 199

Ⅴ 学費

1 大学院 …… 202
2 学部 …… 202
3 短期大学部 …… 203

Ⅵ 規程集

1 昭和女子大学大学院学則 …… 206
2 昭和女子大学学則 …… 212
3 昭和女子大学短期大学部学則 …… 220
4 昭和女子大学学位規則 …… 226
5 昭和女子大学短期大学部学位規則 …… 228
6 大学院研究生に関する規程 …… 229
7 女性文化研究所研究生に関する規程 …… 230
8 大学研究生に関する規程 …… 231
9 大学研究生の在籍料免除に関する取扱規程 …… 232
10 学部五修生の大学院修士課程開設科目の履修及び大学院入学後の既修得単位の認定について … 233
11 大学3年次修了者の大学院修士課程及び博士前期課程の受験資格に関する規程 …… 234
12 昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部間の単位互換に伴う「履修できる授業科目の範囲」（内規）… 235
13 昭和女子大学大学院長期履修学生に関する取扱規程 …… 236
14 昭和女子大学短期大学部長期履修学生に関する取扱規程 …… 237
15 早期卒業の規程 …… 238
16 転科規程 …… 239
17 再入学選考内規 …… 240
18 認定留学に関する内規 …… 241
19 教職課程履修に関する内規 …… 243
20 生活科学部環境デザイン学科 建築・インテリアデザインコースと生活機構研究科環境デザイン研究専攻 建築環境系研究コースの 6 年制課程に関する規程 …… 245
21 昭和女子大学学友会規約 …… 246
22 学友会クラス委員規約細則 …… 249
23 学生問題協議会規程 …… 251
24 学生団体に関する規約 …… 252
25 クラブ・サークルに関する規約 …… 254
26 個人情報保護に関する取り組みについて（大学部門） …… 257

I

昭和女子大学について

1．昭和女子大学の沿革

私立学校の特性は、学校を構築した人々の理想や信念に基づく建学の精神と、その人柄や言行などによって形成された伝統や校風を原点とした教育を実践することにあります。昭和女子大学は、単に知識の充実にとどまることなく、「善き個人」であると同時に「善き社会人」としての自覚のもとに、魅力的な女性を育てるための教育を行っています。

☆ POINT
学園目標「世の光となろう」
校訓三則「清き気品 篤き至誠 高き識見」
創立者　人見圓吉
レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ

（1）大学の沿革

■昭和女子大学の前身

昭和女子大学の歴史は、**大正 9 年（1920）**に始まります。斬新華麗な詩風を以って知られた詩人である人見圓吉は、トルストイが理想とした“愛と理解と調和”に教育の理想を見出し、緑夫人とともに女子教育の道を歩み始めました。

折しも第一次世界大戦終結の年に当たり、4 千万人の人々が大戦の影響を受けて、不幸な状況に遭遇していました。創立者の平和への願いが、自己の進路を見失わない女性、すすんで世のため人のために自己の力を役立てようとする女性を育てたいという信念となり、本学の前身「日本女子高等学院」の創立となったのです。

創立者が理想としたロシアの文豪トルストイは、西暦 1859 年、公職を退いてヤースナヤ・ポリャーナに塾のような学校を建てました。午前中は授業、午後は生徒達と近隣の病めるもの、貧しきもの、老いたものなど、他の者の愛なくしては生活できない人々の家を訪ねて、食を与え、衣を取替え、看病し、掃除し、洗濯するなどの活動に当たりました。人々はこれを感謝して迎えました。夕食後に生徒達は、トルストイを中心として語り合い、次の学修の課題を求めて励んだということです。

大正 7 年、女子教育への高い理想を抱く人々と、婦人としての充実と向上を希求する若い女性とが「文化懇談会」と称した集いをはじめ、教育問題、婦人問題、一般文化問題などについて、日頃抱く考えをお互いに語り合い、疑問とするところを論じ合いました。

中心メンバーは、人見圓吉・緑夫人、松本赳、加治いつ、坂本由五郎の 5 名で、小石川区高田若葉町の人見宅を本拠とし、例会を開いていました。発足当初は 20 数人の小さな会合でした。伝え聴いて参加する者が日毎に増え、回を重ねていくにつれて、このような意義のある会合は、もっと広く若い女性にも開放してはどうかという意見が多くなりました。

大正 8 年 4 月には従来の「文化懇談会」をいっそう組織化して、「日本婦人協会」を結成しました。女学校の家事作法教師の経験もあり、指導メンバーの最年長者でもあった加治いつを会長に推して、いよいよ組織的に毎月 1 回の公開講演会と研究会を開くようになりました。

大正 9 年 9 月、未だ女性の高等教育や社会的進出が拒み続けられていた時流の中で、創立者の人見圓吉は、先生と生徒が生活を共にして学ぶトルストイの学校にならって、「愛と理解と調和を旨とする新しい女性を育む学校を設立したい」という希望を持った 5 名の同士と共に、「日本女子高等学院」を創設しました。小石川区西江戸川町（現文京区水道橋 4 － 28）の小石川幼稚園に間借りし、教師 5 人と受講生 8 人が真剣に討論しあう、ゼミナール形式の授業によって始まりました。戦争で傷つき、暗雲におおわれた世界を救い、新しい世界を切り拓くには、ぜひとも女性独自の文化を創造していかなければならない、「愛と理解と調和」を旨とする婦人の力によって女性による新たな世界改造をはからなければならない、という情熱がつくりあげた学校、それが昭和女子大学の前身である「日本女子高等学院」でした。この建学の精神は、創立当時に記された「開講の詞」に高らかに謳いあげられています。

■創設時代

「**日本女子高等学院**」は、大正 11 年 1 月、各種学校としての認可を東京府から受けました。人見圓吉も緑夫人の協力に支えられながら、詩人としてのペンを置いて、生きた女性の心に、生きた言葉をもって、信ずるところの真・善・美を描いていこうと決心しました。続いて 3 月には校舎を東中野に移し、「専門部」と並んで「女学部」を付設するにいたりました。学校の経営は赤字続きの細々とした財政ながらも、校舎の中では、常に教師と学生の熱のこもった教育活動が行われ、その校風を慕って入学してくる学生の数も年とともに増えていきました。

大正 14 年 4 月には、東京府豊多摩郡野方町上高田 39 番地（現中野区上高田 1 － 39）に新校舎を建設、この地で現在の昭和女子大学の基礎を育みました。しかし、第二次世界大戦が勃発し、戦災により東京が焦土と化したときに、本校の校舎や寮舎も全焼し、その 4 ヵ月後に漸く戦争が終了したのです。

■昭和女子大学の設立

敗戦を迎え、国民の意気が沈退してしまったとき、創立者人見圓吉はこう述べています。

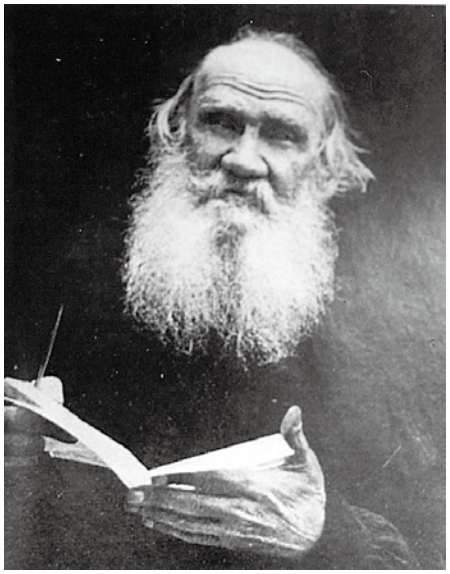
「国既に敗れて何の学問ぞ、何の教育ぞ。理解してくれる人、迎えてくれる人があってこその学問であり、教育ではないか。今日を限り 8 千万国民は全部奴隷だ。奴隷に必要なのは労力だけだ。むしろ学問や教育は無用であると考えて、私は絶望の淵に陥った。

敗戦 5 日目の朝、苦悶に苦悶を重ねて悄然と丘の上の校舎の焼跡に立っていると、見るかげもなく焼け失せた大都会の空はるか東端から、いつものように太陽がもくもくと昇りはじめ、新鮮な光を放ったあたりが生き生きとして輝いた。その時、－そうだ、学問はまさにこの太陽である。どんな人にも、どんな所にも、太陽が必要なように、学問は敗戦国民にも必要だ。それを伝えるのが教育だ、やろう、やらねばならぬ。－とその瞬間、総身に力が湧き上がってぴちぴちとした元気が出た。青年のように希望がかがやいた。その日から夜に日を継ぎ、精進に精進を重ねて、ぐいぐいとまっしぐらに進んで来た。国家とともに学園の新生の記念日であった。」

この決意を実現するため、旧東部第 12 部隊（近衛野砲連隊）跡地である現在の世田谷区太子堂に移転したのが、昭和 20 年（1945）11 月 9 日のことでした。

この地で「日本女子高等学院」は昭和 21 年に「日本女子専門学校」となり、**24 年には新学制による大学として「昭和女子大学」に移行**し、昭和中学校、昭和高等学校を併設し、翌 25 年に短期大学部を設立しました。

さらに、昭和 26 年に昭和幼稚園、昭和 28 年に昭和小学校を併設し、昭和 49 年に大学院修士課程、平成元年に博士課程、生涯学習機関としてのオープンカレッジを設置して、完全な一貫教育体系を整えました。また、海外研修機関としてのボストン昭和女子大学を、昭和 63 年に開設しました。その後学部・学科の新設改編をへて、現在は次の構成になっています。大学院は、文学研究科に日本文学専攻、英米文学専攻、言語教育・コミュニケーション専攻、生活機構研究科に生活機構学専攻、生活文化研究専攻、心理学専攻、福祉社会研究専攻、人間教育学専攻、環境デザイン研究専攻、生活科学研究専攻、女性文化研究所、近代文化研究所、国際文化研究所、生活心理研究所、大学は人間文化学部に日本語日本文学科、英語コミュニケーション学科、歴史文化学科、国際学科、人間社会学部に心理学科、福祉社会学科、現代教養学科、初等教育学科、生活科学部に環境デザイン学科、健康デザイン学科、管理栄養学科、短期大学部は文化創造学科と専攻科が設置されています。



レフ・ニコラエヴィチ・トルストイ（1828～1910）

トルストイは、「戦争と平和」や「アンナ・カレーニナ」「復活」などの小説で世界的文豪として知られていますが、哲学、宗教、芸術、教育の面でも様々な実践を行いました。

教育者として、出身地であるロシア中部のヤースナヤ・ポリャーナに学校を開き、村の子供たちに「愛と理解と調和」に立脚する真の人間教育を施しました。詰め込みではなく、子供たちと寝食を共にして奉仕活動を行い、子供たちと共に考え、一人一人の個性を重んじる教育は、今またロシアで復活し、各地に「トルストイ学校」が創られています。

人見圓吉・緑夫妻はこのような精神に深く共鳴して、1920年に本学の前身である「日本女子高等学院」を創設しました。また、人見楠郎前理事長は、1996年、日本の教育・研究者らと共に「日本トルストイ協会」を設立、会長に推されて本学トルストイ室にその事務局を置き、トルストイの研究・教育思想の普及に努め、トルストイが学校で使った教科書「トルストイのアーズブカ」を日本語に翻訳して、全国の小学校に無償配布するなどの活動を展開しました。本学の創立80周年には大規模なトルストイ展を開き、建学の精神の象徴として高さ2.5メートルにも及ぶトルストイ像を創立者記念講堂の前に建立しました。本学を中心に組織される「トルストイを訪ねる旅」はこれまで9回を数え、関係する書籍を集めた「トルストイ文庫」は現在908冊になっています。図書館に足を運び「トルストイ文庫」をひもといてみましょう。

■教育目標と学園目標

いかなる困難にあっても常に新たな道を切り拓き、一歩一歩着実に向上発展することが昭和女子大学の特性であり、その進取の精神と着実性は、学生の気風となっています。

本学の教育目標は「上品で礼儀正しく、清純で規律を守り、堅実で心豊かな智徳兼備の女性を育てる」ことにあり、**校訓三則「清き気品　篤き至誠　高き識見」**に示されています。この校訓を基礎とし、大学生としての学問研究に徹し、国際化時代、情報化時代、文化創造の時代に活躍できる人間味にあふれた役立つ人材の育成に情熱をそそぎます。「世の光となろう」の一言で示す学園目標は、時代を超えて生き続ける本学園の心として、先輩から受け継がれた大切な生活指標です。

志を立てて本学の一員となった学生の皆さんには、この創立以来の伝統を受けつぎ、自信と勇気と情熱とをもって、社会のより良い明日を建設するために、常に努力をして欲しいと願っています。

(2) 学園の創立と発展に尽くされた先生方

■創立の父　人見圓吉

20歳の時、雑誌「文庫」に2篇の詩が掲載され、詩人としての人生を歩みはじめました。当初は東村というペンネームを用いていましたが、22歳以降は、東明を主に、清浦青鳥、清浦明人、アキトなどの雅号も合わせて用いました。

「読売新聞」に詩・随想・批評・小説などが相次いで掲載されるようになり、それを契機に29歳で同社へ入社、文芸欄の編集を担当するようになりました。

31歳で緑夫人と結婚、33歳の春、東京女子商業学校支援のために無給講師として教壇に立ったのが、教育の世界に足を踏み入れる大きな契機となりました。

その頃に熱心に開催していた「文化懇談会」は、「日本婦人協会」、さらに女子の専門教育の場へと変貌してゆきました。

しかし、第一次世界大戦後の社会情勢をうけ、さらに第二次世界大戦の激動の時代の中で、押し寄せてくる経済的困難は筆舌に尽くせぬものでした。それでも、ひたすら世の役に立つ婦人を育むことを最も重要な任務と心得て、40歳以降は総ての心と時間とエネルギーを注いで、社会に役立つ女性育成のために専念し続けました。

この間にも、教育文化の推進を願って自ら編集にあたった研究紀要「学苑」は、昭和9年以来現在まで刊行され続け、多数の研究者を育てあげ、貴重な研究を世に提供し続けてきました。

そして、学生の研究論文を補強して、55歳の10月に刊行した『文学遺跡巡礼』は、その後『近代文学研究叢書』として継続刊行され、平成13年に全77巻（別巻「人見東明」を含む）が完結しました。その間、菊池寛賞を受賞、ハーバード大学東方研究所から特別研究費の助成などを受けています。

創立者　人見圓吉と緑夫人

71歳の10月から「学苑」誌上に29回連載した「口語詩の発達」「口語詩の設立とその過程」、77歳の5月に「国文学」誌上に発表した「新体詩の誕生」、85歳から5年間51回連載の「明治詩歌集覧」等の研究では、自己の所論を展開すると同時に、詩人として活躍した多くの人々の業績の顕揚に努めました。

また86歳の10月に、「日本近代詩論研究会」の代表者となり、文部省学術局から科学研究費の助成を受けて『日本近代詩論の研究』ならびに『昭和詩論の研究』を出版しました。さらに、従来の研究の総括である『口語詩の史的研究』（昭和50年3月出版）を完成するため、昭和49年2月に逝去する4ヶ月前まで、夕食後には必ず近代文庫事務室の一隅に置かれた小さな机に向かって研究に励んでいました。

創立の母　緑夫人

創立者人見圓吉夫人。新時代の女子教育機関の創立をうながし、その充実と発展に力を注いだ学園の母。「目覚めたる婦人」「正しき婦人」「思慮ある力強き婦人」をモットーに、自ら教壇に立ちながら、学寮において学生と寝食を共にし、身をもって女性の範を示しました。世の光となる女性の育成を目ざした本学の学風は、この学母の教育方針から生まれたといっても過言ではありません。

学園の発展に尽くされた人見楠郎第２代理事長

創立者と共に幾多の災難を乗り越え、創立者亡き後は、その遺志を引き継ぎ学園の発展に大いに貢献されました。全人教育施設としての研修学寮、創立者記念講堂を建設、教育課程改革では、中高・大一貫教育（５修生制度）の完成、ボストン昭和女子大学の開設など、その行動力と独創性によって、現在の昭和学園の発展がもたらされたといっても過言ではありません。

人見楷子第３代理事長

本学の歩み

大正 9 年 9 月	日本女子高等学院創設（現文京区水道） 初代院長加治いつ
大正 11 年 3 月	中野区東中野に移転
大正 11 年 4 月	附属女学部を付設
大正 15 年 4 月	中野区上高田に新校舎完成
昭和 2 年 4 月	財団法人日本女子高等学院設立。初代理事長人見圓吉。附属女学部を昭和高等女学校に改称
昭和 20 年 4 月	戦災により全校舎焼失
5 月	戦災により寮舎焼失
11 月	世田谷区太子堂（現在地）に移転
昭和 21 年 4 月	財団法人東邦学園を設立し、日本女子専門学校を設置、（日本女子高等学院の課程を引き継ぐ） 初代校長松平俊子就任
昭和 22 年 4 月	昭和中学校を併設
昭和 23 年 4 月	昭和高等女学校を昭和高等学校に改称
昭和 24 年 4 月	日本女子専門学校を昭和女子大学に改組・改称 初代学長金子健二就任
昭和 25 年 4 月	昭和女子大学短期大学部を設置
昭和 26 年 3 月	財団法人東邦学園を学校法人昭和女子大学、財団法人日本女子高等学院を学校法人昭和高等学校に改称
昭和 26 年 4 月	短期大学部第二部を併設 昭和幼稚園を付設
昭和 28 年 4 月	昭和小学校を付設
昭和 31 年 6 月	児童教育研究所を付設
昭和 37 年 1 月	第2代学長玉井幸助就任
昭和 38 年 4 月	学校法人昭和女子大学に学校法人昭和高等学校を併合
昭和 44 年 1 月	第3代学長河鰭実英就任
昭和 45 年 4 月	近代文化研究所を設置
昭和 49 年 2 月	初代理事長人見圓吉逝去 第2代理事長人見楠郎就任
昭和 49 年 4 月	大学院文学研究科修士課程を設置
昭和 53 年 4 月	文家政学部を文学部と家政学部に分離
昭和 55 年 2 月	創立者記念講堂を開設
昭和 55 年 4 月	第4代学長坂本由五郎就任
昭和 57 年 4 月	第5代学長人見楠郎就任
昭和 61 年 4 月	大学院家政学研究科修士課程を設置 短期大学部に専攻科併置
5 月	女性文化研究所を設置
昭和 63 年 4 月	ボストン昭和女子大学を開設
平成 元 年 4 月	大学院文学研究科に博士課程を設置 大学院生活機構研究科博士課程を設置 オープンカレッジを設置
平成 4 年 4 月	文学部に心理学科・日本文化史学科を設置
5 月	国際文化研究所を設置
平成 5 年 4 月	大学院生活機構研究科に修士課程を設置
平成 6 年 4 月	短期大学部学長福場博保就任 家政学部を生活科学部に改称 研究館・光葉博物館を開設
平成 7 年 4 月	生活心理研究所を設置
平成 10 年 4 月	生活科学部生活美学科を生活環境学科に改称
平成 12 年 11 月	第2代理事長人見楠郎逝去 第3代理事長に人見楷子就任 第6代学長福場博保就任
平成 14 年 4 月	生活科学科食物学専攻を食物健康学専攻に改称 専攻科人間教育学専攻を設置
平成 15 年 4 月	第7代学長平井聖就任 人間社会学部（心理学科・福祉環境学科・現代教養学科）を設置 文学部を人間文化学部、日本文学科を日本語日本文学科、英米文学科を英語コミュニケーション学科、日本文化史学科を歴史文化学科に改称 短期大学部に人間文化学科・同第二部を設置
平成 16 年 4 月	短期大学部学長島田淳子就任
平成 17 年 4 月	大学院文学研究科に言語教育・コミュニケーション専攻、大学院生活機構研究科に心理学専攻を設置
平成 18 年 4 月	大学院生活機構研究科に福祉社会研究専攻を設置、人間社会学部に初等教育学科、短期大学部に文化創造学科、同二部を設置,短期大学部初等教育学科を子ども教育学科に改称
平成 19 年 4 月	第8代学長坂東眞理子就任 大学院生活機構研究科に環境デザイン研究専攻を設置 短期大学部に文化創造学科（昼間主コース・夜間主コース）を設置
平成 20 年 4 月	短期大学部学長坂東眞理子就任 大学院生活機構研究科に人間教育学専攻を設置
平成 21 年 4 月	人間文化学部に国際学科、生活科学部に健康デザイン学科を設置 人間社会学部福祉環境学科を福祉社会学科、生活科学部生活環境学科を環境デザイン学科、生活科学科を管理栄養学科に改称

学寮の歩み

大正 11 年 4 月	校内寮を開設（東中野）	中野区所在
大正 14 年 4 月	葵寮（校外寮第1号）を開設	中野区所在
昭和 3 年 4 月	若葉寮を開設	中野区所在
昭和 5 年 4 月	校内寮再開（上高田）	中野区所在
昭和 8 年 4 月	桜寮を開設	中野区所在
昭和 14 年 3 月	橘寮を開設	中野区所在
昭和 16 年 9 月	桂寮を開設	中野区所在
昭和 20 年 5 月	戦災により寮舎焼失	中野区所在
昭和 20 年 11 月	校内寮開設（世田谷）	中野区所在
昭和 22 年 4 月	葵寮・富士寮・敷島寮開設	太子堂校地所在
昭和 25 年 9 月	橘寮を再開	太子堂校地所在
昭和 27 年 4 月	桜寮を再開	太子堂校地所在
昭和 28 年 4 月	桂寮を再開	太子堂校地所在
昭和 29 年 4 月	若葉寮を再開（30年焼失）	太子堂校地所在
昭和 31 年 4 月	桂寮を開設	太子堂校地所在
昭和 33 年 4 月	楓寮を開設	太子堂校地所在
5 月	藤寮・茜寮を開設	太子堂校地所在
昭和 35 年 4 月	弥生・芙蓉寮を開設	太子堂校地所在
昭和 43 年 4 月	椿寮を開設	太子堂校地所在
昭和 47 年 4 月	ときわ寮を開設	太子堂校地所在
昭和 52 年 4 月	校外寮「緑声舎（葵・藤・茜・桜・橘・桂・楓寮が合併）」新設	弦巻所在
平成元年 4 月	ときわ寮を建て替え、若葉寮として新発足	弦巻所在
平成 3 年 4 月	椿寮を再開	弦巻所在
昭和 52 年 4 月	研修学寮東明学林を開設	
昭和 61 年 3 月	研修学寮望秀海浜学寮を開設	
昭和 62 年 7 月	会津キャンプ村を開設	
平成 20 年 4 月	若葉寮を閉寮	

2. 昭和女子大学の組織

昭和女子大学は、女子最高の教育機関として、また学術文化の研究機関としての使命に鑑み、**善を尚び、美を愛し、真を究めて、文化の創造と社会の福祉に貢献することを目的としています。**

女性は社会において男性と協力して学術文化の向上、社会生活の充実発展に貢献し、また家庭においては、子女を育成し、清新な生命を次代に伝える使命を有していることを忘れてはなりません。

さらに、先輩諸姉が己れのことのみにとらわれることなく、広く社会全般に心を配り、総ての人々の生活が平和で豊かなものになるよう努めることにより、女性としての重要な任務を果たそうと努めてきたその遺風を、今後とも尊重したいものです。

そのような建学以来の大目標を達成し、かつ重要な使命を遂行する道として、本学においては各専門科目の充実は勿論のこと人文科学・社会科学・自然科学の３つに分類される教養科目を、他大学に類を見ないほど豊富に取り揃え、実りのある学生生活の実現に意を注いでいます。

また、これらの目的や使命を実現するための組織や、学生生活の拠点となるクラスについても解説します。

☆ POINT
クラスアドバイザー
クラスルーム

(1) 大学の組織

■学校法人

昭和女子大学は、「学校法人昭和女子大学」が運営管理する教育と研究の機関であります。学校法人の管理運営等に関する重要事項は、理事会と評議員会で審議します。理事、監事、評議員は、学長・教職員・卒業生及び学識経験者から選任されます。

学校法人は昭和女子大学、同短期大学部のほか、オープンカレッジ、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、ブリティッシュスクールなどを運営しています。

■大学院

昭和女子大学に大学院を置き、文学研究科日本文学専攻博士前期課程・博士後期課程、文学研究科英米文学専攻博士前期課程・博士後期課程、文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻博士前期課程・博士後期課程、生活機構研究科生活文化研究専攻修士課程、生活機構研究科心理学専攻修士課程、生活機構研究科福祉社会研究専攻修士課程、生活機構研究科人間教育学専攻修士課程、生活機構研究科環境デザイン研究専攻修士課程、生活機構研究科生活科学研究専攻修士課程、生活機構研究科生活機構学専攻博士後期課程を設けています。

■大学

昭和女子大学に人間文化学部日本語日本文学科、人間文化学部英語コミュニケーション学科、人間文化学部歴史文化学科、人間文化学部国際学科、人間社会学部心理学科、人間社会学部福祉社会学科、人間社会学部現代教養学科、人間社会学部初等教育学科、生活科学部環境デザイン学科、生活科学部健康デザイン学科、生活科学部管理栄養学科を置き、修業年限は４か年で、最長在学年は６か年です。

■短期大学部

昭和女子大学短期大学部に文化創造学科（食物科学科）を置き、修業年限は２か年で、最長在学年限は４か年です。食物科学科は在学生の卒業を待って廃止となります。

■専攻科

短期大学部を卒業した後に、各専門科目のより深遠な研究の向上を図るため、１年課程の専攻科として国語国文学専攻、英語英文学専攻、生活文化学専攻、食物科学専攻の４専攻を置いています。

国語国文学専攻、英語英文学専攻、生活文化学専攻及び食物科学専攻は、大学評価・学位授与機構の定める要件を満たす専攻科として認定されています。

(2) 教育組織、会議体

■教育組織

大学に学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長及び専攻主任、学部長、短期大学部長、教務部長及び同次長、学生部長及び同次長、キャリア支援部長及び同次長、アドミッション部長及び同次長、学科長、総合教育センター長、研究所長、図書館長及び副館長、博物館長、コミュニティサービスラーニングセンター長、障がい学生サポートセンター長、研究支援機器センター長を置いています。

1. 学長は、大学院文学研究科、大学院生活機構研究科、人間文化学部、人間社会学部及び生活科学部の教育研究に関する学務を統括する。

2. 短期大学部学長は、短期大学部の教育研究に関する学務を統括する。
3. 大学院委員会委員長は、大学院の教育研究に関する学務を統理する。
4. 副学長は、学務の運営に当たり、学長及び短大学長に事故あるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。
5. 大学院研究科長は、当該研究科の科務を統理する。
6. 学部長・短期大学部長は、当該学部の部務を統理する。
7. 教務部長は、教務の企画運営に当たる。
8. 教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
9. 学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
10. 学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
11. キャリア支援部長は、進路及びキャリア支援の企画運営に当たる。
12. キャリア支援部次長は、キャリア支援部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
13. アドミッション部長は、学生募集及び入学者選抜の企画運営に当たる。
14. アドミッション部次長は、アドミッション部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
15. 学科長・専攻主任は、当該学科・専攻の科務を処理する。

本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。

1）教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
2）准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
3）講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
4）助教は、教授、准教授及び講師に準ずる職務に従事する。
5）助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
6）事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。

16. 大学院生活機構研究科に近代文化研究所、女性文化研究所、国際文化研究所並びに生活心理研究所を付設する。
17. 本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。
18. 本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

■大学部局長会

大学部局長会は、学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、キャリア支援部長、アドミッション部長で構成する。大学の基本的問題、予算、大学院及び学部並びに短期大学部間の教育・研究、運営上の連絡並びに調整、学生の募集及び入学者選抜、教育課程、学生の履修及び研修、学生の生活及び進路、各種奨学金奨学生候補者の選定及び奨学金制度、研究施設及び設備、教学人事、大学部長会から理事会への提案事項、理事会が大学部局長会に諮問する事項、教授会及び部科長会から報告される事項並びに大学教育、学生生活上の重要事項などを協議する。

■大学院委員会

大学院委員会は、学長、副学長、研究科長、学部長及び各専攻主任で構成する。大学院の学則及び諸規程の制定や各研究科教授会から報告された事項、各研究科に共通する事項などを審議する。

重要決議事項は、大学部局長会と協議する。

■大学院研究科教授会

当該研究科の授業科目を担当する専任教授及び准教授をもって構成し、研究科の教員の選考、教育課程、学生の研究・厚生等、入学・退学・転学・修了・学位授与及び賞罰に関する事項などを協議する。

協議事項は、大学院委員会に報告し審議を経る。

■教授会（学部教授会及び短大教授会）

教授会は、学長、短期大学部学長、副学長、学部長、短期大学部長、教務部長、学生部長、キャリア支援部長、図書館長、博物館長、教授をもって構成し、原則として昭和女子大学人間文化学部、人間社会学部、生活科学部及び昭和女子大学短期大学部合同開催とする。

学科目、講義題目、授業時数、授業担任及び教育課程に関する基本事項、学生の試験及び課程修了の認定並びに卒業に関する基本事項などを協議する。協議の結果は、大学部局長会に上申する。

■学部部科長会

学部部科長会は、学部長、当該学部所属学科長をもって構成し、学部ごとに開催する。

学部の基本問題、所属学科の向上及び発展、所属学科間の教育、研究及び運営上の連絡及び調整、教育課程、学生の履修及び研修、学生の入学・退学・休学・復学・転学・除籍・転科及び賞罰に関する基本事項、研究施設及び設備、学部の教育、研究及び学生生活上の重要事項などを協議する。

協議の結果は、大学部局長会に上申する。

■教育会議

教育会議は、学長、短期大学部学長、副学長、大学院研究科長、図書館長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長、キャリア支援部長、同次長、アドミッション部長、同次長、大学院専攻主任、学科長、総合教育センター長、科長、常勤教員、学長室長、教育支援センター長、キャリア支援センター長、アドミッションセンター長、学長室並びに各センターの担当部長、担当次長及び担当次長代理、女性文化研究所代表職員、近代文化研究所代表職員、国際文化研究所代表職員、生活心理研究所代表職員、図書館代表職員、光葉博物館代表職員、学園本部各部長、事務センター長、オープンカレッジ事務部長、創立者記念講堂事務長及び部長代理で構成する。

教学及び学生指導全般に関する事項の連絡調整を旨として協議する。

■教務部委員会

教務部委員会は、教務部長及び同次長、各学科及び総合教育センター、並びに大学院各研究科から選出された委員で構成する。

授業運営、カリキュラムの構成など教務運営に必要な事項を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

■学生部委員会

学生部委員会は、学生部長及び同次長、各学科及び大学院各研究科から選出された委員で構成する。

学生の生活支援、クラス運営、全学的行事、課外活動、学生の進路・就職、学生相談室など、学生生活支援上必要な事項を協議する。協議事項は、大学部局長会に報告する。

■キャリア支援部委員会

キャリア支援部委員会は、キャリア支援部及び同次長、各学科から選出された委員で構成する。

学生及び卒業生の進路、キャリア支援に関する必要な事項を協議、実施する。協議事項は大学部局長会に報告する。

■アドミッション部委員会

アドミッション部委員会は、アドミッション部長、同次長及び学長が指名した各学科の委員で構成する。

オープンキャンパス・高校訪問等、学生募集に係る企画の実施を協議する。

(3) クラスアドバイザー制

学生生活を有意義で充実したものとするため、クラスアドバイザー制を設けています。

■クラス

クラスは、学科ごとに同一学年の学生を適切な人数に分け、教育活動や学生生活の基礎単位として位置付けられている。

1. 充実した学生生活を送るための拠点とする
2. 教員と学生相互間の協調と協力のもとに、学問研究・人格形成を図る場とする
3. 教育研修上の連絡・伝達・調整の場とする

■クラスアドバイザー

各クラスには、クラスアドバイザーの教員を配置し、学生の学修、生活、進路における適切な助言・指導を行う。

■クラスルーム

学科ごとに定める時間にクラスルームを開催する。学生は必ず出席して、クラスルームの円滑な運営に努める。

II

教育課程

1．入学から卒業まで

大学、短期大学部（以下短大）を卒業するには、規定の**修業年限**以上在学（大学４年 短大２年）し、授業科目の履修を積み重ね、それぞれの学科の卒業に必要な単位数（**卒業要件単位**）を修得しなければなりません。このような制度を**単位制**といいます。授業科目には、必修科目、選択必修科目、選択科目があり、各学科で実施されるガイダンスに出席し、カリキュラム表を確認して、自分自身で**履修計画**を立てます。その他に**文化講座**の出席聴講と**学寮研修**への参加が卒業するためには必要であり、本学の特色のひとつとなっています。

文化講座は、国内外一流の学者、文化人、芸術家等を本学に招いて、主に**創立者記念講堂**で開催する講座です。多感な青春時代に優れた芸術、文化に接することは、情操豊かな心を持つ爽やかで温かみに富む人間を創る上で大きな効果があります。

学寮研修は、大学での人間形成に優れた成果を挙げてきました。本学教育の特色のひとつでもある全寮制度の精神を受け継ぎ実施しています。その学寮研修では、師弟同行の労作奉仕もあり、教員と学生が教室の授業で交流するだけでなく、野外活動、懇談、討論、交歓を通してお互いに磨き合い、**全人教育**の成果を挙げることを目指しています。

なお、卒業要件については、**学則第 14 条**に記載されています。

☆ POINT 卒業に必要な事項

修業年限＋卒業要件単位＋文化講座＋学寮研修

（1）卒業要件単位

大学を卒業するために必要な単位数は次のとおりです。

	一般教養科目	外国語科目	専門教育科目	※学則第14条に定めるその他の修得要件				文化講座	合計
				一般教養・外国語・専門教育科目のいずれかから	外国語・専門教育科目のいずれかから	専門教育科目から	外国語科目から		
人間文化学部	36以上	8以上	76以上					8	132以上
日本語日本文学科				4以上	－	－	－		
英語コミュニケーション学科				－	－	4以上	－		
歴史文化学科				－	－	2以上	2以上		
国際学科				－	－	4以上	－		
人間社会学部									
心理学科				－	4以上	－	－		
福祉社会学科				－	4以上	－	－		
現代教養学科				－	4以上	－	－		
初等教育学科				－	－	4以上	－		
生活科学部									
環境デザイン学科				－	4以上	－	－		
健康デザイン学科				4以上	－	－	－		
管理栄養学科				4以上	－	－	－		

短期大学部を卒業するために必要な単位は次のとおりです。

	一般教養科目	外国語科目	専門教育科目（専門関連科目を含む）	余裕単位	文化講座	合計
短期大学部	8	4	36	14	4	66
文化創造学科						

(2) 一般教養科目

卒業に必要な一般教養科目の単位数は、**大学 36 単位以上、短大 8 単位以上**です。
そのうち、**実践倫理（2 単位）・日本語基礎（2 単位）**は必修です。
初等教育学科・健康デザイン学科・管理栄養学科は、体育実技（1 単位）も必修です。
体育実技は 2 単位まで卒業要件単位として認められます。

<table>
<tr><th></th><th>実践倫理</th><th>日本語基礎</th><th>体育実技</th><th>左記以外の一般教養科目㊟</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>初等教育学科</td><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">2</td><td rowspan="3">1以上
*最高2まで</td><td rowspan="3">31以上</td><td rowspan="4">36以上</td></tr>
<tr><td>健康デザイン学科</td></tr>
<tr><td>管理栄養学科</td></tr>
<tr><td>上記以外の学科</td><td colspan="2">32以上
*体育実技は最高2まで</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>実践倫理</th><th>日本語基礎</th><th>体育実技</th><th>左記以外の一般教養科目㊟</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>文化創造学科</td><td>2</td><td>2</td><td colspan="2">4以上
*体育実技は最高2まで</td><td>8以上</td></tr>
</table>

㊟実践倫理・日本語基礎・体育実技を除いた一般教養科目を指す。

※留学生の履修方法
日本事情に関する科目を一般教養科目として履修することができます。

(3) 外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位数は、**大学は 8 単位以上、短大 4 単位以上**です。そのうち、**大学は 4 単位、短大は 2 単位、同一外国語**を修得しなければなりません。同一外国語で修得する単位を**基本単位**といいます。また一部、履修方法が異なる場合があります。

※英語コミュニケーション学科の履修方法
外国語科目として英語を履修することはできません。
基本単位（英語以外の外国語）は 6 単位とします。
専門教育科目として修得した単位の中から余剰分の 2 単位を、基本単位以外の外国語科目の単位に充当できます。

※歴史文化学科の履修方法
卒業に必要な外国語科目の単位数は、10 単位以上とします。

※国際学科の履修方法
専門教育科目として修得した単位を、外国語科目の単位として充当します。外国語科目として開設している科目を履修せず、国際学科のカリキュラムにある履修方法に従い専門教育科目を履修します。

※現代教養学科の履修方法
卒業に必要な外国語の単位数は、12 単位以上とします。
外国語科目として英語を履修することはできません。
基本単位（英語以外の外国語）は 8 単位とします。
専門教育科目として修得した単位の中から余剰分の 4 単位を、基本単位以外の外国語科目の単位に充当できます。

※健康デザイン学科、管理栄養学科の履修方法
基本単位は 6 単位とし、科学英語（学科専用）を履修することとします。

※留学生の履修方法
母語を外国語科目として履修することはできません。
日本語科目を外国語科目として履修することができます。

	基本単位（同一外国語）	基本単位以外	合計
英語コミュニケーション学科	6 英語以外	2以上 英語以外・専門教育科目で充当可	8以上
歴史文化学科	4	6以上	10以上
国際学科	専門教育科目で充当		
現代教養学科	8 英語以外	4以上 英語以外・専門教育科目で充当可	12以上
健康デザイン学科 管理栄養学科	6 科学英語	2	8以上
その他の学科	4	4以上	8以上

	基本単位（同一外国語）	基本単位以外	合計
文化創造学科	2	2以上	4以上

(4) 専門教育科目

各学科の履修ガイダンスを受けた上で、『Ⅲ 開設授業科目一覧』に従って履修してください。

(5) 文化講座

学園創立60周年の記念行事として開設された文化講座は、学問・文化の専門領域における学外の一流の学者・文化人・芸術家による、講演会、音楽会などを創立者記念講堂で開催し、これを年間カリキュラムに組み込んだものです。特殊研究講座、女性教養講座、文化研究講座の3講座で構成されています。**女性教養講座と文化研究講座は、それぞれ1単位ずつ、合計2単位を毎年必ず修得**することになっています。**なお、出席登録についてはガイダンス時に配布する「学生マニュアル」を必ず確認してください。**

■特殊研究講座

受講方法は、学科の指示に従ってください。

■女性教養講座

学問の分野にこだわらず、広い領域で活躍している著名な人を選び、「女性の心を育む」ことを目的とした講演が行われます。

年間5回以上出席し、レポートの評価により1単位として認定しています。

■文化研究講座

情操豊かな女性を育成するため、内外一流の芸術家を招き、質の高い講演が行われます。

年間5回以上出席し、レポートの評価により1単位として認定しています。

※編入学生、転入学生の履修方法

女性教養講座と文化研究講座は、毎年、それぞれ1単位ずつ修得し、入学した学年によって、次にあげる単位数を修得することとなります。

2年次入学：6単位　　3年次入学：4単位　　4年次入学：2単位

(6) 学寮研修

本学では創立以来、学生寮と研修学寮での生活を総合して全寮制と呼んで人間形成の場として位置づけてきました。今日も当初の目的を達成するため、その伝統を受け継いでいます。

昭和13年から郊外の武蔵野や湘南の地に田園学寮を設け、教員と学生が寝食を共にし、「生活教育の充実」に努めてきました。そして、「世の光となろう」という学園目標を具現するために、昭和52年4月に神奈川県足柄上郡大井町に創立者の雅号「東明」にちなんで名付けた東明学林が開設されました。さらに昭和61年3月千葉県館山市の海を望む景勝地に「たかき理想を望みつつ励む」意味のこめられた望秀海浜学寮が、昭和62年7月には会津キャンプ村が開設され、雄大な自然の中で年間を通して学生たちの研修の場として展開されています。

■学寮研修の意義と目標

学寮研修の意義

本学では、創立以来「世の光となろう」を目標にして、学問の研究と自己の研鑽にいそしんできました。その実現のためには、日々の生活における学生個々の自覚と精進が必要であることは言うまでもありません。しかしそれとともに集団生活を通して目標の達成を図ることも本学創立以来の伝統です。

学寮研修で、教員と学生が寝食を共にし、相互理解を深めながら、勉学や労作に取り組み実践することによって、社会性を養い人格形成に努めることは、将来、社会に貢献しうる女性としての資質を養う上で重要な教育活動であると位置づけています。

学寮研修の目標

昭和女子大学の建学の精神を理解し、「世の光となろう」という学園目標を実践する

1. 規律ある集団生活を体験することにより、協調性・責任感・奉仕の精神などの社会性を養う
2. 寝食を共にする中で、教員や友人との人間関係を深め、コミュニケーション能力を高める
3. プログラムを展開する中で、リーダーとしての資質を養うとともにメンバーシップを身につける
4. 豊かな自然環境の中での体験活動を通して、自然を愛する心や感受性を育む

学寮研修に関する取り決め事項

1. 大学１年次から３年次と短大１年次は、毎年３泊４日の学寮研修への参加を必須とする
2. 所定の日程の研修に参加（3 泊）できなかった場合は、休暇中に実施する特別学寮研修に必ず参加する。
3. 大学卒業年次（4 年目五修生含む）・短大卒業年次（2 年目五修生含む）は、ゼミまたはクラス等の単位で東明学林・望秀海浜学寮や会津キャンプ村で任意で実施する

学寮研修における留意事項

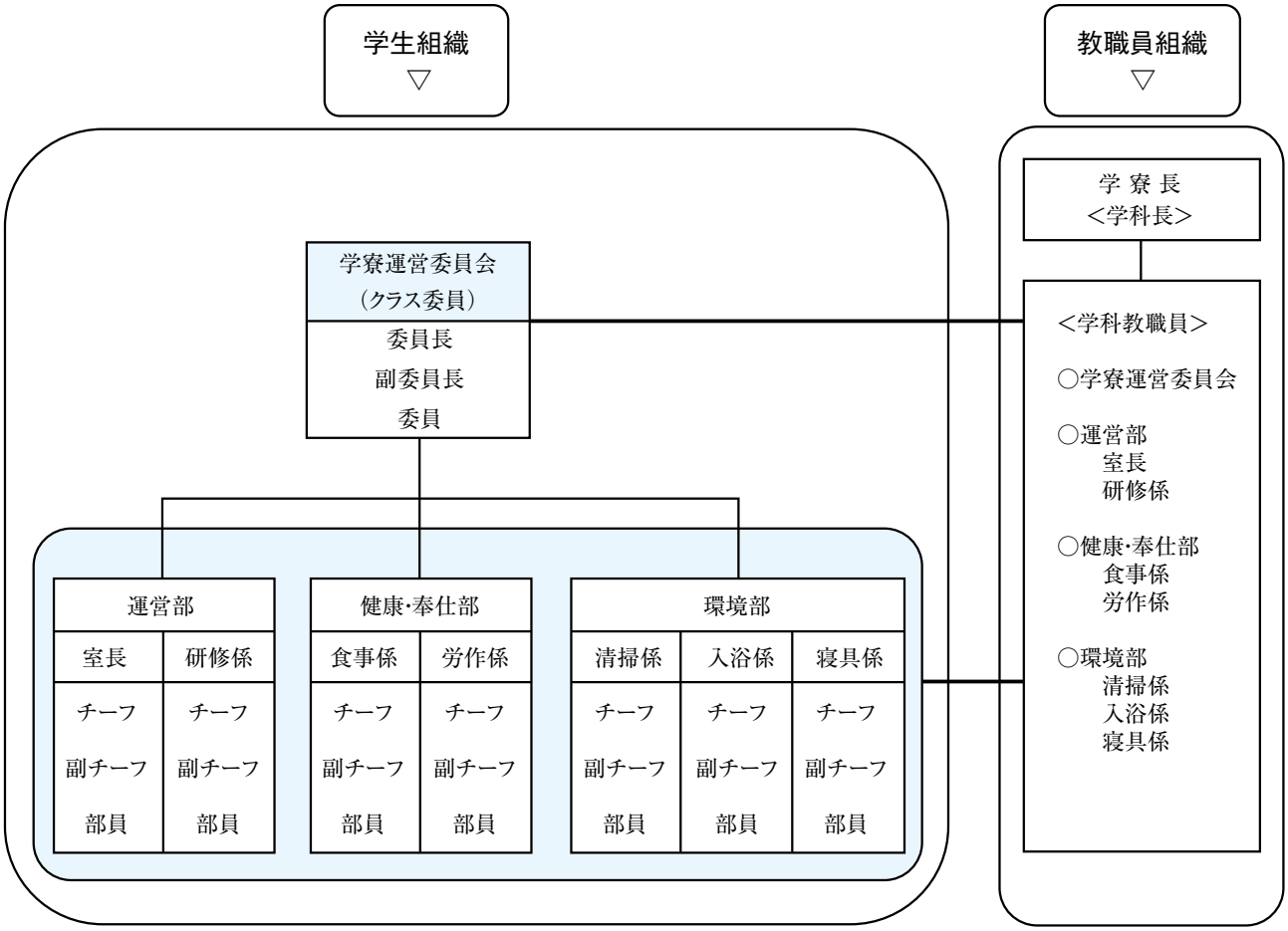
1. 集団生活の中で、ルールを守り、迅速な行動をとる
2. あいさつの励行、時間の厳守、健康管理に努める
3. 公共生活におけるマナー、エチケットを守る
4. 飲酒・喫煙はしない
5. 地域や学寮職員の方々、友人等に対する言動に配慮し、思いやりと感謝の気持ちで接する
6. 見学や参観する場合は、その目的が十分に達成できるように努める
7. 所用のための外出は禁止とする。ただし、必要な場合は、クラスアドバイザーに申し出て許可を得る
8. 病気や事故が生じた場合は、クラスアドバイザーに速やかに連絡する

■学寮研修の組織・運営

学寮研修は本学の教育活動の一環として、学科長（学寮長）及びクラスアドバイザーや他の教職員の指導のもと、学生が主体的に運営します。

1. クラス委員は学寮運営委員となり、学寮運営委員会を組織する。その中から委員長、副委員長を選出する
2. 学寮運営委員長は、学生の代表責任者として全体を統括する。副委員長は、委員長を補佐する
3. 学生は各室ごとに７種の係を分担し、全員が何れかの係に携わり、協力して学寮生活を推進する
   なお、係の呼称及び構成・組み合わせは各学科の実状に合わせて変更することができる
4. 係ごとにクラスの代表を決め、その中から全体のチーフと副チーフを決める
5. 学寮中は、学寮運営委員、各係のチーフ・副チーフ、室長が集まるチーフ会議（室長会議）を必要に応じて開催する

＜学寮研修組織図＞



＜各係のおもな仕事内容（例）＞

係　名		事　前	学　寮　中
学寮運営委員会		学寮目標の立案 開寮式、導入集会、閉寮式の計画 灯の集いの立案 事前研修の企画・運営 「学寮生活のしおり」の作成	各係の活動の指導と統括 開寮式、導入集会、閉寮式の司会進行 灯の集いの司会進行 チーフ会議の司会進行
運営部	室長	各室のメンバー表と名札の作成 バスの座席表の作成	各室の連絡会の司会 集合時の点呼と報告 室員の健康状態の把握 部屋の鍵の管理及び戸締りの確認 バスの乗車・下車の指示と教材等の積み下ろし
	研修係	朝の集いの計画 交歓会・研修会等の企画 車中での企画	朝の集いの司会進行 交歓会・研修会等の運営 車中での司会・運営 灯の集いの設営と後片付け
健康・奉仕部	食事係	配膳当番を決める 座席割り当て表の作成 先生方の名札の作成 食事の司会者を決める テーブルスピーチの依頼	食事の座席の割り当て 配膳、後片付けの指示 食事のマナーについての注意 学寮食事担当者との連絡
	労作係	労作内容の確認 スポーツ大会等の企画 体育関係備品の確認	労作の準備と後片付け スポーツ大会等の運営 体育関係備品の整備整頓
環境部	清掃係	清掃区域と分担表の作成 清掃見回り責任者を決める 清掃用具数の確認	清掃中の見回り 清掃用具の整備整頓 ごみ分別の指導
	入浴係	入浴についての注意事項の作成 入浴順序表の作成 入浴の責任者を決める	入浴時間の連絡や指示 浴室の後始末、用具整頓状態の点検
	寝具係	ベッド使用上の注意事項の作成 戸締り見回り責任者を決める	寝具の配布及び回収 室内の用具・備品の確認 就寝前の見回り 帰寮時の室内の見回り

＊各学科の実状に合わせて、各係の呼称及び仕事内容は流動的に変更することができる。

■学寮の生活スケジュール

＜生活スケジュール（例）＞

第１日		第２日		第３日		第４日	
		6:30	起床・洗面	6:30	起床・洗面	6:30	起床・洗面
			清掃		清掃		
		7:20	朝の集い	7:20	朝の集い	7:20	朝の集い
			朝食準備		朝食準備		朝食準備
		7:45	朝食	7:45	朝食	7:45	朝食
8:40	大学出発（望秀）						
		9:00	◆学科プログラム	9:00	◆学科プログラム	9:00	学寮まとめの会
							（自己評価･係反省会）
10:00	大学出発（東明）					10:00	室内清掃
							全構内清掃
						11:20	昼食
	◆学科プログラム	11:50	昼食準備	11:50	昼食準備		
	昼食	12:20	昼食	12:20	昼食	12:10	閉寮式
						12:30	学寮出発
		13:30	労作奉仕	13:30	◆学科プログラム		
						14:00	大学帰着（東明）
15:00	着寮						
15:30	開寮式	15:30	◆学科プログラム				
	導入集会					16:20	大学帰着（望秀）
	避難訓練						
	各係打ち合わせ						
17:00	夕食準備	17:00	夕食準備	17:00	夕食準備		
17:30	夕食	17:30	夕食	17:30	夕食		
19:00	◆学科プログラム	19:00	灯の集い	19:00	◆学科プログラム		
20:00	入浴	20:00	入浴	20:00	入浴		
22:00	就寝準備	22:00	就寝準備	22:00	就寝準備		
22:20	点呼	22:20	点呼	22:20	点呼		
22:30	就寝	22:30	就寝	22:30	就寝		
23:00	完全消灯	23:00	完全消灯	23:00	完全消灯		

＊生活スケジュールは標準的な研修例であり、太枠内の学科プログラムの内容は各学科の独自性を生かしたプログラムとして自由に計画することができる。

2．履修登録

卒業要件単位を修得するためには、定められた期間内に、履修登録を行わなければなりません。その手順は以下の通りです。①各学科で行う履修ガイダンスで教務部委員、クラスアドバイザーの指導を受けます。②興味を持った授業科目について、シラバスを参照して授業内容を確認します。③実際に履修する授業科目を決め、WEB 履修登録を行います。

この節には、履修計画を立て履修登録を行う時の注意事項や細かい規定について記載しています。

具体的な履修についての説明に入る前に、本学カリキュラムの特徴を説明します。カリキュラム（教育課程）とは、教育目的を達成するために用意された授業科目群です。大学としての教育目的と学科毎の教育目的は、学則第１条に掲げられています。カリキュラムは、大きく３つに分類されます。

Ⅰ全学共通開設科目（総合教育センター開設）

①一般教養科目

本学の建学の精神を学ぶための科目や将来、学問や文化を担う者として欠かせない基礎的な知識や実力を身につけるとともに、人間としての豊かさを養う科目。「実践倫理」「日本語基礎」の２科目４単位は必修となります。「体育実技」は一部の学科で必修となります（詳細は「Ⅱ１入学から卒業まで」に記載）。

②外国語科目

国際化の時代に必要な基盤を確立するための科目で、外国語の理解力と発信力を養う科目。本学では、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語の８カ国語を開講しています。基礎から学び始め、ゆるやかにレベルをあげられるよう工夫されています。ネイティブの教員による会話を中心としたクラスも用意しています。

Ⅱ各学科の開設科目

①専門教育科目

学科の教育目的に従って、学問の基礎研究、職業生活または実際生活に必要な能力を養成するために設けられている科目。必修科目、選択必修科目、選択科目に区分されます。

②専門関連科目

学科の学問領域の基礎となる科目、もしくは専攻領域と密接に関連する科目で、履修登録時に専門教育科目として登録するか一般教養科目として登録するか選択できる、本学の特長でもある科目です。学問の境界領域や学際分野が絶えず形成され、変化する中で専門領域の幅を広げ、奥行きを深めるために設定しています。

Ⅲ諸資格関連科目

諸資格（または受験資格）を取得するための科目で、専門教育科目として開設されている科目と卒業要件外科目として開設されている科目があります。

Ⅳオープンカリキュラム

また、本学カリキュラムの大きな特徴として、オープンカリキュラムがあげられます。カリキュラム表に「他学科生履修可」と記載された科目は、所属学科以外の学生の履修も可能です。修得した単位は、一般教養科目として認定されます。数多く開設されている一般教養科目と合わせ、特定の分野の科目の単位を修得することにより、副専攻的な履修をも可能にしています。

このほかにも、理論学習で学んだ成果を公共社会の発展のために役立てながら学ぶコミュニティサービスラーニングに力を入れています。

☆ POINT 履修登録の概要

履修ガイダンス（学科・個別）→シラバス確認→履修計画作成・履修科目決定→ WEB 履修登録

☆ POINT カリキュラムの構成

Ⅰ全学共通開設科目
　①一般教養科目　②外国語科目
Ⅱ各学科開設科目
　①専門教育科目　②専門関連科目
　　＊一般教養科目としても認定可
Ⅲ諸資格関連科目

☆ POINT カリキュラムの特徴

専門関連科目
オープンカリキュラム
コミュニティサービスラーニング

(1) 履修計画

履修計画は、学科毎に行う履修ガイダンスで教務部委員から指導がありますので、時間割や学生便覧・シラバスなどを参考にして、各自で立ててください。また、必ずクラスアドバイザーの個別指導を受けてください。本学カリキュラムの特長を充分に活かした履修計画を立てることをお勧めします。

(2) シラバス

履修ガイダンス等を受けた後、興味を持った授業科目について、必ずシラバスで授業内容を確認してください。シラバスは自宅等、インターネットに接続できる環境があれば学外からでも参照することができます。

シラバスには概ね、次の内容が記載されています。

- **授業名、授業担当者名**
- **授業の目的、到達目標**
- **各回の授業内容**
- **成績評価の方法や基準**
- **準備学習の内容や目安となる時間についての指示**
- **教科書・参考文献**
- **履修条件**

授業選択に利用することはもちろんのこと、授業の予習にも活用してください。

■シラバスへのアクセス方法

総合トップ（http://www.swu.ac.jp）＞大学トップ＞在学生の方＞シラバス を選択してください。

（3）履修単位数

計画的な学習を促すために１セメスターに履修する最低単位数、授業外の予習、復習時間を確保し、学習効果を上げるために１セメスターに履修できる上限単位数を定めています。

また、大学生が在学中に履修できる短大開設科目の単位数、短大生が在学中に履修できる大学開設科目の単位数は決められています。その制限を超えて履修することはできません。決められた範囲内で履修計画を立ててください。

１セメスターに履修する最低単位数　　：15 単位

１セメスターに履修できる上限単位数　：22 単位

＊いずれも、文化講座と卒業要件外科目の単位を除いた単位数です。

＊この条件に外れて履修する場合は、所属学科の許可が必要です。

大学生が在学中に履修できる短大開設科目の単位数　：60 単位まで（図書館司書関係科目を含む）

短大生が在学中に履修できる大学開設科目の単位数　：30 単位まで

（4）WEB 履修登録

履修ガイダンスと個別指導の後、シラバスで授業科目の詳細を確認して、履修を希望する授業科目が決まったら『履修計画表（本人控）』に書き出してください。履修登録前にもう一度、間違いがないか確認してください。

履修登録は主に在学生ポータルサイト UPSHOWA から行う WEB 履修ですが、科目によっては、別の方法を取るものもありますので注意してください。

以下順を追って説明します。なお、細かな日程は変更になる場合があります。

履修希望の科目は、必ず１回目の授業から出席してください。１回目の授業に出席していない場合、WEB 履修登録をしても履修が取り消されることがありますので注意してください。

■学科登録科目（授業開始前のガイダンス期間中）

履修学生が決められている科目や優先して履修できる学生が決められている科目です。次のような場合に、学科登録科目となります。対象科目は、ガイダンス期間中に UPSHOWA または学科で発表します。

①学科の必修科目や選択必修科目等で学科が履修者のクラスを指定する科目

②プレスメントテスト等を行い事前にクラス分けを行う科目

③その他開設学科が指定した科目

これらの科目については、授業開設学科から教育支援センターへ履修者のデータが送られてきますので、学生は履修登録を行う必要はありません。

■抽選科目（授業開始前３日間程度）

総合教育センター開設の一般教養科目や多くの履修者が見込まれる科目または人数を限定し少人数で行う科目で、履修希望者が履修定員を上回ることが事前に予想される場合に抽選を行います。決められた期間内に希望する科目に対して抽選入力を行います。先着順ではありません。機械的に抽選を行いますので、期間内に入力を行えば、いつ入力を行っても当選率に違いはありません。対象科目は、ガイダンス期間中に UPSHOWA で発表します。

当選した科目は自動的に履修登録されます。学生登録科目登録期間開始直後、既に履修状態になっている科目が当選した科目となります。**誤って抽選入力して当選した科目は、抽選科目削除期間（１日程度）に削除できますが、学生登録科目登録期間中に削除することはできません。また、一度削除した科目を再度履修登録することはできませんので、削除する時は細心の注意を払って行ってください。**本来当選した科目を削除することは好ましいことではありません。充分に考えてから、抽選登録を行ってください。

■学生登録科目（授業開始約１週間後）

１回目の授業に出席して履修を認められた科目のみ期間内に履修登録を行ってください。１回目の授業に出席せずに履修登録のみを行った場合、履修が取り消されることがありますので注意してください。

■受講調整

1回目の授業で、想定以上の履修希望者がいた場合に行います。授業担当者は、受講者選抜を行います。受講を許可された者は、学籍カードを提出してください（授業担当者によっては、別の方法を取る場合もあります）。受講許可を受けたうえで、学生登録科目登録期間に履修登録をする必要があります。履修登録をしなかった場合は、履修放棄とみなし履修できません。また、受講許可を受けていない学生が履修登録を行っても、履修は削除されます。

■履修確認・削除（学生登録科目登録後約1週間後）

学科登録科目登録期間終了後、履修確認期間を設けています。必ずUPSHOWAで自分の履修登録内容を確認してください。エラーが出ている科目・やむを得ない理由で履修が継続できない科目は、この期間内に履修削除しないと、失格（欠席オーバー）として、不利益を被る場合があります。

(5) 特別履修

授業科目の履修は、カリキュラム表に示してある履修可能範囲内の学科に所属し、かつ、対象学年以上の学生のみ履修が許されています。原則としてそれ以外の学生は履修できません。ただし、特別な理由がある場合のみ、対象外の学生でも該当科目に対して特別履修願を提出すれば、履修登録できます。

特別な理由とは次のような場合を指します。

■理由

1. 卒業年次生で卒業要件および資格取得に必要な単位数が満たない場合。
2. 英語コミュニケーション学科、国際学科および文化創造学科の学生で、ボストン留学または長期留学のための特別措置が必要と認められた場合。
3. 所属学科教務部委員が必要と認めた場合。
4. 書道、外国語について、担当教員が上級レベルの履修が可能と認めた場合。

■手続き

1. 所属学科教務部委員に上記理由に当たるかどうかの判断を仰ぎ、許可された後、教育支援センターで『特別履修願』を受け取ります。
2. 教育支援センター所定の『特別履修願』に、授業担当教員、特別履修科目開設学科および所属学科の教務部委員ならびに、クラスアドバイザーの承認を得た後に教育支援センター窓口に提出します。
3. 履修確認期間にUPSHOWAで、該当科目が履修登録されているか確認してください。
4. 前期特別履修を許可された科目を後期に続けて履修する場合も、再度特別履修の手続きが必要です。

■注意事項

1. 理由1.により特別履修を希望する場合は、まずクラスアドバイザーの指導を受け、所属学科教務部委員の承認を得たうえで、授業担当者の了承を得る必要があります。
2. 外国語の履修については、それぞれ担当学科外国語担当者の了承を得る必要があります。直接各教授室を訪ね、問い合わせてください。

＜英語＞

大学生が短大生主対象の科目を履修する場合：英語コミュニケーション学科の外国語担当者
短大生が大学生主対象の科目を履修する場合：文化創造学科の外国語担当者

＜英語以外の外国語＞

大学生が短大生主対象の科目を履修する場合、又はその逆の場合：総合教育センターの外国語担当教務部委員

(6) 聴講

『聴講』とは、単位修得を前提とせず、知識の修得・資質の向上を目的として受講を希望する場合をいいます。従って、授業には出席できますが単位認定はされません。卒業論文等の関連科目を受講する場合や既修得単位の再度の受講の場合は聴講として、手続きしてください。（期末試験の対象外となります。）

■手続き

1. 聴講希望科目の第一回目の授業時に、聴講希望である旨を担当教員に伝え、聴講許可が出た場合の

み聴講登録を行ってください。原則として、抽選科目は聴講できません。

2. 教育支援センター所定の『聴講願』に、担当教員の承認を得た後に、教育支援センター窓口に提出します。
3. 前期に聴講を許可された科目を後期に続けて聴講する場合も、再度聴講願の手続きが必要です。

■注意事項

WEB 履修登録は必要ありません。

(7) 履修の取りやめ

履修登録後やむを得ない理由で、履修を取りやめる場合、UPSHOWA で定められた期間内に履修削除を行ってください。期間以外には履修取りやめの手続きはできません。履修確認期間には必ず UPSHOWA で登録状況を確認し、エラーが出ている科目については、履修削除を行わないと不利益を被ります。

■注意事項

学生登録科目登録期間中に抽選科目の削除はできません。専門科目等を履修するコマに抽選登録を行わないでください。

(8) 副専攻制度

自分が所属する学科の専門科目を主専攻とし、さらに「専門の幅を広げる」「専門＋実学的な分野」「専門＋学術的分野」を体系的に履修できる副専攻を設けている学部があります。詳細は学科オリエンテーションで確認してください。

3. 授業

学期は前期（4月1日から9月30日まで）、後期（10月1日から3月31日まで）の2セメスター制とし、各セメスター原則として15週の授業を行います。

授業は教育効果を充分にあげられるように、一般教養科目を除き原則80人を上限と定めています。

教育成果のさらなる向上、師弟間の親密化、授業効率をはかるために、授業の際の座席は個別に指定します。指導上の見地から教員が定期的に変更する場合もありますが、講義ごとに学生が勝手に移動することはできません。授業担当の教員は、座席確定後座席表を作成し、出欠調査、平常成績を記録します。

その他この節では、科目ごとに欠席時数が4分の1（週1回授業の場合に1セメスターで4回）を超えると失格となり単位認定がされないなどの「**出席・欠席・遅刻**」の決まりや公欠、緊急時の取扱などの説明をします。

また、授業をよりよく改善するためにセメスターごとに行っている授業改善アンケートについても触れていきます。

☆ POINT 失格

1セメスター4回を超える欠席は失格（単位不認定）

(1) 授業時間帯

授業の時間帯は以下のとおりです。

1講時	9:00 ～ 10:30
2講時	10:40 ～ 12:10
3講時	13:10 ～ 14:40
4講時	14:50 ～ 16:20
5講時	16:30 ～ 18:00
6講時	18:10 ～ 19:40
7講時	19:45 ～ 21:15

※ひとつの講時を前半と後半に分けることがあります。

(2) 出席・欠席・遅刻

毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業担当教員の責任において出席簿に記録されます。一部の科目は、I.C. カードリーダーによる出欠管理を行う授業科目もあります。その場合、学生証をI.C. カードリーダーにかざしてください。

欠席、遅刻は次のように扱い、規定回数を超えて欠席すると失格となり、当該科目の定期試験の受験資格が与えられず単位は認定されません。

- **10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とする。**
  （60分以内の授業は、10分を5分に読み替える。以下同様）
- **10分を超えた遅刻は欠席として取り扱う。**
- **当該科目の欠席時数が4分の1を超えると失格となり、単位は認定されない。**
  （週1回授業の場合には1セメスターで欠席が4回を超えた場合）

(3) 公欠と緊急時の取扱

■公欠

以下のような場合に、願い書を提出すると欠席扱いになりません。

なお、資格関連科目の公欠については資格の監督官庁の定めによることとします。

1. **忌引き（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）（会葬礼状添付）**
2. **教育実習ならびに介護等体験（教職課程に関する内規参照）および校外実習期間**
3. **卒業年次の就職活動および進路活動のための欠席で、クラスアドバイザーが認めたもの（通算6日以内）**
4. **クラブの代表として、関東地区大会規模以上の公式試合（予選を含む）に出場および公演に参加する場合。ただし、原則として1クラブ、年2回を限度とする（サークルは不可）**
5. **感染症に罹患し、医師の診断により出校停止となった場合（診断書添付）**
6. **ボストン研修のビザ取得にかかわるアメリカ大使館インタビュー**
7. **インターンシップ**
8. **その他大学が必要と認めたもの**

・提出時期：3日前

※1. 3. 5. の場合はクラスアドバイザーの証明で事後に提出しても有効です。その場合、7日以

内に提出しなければなりません。それ以降は原則として認めません。

・提出方法：公欠願は２種類の用紙に記入し、クラスアドバイザーと授業担当者に提出。

※公欠の事由を証明する書類等が必要です。

■緊急時の授業の取扱

JR 山手線、東京メトロ、東急田園都市線のいずれかが「ストライキ」あるいは「災害」等によって全面運休した場合の授業の取扱は下表のとおりとする。

運休時間	授業の取扱
当日午前６時までに運転開始	平常どおり行う
当日午前９時までに運転開始	午前中休講
当日午前９時を過ぎても運転中止	終日休講

上記の原則によるほか、教務部長・学生部長および教育支援センター長の協議に基づき、学長が学生の登校並びに下校に困難と危険が伴うと判断した場合は休講とする。

なお、災害等で鉄道が一時運休し授業出席に支障をきたした場合は、所定の公欠届けを用紙に記入し、クラスアドバイザー押印のうえ遅延証明書とともに授業担当者へ提出すること。自宅から大学までの通学途中の地域に、自然災害による警報が発令されている場合等、同様の手続きで公欠を認める場合がある。

■大規模地震対策特別措置法に基づく警戒宣言が発令された場合の授業の取扱について

首都圏を中心とする大規模な地震発生が予想され、大規模地震対策特別措置法に基づく「警戒宣言」が発令された場合の授業等の取扱は以下のとおりとする。

○ 「警戒宣言」が発令された場合、直ちに全学休講とする。
大学にいる時に「警戒宣言」が発令された場合は、校内放送あるいは掲示等によって指示を行うのでその指示に従うこと。また、帰宅途中で「警戒宣言」が発令された場合は、直ちに帰宅するなど適切な措置をとること。

○ 「警戒宣言」解除されたときは、緊急時の授業の取扱の場合に準じる。

(4) 休講・補講

担当の教員がやむを得ない理由で授業を休む場合、その授業は休講となります。このような場合には事前に UPSHOWA で連絡します。

なお、授業時間になっても担当の教員が教室に見えない場合は、教育支援センターへ連絡をとり、指示を受けてください。

休講は原則として補講を行います。その場合も主に UPSHOWA で連絡します。

(5) 授業改善アンケート・授業公開

本学では授業最終週に、授業内容の改善を目的としたアンケートを行います（ただし授業によっては最終週以外の週に実施することもあります）。このアンケートは原則として受講学生数 10 名以上の授業を対象とします。受講した科目の理解度や教員の教え方、施設設備などについて、大学の授業改善のために是非学生みなさんの率直な意見を聞かせてください。また、大学院のアンケートについては指導教員の指示に従ってください。

回答結果は大学や個々の教員が今後よりよい授業を展開していくための資料とします。授業改善アンケートの集計結果、学科ごとの概評、各教員の「授業改善報告書」は内外のホームページに公開していきますのでそちらも確認してください。

また、教員相互が授業を公開し、参観したあとに意見交換を行うなど、より充実した授業にするための取り組みを進めています。

授業の時に他の教員が参観に来ることもあると思いますので、あらかじめ了承願います。

4. 試験、単位認定、成績

履修登録を行い、規定回数以上の授業に出席した授業科目について、試験を受験し合格した科目に単位が認定されます。この節では、単位認定についての説明をします。

1単位の授業科目は、「45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と国の法令と本学の学則で定めています。

単位数を計算する場合、45分の授業を1時間相当の学修時間とみなしています。90分授業の講義科目で、1セメスターで2単位取得できる科目の例を示します。

（必要学修時間）45時間/1単位×2＝90時間
（1セメスターの授業時間）
2時間/1回×15回＝30時間

2単位取得するためには、90時間の学修が必要となっているにもかかわらず、授業では30時間分の学修しか行っていません。

90時間－30時間＝60時間

この差の60時間分の学修は、授業時間以外の自主的な学修ということになります。**この場合、単位取得には授業時間の2倍の自主的な学修が必要ということです。**

この必要時間分の学修内容を修得できているかどうか、試験によって判定されます。試験についての詳細は、これ以降に説明します。

また、授業科目以外に単位認定されるものもあります。

☆ POINT

1単位の授業科目は45時間の学修内容が必要（1単位あたり標準必要授業時間・学則第13条）

講義：15時間の授業をもって1単位
演習：30時間の授業をもって1単位
実験、実習及び実技：
　　45時間の授業をもって1単位

(1) 定期試験と成績評価

試験は原則として前期、後期授業の最終週の1週間前及び最終週に実施します。複数のクラスと合同で試験を行う場合（合同試験）は、UPSHOWAで時間割を発表します。学生はその学期に履修している全科目について受験しなければなりません。各科目の評価は平常点（授業への積極的な参加姿勢等出席状況の評価とレポート、作品、実技、実験等の評価が加味されます）、試験点を合わせて100点満点とします。結果は、次のように表し、成績は1セメスターごとに保証人に通知します（後期の成績は、次年度の始業式当日学生本人に手渡しします）。学生本人はUPSHOWAから確認することもできます。

・秀（90点以上）
・優（80点以上89点以下）
・良（70点以上79点以下）
・可（60点以上69点以下）
・不可（59点以下）＊単位不認定

その他合否のみを判定する授業は「認定（合格）」又は「不認定（不合格）」として評価します。

不受験、失格（欠席オーバー）と表記された科目の取り扱いについて、不受験科目は平常点が、失格科目は0点がそれぞれ成績となります。

■不正行為について

試験実施中、不正行為があった者についてはその日までの全受験科目を無効とし、以後の受験を停止します。

(2) 受験資格

以下にあげる項目に該当する学生には受験資格が与えられません。

1．履修登録していない者
2．授業料等納入金を期日までに納入していない者
3．受験する授業科目の欠席が4分の1（1セメスター4回）を超える者
4．本学発行の学生証を所持していない者
5．所要時間を半分過ぎた遅刻者
6．その他受験資格に欠格があると認められた者

(3) 追試験

定期試験を受験しなかった者に対し追試験を実施する場合は、次の規定によります。

■申請のうえ許可されれば追試料金が無料となるもの（公欠の取り扱いに準拠する）

・忌引き（会葬礼状が必要）
・電車の遅延（遅延証明が必要）
・学外研修（教育実習等）

・就職活動（会社の証明が必要。ただし、合同セミナーは対象外とする）
・資格試験及び編入試験等（受験票が必要。事前に申し出ること）
・その他やむを得ない場合（理由を証明する書類が必要）

以上のほか、理由を問わず受験は可能ですが、追試料金は１科目 5,000 円とします。この場合、理由を証明する書類は必要ありません。

(4) 再試験

定期試験もしくは追試験で不可となった場合、必修科目など単位取得が必要な科目については、次セメスター以降に再履修することが基本ですが、カリキュラムの運用上、学科が必要と認めた科目は再試験を行います。対象となる科目は、授業開始当初に、学科から学生に提示されます。再試験に合格した場合、単位認定されますが、点数は単位認定の最低点（60 点）となります。

(5) 特別試験

卒業年次生に対する特別試験は、次の規定により実施します。

1．特別試験対象者は、卒業要件に充たない者で卒業査定会で承認を得た者。並びに資格取得単位に充たない者。
2．特別試験は２科目を限度とする。
3．特別試験対象科目は不可科目（失格（欠席オーバー）は除く）、不受験科目のいずれかとし、履修年度は問わない。
4．特別試験の料金は、１科目 2,000 円を徴収する。
5．特別試験の結果は合否のいずれかとし、合格の場合は単位認定の最低点（60 点）とする。
6．卒業要件に充たない者のうち特別試験で合格になった場合は、教務部長、学部長、副学長、学長の承認を得て卒業認定する。
7．３月期卒業の特別試験合格者については３月末に学位記を授与する。ただし、卒業年月日は３月期卒業式の日とする。
8．９月期卒業の特別試験合格者については９月末日に学位記を授与する。卒業年月日も同日とする。

(6) 卒業論文

本学では、卒業論文・卒業研究等の単位修得を卒業要件にしている学科があります。

卒業論文等の題目については､学科等の指示に従って選定してください。その後指導教員の承認を受け､｢卒業論文題目及概要届｣を各学科が定めた期日までにクラスアドバイザーに提出してください。なお、一度定めた題目の変更は原則として認められません。選定の際は十分に検討してください。

履修登録は論文提出年度の前期に行い、削除（必修でない場合）の手続きは他の科目と同様となります。

論文作成にあたっては、努めて指導教員の指導を多く受け、その都度「卒業論文指導カード」を提出して、確認を受けてください。

■提出について

1．提出日：冬季休暇終了日の翌日
2．受付時間：午前 10 時～午後 4 時
3．提出方法:論文とともに､｢卒業論文提出届｣及び｢卒業論文指導カード｣を､大学は教育支援センター（提出場所は UPSHOWA で確認）､短大はクラスアドバイザーへ提出。
なお、前期（９月末）卒業見込学生の論文提出日時は、前期授業終了日の午前 10 時から午後４時とします。また、提出先については、事前に UPSHOWA で確認してください。

※１不慮の事故等で期日に持参できない場合は、教育支援センター教務担当宛に送付してください。送付については、下記に留意してください。

（ア）郵送
封筒の裏に必ず学部・学科・クラス・氏名を明記し、書留速達で郵送してください。また、郵便局で「引受時刻証明」を購入し、書留受領証と理由を証明する書類とともに、登校の際必ずクラスアドバイザーに提出してください。ただし､局受付日時が規定日時以降のものは無効になります。

（イ）宅配
封筒の裏に必ず学部・学科・クラス・氏名を明記し、宅配取扱店に依頼してください。また支払い

時刻の明記されたレシートを受領（時刻の証明のできないものは無効）し、宅配の本人控と理由を証明する書類とともに、登校の際必ずクラスアドバイザーに提出してください。
ただし、受付日時が規定日時以降のものは無効となります。

＊個人商店で宅配便の受付業務を行っている場合、レシートが発行されない場合があるので、必ず時刻の証明できるコンビニエンスストア等に依頼してください。

※２交通機関の遅延等で提出が遅れる場合は、駅長又は交通機関の発行する遅延証明書を持参しなければなりません。

※３※１・※２により定められた日時に持参提出できない場合は、必ずクラスアドバイザーに期限以前に電話でその旨を連絡してください。

(7) 英検・TOEIC・漢検の単位認定

■英検および TOEIC

本学の「外国語科目の英語」では実用的な英語の運用能力を高めることが目標の１つになっており、英検（実用英語技能検定）の資格と TOEIC（IP テストを含む）のスコアを外国語科目の卒業要件単位として、認定しています。認定される単位数は、以下のとおりです。

※ただし、英語コミュニケーション学科、国際学科、現代教養学科の学生は除きます。左記学科の学生は、専門科目として別の基準で認定されます。詳細は、学科の教育課程のページを参照してください。

取得した級・点数				認定単位数	備　考
英検	２級	TOEIC	450 点以上	２単位	外国語科目の単位として認定
	準１級		650 点以上	４単位	
	１級		850 点以上	６単位	

ただし、認定される単位は最高６単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。

英検と TOEIC の両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とします。

■漢検

本学での高いレベルの講義を理解し、常識人として社会に貢献できる人間を育成するため、本学ではかねてから「漢字」修得能力を重視しており、文部科学省認定の日本漢字能力検定（漢検）の資格を一般教養科目の卒業要件単位として、認定しています。認定される単位数は以下のとおりです。

取得した級	認定単位数	備　考
漢検２級	２単位	一般教養科目の単位として認定
漢検準１級	３単位	
漢検１級	４単位	

ただし、認定される単位は最高４単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。

■単位認定の申請方法

教育支援センター教務担当窓口で、「英検・TOEIC・漢検に関する単位認定願」を配布しています。認定願を記入して提出してください。受付は随時行っています。

(8) 単位互換協定

京都地域を中心とした約 50 大学でつくる「大学コンソーシアム京都」と本学は、単位互換に関する協定を締結しています。本学の学生は、協定大学が提供する 400 以上の科目のうち、集中講義科目を履修し単位修得できます。関東にある協定大学は本学と早稲田大学のみですが、興味のある場合は、長期休暇期間を利用し履修してください。詳細は、UPSHOWA で案内しますので確認してください。

１．出願期間：３月下旬～４月上旬
２．受付窓口：教育支援センター教務担当
３．開講科目：http://www.consortium.or.jp

5. 学籍と修業年限

学籍とは、本学の学生としての身分を有していることをいいます。学籍は入学によって発生し、卒業、退学、除籍によって失われます。

在学とは、学生が本学の学籍を有し、現に学修している状態をいいます。在学期間とは、その学修している期間をいいます。

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な最小の在学期間をいい、これに対して在学年限とは、本学に在学できる最長の在学期間のことをいいます。また、休学期間は在学期間に含めません。

職業を有している等の理由で、予め修業年限の延長を申請する長期履修生制度（短大のみ）や成績優秀者に対する早期卒業制度（大学のみ）もあります。その他、この節では、休学・復学・退学など、学籍に関する諸手続きについて説明していきます。

☆ POINT 標準修業年限
大学 4 年、短大 2 年
※特例：長期履修（短大のみ）、早期卒業（大学のみ）

☆ POINT 最長在学年限
大学 6 年、短大 4 年
※特例：長期履修（短大のみ）

☆ POINT 休学期間
在学期間に含まない。

(1) 修業年限と在学年限

標準修業年限は以下のとおりです。

・大学：4 年
・短大：2 年（長期履修学生は 4 年）

最長在学年限は以下のとおりです。この年限を超えて在学することはできず、卒業要件を充たせない場合は、**除籍**となります。なお、**休学期間は在学期間に含めません。**

・大学：6 年
・短大：4 年（長期履修学生は 6 年）

(2) 休学

疾病その他やむを得ない理由で休学を希望する者は、その理由を詳記し保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：休学願（保証人連署・病気の場合は医師の診断書を添付）
提出期限：休学する 1 週間前
提出先：クラスアドバイザー
休学期間：1 年以内
※やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

■留意事項
・休学期間は、在学期間に算入しません。
・休学期間中の学費は、在籍登録料として授業料の半額を納入することになっています。
・ただし、学期途中で休学する場合は、その期の学費を納入していないと許可されません。

(3) 復学

休学の理由が解消して復学を希望する者は、保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：復学願（保証人連署・病気の場合は医師の診断書を添付）
提出期限：復学する 1 か月前
復学時期：学期の始め
提出先：クラスアドバイザー

■留意事項
・学期途中の復学はできません。

(4) 退学

退学したい者は、その理由を詳記し保証人連署で願い出て、学長の許可を得る必要があります。

必要書類：退学願（保証人連署）
提出期限：退学する 1 週間前

提出先：クラスアドバイザー

■留意事項

・学費・寮費などが未納のままで退学することはできません。

・退学を願い出るときは、同時に学生証と校章を返却しなければなりません。

・願い出によらない退学は、除籍の扱いになります。

(5) 除籍

次のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て、学長が除籍します。

・最長在学年限をもって卒業できない者

・学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者

・正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

■留意事項

・除籍とは、本学に在籍していた事実から、その人の名前を除くことを指します。従って証明書等を請求しても、いっさい発行できないことになります。また、再入学の対象にもなりません。

(6) 進級制限

大学生が3年次に進級するための目安として、修得単位数を定めています。

・2年次終了までに卒業要件単位を**概ね60単位以上**

(7) 褒賞

学則第45条（短期大学部第38条)､「本学学生で学業優秀または善行､美事をなした者を賞することがある」の項目に基づいて次の賞を設けています。

■学長賞

次の基準を充たした者の中から人物などを勘案し、各学科から大学部局長会に推薦して決定されます。

・各学科在籍100名につき1名

・全履修科目の成績平均点が80点以上

・卒業論文の評価「優」以上（卒業論文を必修として課している学科のみ）

・欠席許容時数が出席すべき総時数の2/100を超えない範囲

■恪勤賞

出席良好で、**欠席時数が出席すべき総時数の3/1000までの者**とします。

■その他の賞

栄養士養成施設協会会長表彰

生活科学部健康デザイン学科、生活科学部管理栄養学科、短期大学部専攻科食物科学専攻の学業優秀な学生各1名が推薦のうえ決定されます。

空気調和・衛生工学会振興賞

生活科学部環境デザイン学科の学業優秀な学生1名が推薦のうえ決定されます。

日本衣料管理協会会長表彰

生活科学部環境デザイン学科衣料管理士課程の学業優秀者で、資格が活かせる職場に就職が決まった学生1名が推薦のうえ決定されます。

フードスペシャリスト協会会長表彰

生活科学部健康デザイン学科、短期大学部専攻科食物科学専攻の成績優秀な学生各1名が推薦のうえ決定されます。

(8) 長期履修

短期大学部の在学生及び入学予定者で**職業等を有している等の事情にある者**に対して、長期にわたり計画的に教育課程を履修していく制度を設けています。一般学生と長期履修学生の違いは次のとおりです。

	長期履修学生	一般学生
標準修業年限	4 年	2 年
最長在学年限	6 年	4 年

■申請手続き

必要書類：(1) 長期履修学生申請書
(2) 長期履修を希望する理由書
(3) その他本学が必要と認める書類

提出期限：(1) 入学予定者は入学手続時
(2) 在学生　後期から長期履修学生を希望する場合　6 月末日
前期から長期履修学生を希望する場合　前年度 12 月 15 日

■授業料等

・長期履修学生の 1 学期分の授業料等の額は、標準修業年限（2 年）の場合の授業料等の 1 学期分の半額。
・ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（4 年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表のとおり。

	金額	備考
在籍料	100,000 円	学期ごと徴収
聴講料	30,000 円	1 科目当りの単価　履修科目数に乗じて徴収

・長期履修学生がその修業年限を短縮して卒業しようとするときは、長期履修学生の標準修業年限（4 年）の間に納入する授業料等額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入しなければならない。
・在学中に授業料等が改定されたときは、改定時から新授業料を適用する。

■修業年限の変更（短縮）

・長期履修学生が修業年限を短縮して卒業しようとする時は、次にあげる書類を学長に提出しなければならない。

必要書類：(1) 修業年限短縮申請書
(2) その他本学が必要と認める書類

提出期限：前期（9 月）卒業希望者　6 月末日
後期（3 月）卒業希望者　前年 12 月 15 日

※期間の変更は学期単位。

(9) 早期卒業

本学に 3 年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする制度です（ただし、編入学生他、対象外となる場合もありますので、早期卒業の規程第 2 条を確認してください）。

■早期卒業の登録

登録時期：2 年次終了時
(2 年次 1 月頃各学科から出される公示に従って手続きを進めてください)
登録基準：卒業要件単位 90 単位以上かつ席次が当該学科学年の上位約 5%以内の者
審　　査：所属学科、大学部局長会の審査のうえ登録されます。

■学習指導

卒業論文：通常 4 年次で受ける卒業論文指導を 3 年次から受けることができます。
中間報告：3 年次前期終了時に学習状況報告書を所属学科学科長に提出しなければなりません。

■早期卒業の認定

早期卒業するためには、次のすべての条件を充たさなければなりません。
必要単位：130 単位以上（卒業要件単位 132 単位から 4 年目文化講座 2 単位を免除）
成　　績：卒業要件単位の成績（平均点）の席次が当該学科学年の上位約 5%以内
卒業論文：評価が優以上（必修の場合）
卒業認定：大学部局長会の審査のうえ、学長が認定します。

卒業の時期：3年終了時又は4年前期終了時

※本学入学前の既修得単位を認定された者に関する特例（主対象：五修生）については、早期卒業の規程第9条を確認してください。

（10）転科

特別な事情がある者に対して、転科を希望する学生の所属学科が認め、転科先の学科に余裕がある場合、選考のうえ転科を認める場合があります。事前にクラスアドバイザーの指導を充分に受けたうえで申請してください。

■申請基準

入学試験時の成績が、転科先の学科の合格最低基準を充たしていなければ申請の対象となりません。詳しくは転科規程で確認してください。

■時期

学期の始め（選考は転科する前の学期中に終了していなければなりません）

■必要書類

(1) 転科希望の理由を記載した保証人連署の転科願

(2) 転科先の学科での勉学の目的を記述した書類

※その他、転科先の学科が必要とする書類の提出を求められる場合があります。

■選考方法

(1) 面接

(2) 書類審査

※その他、必要に応じて、筆記試験及び実技試験等を行う場合があります。

選考の結果は、大学部局長会の議を経て決定されます。

（11）再入学

正当な理由で退学をした者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえ許可する場合があります。除籍となった者は対象になりません。なお、ここには現在の学則及び再入学選考内規に基づいた記載をしますが、実際に再入学を申し出た時の学則、規程が適用されます。

■条件

次のすべての条件に該当していることが必要です。

(1) 該当学科が受け入れ可能であること。

(2) 健康上の理由、経済的理由など正当な理由で退学した者であること。

(3) 再入学時には退学理由となる事由が解消されていること。

■手続き

再入学希望者は、学科の事前相談を受けたうえで、再入学する学期の2か月前までに、次の書類を提出しなければなりません。

(1) 退学した理由とその経緯、現在、その理由となる事由が解消されていることを記載した書類。

(2) 再入学の目的を含めた入学後の計画などを記述した書類。

(3) その他、該当学科が必要とする書類。

■選考方法

選考は次のとおり行い、退学前の既修得単位数と学力を勘案して、再入学する学年を決めます。

(1) 筆記試験

(2) 面接

(3) 書類審査

選考の結果は、大学部局長会の議を経て決定されます。

6．海外留学

年間300名もの学生が留学している、本学の海外キャンパス、昭和ボストンを中心に、協定校への認定留学など、さまざまなプログラムが用意されています。

☆POINT 認定留学
本学在学のままで留学できる制度。

(1) 昭和ボストン

本学は創立以来、独創的なビジョンを掲げて教育の実践に努力してきましたが、1988年4月、アメリカ随一の学園都市ボストンに、豊かな語学力と国際的な教養を培い世界に通用する人材を育成する目的でShowa Boston Institute for Language and Culture（昭和ボストン）を開校しました。太平洋を越えて大西洋に及ぶ視野で21世紀の世界創造を模索する拠点を構築できたことは「女性文化の帆をはりて海路はるけく漕ぎでたり」の精神を貫き、弛まぬ前進を続けた本学の歴史に画期的な1ページを加えたといえます。

ボストン校の授業はすべて現地のアメリカ人教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われます。また、授業科目の一つとしてキャンパス内においてボランティア活動に参加したり、歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行いアメリカの文化を実際に目で見て学んだりするなど、豊かな生活体験がプログラムに盛り込まれているのが特長です。

特に留学が卒業要件となっている人間文化学部英語コミュニケーション学科や、短大文化創造学科の3ヶ月半以上の長い研修を選択した学生は、1999年から始まったCCP（College Connection Program）を通してボストン市内の6大学のコンソーシアムと連繋して昭和の学生が現地の大学生と出会い、彼らのクラスを訪ね、アメリカの大学生活を実体験する機会が得られます。また、その他の学部生対象に春期ボストン15週間プログラムや国際学科イマージョンプログラムを実施しているほか、全学科対象には、サマーセッションや専門分野の短期留学を展開しています。いずれも授業において一定レベルに達した場合は本学正規の修得単位として認定されます。

課外生活体験としては、地元のアメリカ人がカンバセーションパートナーとして日頃から本学学生と交流を深めたり、フェスティバルに地域の人を招待して茶室や日本庭園でお茶会を開いたりしています。さらに寮ではRA（Resident Assistant）として現地大学院生や本学学生と同世代の社会人が同居し、昭和の学生のBig Sisterとして日常生活や勉学のサポートにあたっています。

MOSS HILL 宣言

モス・ヒルという名のこの丘に立って、広い世界を見渡し、この丘でアメリカを学び、この丘で東洋と西洋、日本と世界の新しい融合点を発見するような人材となり、進んで人類の向上発展に貢献するような女性となりなさい。

一九八八年四月三日

ボストン昭和女子大学
学長 人見 楠郎

Standing on this rise, Moss Hill,
we have a view of the wide world.
On this hill,
we will learn about this land, America.
On this hill,
we will strive for the future of Japan,
On this hill,
we will use our human potential
to join East and West, Japan and the world
Become women who dedicate yourselves gladly
to the progress of humankind.

April 3, 1988

Kusuo Hitomi
President of Showa Women's Institute Boston

■ボストン・サマーセッション

さまざまな場面で海外交流が活発に行われるようになった昨今では、単に英語の習得にとどまらず、英語で自己発信し社会に貢献することが求められるようになりました。こうした時代の流れから1988年に昭和ボストン（ボストンキャンパス）を開設、同所を拠点に体験型海外留学を展開したプログラムが、全学生対象の「ボストン・サマーセッション」です。

夏季休暇中に実施されるサマーセッションは、学部・短大全学科の各分野に基づいた7つのプログラムから構成されており、学生は自分の専門もしくは興味に合ったものを選択します。世田谷キャンパスで学んだ専門知識を英語で表現することを学ぶと同時に、身につけた技術を学外見学・実習の場で現地コミュニティの一員として社会に還元することが求められます。

午前はキャンパス内のアメリカ人教員による少人数クラスの授業で、各分野の専門用語を織り交ぜた、きめ細やかなスピーキング、ライティング、リスニングの指導が行われます。午後はプログラムごとの学外フィールドワークに充てられており、午前の授業で身につけた知識と英語力を駆使して、訪問先の病院、福祉施設、教育機関や企業などで自己表現をしながら実際に活動に携わるなどして英語を自分の専門に生かす技能を体得していきます。

なお、ボストン・サマーセッションの概要は次のとおりです。詳細は、ボストン・サマーセッションのパンフレットを見て下さい。

1. 実施期間は8月中旬から4週間です。参加学生の募集は毎年4～5月に行われます。
2. 指導教員は昭和ボストンのアメリカ人教員で、いずれも日本人を対象とする英語教育の経験が豊富なベテランぞろいです。
3. 教育効果をあげるため、少人数のクラスで、学生それぞれの語学力に応じた授業をします。
4. 授業の一環としてボストン近郊の旧跡や美術館を見学し、週末にはニューヨーク旅行やナイアガラの滝へのオプショナルツアーが組まれます。
5. カリキュラムは世田谷キャンパスとの連携が図られ、サマーセッションの研修を修了した学生に対しては外国語科目（英語）2単位、一般教養科目または該当教科専門科目2単位の計4単位が評価のうえ認定されます。帰国後各プログラムで決められた課題を提出します。なお、単位は入学年度ではなく、参加年度の募集要項の通りです。下記は今年度の単位です。

○一般教養科目（または専門科目）2単位

プログラム名	科目名	単位数	備　考
アメリカ文化	アメリカ文化研究（文化）	2	英コミ・国際の学生は対象外
アメリカ食文化	アメリカ文化研究（食文化）	2	
教育	アメリカ文化研究（教育）	2	
ボランティア	アメリカ文化研究（ボランティア）	2	同時開設：福祉「海外ボランティア演習」 ※福祉の学生は教養と専門を選択可能
心理学	アメリカ文化研究（心理学）	2	同時開設：心理「アメリカ心理学事情（ボストンサマーセッション）」 ※心理の学生は専門となる。
ビジネス英語	アメリカ文化研究（ビジネス）	2	同時開設：英コミ・国際「ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム」 ※英コミ、国際の学生は教養と専門を選択可能
ミュージアム	アメリカ文化研究（ミュージアム）	2	同時開設：歴文「ボストン・ミュージアムプログラム」 ※歴文の学生は専門となる。

○外国語科目（または専門科目）2単位

プログラム名	科目名	単位数	備　考
全プログラム共通	ボストンサマーセッション英語	2	英コミ、国際、健デ、管理は卒業要件外 ※現代の学生は専門となる。

■春期 15 週間ボストンプログラム

大学生を対象とした体験型留学プログラムで、参加者は 3 月下旬から 7 月下旬までボストン・キャンパスで学びます。午前中はボストン・キャンパス内でアメリカ人教員による少人数クラスの英語の授業を受け、午後は病院、福祉施設、教育機関などでの活動を通じて英語を使い、アメリカ社会を体験します。

対　象：大学生を対象とし（英語コミュニケーション学科、国際学科、及び短大の学生を除く）、2 年次以降に履修することを原則とします。
選　考：履修にあたり面接を行って選考します（英語力の評価、及び長期の集団生活に適しているかの人物判断などを所属学科と協力の上、行います）。また、このプログラムに参加することにより卒業単位の履修に支障をきたさないことを条件とします。
期　間：3 月下旬から 7 月下旬
申込先：国際協力室（参加学生の募集は毎年 10 月に行われます）
単　位：16 単位

プログラム名	認定単位 （英語コミュニケーション学科、国際学科を除く）
Listening/Speaking	2 単位（外国語英語）※1
Reading/Vocabulary	2 単位（外国語英語）※1
Writing/Grammar	2 単位（外国語英語）※1
Extensive Reading	1 単位（外国語英語）※1
Pronunciation	1 単位（外国語英語）※1
Current American Topics	2 単位　※2 （外国語英語、または一般教養）
Field Trips	2 単位（一般教養）
Community Service	4 単位（一般教養）

注　留学中の学寮研修、文化講座は原則として免除とする
※ 1 現代教養学科の場合は、専門科目として認定されます。
※ 2 現代教養学科の場合は、専門科目または一般教養科目として認定されます。

■春期休暇中ボストンプログラム

春期休暇を利用したボストンキャンパスで学ぶ専門分野の短期プログラムが下記のとおりあります。プログラム実施は後期授業終了後、2 月下旬～ 3 月上旬の 2 週間、プログラム申込は 10 ～ 11 月。

アメリカ栄養士研修
対象：管理栄養学科、健康デザイン学科：2，3，4，5 年、食物科学専攻：1 年
概要：病院や福祉施設等の集団給食施設における栄養士業務の見学、訪問先大学で研究者と意見交換

日本語教育実習
対象：日本語教育を学んでいる学生
概要：アメリカの日本語教育現場を体験

春季アメリカ教育研修
対象：初等教育学科学生
概要：アメリカの教育現場を体験

(2) 協定校への留学

本学では、海外の大学との間で単位互換を前提として、交流協定を締結しています。
プログラムの内容は、1 年間の交換留学から、2 週間の短期研修まで、協定校ごとに異なります。
交換留学の場合、「認定留学に関する内規」に基づき事前に学長の許可を受けて留学します。「認定留学」は、

2期を限度に留学期間も修業年限に算入します。

上海交通大学（中国）
ソウル女子大学（韓国）
漢陽女子大学（韓国）
ベトナム国家大学ハノイ（ベトナム）
プノンペン王立大学（カンボジア）

(3) 協定校以外の留学

協定校以外の留学であっても、学長の認めた海外の大学または教育機関であれば、「認定留学」は可能です。これに対して、留学期間を「休学」扱いとして留学する場合、留学期間は修業年限には入りません。しかし、学則第14条第2項、第3項に基づき留学先での修得単位を本学で修得したものと認定できる場合があります。クラスアドバイザーに相談のうえ申請してください。

(4) 海外研修プログラム

本学には昭和ボストン、協定校への留学以外にも多彩な海外研修プログラムが用意されています。

■春季ヨーロッパ研修

春季休暇中に実施される当研修は、ウィーンの職業訓練校で行われるお菓子作りの講習に参加します。

この研修に参加するには、明確な目的意識と、訪問地についての知識・理解が必要です。従って、参加する学生は、全員事前研修を行い、現地で充実した時間を過ごせるよう、企画運営されています。帰国後は、学報、秋桜祭等でその成果を発表し、他の在学生に対する啓蒙に努めています。

対　象／全学科
　ただし、健康デザイン学科、管理栄養学科、生活科学科、食物科学科優先
単　位／2単位（一般教養科目）
定　員／30名
期　間／2月下旬から13日間
訪問国／オーストリア・ドイツ・フランス
申込先／国際協力室

■イタリア食文化研修

イタリア北部の街ドモドッソラで、北部・中部・南部のイタリア料理について学びます。

対　象／全学科
期　間／2月下旬から12日間
訪問国／イタリア
申込先／国際協力室

■ソウル女子大学 語学集中講座

夏季休暇中に実施される、協定校のソウル女子大学にて行われる3週間の韓国語集中講座です。

大学の外国語教育院韓国語教育部にて韓国語と韓国文化に関心のある人を対象にしているプログラムで、各自にあったクラス編成により、大学内で寮生活をしながら週5日の授業と週1日の文化体験（校外学習、韓国料理実習など）を行います。帰国後、本学韓国語教員による面接試問等により単位を認定します。

対　象／全学科
単　位／2単位（外国語科目：韓国語）
期　間／8月初旬から3週間
申込先／国際協力室

これらのほか、環境デザイン学科の学生を対象とした「海外デザイン演習」など、さまざまなプログラムが用意されています。

7. 学内進学制度と科目等履修生制度

本学には、大学の卒業生（卒業見込みの者を含む）を対象に、さらに精深な学術理論とその専攻分野における研究能力または高度の専門的職業に必要な能力を養うことを目的とする大学院課程があります。

また、短大の卒業生（卒業見込みの者を含む）には、大学への編入学、短大専攻科への進学の道が開かれています。

それぞれ、在学生を対象とした学内推薦制度があります。

また本学に開設する授業科目のうち、1ないし数授業科目を履修する科目等履修生制度があり、本学卒業後、資格取得等に活用することができます。本学卒業生の履修料は、正規金額の半額となっています。

☆ POINT 学内推薦成績基準の概要

大学院文学研究科：上位 1/2
大学院生活機構研究科：上位 1/3
大学編入学：上位 1/3
短大専攻科：上位 1/2

（1）大学院

■学内推薦

1. 趣旨

本学の大学院修士課程の入学を熱心に希望する卒業年次生に対し、在籍学科長の推薦によって出願を受け付け、大学院において研究実績及び研究計画等（心理学専攻には簡単な論述が加わる）審査の上、入学を許可する。

2. 推薦基準

出願条件

当該年度卒業見込みの者で、次の（1）～（3）のいずれかに該当する者。

（1） 前年度までの通算成績が、在籍学科同年次の学生の中で、文学研究科においては上位 2 分の 1 以内、生活機構研究科においては上位 3 分の 1 以内。

（2） 前年度の在籍学科の成績が、同年次の学生の中で、文学研究科においては上位 2 分の 1 以内、生活機構研究科においては上位 3 分の 1 以内。

（3） 早期卒業登録者

＊ただし、編入学生については、（1）は適用しない。

3. 日程（詳細は 4 月上旬に掲示発表）

出願期間　　：4 月中旬頃
面接試問　　：5 月中旬頃
内定合格発表：5 月下旬頃

＊心理学専攻の論述試験は面接と同日に行う。

■一般入試

1. 出願資格

（1） 博士前期課程・修士課程の受験資格は次のいずれかに該当する者。

・学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者。
・学校教育法施行規則第 155 条第 1 項により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
・大学に 3 年以上在学した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者。
・学校教育法施行規則第 160 条により大学に 3 年以上在学した者に準ずる者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者。

（2） 博士後期課程の受験資格は次のいずれかに該当する者。

・修士の学位又は専門職学位を有する者（修了見込みの者も含む）。
・学校教育法施行規則第 156 条に定める修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

2. 募集人員（2010 年度）

文学研究科

日本文学専攻	（博士前期課程）	5 名
英米文学専攻	（博士前期課程）	5 名
言語教育・コミュニケーション専攻	（博士前期課程）	10 名
日本文学専攻	（博士後期課程）	3 名
英米文学専攻	（博士後期課程）	3 名

言語教育・コミュニケーション専攻
（博士後期課程）　3名

生活機構研究科

生活文化研究専攻	（修士課程）	10名
心理学専攻　心理学講座	（修士課程）	8名
心理学専攻　臨床心理学講座	（修士課程）	12名
福祉社会研究専攻	（修士課程）	5名
人間教育学専攻	（修士課程）	10名
環境デザイン研究専攻	（修士課程）	5名
生活科学研究専攻	（修士課程）	5名
生活機構学専攻	（博士後期課程）	5名

3. 試験区分
（1）7月期
（2）2月期

（2）大学編入学

■学内推薦

1. 2年次・3年次編入学
（1）趣旨
本学の教育方針をよく理解し、大学編入学を熱心に希望する本学短大2年次（3年次・専攻科を含む）の学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、大学編入学を許可する。
（2）推薦基準
1年次の成績順位が、在籍者の上位3分の1以上の当該年度卒業見込みの者で、人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。
（3）日程（詳細は4月上旬に掲示発表）
出願期間　　：4月中旬頃
面接試問　　：5月中旬頃
内定合格発表：5月下旬頃

2. 4年次編入学
（1）趣旨
本学の教育方針をよく理解し、大学編入学を熱心に希望する本学短大専攻科（学位授与機構認定専攻科）の学生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、大学4年次への編入学を許可する。
（2）推薦基準
大学の4年次への編入学が可能な単位を修得見込みの当該年度卒業見込みの者で人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。
（3）日程（詳細は5月下旬に掲示発表）
出願期間：6月中旬頃
面接試問：7月上旬頃
合格発表：7月中旬頃

■一般入試

1. 受験資格
次のいずれかを満たす女子で、編入を希望する者。
・短期大学の卒業者　（卒業見込みの者を含む）
・高等専門学校卒業者（卒業見込みの者を含む）
・専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ総授業時間数が1700時間以上の課程であること）の修了者（修了見込みの者を含む）。
2. 日程
出願期間：9月中旬頃

試験日　：10 月上旬頃
合格発表：10 月中旬頃

■編入学後の履修について

編入学後、短大で修得した単位の一部は大学で修得したものとして認定することができます。編入学後の修得単位数については、各学科の内規に従ってください。教職を希望する者は、出身短大の学科により、認定できる単位が異なるので、編入学後に必ず、教育支援センター教務担当で履修指導を受けてください。

参考までに、学則の条文を掲載します。

第 42 条　転入学、学士入学若しくは編入学又は転科した者については、すでに他の専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定又は換算することができる。

■編入学が許可される学科

◆2 年次編入　○3 年次編入　◎4 年次編入

	人間文化学部				人間社会学部				生活科学部		
	日本語日本文学科 *1	ション学科 英語コミュニケー	歴史文化学科 *3	国際学科 *4	心理学科 *5	福祉社会学科 *6	現代教養学科 *7	初等教育学科 *8	環境デザイン学科 *1	管理栄養学科 *10	健康デザイン学科 *10
文化創造学科	○	◆*2	○	○	◆	○	○	◆	◆○ *9	○	○
国語国文学専攻	○◎	◆	○	○	◆	○	○	◆		○	○
英語英文学専攻		○◎	○	○	◆	○	○	◆		○	○
生活文化学専攻		◆	○	○	◆	○	○	◆	○◎	○	○
食物科学専攻		◆	○	○	◆	○	○	◆		○	○

＊1 別途指示する一定の条件を満たす者。
＊2 ボストン研修を修了している者は、3 年次編入となる。
＊3 専門科目として認定される科目につき 20 単位以上修得もしくは修得予定であること。
＊4 個々の履修状況により卒業までに 2 年以上を要する場合もある。また別途指示する一定の条件を満たしていること。
＊5 心理学科が心理学に深く関連していると認定した科目を 2 年前期終了までに 4 単位以上修得していること。
＊6 個々の履修状況により 2 年次編入になることもある。社会福祉士受験資格の取得は 3 年を要する場合がある。
＊7 個々の履修状況により 2 年次編入になることもある。
＊8「幼稚園教諭 1 種免許状」または「小学校教諭 1 種免許状」のどちらか 1 つの取得となる。「保育士」資格は取得できない。
＊9 希望するコース・資格により、2 年次編入になる。
*10 個々の履修状況により卒業までに 2 年以上を要する場合もある
※その他不明な点については、志望学科に問い合わせること。

(3) 短大専攻科

■募集定員（2010 年度：推薦・一般）

国語国文学専攻　　10 名
英語英文学専攻　　20 名
生活文化学専攻　　10 名

■学内推薦

1. 趣旨

本学の教育方針をよく理解し、専攻科入学を熱心に希望する短大２年次生に対し、在籍学科長の推薦によって審査の上、専攻科入学を許可する。

2. 推薦基準

１年次の成績順位が、在籍者の上位２分の１以上の当該年度卒業見込みの者で、人物的に優れ、出席・健康共に良好で在籍学科長が責任をもって推薦する者。

3. 日程（詳細は４月上旬に掲示発表）

出願期間　　：４月中旬頃
面接試問　　：５月中旬頃
内定合格発表：５月下旬頃

■一般入試

1. 受験資格

・短期大学の卒業者（卒業見込みの者を含む）
・相当の年齢に達し、短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

2. 日程

出願期間：２月上旬頃
試験日　：２月中旬頃
合格発表：２月下旬頃

（4）科目等履修生制度

本学の開設する授業科目のうち、１ないし数授業科目を選択履修することを許可された者を科目等履修生といいます。科目等履修生に関する取り決めを、次のようにします。

■出願資格

大学院科目等履修生

大学卒業以上の者
大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

大学・短大科目等履修生

高等学校卒業以上の女子
（学芸員資格取得課程は、学士の学位を有する女子。図書館司書資格取得課程は、学士または短期大学士を有する（取得予定も含む）女子）

■出願期間（2010 年度）

前期　３月 20 日から３月 27 日まで（日・祝日除く）
後期　９月 18 日から９月 27 日まで（日・祝日除く）
※出願期間は年度により変更になる場合があるため事前に教育支援センターに確認してください。

■履修範囲

当該科目の受講学生に余裕のある場合にのみ受け入れるものとし、授業担当教員と科目を開設する当該学科長または専攻主任の承認を必要とします。

■資格課程

学芸員、図書館司書の資格を取得しようとする者は、許可された場合当該課程の必修科目及び選択必修科目が一括で登録されます。

■単位認定

履修した科目のうち、単位の修得を必要とする場合は、前期末・後期末の試験を受験し、評価のうえ単位の認定をします。

■出席・欠席

毎時間の出席・欠席・遅刻は、その授業の担当教員の責任において出席簿に記録されます。当該科目の欠席時数が4分の1（週1回授業の場合には1セメスターで4回）を超えると失格となり、試験の受験資格が与えられず、単位は認定されません。

10分を超えた遅刻は欠席として取り扱われます。10分以内の遅刻は2回をもって1回の欠席とします。(60分以内の授業の場合は10分を5分に読み替えます)

公欠

以下の場合に、願い書を提出すると欠席扱いにはなりません。

① 忌引（親7日以内、祖父母、兄弟姉妹3日以内）
② 教育実習並びに介護等体験
③ その他大学が必要と認めたもの。

公欠願は2種類の用紙に記入し、教育支援センターと授業担当教員へ提出することが必要です。（用紙は教育支援センター窓口にあります。）

公欠願は3日前までに提出。ただし､1の場合は教育支援センターの証明で事後に提出しても有効です。事後の場合は7日以内に提出することとし、それ以降は原則として認めません。

■履修料

a. 各学期1科目につき	登録料	10,000円
	聴講料	20,000円
b. 一括料金	登録料	10,000円
	履修料	200,000円

※実習費は別途徴収します。
※資格課程（図書館司書、学芸員）の履修料は、a.b.のいずれかを選択することができます。
※本学の卒業生の場合、上記履修料は半額となります。

■問い合わせ・出願受付

教育支援センター教務担当窓口

8. 学生サポート

本学では授業以外にもさまざまな形での支援体制を整えて、学園生活をサポートしています。

☆ POINT さまざまなサポート体制

ライティングサポートセンター
コミュニティ・サービスラーニングセンター
障がい学生サポートセンター
国際協力室

(1) 昭和女子大学オープンカレッジ

昭和女子大学オープンカレッジは、本学正門西隣の専用ビル（3、4階）にあります。

オープンカレッジは本学学則に基づく公開講座として大学のトップインテリジェンスを一般に開放し、真の生涯学習の完成を目指しています。大学での学習活動を補完するダブルスクール機能のほか、卒業生やその家族、さらには地域の人々に対しても、大学教育と密接に連携した生涯学習の場を提供しています。

また、春、夏、秋、冬期の年4期に講座を開設。各期毎に全講座を紹介した「講座案内」を発行、大学構内で配布して受講の指針としています。

■開設講座

開設講座は「教養を高める」、「世界の言葉を学ぶ」、「各種検定対策」、「社会・健康・くらし」、「親と子のための講座」、「絵画講座・クラフト講座」、「伝統文化を習う」、「就職対策講座」など、約200講座と多岐にわたっています。講座は原則として1期（3か月）単位で開設されますが、内容によっては2期以上通して開講される場合もあります。

また、本学学生対象講座「パワーイングリッシュ」では、レベル分けされたクラスで、ネイティブスピーカーによるレッスンが受講できます。

■受講申し込みの方法

①本学学生は入会金が免除、3回以上の通常講座に限り、講座受講料が50％割引されます（本学学生向けの就職対策講座、実務･資格講座で学生料金が設定してある講座、特別講座を除く）。まず、オープンカレッジ3階事務室に、直接または電話でお申し込みください。申し込みは受講希望講座の開講日から数えて7日前までに済ませてください。

②受講料等のお支払いは、窓口支払い（現金またはクレジットカード）、銀行振込のいずれかで、申込日から7日以内にご入金ください。（申込日から開講日まで7日を切っている場合は前日まで）

③申し込み後、講座の変更やキャンセルをする場合、講座開講日から数えて、13日前からは、所定の手数料がかかります。

④講座開講日から数えて7日前までに、受講者が一定の人数に達しない場合は、規約により講座を閉講とすることもあります。

⑤その他、不明な点がありましたら、オープンカレッジまで、直接または電話等でお問い合わせください。昭和女子大学オープンカレッジ　03-3411-5100

■就職対策講座

オープンカレッジでは、数多くの在学生が受講しています。

秘書技能検定、国内・総合旅行業務取扱管理者などの各種資格試験対策講座や国家公務員、地方公務員をめざす学生にとっての公務員試験対策講座は、就職活動の際、大きな力となるものでしょう。

コミュニケーションスキル、ビジネスマナーなど就職に役立つ基礎能力を習得する講座なども開設しています。

また、茶道、煎茶道、香道、華道など、基本的マナーを身につけるという意味で、実社会に出てからも役立つ講座も用意しています。

■オープンカレッジ開設講座概要

詳細については講座案内または［URL］https://www.openc1.swu.ac.jp/ をご覧ください。

講座ジャンル	開設講座名
文芸・教養	江戸城と江戸　東京散歩　万葉集を読む　「源氏物語」の女性を読む　日本の仏像 漢詩を味わう　名作能への誘い　邪馬台国と欠史八代崇神王朝ヒエログリフを読もう 茶の湯の世界　ヨーロッパ宮廷の陶磁器と装飾芸術　華麗なるオペラの世界　短歌実作 地図を片手にイギリス児童文学の旅Ⅱ　童話・お話の書き方　エッセイ・文章を書く はじめて書く小説　ほか
心理・子育て 朗読・手話	毎日の生活に役立つ心の学問　一日速習小児救急法講座　親子で楽しく！お料理教室 手話講座（初級～上級）　基礎から学ぶ朗読　朗読を楽しむ　ほか
くらしと健康	健康山歩き（初級・中級）　女声コーラスを楽しむ　元気のツボ健康法 ミラクル☆手帳セラピー　アロマテラピー＆ハーブ香りの活用法　あがり症を克服する 話し方教室　ほか
語学	英会話（入門・初級・中級）　ブラッシュアップ英会話　ビジネス英語入門　TOEIC® 対策講座　文法から攻める英語の書き方　英語発音クリニック　本学学生対象講座 「パワーイングリッシュ」　フランス語　スペイン語　フィンランド語　韓国語 タイ語　ほか
各種検定対策	環境社会検定受験対策　日本ハーブ検定対策＆受験　ビジネス著作権検定初級対策 ホテル実務技能検定対策＆受験　販売士検定２級受験対策　日商簿記３・２級対策 ３級 FP 技能士受験対策　医療事務検定対策　ほか
就職対策講座	公務員試験対策　カラーコーディネーター２級対策　IT パスポート試験対策 秘書技能検定２級受験対策　総合旅行業務取扱管理者対策　国内旅行業務取扱管理者対策 色彩能力検定２級受験対策　ほか
絵画	油絵　デッサン　水彩画　パステル画　淡彩画　水墨画　一筆画　人物画専科 ボタニカルアート　光を描く透明水彩　ほか
クラフト・ フラワー	日本刺繍　モラ　パッチワークキルト＆トラプントキルト　カリグラフィー　ポー セラーツ　スペインタイル　フラワーデザイン　ヨーロピアンフラワーアレンジメント イングリッシュガーデンのフラワーアレンジメント　ほか
書道	綜合書道　書道研鑽　書を学ぶ　書を楽しむ　自由に墨遊び筆遊び　かな入門 ペン習字　キャレモジのインテリア書　ほか
茶道・煎茶道・ 香道・華道	表千家　裏千家　遠州流　身近な茶の湯　煎茶道　香道　広山流　草月流 ほか

講座内容につきましては、変更がある場合がありますので、必ず講座案内・URL でご確認ください。
お問い合せ・資料請求　昭和女子大学オープンカレッジ
TEL：03-3411-5100　URL：https://www.openc1.swu.ac.jp/

(2) 各種サポート

本学では学生生活におけるさまざまな事柄をサポートする部署を設けています。

■国際協力室

本学学生の国際交流活動を進め、海外から日本へ留学してきた学生、日本から海外へ留学する学生への支援をしています。

■ライティングサポートセンター

就職活動の時に必要な履歴書やエントリーシート、授業のレポートや論文など、様々な文章の書き方について個別指導をしています。

■コミュニティ・サービスラーニングセンター

本学学生のコミュニティ・サービスラーニングの活動を支援しています。コミュニティ・サービスラーニングは、授業中に学んだ専門知識を活かして社会貢献やボランティア活動を行いながら学びを深める活動で、本学では一般教養科目や各学科の専門教育科目に取り入れ積極的に行っています。

■障がい学生サポートセンター

聴覚や視覚などに障がいがある学生に対して、特に授業での情報保障（ノートテイク、手話通訳、資料のデータ化など）の支援や、サポート学生の募集などを行っています。

■学生相談室

大学生活の中で出会うさまざまな問題・悩み・心配ごとについて、臨床心理士による相談室専任スタッフ（受付担当者とカウンセラー）が相談に応じています。

■昭和学園健康管理センターおよび保健室

学園全体の児童・生徒・学生の健康管理および流行性疾患等による健康危機回避のために総合的に活動をしています。

保健室では、急病・怪我等の応急処置や定期健康診断および健康管理センターの医師による健康相談の受付を行っています。

9. 課外活動

本学では、学友会の委員会活動やクラブ活動を重視し、教育の一環と位置付けています。学科、学年の枠を超えた学生同士のつながりから得る経験は大きく、人間形成の上から重要です。

クラブ活動は、健全な趣味や豊かな情操を育て、友情を深めるための自主的な活動で研究、教養、趣味、運動など幅広い分野の団体があります。

☆ POINT 学友会
学友会＝全学生が会員
各種委員会

☆ POINT クラブ活動
研究、教養、趣味、運動など幅広い分野の団体

(1) 学友会

学友会は全学生が会員となり、建学の精神に則り学生と大学が協力しながら学生相互の研学・修徳・親和をはかり、学園生活の向上発展を目的としています。学友会には、各種委員会があり、自主的な活動を行っています。

学友会クラス学生総会（クラス代議制）
開催時期：4 月、7 月、10 月、12 月、1 月

(2) 委員会活動

学友会の活動は、各種委員会活動を中心に行われます。委員会は本学の学生生活の拠点であるクラスを基盤に構成されるクラス委員会の中にある委員会とクラブ活動や秋桜祭といった目的別の委員会に分けられます。

■総務委員会
1．学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
2．各学科の代表で構成し、任期は 1 年とし、重任することができる。
3．委員会の正・副委員長は、クラス委員会の正・副議長となり、クラス委員会の運営、進行に当たる。
4．総務委員は、代表委員会の委員として任務に当たる。

■学報委員会
1．月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
2．各学科の代表と、学報作成に関心のある有志の学生で構成される。任期は 1 年とし、重任することができる。

■ボランティア委員会
1．誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学園生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。
2．各学科の代表と、ボランティアに関心のある有志の学生で構成される。任期は 1 年とし、重任することができる。

■エコロジー委員会
1．学生一人一人が地球環境の保全に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。
2．各学科の代表と、環境保全に関心のある有志で構成される。任期は 1 年とし、重任することができる。

■秋桜祭実行委員会
1．学園祭を企画、運営する。

各委員会には有志が参加でき、また必要に応じて新たな委員会を設置することができます。

(3) クラブ活動

クラブ活動は本学の教育の一環として位置づけられています。

クラブ・サークルは、学年・学科の区別なく、志や目的を同じくした本学学生がメンバーとなって、自主的に活動する任意加入団体です。クラブ活動では健全な趣味や豊かな情操を育て、友情を深め、ともに共通の目的のために努力してお互いを磨きあってください。単なる余暇の集まりにとどめることなく、自己啓発のための積極的な活動を望みます。

本学学生が他大学のクラブ・サークルと活動、もしくは共演する場合は顧問および教育支援センター学生担当に相談してください。

III

開設授業科目一覧

開設授業科目

カリキュラム表の見方

a 授業科目	整理番号	b 学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	c 開講中心年次	d 履修可能範囲	備考
実践倫理(昭和女子大学の教育と理念)	201001	1								1						1		オムニバス形式
実践倫理(女性とキャリア)	201002		1								1					1		オムニバス形式
日本語基礎	201003	1	1							1	1					1		オムニバス形式
倫理学	201004			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
哲学概論	201005	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	同	(心理・現代)
現代哲学	201006		②		②		②				②		②			1		
日本精神史	201007	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
日本史概説	201008	②		②						②		②				1		
日本史A(前近代)	201009		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
日本史B(近現代)	201010		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
西洋史	201011	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	
日本美術通史	201012	②	②	②	②					②	②	②	②			1・2		
	201013	②		②						②		②				1		
				②						②		②				1		

備考:
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

一般教養科目　カリキュラム表

a 授業科目			整理番号	b 学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	c 開講中心年次	d 履修可能範囲等	備考
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	223001	②		②						1・2	同	※少なくとも2分野から各2単位合計4単位以上選択必修 (心理・福祉・初教)
		心理学概説Ⅱ	223002		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会心理学	223003		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会福祉の歴史	223004	②		②						1・2	同	福祉社会分野※
		社会福祉哲学	223005	②		②		②		②		1・2	◎同	福祉社会分野※
		人間形成原論	223006	②		②						1・2	◎同	初等教育分野※
		教育哲学	223007		②		②					1・2	◎同	初等教育分野※
学科		現代教養入門	223008	2								1		5クラス
		社会をみる目Ⅰ	223009	2								1	同	2クラス (心理・福祉・初教)
		社会をみる目Ⅱ	223010		2							1	同	2クラス (心理・福祉・初教)
			223011	2								1	同	(心理・福祉・初教)
												1	同	

専門教育科目　カリキュラム表（例：現代教養学科）

a 開設授業科目の表示について

授業科目に付してあるⅠ、Ⅱ、Ⅲ等の数字やアルファベットA、B、C等は、次のような性格を表わします。

1. 数字：Ⅰ＝初級・基礎段階、Ⅱ＝中級・発展段階、Ⅲ＝上級・応用段階と、グレード（難易度）を表わします。
2. アルファベット：各々の段階内における科目別の種類または、担当教員が異なっていることを表わします。

b 開設単位について

1．単位の無印は必修科目
2．単位の○印は選択科目
3．前期、または後期に記載してあるものはその期のみ開設される授業科目
4．前期、後期ともに記載してあるものは、それぞれに異なる内容を取り扱う授業科目

c 開講中心年次について

その欄に指定してある学年を中心に授業が行われることを意味します。従って、中心年次が下になるほど基礎的な、しかも平易な科目が多いはずです。一般に授業は、易しいものから難しいものへ、基礎から応用へと段階的に進めていきます。この場合、いきなり1年次生が、4年次生を中心として開設された科目を履修することは無理でしょう。しかし、特別の事情から、学生が上級の中心年次に指定されている科目を履修する必要がある場合や、上級の段階の履修能力を有することが明確なときは、特別履修願を提出することにより履修を許可されます。上級の学生が下の年次に指定されている科目を履修することが可能な制度になってはいますが、余程の事情がない限りは、2年も3年も跳んで下の段階の科目を選ぶことは好ましいことではありません。なお、教室の広さなどで、履修が制限されるときは、開講中心年次の学年に優先権が与えられます。

d 履修可能範囲について

1．無印は当該学科学生のみ履修可能（一般教養科目・外国語科目は除く）
2．他学科の学生が履修できる科目があり、次の記号で示してあります。
　1）◎印は特別の指定がない限り大学、短大いずれの学科でも履修できる科目で、一般教養科目（卒業要件）の単位となります。ただし、＃印が付してある場合は、一般教養科目（卒業要件）の単位となりません。また、◎学印は同学部内の学科の学生のみが履修できる科目です。
　2）□印は同系統学科間（下表を参照）のみ履修できる科目で、専門科目として認定され、卒業要件の単位（選択科目）となります。
　同系統とみなされるのは次の通りです。

人間文化学部 日本語日本文学科⇔短期大学部専攻科国語国文学専攻
人間文化学部 英語コミュニケーション学科⇔短期大学部専攻科英語英文学専攻
生活科学部 環境デザイン学科⇔短期大学部専攻科生活文化学専攻
生活科学部 健康デザイン学科、管理栄養学科⇔短期大学部専攻科食物科学専攻

　3）同印は同時開設科目（曜日・講時・教員が同一の科目）を示します。備考欄には同時開設学科略称が示されています。また、同時開設学科の科目名が異なる場合は科目名も示されています。
3．★印は前期、後期とも同一内容の授業科目です。
4．上記以外の記載内容については、各学科カリキュラム表の備考欄や欄外の指示に従ってください。

単位換算について

大学（昭和女子大学）と短期大学部（昭和女子大学短期大学部）で相互に修得した単位は、学則第14条に基づいて、大学で60単位、短大で30単位までの範囲で認定されます。

1. ① 一般教養科目

	授業科目	整理番号	学部 1年次 前期	学部 1年次 後期	学部 2年次 前期	学部 2年次 後期	学部 3年次 前期	学部 3年次 後期	学部 4年次 前期	学部 4年次 後期	短期大学部 1年次 前期	短期大学部 1年次 後期	短期大学部 2年次 前期	短期大学部 2年次 後期	短期大学部 専攻科 前期	短期大学部 専攻科 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
人文科学	実践倫理(昭和女子大学の教育と理念)	201001	1								1						1		オムニバス形式
	実践倫理(女性とキャリア)	201002		1								1					1		オムニバス形式
	日本語基礎	201003	1	1							1	1					1		オムニバス形式
	倫理学	201004			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	哲学概論	201005	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	同	(心理・現代)
	現代哲学	201006		②		②		②				②		②			1		
	日本精神史	201007	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	日本史概説	201008	②		②						②		②				1		
	日本史A(前近代)	201009		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
	日本史B(近現代)	201010		②		②						②		②			1		歴文の学生を除く
	西洋史	201011	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	
	日本美術通史	201012	②	②	②	②					②	②	②	②			1・2		
	こころの科学A	201013	②		②						②		②				1		心理の学生を除く A～Eは同一内容科目 複数履修は不可
	こころの科学B	201014	②		②						②		②				1		
	こころの科学C	201015		②		②						②		②			1		
	こころの科学D	201016		②		②						②		②			1		
	こころの科学E	201017	②		②						②		②				1		
	社会心理	201018			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★同	心理の学生を除く(文化)
	家庭生活の心理	201019				②		②						②		②	2		
	子どもの不適応と非行	201020			②		②						②		②		2		
	幼児の心理	201021	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生理と心理	201022		②		②						②		②			2		心理の学生を除く
	現代日本文学概論	201023		②		②						②		②			2		
	日本近代文学概論(幻想小説)	201024	②		②		②				②		②				1		
	日本の詩歌	201025	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	英米文学概論(ポストモダンと多文化主義)	201026	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	ドイツ文学概論	201027	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		
	フランス文学概論	201028		②		②		②				②		②		②	2		
	ドイツ文学に描かれた女性達(ゲーテを中心に)	201029	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	アメリカ文学の女性像	201030	②		②		②				②		②				2	同	(文化)
	児童文学(外国)	201031	②	②	②	②					②	②	②	②			1		日文の学生を除く
	中国文学入門(漢詩講読)	201032			②	②	②	②					②	②	②		2		
	伝承文学(中国の女性伝)	201033	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	現代中国文学	201034	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2		
	風土と文学	201035	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	源氏物語(絵巻から読む)	201036			②	②	②	②					②	②	②	②	2	★	
	実用言語学	201037	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	日本の話芸	201038	②		②		②				②		②		②		2		
	音声学入門	201039		②		②		②				②		②			1		
	漢字の誕生と変遷	201040	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない														
人文科学	文章論講義	201041	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		人数制限あり
	国語表現法A	201042	②		②						②		②				1		人数制限あり
	国語表現法B	201043	②	②	②	②					②	②	②	②			1	★	人数制限あり
	書道（毛筆）	201044	①	①	①	①					①	①	①	①			1		人数制限あり
	「聴く」ための音楽概論	201045		②		②						②		②			1		
	西洋音楽史	201046	②		②						②		②				1		
	アメリカ文化研究	201047	②		②		②		②		②		②		②		—		ボストン・サマーセッション参加学生対象
	ヨーロッパ食文化	201048	②		②		②		②		②		②		②		—		春期ヨーロッパ研修参加学生対象
地域文化論	イギリス文化論	201049	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	同	（文化）
	フランス文化論	201050		②		②		②				②		②			1		
	ドイツ文化論	201051	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	ロシア文化論	201052	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	アメリカ文化論	201053		②		②		②				②		②			1		
	東南アジア文化論	201054	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	インド文化論	201055	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	中国文化論（儒教）	201056	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
社会科学	法学概論（国際法を含む）	201057	②		②		②		②		②		②		②		3・4	同	（歴文・心理・現代）
	法学A（憲法）	201058	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		教職科目履修者のみ対象
	法学B（憲法）	201059	②		②		②				②		②				1・2		教職科目履修者のみ対象
	法学・憲法論講義Ⅰ	201060	②		②		②				②		②				1		
	法学・憲法論講義Ⅱ	201061		②		②		②				②		②			1		
	法学現論	201062	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	ジェンダー法学	201063	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	政治学	201064	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	国と社会の仕組み	201065	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	入門経済学	201066	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★同	（文化）
	経済学概論	201067	②		②		②				②		②				1	同	（歴文）
	西洋経済史	201068		②		②						②		②			1		
	日本経済史	201069	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			3		
	時事経済論A	201070			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		学部学生主対象
	時事経済論B	201071			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	2		学部学生主対象
	女性と経済	201072	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	2	★	
	生活経済論	201073	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	社会学	201074	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	1	★	
	現代社会学	201075	②		②						②		②				2		
	家族社会論	201076		②		②						②		②			1		
	NGO概論	201077			②		②		②				②		②		2		
	日本事情	201078	②		②		②		②		②		②				1		留学生に限定　オムニバス形式
	メディア文化論	201079	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	②	②	2	★	
	ジャーナリズム論	201080			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		

	授業科目	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
社会科学	放送論	201081			②	②	②	②	②	②			②	②	②	②	3		
	都市論	201082	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	考古学（日本の遺跡）	201083	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	民族と文化	201084	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	民俗と芸能	201085	②	②	②	②					②	②	②	②	②	②	1		
	宗教文化論	201086	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生活と色彩	201087	②		②		②				②		②				1		環境の学生を除く
	住居学	201088		②		②		②				②		②			1		
	住まいの歴史	201089	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1	★	
	住まいの家族学	201090		②		②						②		②			1		
	アジアの住居史	201091	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	景観と町並み保存	201092	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	世界遺産の建築学	201093				②		②						②		②	2		
	西洋館の文化史	201094		②		②		②				②		②			2		
	コミュニティとまちづくり	201095	②		②		②				②		②				1		福祉の学生を除く
	建築と福祉	201096	②		②		②				②		②				1		
	福祉住環境論	201097		②		②		②				②		②			1		環境の学生を除く
	社会福祉概論	201098	②		②		②				②		②				1		
	ボランティア論	201099	②		②		②				②		②				1	同	（国際・文化）
	コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論）	201100		②		②		②		②		②		②		②	—	同	（国際・文化）
自然科学	数理能力基礎	201101			②	②	②	②				②	②	②			学3 短2	★	
	数学A（数字の基礎）	201102	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	数学B（統計学の基礎）	201103			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	数学C（形とパターンの数学）	201104	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	基礎化学	201105		②		②		②		②		②		②		②	1		環境・管理・健康の学生を除く
	情報処理	201106			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	天文学	201107	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	比較行動学	201108			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	環境論	201109	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	人間と環境	201110	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	森林と環境	201111		②		②		②				②		②		②	2		
	エネルギー資源	201112			②	②	②	②					②	②	②	②	2		
	化粧の科学	201113	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	生活用品の科学	201114	②		②						②		②				1		
	家庭の医学	201115	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	栄養科学	201116	②	②	②	②					②	②	②	②			1		管理・健康の学生を除く
	食を科学する	201117	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		
	食生活と調理	201118	②	②	②	②	②	②			②	②	②	②			1		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目		整理番号	学部								短期大学部						開講中心年次	履修可能範囲	備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		1年次		2年次		専攻科				
			単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
保健体育	スポーツを考える	201119	②	②	②	②					②	②	②	②			1		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
	身体と運動の科学	201120	②	②	②	②					②	②	②	②			1		
	体育実技	201121	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	―		
	現代社会事情概説(女性記者の視点から)	201122			②		②		②				②		②		2・3		毎日新聞社との提携講座　オムニバス形式
	現代女性の社会参加	201123				②		②		②				②		②	2・3		読売新聞社との提携講座　オムニバス形式
	情報社会論	201124	②		②						②		②				1		現代教養の学生を除く
	小論文の書き方A	201125			②	②	②	②			②	②	②	②			学3 短2	★	人数制限あり
	小論文の書き方B	201126			②	②	②	②			②	②	②	②			学3 短2	★	人数制限あり
	文章論	201127			②	②	②	②			②	②	②	②			学3 短2		人数制限あり
	自己表現とコミュニケーション	201128				②	②	②				②	②	②			学3 短2	★	人数制限あり
	キャリアデザイン	201129			②	②	②	②				②	②	②			2	★	オムニバス形式
	女性の生き方と社会	201130			②	②	②	②				②	②	②			2	★	オムニバス形式
	企業と社会のルール	201131						②		②				②		②	学3 短2		オムニバス形式
	インターンシップ	201132	②		②		②		②		②		②		②		学2・3 短1		キャリア支援センターで担当

履修については各学科の指導を受ける。
健康デザイン学科の学生で保健体育の教職免許を取得する学生は、体育実技は専門科目となるので履修については注意すること。

一般教養科目として履修できる各学科専門科目

※他学科学生が履修すると、一般教養科目として単位認定されます。（ただし、同時開設学科の学生を除く）
※科目によって、他学科生の人数制限や受講条件があります。履修を希望する場合は、必ず該当学科の担当教員に相談してください。
※科目の詳細については、各学科のカリキュラム表及びシラバスを参照してください。

日本語日本文学科

漢文の基礎	日本語学Ⅰ（御伽草子の語法）	児童文学Ⅰ（子どもと文学）	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	日本語教育学ⅡB（作文・読解）
古典と昔語り	日本語学Ⅰ（日本語史）	児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	児童文学Ⅱ（外国）	日本語教育学ⅡC（教材・教具）
歌ことば歌ごころ	パソコン日本語学入門A	児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	中国文学Ⅱ（白氏文集）	コースデザイン・評価論
俳句（作句の試み）	パソコン日本語学入門B	中国文学Ⅰ（詩文）	中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）	日本語教育指導方法論
ことばと社会	古典文学ⅠA（古事記）	中国文学Ⅰ（史伝・思想）	日本語教育概論Ⅰ	日本語教育実習Ⅰ（教壇'YY）
有職故実	古典文学ⅠA（万葉集）	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	言語政策論Ⅰ	日本語教育実習Ⅱ（教壇'YY）
史料解読	古典文学ⅠA（更級日記）	日本語学Ⅱ（こゝろ）	言語政策論Ⅱ	日本語教育実習（個別'YY）
近代詩歌	古典文学ⅠA（源氏物語）	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	異文化間コミュニケーションⅠ	日本語教育実習（海外'YY）
外からみた日本文学	古典文学ⅠA（古今集）	古典文学Ⅱ（枕草子）	異文化間コミュニケーションⅡ	日本語教育言語分析法研究
日本漢文	古典文学ⅠB（宇治拾遺物語）	古典文学Ⅱ（伊勢物語）	社会言語学	日本語文法論
日本の演劇	古典文学ⅠB（江戸の旅）	古典文学Ⅱ（室町小歌）	第二言語教育概説	日本語表現法
言語学	古典文学ⅠB（江戸の恋）	古典文学Ⅱ（隠者文学）	第二言語習得論	日英対照研究
書誌学	近代文学Ⅰ（夏目漱石）	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	日本語教育概論Ⅱ	日韓対照研究
日本民俗学	近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	日本語教育学ⅠA（音声）	日中対照研究
日本思想史	近代文学Ⅰ（子どもの風景）	近代文学Ⅱ（川端康成）	日本語教育学ⅠB（書写）	書道史
日本語学Ⅰ（現代語文法）	近代文学Ⅰ（遠藤周作）	近代文学Ⅱ（比較文学）	日本語教育学ⅠC（文法）	日本の書芸
日本語学Ⅰ（音声と音韻）	近代文学Ⅰ（名作を読む）	近代文学Ⅱ（現代小説）	日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	

英語コミュニケーション学科

英語で地域貢献	心理言語学	Interviewing A	Computer Literacy A	
文法研究	英語語源学	Interviewing B	Computer Literacy B	

歴史文化学科

アジア考古学	茶道史・茶道演習	地誌通論Bー世界地誌ー	日本考古学特論Cー中世・近世ー	服飾史資料基礎
映画史	自然地理学概論	地理学特論ー地理学の諸問題ー	日本古代史	仏教文化史
北アジア文化特論	実験考古学	伝統文化の現場	日本古代史持論	文献取扱技能基礎
近代女性史文献講読	宗教学概論	東洋史概説	日本思想史	フランス文化概説
経済学概論	人文地理学概論	東洋美術史概説	日本中世史	ヨーロッパ近代文化ーパリを中心にー
美術館論Ⅰー地域と美術館ー	西洋中・近世史	日本近現代史	日本美術史概説	文化財の材料ーにせ物発見ー
美術館論Ⅱー美術の周辺ー	西洋美術史概論	日本近現代史料解読	日本美術史基礎	文化財保存修復学A
工芸史	西洋美術史特論ースペイン美術ー	日本近現代史特論	日本美術史特論Aー江戸絵画ー	文化財保存修復学B
考古学概論	西洋服飾史	日本近世史	日本美術史特論Bー鎌倉美術ー	文化財保存修復学基礎
考古学実習A	禅と日本文化	日本近世史持論	日本服飾史	文化人類学概論
考古学実習B	地域調査法ーフィールドサーヴェイ入門ー	日本芸能史	ヒエログリフ・テキスト解読	有職故実
古代エジプト史	地域文化概論	日本建築史	ヒエログリフ入門	ヨーロッパ建築史
古代オリエント文化史	近代と地域文化	日本考古学特論Aー縄文ー	比較女性史論	歴史文化特論ー寺社縁起の世界ー
古文書解読	地誌通論Aー日本地誌ー	日本考古学特論Bー弥生・古墳ー	東シナ海文化交流史	

国際学科

フランス語中級コアb	中国語中級実践b	世界の開発と環境	開発援助（英語）	外からみた日本（英語）
ドイツ語中級コアb	韓国語中級イマージョンa	多文化共生論	ＮＰＯの組織と活動（英語）	ＮＧＯ活動と国際貢献
スペイン語中級コアb	韓国語中級イマージョンb	国際社会論Ⅰ（ことばと社会）	世界の英語（英語）	開発援助と経済
フランス語中上級コアb	韓国語中級実践a	国際社会論Ⅱ（グローバルソサエティー）	日本社会概論Ⅰ（多文化社会としての日本）	ＮＰＯマネジメント入門
ドイツ語中上級コアb	韓国語中級実践b	国際社会論Ⅲ（世界の宗教）	日本のサブカルチャー論	社会的起業論
スペイン語中上級コアb	中国語上級コアb	国際機関の歴史	日本社会概論（英語）	日英逐次通訳研究Ⅰ
中国語中級イマージョンa	韓国語上級コアb	国際社会の法	日本経済とビジネス（英語）	日英逐次通訳研究Ⅱ
中国語中級イマージョンb	比較社会論	異文化コミュニケーション（英語）	日本近現代史（英語）	
中国語中級実践a	比較文化論	開発と環境（英語）	日本の女性と労働（英語）	

心理学科

家族葛藤の心理学	児童心理学	対人関係論	災害の社会心理学	集団の社会心理学
家族心理学	人格心理学	比較行動学（心理）	精神分析理論	
教育心理学	青年心理学	マスコミュニケーションの社会心理学	犯罪心理学	

福祉社会学科

福祉社会とボランティア	家族と福祉	労働とジェンダー	福祉ジェンダー統計論	女性とキャリア形成
ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｰﾋﾞｽﾗｰﾆﾝｸﾞ（福祉社会とﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	女性に対する支援と福祉施策	雇用・労働と社会政策	福祉ＮＰＯ	コミュニティ・ビジネス論
海外ボランティア演習	福祉社会と社会政策	国際福祉論	保育ソーシャルワーク	

現代教養学科

アート・マネージメントⅠ,Ⅱ	現代社会論	東アジア言語社会研究	社会科学の数学	マーケティングの経済学
環境の社会学	現代都市事情	情報収集と伝達	ゲームと戦略	市場社会の仕組み（ミクロ経済学）
企業と広報	現代都市論	情報収集と編集	映像と社会	地域社会の活性化（農村）
現代アメリカ文化論	国際理解入門	労働社会学	文学と社会	地域社会のデザイン（都市）
現代英国文化論	地域研究（北アジア）	現代金融ビジネス入門Ⅰ,Ⅱ	日本の金融と金融論	日本経済と経済学（マクロ経済学）
現代企業論（組織と戦略）	哲学入門	統計分析基礎	現代の経営と経営学	

初等教育学科

人間形成原論	教育経営	環境教育	比較教育	病児保育研究
自己形成史分析	メディア教育	地域社会教育	児童文学	
教育哲学	多文化共生教育	特別支援教育	児童文化	
教育史	人権教育	現代保育論	救急法演習	

環境デザイン学科

アパレル企画論	消費者経済学	生活科学概論	デザイン画描法	服飾史Ⅰ
家族関係論	消費生活論	生体環境論	被服学概論	服飾史Ⅱ
建築史（日本）	食物学概論（栄養学を含む）	設計製図－教職－	被服構成学	保育学（実習を含む）

健康デザイン学科

家庭経済学Ａ	住居学Ａ	被服学Ａ	被服学Ｂ	

文化創造学科

社会福祉入門	近代文化論	王朝物語文学	創作表現Ｃ（毛筆書道Ⅰ）	日本住居史
生活概論	中国の文化と文学	王朝和歌文学	創作表現Ｄ（毛筆書道Ⅱ）	住生活概論
IT概論	日本古典文学史	日本近代小説	カラーデザイン	
日本文化史	日本近代文学史	日本語学概論	西欧の家具・インテリア史	

1. ② 教職に関する専門科目

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
教職に関する専門科目	教職概論	204001	②	②	②	②	②	②			1	★	
	教育原理（学部）	204002	②	②	②	②	②	②			1	★	
	教育心理学	204003			②	②	②	②			2	★	
	教育行政学	204004			②	②	②	②			2	★	
	教育法規	204005			②	②	②	②			2	★同	初教
	教育制度論	204006			②	②	②	②			2	★	栄養教諭免許履修者対象
	教育課程論	204007			②	②	②	②			3	★	
	国語科教育法（学部）	204008			②	②	②	②			3	同	日文
	国語科教育法（国語教育教材研究）	204009			②	②	②	②	②	②	2	同	日文「国語科教育法（学部）」を優先して履修
	社会科教育法	204010			②	②	②	②			3		
	社会科教育法（教材研究）	204011			②	②	②	②	②	②	3	同	歴文「社会科教育法」を優先して履修
	地理歴史科教育法	204012			②	②	②	②			3	同	歴文
	公民科教育法	204013			②	②	②	②			3		
	理科教育法	204014			②	②	②	②			3	同	健康
	書道科教育法	204015			②	②	②	②			3		
	保健体育科教育法	204016			②	②	②	②			3	同	健康
	保健科教育法	204017			②	②	②	②			3	同	健康
	家庭科教育法（学部）	204018			②	②	②	②			3	同	環境、健康
	家庭科教育法（教材研究）	204019			②	②	②	②			3	同	環境、健康「家庭科教育法（学部）」を優先して履修
	福祉科教育法	204020			②	②	②	②			3	同	福祉
	英語科教育法（学部）	204021			④	④	④	④			3	同	[2×2]英コミ
	道徳教育の研究（学部）	204022			②	②	②	②			3	★	
	特別活動の研究（学部）	204023	②	②	②	②	②	②			2	★	
	教育工学	204024			②	②	②	②			2	★	
	生徒指導・進路指導の研究	204025			②	②	②	②			2	★	
	生徒指導の研究	204026			②		②				2		栄養教諭免許履修者対象
	教育相談の研究	204027			②	②	②	②			2	★	
	教職実践演習（中・高）	204028								②	4		
	教職実践演習（栄養教諭）	204029								②	4		栄養教諭免許履修者対象
	教育実習の指導	204030					①	①	①		3	★	
	教育実習	204031							④		4		
	教職課程特講A	204032					②	②	②		3		
	教職課程特講B	204033					②	②	②		3		
	教職課程特講C	204034					②	②	②		3		
	介護等体験の指導	204035			①		①				2		体験実施の年に履修
	学習支援コミュニティ・サービスラーニング	204036	②		②		②		②		2		前後期と通年で履修

1. ③ 図書館に関する科目

	授業科目	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	開講中心年次 学部	開講中心年次 短大	履修可能範囲等	備考
司書必修科目 甲群	生涯学習概論	205001	①	①	①	①	①	①			①	①			2	1	★#	〔1〕
	図書館概論	205002	②	②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館サービス論	205003	②	②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	情報サービス概説	205004		②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館資料論	205005			②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	資料組織概説	205006		②	②	②	②	②			②	②			2	1	★#	
	図書館経営論	205007		①	①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	〔1〕
	専門資料論	205008			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	〔1〕
	児童サービス論	205009		①	①	①	①	①			①	①	①	①	2	1	★#	〔1〕
	レファレンスサービス演習	205010			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
	情報検索演習	205011			①	①	①	①	①	①			①	①	3	2	★#	
	資料組織演習A	205012			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
	資料組織演習B	205013			①	①	①	①	①	①		①	①	①	3	2	★#	
司書選択科目 乙群	図書及び図書館史	205014			①		①		①		①		①		3	2	#	〔1〕
	資料特論	205015				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
	コミュニケーション論	205016			①		①		①				①		3	2	#	〔1〕
	情報機器論	205017				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
	図書館特論	205018				①		①		①		①		①	3	2	#	〔1〕
司書教諭科目	学校経営と学校図書館	205019	②		②		②		②		②		②		3	2	#	
	学習指導と学校図書館	205020	②		②		②		②		②		②		3	2	#	
	学校図書館メディアの構成	205021		②		②		②		②		②		②	3	2	#	
	読書と豊かな人間性	205022		②		②		②		②		②		②	3	2	#	
	情報メディアの活用	205023		②		②		②		②		②		②	3	2	#	

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

〔1〕2科目2単位選択必修

注：司書、司書教諭の資格取得を希望する者は、「Ⅳ、諸資格の取得」の「3. 司書・司書教諭」の項を、必ず参照すること。

1. ④ 外国語科目（大学）

	授業科目	整理番号	学部 1年次 前期	学部 1年次 後期	学部 2年次 前期	学部 2年次 後期	学部 3年次 前期	学部 3年次 後期	学部 4年次 前期	学部 4年次 後期	短期大学部 1年次 前期	短期大学部 1年次 後期	短期大学部 2年次 前期	短期大学部 2年次 後期	短期大学部 専攻科 前期	短期大学部 専攻科 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位				
外国語	英語U-AIA（ベーシック・イングリッシュIA）	202001	①														1		学科別
	英語U-AIB（ベーシック・イングリッシュIB）	202002	①														1		〔2×2〕U-AIAとU-AIBはペア
	英語U-AIIA（ベーシック・イングリッシュIIA）	202003		①													1		学科別
	英語U-AIIB（ベーシック・イングリッシュIIB）	202004		①													1		〔2×2〕U-AIAとU-AIBはペア
	英語U-BI （基礎力アップ英語I）	202005			①		①		①								2		
	英語U-BII（基礎力アップ英語II）	202006				①		①		①							2		
	英語U-C（e-learningで学ぶ英語）	202007			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-D （トラベル英語）	202008			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-E（ベーシックビジネス英語）	202009			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-F（やさしいニュース英語）	202010			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-H（資格試験対策英語）	202011			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-HS（資格試験対策英語・上級）	202012			①		①		①								2		
	英語U-J （異文化理解）	202013			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-K （文学）	202014			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-L（はじめてのプレゼンテーション）	202015			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-MIA （科学英語IA）	202016			①		①		①								2		健康デザイン・管理栄養学科対象〔2×2〕
	英語U-MIB （科学英語IB）	202017			①		①		①								2		U-MIAとU-MIBはペア
	英語U-MIIA（英語で学ぶ美容と健康）	202018				①		①		①							2		
	英語U-MIIB（科学系のやさしいプレゼンテーション）	202019				①		①		①							2		
	英語U-N（専門英語:学科別）	202020			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-O（文法トレーニング）	202021			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-P （児童文学）	202022			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-S（基礎英語・2・3年生対象）	202023				①		①									2		2月集中クラス
	英語U-T（ポップ・カルチャー英語）	202024			①	①	①	①	①	①							2	★	
	英語U-XIA（アドバンストイングリッシュIA）	202025	①		①		①		①								—		
	英語U-XIIA（アドバンストイングリッシュIIA）	202026		①		①		①		①							—		
	ドイツ語 （入門A・B）	202027	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	ドイツ語 （初級A・B）	202028		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	ドイツ語 （入門A・B） sクラス	202029		②								②					1		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	ドイツ語 （初級A・B） sクラス	202030			②								②				2		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	ドイツ語 （グリムを読むA）	202031			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語 （歌曲に親しもうA）	202032			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語 （やさしい会話B）	202033			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語 （ウィーン物語C）	202034			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語 （旅行のドイツ語C）	202035			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語（ヒットソングで学ぶドイツ語）	202036			①		①		①				①		①		2		
	ドイツ語 （グリムを読むB）	202037				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語 （歌曲に親しもうB）	202038				①		①		①				①		①	2		
	ドイツ語 （ウィーン物語D）	202039				①		①		①				①		①	2		
	フランス語 （入門A・B）	202040	②								②						1		〔2×2〕 ※②

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※② 週２回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

授業科目		整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	フランス語　（初級A･B）	202041		②								②					1		〔2×2〕　※②
	フランス語（入門A･B）　sクラス	202042		②								②					1		〔2×2〕　※② 再履修クラス
	フランス語（初級A･B）　sクラス	202043			②								②				2		〔2×2〕　※② 再履修クラス
	フランス語（二年目のフランス語E）	202044			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（物語を読もうC）	202045			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（検定試験対策C）	202046			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（絵本を読もうB）	202047			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（話してみようC）	202048			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（やさしい読物B）	202049			①		①		①				①		①		2		
	フランス語（二年目のフランス語F）	202050				①		①		①				①		①	2		
	フランス語（物語を読もうD）	202051				①		①		①				①		①	2		
	フランス語（検定試験対策D）	202052				①		①		①				①		①	2		
	フランス語（話してみようD）	202053				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語　（入門A･B）	202054	②								②						1		〔2×2〕　※②
	スペイン語　（初級A･B）	202055		②								②					1		〔2×2〕　※②
	スペイン語（入門A･B）　sクラス	202056		②								②					1		〔2×2〕　※② 再履修クラス
	スペイン語（初級A･B）　sクラス	202057			②								②				2		〔2×2〕　※② 再履修クラス
	スペイン語　（短編を読むA）	202058			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（やさしい会話A）	202059			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（映画で学ぶスペイン語A）	202060			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（スペインの世界遺産めぐり）	202061			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（フラメンコを通して知るスペインA）	202062			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語（スペイン文化入門）	202063			①		①		①				①		①		2		
	スペイン語　（短編を読むB）	202064				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（やさしい会話B）	202065				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（映画で学ぶスペイン語B）	202066				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（フラメンコを通して知るスペインB）	202067				①		①		①				①		①	2		
	スペイン語（スペイン語学入門）	202068				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語　（入門A･B）	202069	②								②						1		〔2×2〕　※②
	イタリア語　（初級A･B）	202070		②								②					1		〔2×2〕　※②
	イタリア語　（楽しい会話C）	202071			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語（イタリア語で読もうC）	202072			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語　（講読C）	202073			①		①		①				①		①		2		
	イタリア語　（楽しい会話D）	202074				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語（イタリア語で読もうD）	202075				①		①		①				①		①	2		
	イタリア語　（講読D）	202076				①		①		①				①		①	2		
	ロシア語　（入門A･B）	202077	②								②						1		〔2×2〕　※②
	ロシア語　（初級A･B）	202078		②								②					1		〔2×2〕　※②
	ロシア語（やさしい実践会話E）	202079			①		①		①				①		①		2		
	ロシア語（やさしい実践会話F）	202080				①		①		①				①		①	2		

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※②　週２回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

	授業科目	整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	中国語（入門A･B）	202081	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	中国語（初級A･B）	202082		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	中国語（入門A･B） sクラス	202083		②								②					1		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	中国語（初級A･B） sクラス	202084			②								②				2		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	中国語（講読A）	202085			①		①		①				①		①		2		
	中国語（時事A）	202086			①		①		①				①		①		2		
	中国語（検定試験準備A）	202087			①		①		①				①		①		2		
	中国語（楽しい会話A）	202088			①		①		①				①		①		2		
	中国語（話す中国語）	202089			①		①		①				①		①		2		
	中国語（文法A）	202090			①		①		①				①		①		2		
	中国語（暮らしの会話A）	202091			①		①		①				①		①		2		
	中国語（コミュニケーションA）	202092			①		①		①				①		①		2		
	中国語（検定試験対策）	202093			①		①		①				①		①		2		
	中国語（文法B）	202094				①		①		①				①		①	2		
	中国語（暮らしの会話B）	202095				①		①		①				①		①	2		
	中国語（講読B）	202096				①		①		①				①		①	2		
	中国語（コミュニケーションB）	202097				①		①		①				①		①	2		
	中国語（時事B）	202098				①		①		①				①		①	2		
	中国語（検定試験準備B）	202099				①		①		①				①		①	2		
	中国語（楽しい会話B）	202100				①		①		①				①		①	2		
	中国語（中国語研究C）	202101	①		①		①		①		①		①		①		—		
	中国語（中国語研究D）	202102		①		①		①		①		①		①		①	—		
	韓国語（入門A･B）	202103	②								②						1		〔2×2〕 ※②
	韓国語（初級A･B）	202104		②								②					1		〔2×2〕 ※②
	韓国語（入門A･B） sクラス	202105		②								②					1		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	韓国語（初級A･B） sクラス	202106			②								②				2		〔2×2〕 ※② 再履修クラス
	韓国語（実践A）	202107			①		①		①				①		①		2		
	韓国語（文法）	202108			①		①		①				①		①		2		
	韓国語（作文）	202109			①		①		①				①		①		2		
	韓国語（IT韓国語）	202110			①		①		①				①		①		2		
	韓国語（時事韓国語）	202111				①		①		①				①		①	2		
	韓国語（実践B）	202112				①		①		①				①		①	2		
	韓国語（会話A）	202113				①		①		①				①		①	2		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

※ 同じアルファベット記号の科目は重複履修不可
※② 週２回のダブル科目なのでペアを確認して受講のこと。Sクラスは後期からスタートする。

1．⑤ 外国語科目（短大）

授業科目		整理番号	学部 1年次 単位 前期	学部 1年次 単位 後期	学部 2年次 単位 前期	学部 2年次 単位 後期	学部 3年次 単位 前期	学部 3年次 単位 後期	学部 4年次 単位 前期	学部 4年次 単位 後期	短期大学部 1年次 単位 前期	短期大学部 1年次 単位 後期	短期大学部 2年次 単位 前期	短期大学部 2年次 単位 後期	短期大学部 専攻科 単位 前期	短期大学部 専攻科 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
外国語	英語J-XI （総合英語I）	202114									①						1		
	英語J-ZI （英語講読I）	202115									①						1		
	英語J-XⅡ （総合英語Ⅱ）	202116										①					1		
	英語J-ZⅡ （英語講読Ⅱ）	202117										①					1		
	英語J-C （編入対策英語）	202118											①	①	①	①	2	★	
	英語J-E（発音トレーニング）	202119											①	①	①	①	2	★	
	英語J-F （児童英語）	202120											①	①	①	①	2	★	
	英語J-G （アクティブ・リーディング）	202121											①	①	①	①	2	★	
	英語J-N （生活英語）	202122											①	①	①	①	2	★	
	英語J-R（コミュニケーション英語I）	202123											①		①		2		
	英語J-RX（コミュニケーション英語Ⅱ）	202124												①		①	2		
	英語J-T（ポップ・カルチャー英語）	202125											①	①	①	①	2	★	
	英語J-V （童話で学ぶ英語）	202126											①	①	①	①	2	★	
	ドイツ語 （入門A）	202127	①								①		①		①		1		
	ドイツ語 （入門B）	202128		①								①		①		①	1		
	フランス語 （入門A）	202129	①								①		①		①		1		
	フランス語 （入門B）	202130		①								①		①		①	1		
	中国語 （入門A）	202131	①								①		①		①		1		
	中国語 （入門B）	202132		①								①		①		①	1		
	韓国語 （入門A）	202133	①								①		①		①		1		
	韓国語 （入門B）	202134		①								①		①		①	1		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

※　同じアルファベット記号の科目は重複履修不可

1. ⑥ 外国語科目（留学生）

授業科目		整理番号	学部 1年次 前期	学部 1年次 後期	学部 2年次 前期	学部 2年次 後期	学部 3年次 前期	学部 3年次 後期	学部 4年次 前期	学部 4年次 後期	短期大学部 1年次 前期	短期大学部 1年次 後期	短期大学部 2年次 前期	短期大学部 2年次 後期	短期大学部 専攻科 前期	短期大学部 専攻科 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位		単位		単位		単位				
外国語	日本語 Ⅰ A	202135	①		①		①		①		①		①		①		—		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
	日本語 Ⅰ B	202136	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語 Ⅰ C	202137	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語 Ⅰ D	202138		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅰ E	202139		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅱ A	202140	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語 Ⅱ B	202141		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅱ C	202142		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅱ D	202143		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅲ A	202144	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語 Ⅲ B	202145	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語 Ⅲ C	202146		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語 Ⅲ D	202147		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語総合 A	202148	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語総合 B	202149	①		①		①		①		①		①		①		—		
	日本語総合 C	202150		①		①		①		①		①		①		①	—		
	日本語総合 D	202151		①		①		①		①		①		①		①	—		

2. コミュニティ・サービスラーニング科目

授業中に学んだ専門知識を活かして社会貢献やボランティア活動を行いながら学びを深めていくコミュニティ・サービスラーニングを積極的に行っています。

該当科目は以下です。履修条件等は開設学科のカリキュラム表で確認してください。

コミュニティ・サービスラーニングについては、コミュニティ・サービスラーニングセンターで支援しています。

開　　設	科　　目　　名	単　位　数
一般教養科目	コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論）	2
教職に関する専門科目	学習支援コミュニティ・サービスラーニング	2
日本語日本文学科	取材とライティング（後期のみ）	1
英語コミュニケーション学科	Radio Production A/B	2
	英語で地域貢献	2
	海外ボランティア	2
	Community Service（ボストンキャンパス科目）	4
	GE Elective B（ボストンキャンパス科目）	4
歴史文化学科	美術館論Ⅰ－地域と美術館－	2
	考古学基礎	2
	取材とライティング（後期のみ）	1
国際学科	コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論）	2
	国際ボランティア（単位認定）	2
	NPO/NGOインターンシップ（単位認定）	2
	Community Service（ボストンイマージョンプログラムI）	4
心理学科	心理支援コミュニティ・サービスラーニング	2
福祉社会学科	コミュニティ・サービスラーニング（福祉社会とボランティア）	2
環境デザイン学科	DP総合演習A	1
	DP総合演習B	1
	DP総合演習C	1
文化創造学科	コミュニティ・サービスラーニング（ボランティア論）	2

3. 日本語日本文学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
基幹科目	日本文学入門A		211001	2	2							1	★	12単位必修 ☆印 文化創造学科生履修可
	日本文学入門B		211002	2	2							1	★	
	日本語学概論A		211003			2	2					2	★ ☆	
	日本語学概論B		211004			2	2					2	★ ☆	
	中国文学概論		211005					2	2			3		
基礎・スキル科目	基礎演習		211006	2	2							1	★	
	日本文学研究とコンピュータ		211007		②		②					1		「情報機器の操作」対象科目
	日本語研究とコンピュータ		211008	②		②						1		「情報機器の操作」対象科目
	実践的文章論		211009	②	②	②	②					1	★同	(歴文)
	古典のとびら		211010	②		②						1		4単位以上選択必修
	文字から入る古典		211011		②		②					1		
	文語文法の基礎		211012	②	②	②	②					1		
	漢文の基礎		211013	②	②	②	②					1	◎	
総合科目	古典と昔語り		211014				②		②			2	◎	専
	歌ことば歌ごころ		211015				②		②			2	◎	専
	俳句(作句の試み)		211016	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講
	ことばと社会		211017			②	②	②	②			2	◎	専 4単位以上選択必修
	有職故実		211018	②	②	②	②					1	◎同	(歴文)
	史料解読		211019			②	②	②	②			2	◎同	(歴文)専
	近代詩歌		211020	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	外からみた日本文学		211021			②	②	②	②	②	②	3	◎同	(国際)専
	日本漢文		211022			②		②		②		3	◎	専
	日本の演劇		211023			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	言語学		211024			②	②	②	②	②	②	3	◎	専 4単位以上選択必修
	書誌学		211025					②	②	②	②	3	◎	専
	日本民俗学		211026					②	②	②	②	3	◎	専
	日本思想史		211027			②	②	②	②	②	②	3	◎同	(歴文)専
専門Ⅰ群科目	日本語学	日本語学Ⅰ(現代語文法)	211028	②	②	②	②					1	◎	4単位以上選択必修 (専国)国語学特殊講義B
		日本語学Ⅰ(音声と音韻)	211029	②	②	②	②					2	◎	
		日本語学Ⅰ(御伽草子の語法)	211030	②	②	②	②	②	②			2	◎同	
		日本語学Ⅰ(日本語史)	211031	②	②	②	②	②	②			1.2	◎	
		パソコン日本語学入門A	211032	②	②	②	②					2	◎	A、B、どちらか一方のみ履修可 「情報機器の操作」対象科目
		パソコン日本語学入門B	211033	②	②	②	②					2	◎	
	古典文学	古典文学IA(古事記)	211034	②	②	②	②					1	◎	古典文学IAから4単位以上選択必修
		古典文学IA(万葉集)	211035	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学IA(更級日記)	211036	②	②	②	②					1	◎	
		古典文学IA(源氏物語)	211037			②	②	②	②			2	◎	
		古典文学IA(古今集)	211038			②	②	②	②			2	◎	
		古典文学IB(平家物語)	211039	②	②	②	②					1		隔年開講 古典文学IBから 4単位以上選択必修
		古典文学IB(宇治拾遺物語)	211040	②	②	②	②					1	◎	隔年開講

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

		授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
専門Ⅰ群科目	古典文学	古典文学IB（おとぎ草子）	211041	②	②	②	②					2		隔年開講
		古典文学IB（江戸の旅）	211042	②	②	②	②					1	◎	古典文学IBから4単位以上選択必修
		古典文学IB（江戸の恋）	211043	②	②	②	②					1	◎	
	近代文学	近代文学Ⅰ（夏目漱石）	211044	②	②	②	②					1	◎	隔年開講
		近代文学Ⅰ（梶井基次郎）	211045	②	②	②	②					1	◎	
		近代文学Ⅰ（子どもの風景）	211046	②	②	②	②					1	◎	隔年開講
		近代文学Ⅰ（遠藤周作）	211047	②	②	②	②					2	◎	4単位以上選択必修
		近代文学Ⅰ（名作を読む）	211048	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	児童文学	児童文学Ⅰ（子どもと文学）	211049	②	②	②	②	②	②			1	◎	
		児童文学Ⅰ（近代の児童文学）	211050	②	②	②	②	②	②			2	◎	
		児童文学Ⅰ（現代の児童文学）	211051	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	中国文学	中国文学Ⅰ（詩文）	211052	②	②	②	②					1.2	◎	
		中国文学Ⅰ（史伝・思想）	211053		②		②		②			2.3	◎	
専門Ⅱ群科目	日本語学	日本語学Ⅱ（現代の語彙・表記）	211054			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		日本語学Ⅱ（データ収集と分析）	211055						②		②	3		
		日本語学Ⅱ（こゝろ）	211056					②	②	②	②	3	◎同	（専国）国語学特殊講義A
	上代文学	古典文学Ⅱ（古代和歌・説話）	211057					②	②	②	②	3	◎	8単位以上選択必修 （但し、卒業論文を書く分野を4単位以上含む） ※児童文学、中国文学、日本語教育の卒業論文を書く者は除く
	中古文学	古典文学Ⅱ（枕草子）	211058					②	②	②	②	3	◎	
		古典文学Ⅱ（伊勢物語）	211059					②	②	②	②	4	◎	
	中世文学	古典文学Ⅱ（室町小歌）	211060					②	②	②	②	3	◎	隔年開講
		古典文学Ⅱ（隠者文学）	211061			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）国文学特殊講義E
	近世文学	古典文学Ⅱ（江戸の芝居）	211062			②	②	②	②	②	②	3	◎	隔年開講
		古典文学Ⅱ（江戸の怪談）	211063			②	②	②	②	②	②	3	◎	
	近代文学	近代文学Ⅱ（芥川龍之介）	211064			②	②	②	②	②	②	3		
		近代文学Ⅱ（川端康成）	211065			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		近代文学Ⅱ（比較文学）	211066			②	②	②	②	②	②	3	◎同	（専国）比較文学特殊講義
		近代文学Ⅱ（現代小説）	211067			②	②	②	②	②	②	3	◎	専
	児童文学	児童文学Ⅱ（童謡・少年詩）	211068			②	②	②	②	②	②	3	◎	
		児童文学Ⅱ（外国）	211069					②	②	②	②	4	◎	児童文学、中国文学の卒業論文を書く者はその分野を4単位以上選択必修、更に専門Ⅱ群から4単位以上選択必修
	中国文学	中国文学Ⅱ（白氏文集）	211070				②		②		②	2.3	◎	
		中国文学Ⅱ（志怪・伝奇）	211071			②		②		②		3.4	◎	
日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	211072	②		②						1	◎同	（国際）隔年開講
		言語政策論Ⅰ	211073			②		②		②		3	◎同	（国際）
		言語政策論Ⅱ	211074			②		②		②		3	◎同	（国際）
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	211075	②		②		②				1	◎同	（国際）
		異文化間コミュニケーションⅡ	211076		②		②		②			1	◎同	（国際）日本語教育の卒業論文を書く者は、8単位以上選択必修
		社会言語学	211077		②		②		②		②	2	◎同	（国際）
	言語と心理	第二言語教育概説	211078	②		②		②				2	◎同	（国際）
		第二言語習得論	211079		②		②		②			2	◎同	（国際）
	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ	211080	②		②						1	◎同	（国際）隔年開講

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
日本語教育	言語と教育	日本語教育学ⅠA（音声）	211081	②		②		②				2	◎同	（国際）
		日本語教育学ⅠB（書写）	211082			②		②				2	◎同	（国際）
		日本語教育学ⅠC（文法）	211083	②	②	②	②	②	②			2	◎同	（国際）
		日本語教育学ⅡA（聴解・会話）	211084				②		②		②	3	◎同	（国際） 隔年開講
		日本語教育学ⅡB（作文・読解）	211085			②	②	②	②			3	◎同	（国際）
		日本語教育学ⅡC（教材・教具）	211086				②		②			2	◎同	（国際）
		コースデザイン・評価論	211087				②		②		②	3	◎同	（国際） 隔年開講
		日本語教育指導方法論	211088			②		②				2	◎同	（国際）
		日本語教育実習Ⅰ（教壇 'YY）	211089					①	①	①	①	3	◎同	（国際） 日本語教育の卒業論文を書く者は、8単位以上選択必修
		日本語教育実習Ⅱ（教壇 'YY）	211090					①	①	①	①	3	◎同	（国際）
		日本語教育実習（個別 'YY）	211091			①	①	①	①	①	①	3	◎同	（国際） 日本語教育実習4科目（'YY）には、年度（西暦）が表記される。複数回履修可。
		日本語教育実習（海外 'YY）	211092			①	①	①	①	①	①	3	◎同	（国際）
	言語	日本語教育言語分析法研究	211093	②		②		②		②		2	◎同	（国際）
		日本語文法論	211094	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	（国際）
		日本語表現法	211095		②		②		②			2	◎同	（国際）
		日英対照研究	211096				②		②		②	3	◎同	（国際）
		日韓対照研究	211097				②		②		②	3	◎同	（国際）
		日中対照研究	211098				②		②		②	3	◎同	（国際）
書道		書道史	211099	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
		日本の書芸	211100	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
		書道実習Ⅰ	211101	①	①	①	①					1	同	（文化創造）創作表現C（毛筆書道Ⅰ）
		書道実習Ⅱ	211102	①	①	①	①					2	同	（文化創造）創作表現D（毛筆書道Ⅱ）
		書道実習Ⅲ	211103					①	①	①	①	3		中学校の国語免許状取得の者はⅠ、Ⅱ、高等学校の国語免許状取得の者はⅠ、高等学校の国語・書道取得の者はⅠ～Ⅵを順次履修。原則として同一科目を通年で履修。
		書道実習Ⅳ	211104					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅴ	211105					①	①	①	①	4		
		書道実習Ⅵ	211106					①	①	①	①	4		
国語教育		国語科教育法	211107			②	②	②	②			3	同	（教職）教職資格取得を目指す者のみ履修を認める。
		国語科教育法（国語教育教材研究）	211108			②	②	②	②	②	②	2	同	（教職）
		表現法（原理と指導法）	211109	②	②	②	②	②	②			2		
就職支援		スピーチコミュニケーション基礎	211110	①								1	同	（歴文）
		スピーチトレーニング各論（プレゼンテーション）	211111				①		①			2·3	◎学同	（国際）
		スピーチトレーニング各論（朗読）	211112				①		①			2·3	◎学同	（国際）
		文章トレーニング各論（ビジネス文章）	211113			①		①				2·3	◎学同	（国際）
		取材とライティング	211114			①	①	①	①			2·3	同	（歴文）
演習Ⅰ		日本文学演習ⅠAa	211115			①	①					2	★	演習IAから1単位以上選択必修
		日本文学演習ⅠAb	211116			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAc	211117			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAd	211118			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAe	211119			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠAf	211120			①	①					2	★	

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
														開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
演習Ⅰ		日本語学演習ⅠBa	211121			①	①					2	★	演習IBから1単位以上選択必修
		日本文学演習ⅠBb	211122			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBc	211123			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBd	211124			①	①					2	★	
		日本文学演習ⅠBe	211125			①	①					2	★	
		中国文学演習ⅠBf	211126			①	①					2	★	
		日本語教育演習ⅠBg	211127			①	①					2		
演習Ⅱ	日本語学	日本語学演習ⅡA（古典語研究）	211128					①	①			3		2単位以上選択必修
		日本語学演習ⅡB（現代語研究）	211129					①	①			3		
	上代	日本文学演習ⅡC(万葉集・記紀)	211130					①	①			3		
	中古	日本文学演習ⅡD（堤中納言物語）	211131					①	①			3		
		日本文学演習ⅡE（源氏物語）	211132					①	①			3		
	中世	日本文学演習ⅡF（とはずがたり）	211133					①	①			3		
		日本文学演習ⅡG（中世芸能文学）	211134					①	①			3		
	近世	日本文学演習ⅡH（町人の小説）	211135					①	①			3		
	近代	日本文学演習Ⅱl(明治大正の小説)	211136					①	①			3		
		日本文学演習ⅡJ（芥川龍之介）	211137					①	①			3		
		日本文学演習ⅡK（昭和の小説）	211138					①	①			3		
		日本文学演習ⅡL（小説読解の試み）	211139					①	①			3		
	児童	日本文学演習ⅡM（児童文学の作家と作品）	211140					①	①			3		
	中国	中国文学演習ⅡN（唐詩）	211141					①	①			3		
	日本語教育	日本語教育演習ⅡO	211142					①	①			3		
		日本語教育演習ⅡP	211143					①	①			3		
演習Ⅲ	日本語学	日本語学演習ⅢA	211144							①	①	4		2単位以上選択必修
		日本語学演習ⅢB	211145							①	①	4		
	上代	日本文学演習ⅢC	211146							①	①	4		
	中古	日本文学演習ⅢD	211147							①	①	4		
		日本文学演習ⅢE	211148							①	①	4		
	中世	日本文学演習ⅢF	211149							①	①	4		
		日本文学演習ⅢG	211150							①	①	4		
	近世	日本文学演習ⅢH	211151							①	①	4		
	近代	日本文学演習Ⅲl	211152							①	①	4		
		日本文学演習ⅢJ	211153							①	①	4		
		日本文学演習ⅢK	211154							①	①	4		
		日本文学演習ⅢL	211155							①	①	4		
	児童	日本文学演習ⅢM	211156							①	①	4		
	中国	中国文学演習ⅢN	211157							①	①	4		
	日本語教育	日本語教育演習ⅢO	211158							①	①	4		
		日本語教育演習ⅢP	211159							①	①	4		
卒業論文			211160							8		4		8単位必修

4. 英語コミュニケーション学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
基礎科目	スキル科目	Speaking and Listening ⅠA	212001	1								1		〔1×2〕
		Speaking and Listening ⅠB	212002	1								1		〔1×2〕
		Speaking and Listening ⅡA	212003		1							1		〔1×2〕
		Speaking and Listening ⅡB	212004		1							1		〔1×2〕
		Speaking and Listening ⅢA	212005			1						2		
		Speaking and Listening ⅢB	212006			1						2		
		Reading Ⅰ	212007	2								1		〔2×2〕
		Reading Ⅱ	212008		2							1		〔2×2〕
		Reading Ⅲ	212009			2						2		〔2×2〕
		Grammar and Writing Ⅰ	212010	1								1		
		Grammar and Writing Ⅱ	212011		1							1		
		Grammar and Writing Ⅲ	212012			1						2		
		Society Today Ⅰ	212013					1				3		
		Society Today Ⅱ	212014						1			3		
		Culture Today Ⅰ	212015					1				3		
		Culture Today Ⅱ	212016						1			3		
		資格検定Ⅰ	212017					①		①		3		
		資格検定Ⅱ	212018						①		①	3		
		Computer Skills Ⅰ	212019	1								1		
		Computer Skills Ⅱ	212020		①							1		
	ポストン準備科目	米国事情	212021		2							1		
		ニューイングランド研究	212022			2						2		
	概論	英コミ概論	212023	1								1		
		英米文学・文化 英米文学・文化概論 A	212024		②							1		1年次後期は3科目(6単位)を選択必修 2年次前期は2科目(4単位)を選択必修
		英米文学・文化 英米文学・文化概論 B	212025			②						2		
		英語研究 英語研究概論 A	212026		②							1		
		英語研究 英語研究概論 B	212027			②						2		
		英語教育 英語教育概論 A	212028		②							1		
		英語教育 英語教育概論 B	212029			②						2		
		メディアコミュニケーション メディアコミュニケーション概論 A	212030		②							1		
		メディアコミュニケーション メディアコミュニケーション概論 B	212031			②						2		
		ビジネスコミュニケーション ビジネスコミュニケーション概論 A	212032		②							1		
		ビジネスコミュニケーション ビジネスコミュニケーション概論 B	212033			②						2		
	特別演習科目	基礎ゼミⅠ	212034	1								1		
		基礎ゼミⅡ	212035		1							1		
		2年ゼミ	212036			1						2		
		3年ゼミ	212037					1	1			3		
		4年ゼミ	212038							1	1	4		
卒業論文・卒業制作			212039							6		4		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
主専攻科目群	英米文学・文化	イギリス散文Ａ	212040					②		②		3	同	(国際「19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像)」)(現代)
		イギリス散文Ｂ	212041						②		②	3	同	(国際「19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像)」)(現代)
		アメリカ散文Ａ	212042					②		②		3	同	(国際「20世紀アメリカ小説C」)(現代)
		アメリカ散文Ｂ	212043						②		②	3	同	(国際「20世紀アメリカ小説D」)(現代)
		英米詩	212044					②		②		3	同	(現代)
		パフォーマンス・スタディーズ	212045						②		②	3		
		ファンタジー・児童文学	212046					②		②		3	同	(現代)
		ジェンダーと英米文学	212047					②		②		3		
		マイノリティー文学	212048						②		②	3		
		ニューイングランド文学・文化	212049					②		②		3	同	(現代)
		比較文学・文化	212050						②		②	3	同	(現代)
		イギリス文化研究	212051					②		②		3		
		アメリカ文化研究	212052						②		②	3		
		聖書研究	212053					②		②		3		
		英米文学研究Ａ	212054					②	②	②	②	3		
		英米文学研究Ｂ	212055					②	②	②	②	3		
		英米文学研究Ｃ	212056					②	②	②	②	3		
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅰ	212057					②		②		3	同	(国際)
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅱ	212058						②		②	3	同	(国際)
		アメリカの政治と社会(英語)	212059					②		②		3	同	(国際)
		アメリカ現代史(英語)	212060						②		②	3	同	(国際)
	英語研究	英語の歴史	212061					②		②		3	同	(現代)
		英語音声学	212062					②		②		3	同	(現代)
		形態論	212063					②		②		3	同	(国際「ことばの成り立ちと仕組み」)(現代)(日本語教育関連科目)
		文法研究	212064					②		②		3	◎同	(現代)
		意味論	212065						②		②	3	同	(日本語教育関連科目)(現代)
		語用論	212066					②		②		3		(日本語教育関連科目)
		社会言語学	212067						②		②	3	同	(国際「社会言語学(言葉と場面)」)(現代)(日本語教育関連科目)
		心理言語学	212068						②		②	3	◎	(日本語教育関連科目)
		コーパス言語学	212069						②		②	3		
		英語語源学	212070					②		②		3	◎	
		英語学研究Ａ	212071					②	②	②	②	3		
		英語学研究Ｂ	212072					②	②	②	②	3		
		英語学研究Ｃ	212073					②	②	②	②	3		
		英語学研究Ｄ	212074					②	②	②	②	3		
	英語教育	英語科教育法	212075			④	④	④	④			3	同	[2×2](教職)
		第二言語習得	212076					②		②		3	同	(現代)
		英語授業のプランニング	212077						②		②	3		
		教材研究	212078						②		②	3		
		クラスルームイングリッシュ	212079					②		②		3		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
主専攻科目群	英語教育	マイクロティーチング演習	212080					②		②		3		
		児童英語教育概論	212081					②				3	同	(初教)
		児童英語活動の研究	212082						②			3	同	(初教)
		児童英語教育演習 A	212083							②		4		
		児童英語教育演習 B	212084								②	4		
	メディアコミュニケーション	Media Communication	212085					②		②		3		
		Media Literacy	212086					②		②		3		
		Publication Media	212087					②		②		3		
		Broadcast Media	212088					②		②		3		
		Film Criticism	212089					②		②		3	同	(現代)
		Language of Advertising	212090					②		②		3	同	(現代)
		Popular Music	212091						②		②	3		
		Radio Production A	212092					②		②		3		
		Radio Production B	212093						②		②	3		
		Interviewing A	212094					②		②		3	◎	
		Interviewing B	212095						②		②	3	◎	
		Public Speaking A	212096					②		②		3		
		Public Speaking B	212097						②		②	3		
		Journalistic Writing	212098						②		②	3		
		Digital Media	212099						②		②	3		
		Computer Literacy A	212100					②		②		3	◎	
		Computer Literacy B	212101						②		②	3	◎	
		IT と社会の変容	212102			②		②	②	②	②	3	◎学同★	(国際)
		メディアリテラシー概論	212103						②		②	3	◎学同	(国際)
		情報技術と倫理	212104					②		②		3	◎学同	(国際)
	ビジネスコミュニケーション	Business Communication A	212105					②		②		3	同	(国際)
		Business Communication B	212106						②		②	3	同	(国際)
		Business Presentation A	212107					②		②		3		
		Business Presentation B	212108						②		②	3		
		Business Writing	212109					②		②		3		
		Technical Writing	212110						②		②	3		
		Business across Cultures	212111					②		②		3		
		Hospitality English	212112						②		②	3		
		秘書英語	212113					②		②		3		
		通訳実践トレーニング	212114					②		②		3	同	(国際)
		日英逐次通訳研究Ⅰ	212115					②		②		3	同	(国際)
		日英逐次通訳研究Ⅱ	212116						②		②	3	同	(国際)
		日英翻訳研究(ノンフィクション)	212117						②		②	3	同	(国際)
		キャリアプランニング	212118					②		②		3		
		英語で地域貢献	212119	②		②		②		②		3	◎	

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
					単位		単位		単位		単位				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
主専攻科目群	ビジネスコミュニケーション		ボストン・ビジネスイングリッシュプログラム	212120	②		②		②		②		2	◎	
			海外ボランティア	212121			②		②		②		2		一般教養科目として履修
			海外インターンシップ	212122			②		②		②		2		一般教養科目として履修
			ツーリズム論	212123					②	②	②	②	3	◎学 同★	(国際)
			ホスピタリティ・マネージメント	212124					②	②	②	②	3	◎学 同★	(国際)
			顧客コミュニケーション	212125					②		②		3	◎学同	(国際)
			異文化コミュニケーション(英語)	212126						②		②	3	同	(国際)
			日本経済とビジネス(英語)	212127						②		②	3	同	(国際)
			開発と環境(英語)	212128					②		②		3	同	(国際)
			開発援助(英語)	212129						②		②	3	同	(国際)
			NPOの組織と活動(英語)	212130						②		②	3	同	(国際)
ボストンキャンパス科目	UNIVERSITY	ジャンプスタート	Intensive Speaking and Listening	212131				1					2		
			Intensive Reading	212132				1					2		
			Intensive Writing	212133				1					2		
		レギュラープログラム	Speaking and Listening B I	212134				2					2		
			Reading B I	212135				2					2		
			Grammar and Writing B I	212136				2					2		
			TOEIC Preparation B I	212137				1					2		
			New England Studies	212138				2					2		
			Discussion of American Issues	212139				2					2		
			GE Elective A	212140				④					2		一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修 A：社会事情(Social Issues) B：福祉・ボランティア(Volunteering) C：ビジネス(Business) D：西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E：日本語教育(Teaching Japanese) F：その他(Others)
			GE Elective B	212141				④					2		
			GE Elective C	212142				④					2		
			GE Elective D	212143				④					2		
			GE Elective E	212144				④					2		
			GE Elective F	212145				④					2		
	FSP	スプリングセメスター	Speaking and Listening	212146			2						2		
			Reading	212147			2						2		
			Grammar and Writing	212148			2						2		
			Extensive Reading	212149			1						2		
			Pronunciation	212150			1						2		
			Current American Topics	212151			2						2		
			Field Trips	212152			2						2		
			Community Service	212153			4						2		一般教養科目として履修
			Language	212154			2						2		外国語科目として履修
		フォールセメスター ジャンプスタート	Intensive Speaking and Listening	212155				1					2		
			Intensive Reading	212156				1					2		
			Intensive Writing	212157				1					2		
		フォールセメスター レギュラープログラム	Speaking and Listening B I	212158				2					2		
			Reading B I	212159				2					2		

授業科目					整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
						単位		単位		単位		単位				
ボストンキャンパス科目	FSP	フォールセメスター	レギュラープログラム	Grammar and Writing B Ⅰ	212160				2					2		
				TOEIC Preparation B Ⅰ	212161				1					2		
				New England Studies	212162				2					2		
				Discussion of American Issues	212163				2					2		
				GE Elective A	212164				④					2		一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修 A：社会事情(Social Issues) B：福祉・ボランティア(Volunteering) C：ビジネス(Business) D：西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E：日本語教育(Teaching Japanese) F：その他(Others)
				GE Elective B	212165				④					2		
				GE Elective C	212166				④					2		
				GE Elective D	212167				④					2		
				GE Elective E	212168				④					2		
				GE Elective F	212169				④					2		
	BLIP	ファーストセメスター	ジャンプスタート	Intensive Speaking and Listening	212170	1								1		
				Intensive Reading	212171	1								1		
				Intensive Writing	212172	1								1		
			レギュラープログラム	Speaking and Listening B Ⅰ	212173	2								1		
				Reading B Ⅰ	212174	2								1		
				Grammar and Writing B Ⅰ	212175	2								1		
				BLIP Skills	212176	1								1		
				New England Studies	212177	2								1		
				Social Issues in America	212178	4								1		一般教養科目として履修
				GE Elective A	212179	④								1		一般教養科目として1科目(4単位)を選択履修 A：社会事情(Social Issues) B：福祉・ボランティア(Volunteering) C：ビジネス(Business) D：西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E：日本語教育(Teaching Japanese) F：その他(Others)
				GE Elective B	212180	④								1		
				GE Elective C	212181	④								1		
				GE Elective D	212182	④								1		
				GE Elective E	212183	④								1		
				GE Elective F	212184	④								1		
				Language Ⅰ	212185	2								1		外国語科目として履修
		セカンドセメスター	インテンシブⅠ	Intensive Speaking and Listening Ⅰ	212186			1						2		
				Intensive Reading Ⅰ	212187			1						2		
				Intensive Writing Ⅰ	212188			1						2		
			レギュラープログラム	Speaking and Listening B Ⅱ	212189			2						2		
				Reading B Ⅱ	212190			2						2		
				Grammar and Writing B Ⅱ	212191			2						2		
				TOEIC Preparation B Ⅱ	212192			1						2		
				College Course Ⅰ	212193			1						2		
				Global Studies Ⅰ	212194			2						2		
				GE Literature and Culture	212195			4						2		一般教養科目として履修
				GE Media Communication	212196			4						2		
				Language Ⅱ	212197			2						2		外国語科目として履修

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目					整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
ボストンキャンパス科目	BLIP	サードセメスター	インテンシブⅡ	Intensive Speaking and Listening Ⅱ	212198				1					2		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
				Intensive Reading Ⅱ	212199				1					2		
				Intensive Writing Ⅱ	212200				1					2		
			レギュラープログラム	Speaking and Listening BⅢ	212201				2					2		
				Reading BⅢ	212202				2					2		
				Grammar and Writing BⅢ	212203				2					2		
				TOEIC Preparation BⅢ	212204				1					2		
				College Course Ⅱ	212205				1					2		
				Global Studies Ⅱ	212206				2					2		
				BLIP Project	212207				2					2		
				GE Linguistics	212208				4					2		一般教養科目として履修
				GE Business Communication	212209				4					2		一般教養科目として履修

＊UNIVERSITYおよびFSPプログラム参加後、希望者はインターセッション（Advanced English：2単位）に参加することができる。
＊FSP参加者はスプリングセメスター終了後、ランゲージスクール（General English：2単位）/海外ボランティア/サマーセッションのいずれかに参加する。
＊GE Elective E（Teaching Japanese）は日本語教育関連科目とする。

○英検および TOEIC の単位認定について

英検	TOEIC	認定単位数
―	650 点以上	1 単位
準 1 級	730 点以上	2 単位
1 級	850 点以上	4 単位

注1　専門教育科目の卒業要件単位として認定する。
注2　TOEICは昭和女子大学入学後取得したスコアを認定する。
注3　TOEICはIPテスト（団体特別受験制度）スコアも認定する。
注4　認定の上限は4単位。下位の単位認定を受けたものがさらに上位の「級」または「スコア」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算される。
注5　英検とTOEICの両方をクリアしても単位認定は高いレベルのどちらか一方とする。

5. 歴史文化学科

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
													開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
必修	歴史文化基礎	213001	2								1		
必修	歴史学概論	213002	2								1		
必修	文化論	213003		2							1		
必修	日本史通論	213004			2						2		
必修	ジェンダー論	213005				2					2		
必修	歴史文化と社会	213006					2				3		※K
必修	世界史通論	213007						2			3		
必修	文化財論	213008							2		4		※2考
必修	歴史文化論	213009								2	4		
歴史・考古	史料解読	213010	②	②	②	②					1	◎学同	(日文) ※T1
歴史・考古	古文書解読	213011			②	②	②	②	②	②	3	◎	
歴史・考古	近代女性史文献講読	213012	②		②						1	◎	※T2
歴史・考古	日本近現代史料解読	213013	②	②	②	②					2	◎	※T3
歴史・考古	日本古代史	213014	②	②	②	②	②	②			1	◎	隔年開講
歴史・考古	日本古代史特論	213015	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講
歴史・考古	日本中世史	213016	②	②	②	②	②	②			2	◎同	(心理・現代)
歴史・考古	日本近世史	213017	②	②	②	②	②	②			1	◎	隔年開講(心理・現代)
歴史・考古	日本近世史特論	213018	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	隔年開講
歴史・考古	日本近現代史	213019	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	(国際・心理・現代)
歴史・考古	日本近現代史特論	213020	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	(国際)
歴史・考古	日本女性史	213021	②	②	②	②	②	②			2		隔年開講(心理・現代)
歴史・考古	日本女性史特論	213022	②	②	②	②	②	②	②	②	3		隔年開講
歴史・考古	比較女性史論	213023		②		②		②		②	2	◎	(心理・現代)
歴史・考古	日本思想史	213024			②	②	②	②	②	②	2	◎同	(日文)
歴史・考古	有職故実	213025	②	②	②	②	②	②			2	◎同	(日文)
歴史・考古	ヒエログリフ入門	213026	②	②	②	②					1	◎	※T4
歴史・考古	ヒエログリフ・テキスト解読	213027			②	②	②	②	②	②	2	◎	
歴史・考古	古代エジプト史	213028	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
歴史・考古	古代オリエント文化史	213029	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	隔年開講 (心理・現代)
歴史・考古	西洋中・近世史	213030	②	②	②	②	②	②			1	◎	
歴史・考古	キリスト教文化史	213031	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	他学科教職履修者(心理・現代)のみ可
歴史・考古	東洋史概説	213032	②	②	②	②	②	②			1	◎同	(心理・現代)
歴史・考古	東シナ海文化交流史	213033	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	(国際)
歴史・考古	考古学概論	213034	②	②	②	②	②	②			2	◎	学部生のみ可 ※S1、2考
歴史・考古	考古学基礎	213035	②	②	②	②					1		※T5
歴史・考古	実験考古学	213036	②		②		②		②		2	◎	※2考
歴史・考古	考古学実習A	213037	①		①		①		①		2	◎	※2考
歴史・考古	考古学実習B	213038		①		①		①		①	2	◎	※2考
歴史・考古	日本考古学特論A－縄文－	213039			②	②	②	②	②	②	3	◎	※2考
歴史・考古	日本考古学特論B－弥生・古墳－	213040			②	②	②	②	②	②	2	◎	※2考

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
歴史・考古	日本考古学特論C－中世・近世－	213041			②		②		②		2	◎	
	アジア考古学	213042	②	②	②	②					2	◎	
	アジア考古学特論	213043			②	②	②	②	②	②	3		
美術・伝統文化	日本美術史概説	213044	②	②	②	②					1	◎	学部生のみ可　※S2
	日本美術史基礎	213045	②	②	②	②					1	◎	学部生のみ可　※T6
	日本美術史特論A－江戸絵画－	213046				②		②		②	2	◎	学部生のみ可、隔年開講
	日本美術史特論B－鎌倉美術－	213047				②		②		②	2	◎	学部生のみ可、隔年開講
	工芸史	213048	②		②		②				2	◎	
	東洋美術史概説	213049			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	西洋美術史基礎	213050	②	②	②	②	②	②			1		※T7
	西洋美術史概論	213051	②	②	②	②	②	②			1	◎	※S3
	西洋美術史特論－スペイン美術－	213052			②	②	②	②	②	②	3	◎	※2
	美術館論Ⅰ－地域と美術館－	213053	②		②		②		②		2	◎	
	美術館論Ⅱ－美術の周辺－	213054		②		②		②		②	2	◎	
	日本建築史	213055	②	②	②	②	②	②			1	◎同	（文化）
	ヨーロッパ建築史	213056	②		②		②				2	◎	
	日本芸能史	213057	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	
	日本芸能史基礎－調査法－	213058		②		②		②		②	1	◎学	※T8
	日本芸能史特論	213059			②	②	②	②	②	②	3	◎学	隔年開講
	演劇文化論	213060			②	②	②	②	②	②	3	◎学	隔年開講
	映画史	213061	②	②	②	②	②	②			2	◎	
	日本服飾史	213062	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	服飾史資料基礎	213063	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	※T9
	西洋服飾史	213064	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	染織工芸論	213065	②	②	②	②	②	②	②	②	2		
	文献取扱技能基礎	213066	②	②	②	②	②	②			1	◎	※T10
	仏教文化史	213067	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	
	歴史文化特論－寺社縁起の世界－	213068	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	禅と日本文化	213069	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	（心理・現代）
	伝統文化の現場	213070	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	
	茶道史・茶道演習	213071	②	①	②	①	②	①	②	①	3	◎	
地域と民族の文化	日本生活文化史概論	213072	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎学	※S4
	民俗学概論	213073	②	②	②	②					1	◎学	※S5　（国際）
	民俗調査法	213074	②		②		②		②		1	◎学	※T11
	民俗学特論A－地域と祭り・年中行事－	213075			②	②	②	②	②	②	3	◎学	※1
	民俗学特論B－民俗と民具－	213076	②		②		②		②		2	◎学	※1
	人文地理学概論	213077	②	②	②	②	②	②			1	◎	（心理・現代）　※S6
	自然地理学概論	213078	②	②	②	②	②	②			1	◎同	（心理・現代）
	地域調査法－フィールドサーヴェイ入門－	213079	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	※T12　隔年開講
	地理学特論－地理学の諸問題－	213080			②	②	②	②	②	②	2	◎	

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
地域と民族の文化	地誌通論A－日本地誌－	213081	②		②		②				2	◎同	(心理・現代)
	地誌通論B－世界地誌－	213082		②		②		②			2	◎同	(心理・現代)
	地域文化概論	213083	②	②	②	②	②	②	②	②	1	◎	隔年開講
	近代と地域文化	213084			②	②	②	②	②	②	2	◎	
	文化人類学概論	213085	②		②						1	◎同	※S7 夏季集中講義 (心理・現代・国際)
	北アジア文化特論	213086	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(現代)「地域研究(北アジア)」(前) 「東アジア言語社会研究」(後)
	フランス文化概説	213087	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	ヨーロッパ近代文化－パリを中心に－	213088	②	②	②	②	②	②	②	②	3	◎	隔年開講 ※3
	宗教学概論	213089	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	
	倫理学概論	213090	②	②	②	②	②	②	②	②	3		(心理・現代)
	経済学概論	213091	②		②		②				1	◎同	(教養)
	社会学概論	213092			②		②		②		3		
	法学概論(国際法を含む)	213093	②		②		②		②		3	同	(教養・心理・現代)
	現代政治論	213094			②		②		②		2	同	(現代)
文化財・博物館学	文化財の材料－にせ物発見－	213095	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎	※T13
	文化財保存学	213096	②	②	②	②					2	◎＃	
	文化財保存修復学基礎	213097	②	②	②	②					1	◎	※T14
	文化財保存修復学A	213098			②		②		②		2	◎	
	文化財保存修復学B	213099				②		②		②	2	◎	
	文化財保存修復学実習	213100			①	①	①	①	①	①	2		
	博物館学A－博物館学概論－	213101	②		②		②				1	◎＃	
	博物館学B－博物館資料論－	213102			②		②		②		2	◎＃	
	博物館学C－博物館経営論・情報論－	213103				②		②		②	2	◎＃	
	教育学概論	213104	②	②	②	②						◎★＃	
	生涯学習概論	213105		②		②		②			2	◎＃	
	視聴覚教育メディア論	213106	②	②	②	②	②	②			3	◎★＃	
	博物館実習Ⅰ	213107					①				3	◎＃	
	博物館実習Ⅱ	213108						①			3	◎＃	
	博物館実習Ⅲ	213109							①		4	◎＃	
	館務実習	213110								①	4	◎＃	短期集中
	ボストン・ミュージアムプログラム	213111	②		②		②		②		2	◎	
就職支援	実践的文章論	213112	②	②	②	②					1	同★	(日文) ※K
	取材とライティング	213113			①	①	①	①			2·3	同	(日文) ※K
	スピーチコミュニケーション基礎	213114	①								1	同	(日文) ※K
	地理歴史科教育法	213115			②	②	②	②			3	同	(教職)
	社会科教育法(教材研究)	213116			②	②	②	②	②	②	3		(教職)
演習	日本史演習A	213117					①	①			3		この中から2単位以上選択必修
	日本史演習B	213118					①	①			3		
	比較女性史論演習	213119					①	①			3		
	オリエント史演習	213120					①	①			3		

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
演習	東アジア文化史演習	213121					①	①			3		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
	日本考古学演習A	213122					①	①			3		
	日本考古学演習B	213123					①	①			3		
	アジア考古学演習	213124					①	①			3		
	日本美術史演習	213125					①	①			3		
	西洋美術史演習	213126					①	①			3		
	日本芸能史演習	213127					①	①			3		
	服飾文化史演習	213128					①	①			3		この中から2単位以上選択必修
	仏教文化史演習	213129					①	①			3		
	民俗学演習	213130					①	①			3		
	地域文化演習	213131					①	①			3		
	東アジア言語社会演習	213132					①	①			3	同	（現代）「言語社会演習」（3年後期）
	フランス文化演習	213133					①	①			3		
	文化財保存学演習	213134					①	①			3		
	文化財保存修復学演習	213135					①	①			3		
	歴史文化演習A	213136							①	①	4		この中から2単位以上選択必修
	歴史文化演習B	213137							①	①	4		
	歴史文化演習C	213138							①	①	4		
	歴史文化演習D	213139							①	①	4		
	歴史文化演習E	213140							①	①	4		
	歴史文化演習F	213141							①	①	4		
	歴史文化演習G	213142							①	①	4		この中から2単位以上選択必修
	歴史文化演習H	213143							①	①	4		
	歴史文化演習I	213144							①	①	4		
	歴史文化演習J	213145							①	①	4		
	歴史文化演習K	213146							①	①	4		
	歴史文化演習L	213147							①	①	4		
	歴史文化演習M	213148							①	①	4		
	歴史文化演習N	213149							①	①	4		
	歴史文化演習O	213150							①	①	4		
	歴史文化演習P	213151							①	①	4	同	（現代）「言語社会演習」（4年）
	歴史文化演習Q	213152							①	①	4		
	歴史文化演習R	213153							①	①	4		
	歴史文化演習S	213154							①	①	4		
卒業論文		213155							8				

※S1～S7の中から4単位以上選択必修

※T1～T14の中から4単位以上選択必修

※Kは一般教養科目の単位
※2考は2級考古調査士関連科目

※1履修条件:民俗学概論を履修していること
※2履修条件:西洋美術史概論を履修していること
※3履修条件:フランス文化概論を履修していること

6. 国際学科

授業科目				整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
複言語	基礎科目		基礎ゼミ	214001	1	1							1		
			インディペンダント・スタディーズⅠ	214002	①								1		
			インディペンダント・スタディーズⅡ	214003		①							1		
			インディペンダント・スタディーズⅢ	214004			①						2		
	外国語	国際言語（英語）	Comprehensive English for International Communication Ⅰ	214005	2								1		〔2×2〕
			Critical Reading Ⅰ	214006	1								1		
			Sounds of English	214007	1								1		
			Comprehensive English for International Communication Ⅱ	214008		2							1		〔2×2〕
			Critical Reading Ⅱ	214009		①							1		
			Grammar in Communication	214010		①							1		
			Comprehensive English for International Communication Ⅲ	214011			②						2		〔2×2〕
			Comprehensive English for International Communication Ⅳ	214012				2	2				2･3		〔2×2〕
			Comprehensive English for International Communication Ⅴ	214013					②				3		〔2×2〕
			Presentation on International Issues Ⅰ	214014					①		①		3･4		
			Presentation on International Issues Ⅱ	214015						①		①	3･4		
			Training in Grammar Ⅰ	214016	①		①						1･2		
			Training in Grammar Ⅱ	214017		①		①					1･2		
			Literary Reading Ⅰ	214018	①		①						1･2		
			Literary Reading Ⅱ	214019		①		①					1･2		
			Discussion on International Issues Ⅰ	214020					①		①		3		
			Discussion on International Issues Ⅱ	214021						①		①	3		
			Fluency in Speaking Ⅰ	214022	①		①						1･2		
			Fluency in Speaking Ⅱ	214023		①		①					1･2		
			Intermediate Authentic Listening Ⅰ	214024			①		①				2	同	(現代)
			Intermediate Authentic Listening Ⅱ	214025				①		①			2	同	(現代)
			Intermediate Authentic Listening Ⅲ	214026					①		①		3	同	(現代)
			Intermediate Authentic Listening Ⅳ	214027						①		①	3	同	(現代)
			Intermediate Intensive Reading Ⅰ	214028			①		①				2	同	(現代)
			Intermediate Intensive Reading Ⅱ	214029				①		①			2	同	(現代)
			Intermediate Intensive Reading Ⅲ	214030					①		①		3	同	(現代)
			Intermediate Intensive Reading Ⅳ	214031						①		①	3	同	(現代)
			Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅰ	214032			①		①				2	同	(現代)
			Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅱ	214033				①		①			2	同	(現代)
			Intermediate Discussion on Current Topics Ⅲ	214034					①		①		3	同	(現代)
			Intermediate Discussion on Current Topics Ⅳ	214035						①		①	3	同	(現代)
			Intermediate Extensive Reading Ⅰ	214036			①		①				2	同	(現代)
			Intermediate Extensive Reading Ⅱ	214037				①		①			2	同	(現代)
			Intermediate Extensive Reading Ⅲ	214038					①		①		3	同	(現代)
			Intermediate Extensive Reading Ⅳ	214039						①		①	3	同	(現代)
			Intermediate Grammer Workhop Ⅰ	214040			①		①				2	同	(現代)

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
複言語	外国語	国際言語（英語）		Intermediate Grammer Workhop Ⅱ	214041			①		①			2	同	(現代)
				Intermediate Grammer Workhop Ⅲ	214042				①		①		3	同	(現代)
				Intermediate Grammer Workhop Ⅳ	214043					①		①	3	同	(現代)
				Intermediate Oral Expression Ⅰ	214044		①		①				2	同	(現代)
				Intermediate Oral Expression Ⅱ	214045			①		①			2	同	(現代)
				Intermediate TOEIC Preparation Ⅰ	214046		①		①				2	同	(現代)
				Intermediate TOEIC Preparation Ⅱ	214047			①		①			2	同	(現代)
				Intermediate TOEIC Preparation Ⅲ	214048				①		①		3	同	(現代)
				Intermediate TOEIC Preparation Ⅳ	214049					①		①	3	同	(現代)
				Advanced Authentic Listening Ⅰ	214050		①		①				2	同	(現代)
				Advanced Authentic Listening Ⅱ	214051			①		①			2	同	(現代)
				Advanced Discussion on Current Topics Ⅰ	214052		①		①				2	同	(現代)
				Advanced Discussion on Current Topics Ⅱ	214053			①		①			2	同	(現代)
				Advanced Extensive Reading Ⅰ	214054		①		①				2	同	(現代)
				Advanced Extensive Reading Ⅱ	214055			①		①			2	同	(現代)
				Advanced Extensive Reading Ⅲ	214056				①		①		3	同	(現代)
				Advanced Extensive Reading Ⅳ	214057					①		①	3	同	(現代)
				Advanced Writeing on Current Topics Ⅰ	214058		①		①				2	同	(現代)
				Advanced Writeing on Current Topics Ⅱ	214059			①		①			2	同	(現代)
				Advanced Writeing on Current Topics Ⅲ	214060				①		①		3	同	(現代)
				Advanced Writeing on Current Topics Ⅳ	214061					①		①	3	同	(現代)
			ボストンイマージョンプログラムⅠ	Listening/Speaking	214062		②						2		〔2×2〕
				Reading/Vocabulary	214063		②						2		〔2×2〕
				Writing/Grammar	214064		②						2		〔2×2〕
				Extensive Reading	214065		①						2		
				Pronunciation	214066		①						2		
				American Current Topics	214067		②						2		〔2×2〕 一般教養科目として履修
				Field Trips	214068		②						2		
				Community Service	214069		④						2		
			ボストンイマージョンプログラムⅡ	Intensive Speaking and Listening	214070			1					2		
				Intensive Reading	214071			1					2		
				Intensive Writing	214072			1					2		
				Speaking and Listening B Ⅰ	214073			2					2		
				Reading B Ⅰ	214074			2					2		
				Grammar and Writing B Ⅰ	214075			2					2		
				TOEIC Preparation B Ⅰ	214076			1					2		
				New England Studies	214077			2					2		
				Discussion of American Issues	214078			2					2		
				GE Elective A	214079			④					2		一般教養科目として2科目(8単位)を選択履修
				GE Elective B	214080			④					2		A:社会事情(Social Issues) B:福祉ボランティア(Volunteering)

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
複言語	外国語	国際言語(英語)	ボストンマージョンプログラムⅡ	GE Elective C	214081			④					2		C:ビジネス(Business) D:西洋と日本の芸術(Art in the West and Japan) E:日本語教育(Teaching Japanese) F:その他(Others)
				GE Elective D	214082			④					2		
				GE Elective E	214083			④					2		
				GE Elective F	214084			④					2		
		地域言語	ヨーロッパ言語	フランス語集中コア	214085	②							1		〔2×2〕
				フランス語集中イマージョン	214086	②							1		〔2×2〕
				ドイツ語集中コア	214087	②							1		〔2×2〕
				ドイツ語集中イマージョン	214088	②							1		〔2×2〕
				スペイン語集中コア	214089	②							1		〔2×2〕
				スペイン語集中イマージョン	214090	②							1		〔2×2〕
				フランス語中級コアa	214091			①					2		
				フランス語中級コアb	214092			①					2	◎	
				ドイツ語中級コアa	214093			①					2		
				ドイツ語中級コアb	214094			①					2	◎	
				スペイン語中級コアa	214095			①					2		
				スペイン語中級コアb	214096			①					2	◎	
				フランス語中上級コアa	214097				①				3		
				フランス語中上級コアb	214098				①				3	◎	
				ドイツ語中上級コアa	214099				①				3		
				ドイツ語中上級コアb	214100				①				3	◎	
				スペイン語中上級コアa	214101				①				3		
				スペイン語中上級コアb	214102				①				3	◎	
			ボストン	French Immersion	214103		②						2		〔2×2〕
				German Immersion	214104		②						2		〔2×2〕
				Spanish Immersion	214105		②						2		〔2×2〕
			海外語学演習	海外語学演習(英語)Ⅰ～Ⅹ	214106	②	②	②	②	②	②	②	②	2·3		
				海外語学演習(フランス語)Ⅰ～Ⅹ	214107	②	②	②	②	②	②	②	②	2·3		
				海外語学演習(ドイツ語)Ⅰ～Ⅹ	214108	②	②	②	②	②	②	②	②	2·3		
				海外語学演習(スペイン語)Ⅰ～Ⅹ	214109	②	②	②	②	②	②	②	②	2·3		
			アジア言語	中国語集中コア	214110		②						1		〔2×2〕
				中国語集中イマージョン	214111		②						1		〔2×2〕
				中国語集中実践	214112		②						1		〔2×2〕
				韓国語集中コア	214113		②						1		〔2×2〕
				韓国語集中イマージョン	214114		②						1		〔2×2〕
				韓国語集中実践	214115		②						1		〔2×2〕
				中国語中級コアa	214116			①					2		
				中国語中級コアb	214117			①					2		
				中国語中級イマージョンa	214118			①					2	◎	
				中国語中級イマージョンb	214119			①					2	◎	
				中国語中級実践a	214120			①					2	◎	

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目					整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
複言語	外国語	地域言語	アジア言語	中国語中級実践b	214121			①						2	◎	
				韓国語中級コアa	214122			①						2		
				韓国語中級コアb	214123			①						2		
				韓国語中級イマージョンa	214124			①						2	◎	
				韓国語中級イマージョンb	214125			①						2	◎	
				韓国語中級実践a	214126			①						2	◎	
				韓国語中級実践b	214127			①						2	◎	
				中国語上級コアa	214128					①				3		
				中国語上級コアb	214129					①				3	◎	
				韓国語上級コアa	214130					①				3		
				韓国語上級コアb	214131					①				3	◎	
			海外語学演習	海外語学演習(中国語)Ⅰ～Ⅹ	214132	②	②	②	②	②	②	②	②	2･3		
				海外語学演習(韓国語)Ⅰ～Ⅹ	214133	②	②	②	②	②	②	②	②	2･3		
		日本語		文章トレーニング基礎	214134	1	1							1	★	1年前期もしくは後期のいずれかに履修する
				スピーチトレーニング基礎	214135	1	1							1	★	
				文章トレーニング各論(ビジネス文章)	214136			①		①				2･3	◎学同	(日文)
				スピーチトレーニング各論(プレゼンテーション)	214137				①		①			2･3	◎学同	(日文)
				スピーチトレーニング各論(朗読)	214138				①		①			2･3	◎学同	(日文)
国際社会・多文化共生				言語文化総論	214139	2								1		
				国際社会入門	214140	2								1		
				異文化コミュニケーション	214141	2								1		日本語教育関連科目
				比較社会論	214142	②								1	◎	
				比較文化論	214143		②							1	◎	
				世界の開発と環境	214144		②							1	◎	
				新聞で知る日本と世界	214145	②		②						1	同	(現代)
				文化人類学概論	214146	②		②						1	◎同	(歴文) 夏季集中講義
				多文化共生論	214147				②					2	◎	
				国際社会論Ⅰ(ことばと社会)	214148				②					2	◎	日本語教育関連科目
				国際社会論Ⅱ(グローバル・ソサエティー)	214149				②					2	◎	
				国際社会論Ⅲ(世界の宗教)	214150	②		②						2	◎	
				現代日本の国際関係	214151			②		②				2	同	(現代)
				国際機関の歴史	214152				②		②			3	◎	
				国際社会と法	214153				②		②			2	◎	
			外国語で学ぶ	異文化コミュニケーション(英語)	214154				②		②			3	◎同	(英コミ)
				開発と環境(英語)	214155					②				3	◎同	(英コミ)
				開発援助(英語)	214156				②		②			3	◎同	(英コミ)
				NPOの組織と活動(英語)	214157						②			3	◎同	(英コミ)
				世界の英語(英語)	214158					②				3	◎	
日本研究				日本社会概論Ⅰ(外から見た日本)	214159		②							1		
				日本社会概論Ⅱ(多文化社会としての日本)	214160	②								1	◎	

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
日本研究		民俗学概論	214161	②	②	②	②					1	◎学同	(歴文)
		日本の社会とビジネス	214162		②		②					1	同	(現代) オムニバス
		現代政治論	214163			②		②		②		2·3	同	(現代)
		日本のサブカルチャー論	214164	②								1	◎	
		日本近現代史	214165	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	(歴文)
		日本近現代史特論	214166	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(歴文)
		外からみた日本文学	214167			②	②	②	②	②	②	3	同	(日文)
	外国語で学ぶ	日本社会概論(英語)	214168					②				3	◎	
		日本経済とビジネス(英語)	214169						②			3	◎同	(英コミ)
		日本近現代史(英語)	214170				②		②			3	◎	
		日本の女性と労働(英語)	214171				②		②			3	◎	
		外からみた日本(英語)	214172				②		②			3	◎	
地域研究	アメリカ・ヨーロッパ	アメリカの政治と社会	214173	②	②							1·2	★	
		アメリカ現代史	214174	②	②							1·2	★	
		アメリカの社会と文化	214175				②		②			2·3	◎学	
		アメリカの社会と宗教	214176				②		②			2·3		
		ラテンアメリカの政治と社会	214177				②		②			2·3	◎学	
		ラテンアメリカ現代史	214178			②		②				2·3		
		EUの政治と経済	214179				②		②			2·3		
		ヨーロッパの外国語教育	214180				②		②			2·3		
		イギリスの社会と文化	214181				②		②			2·3	◎学	
		フランスの社会と文化	214182				②		②			2·3	◎学	
	外国語で学ぶ	アメリカ現代史(英語)	214183				②		②			3	同	(英コミ)
		アメリカの政治と社会(英語)	214184					②				3	同	(英コミ)
		アメリカの社会と移民(英語)	214185					②				3		
		中欧の民族と文化(英語)	214186				②		②			3	◎学	
		フランスの社会と文化(フランス語)	214187					②				3	◎学	
		ドイツの社会と文化(ドイツ語)	214188					②				3	◎学	
		ラテンアメリカの社会と文化(スペイン語)	214189					②				3	◎学	
	アジア	中国現代史	214190			②		②				2·3		
		中国の国家と民族	214191			②		②				2·3		
		中国の開発と環境	214192			②		②				2·3		
		韓国の社会と文化	214193				②		②			2·3	◎学	
		東南アジアの政治と経済	214194			②		②				2·3		
		東南アジアの社会と文化	214195				②		②			2·3	◎学	
		東シナ海文化交流史	214196	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(歴文)
	外国語で学ぶ	中国の現代社会(中国語)	214197						②			3	◎学	
		中国の社会と言語(中国語)	214198						②			3		
		中国現代史(中国語)	214199						②			3		
		韓国の社会と文化(韓国語)	214200						②			3	◎学	
		韓国の社会とビジネス(韓国語)	214201						②			3		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

		授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
国際貢献・地域貢献		国際協力入門	214202		2							1		
		NGO活動と国際貢献	214203			②						2	◎	
		開発援助と経済	214204				②					2	◎	
		NPOマネジメント入門	214205			②						2	◎	
		ボランティア論	214206	②		②		②				1	同	(総合)
		コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	214207		②		②		②		②	-	同	(総合) 受講条件:「ボランティア論」の単位を修得済みのこと。
		国際福祉論	214208					②		②		3・4	◎同	(福祉)
		福祉NPO	214209					②		②		3・4	◎同	(福祉) 受講条件:「ボランティア論」の単位を修得済みであることが望ましい。
		国際ボランティア(単位認定)	214210			②	②	②	②	②	②	2・3・4		
		NPO/NGOインターンシップ(単位認定)	214211			②	②	②	②	②	②	2・3・4		
グローバルキャリア(国際学科専用教養科目)	ビジネス	現代企業論(組織と戦略)	214212			②		②				2	◎同	(現代)
		企業と広報	214213	②		②						1	◎同	(現代)
		グローバルマーケティングⅠ	214214			②		②				2・3	◎学	
		グローバルマーケティングⅡ	214215				②		②			2・3	◎学	
		社会的起業論	214216						②			3	◎	
		ツーリズム論	214217					②	②			3	◎学同★	(英コミ)
		ホスピタリティ・マネージメント	214218					②	②			3	◎学同★	(英コミ)
		顧客コミュニケーション	214219					②		②		3	◎学同	(英コミ)
		世界ビジネス事情	214220					②				3	◎学	
		Business Communication A	214221					②		②		3	同	(英コミ)
		Business Communication B	214222						②		②	3	同	(英コミ)
		日英逐次通訳研究Ⅰ	214223					②				3	◎同	(英コミ)
		日英逐次通訳研究Ⅱ	214224						②			3	◎同	(英コミ)
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅰ	214225	②		②						1・2	同	(英コミ)
		日英翻訳研究(フィクション)Ⅱ	214226		②		②					1・2	同	(英コミ)
		日英翻訳研究(ノンフィクション)	214227						②			3	同	(英コミ)
		通訳実践トレーニング	214228						②		②	3	同	(英コミ)
		国内・海外企業インターンシップ(単位認定)	214229			②	②	②	②	②	②	2・3・4		
	情報	メディアコミュニケーションⅠ(文書作成、データ管理)	214230	1								1		
		メディアコミュニケーションⅡ(情報検索、メール作成、SNS)	214231		1							1		
		メディアコミュニケーションⅢ(効果的なプレゼンテーション)	214232			①						2	◎学	
		メディアコミュニケーションⅣ(Web 制作)	214233				①					2	◎学	
		イメージ編集Ⅰ(CG/写真加工)	214234			①		①				3	◎学同	(文化:コンピュータスキルB Photoshop Illustrator)
		イメージ編集Ⅱ(CG/写真加工)	214235				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキルB Photoshop Illustrator)
		WEBデザインA	214236			①		①				3	◎学同	(文化:コンピュータスキルC WEB)
		WEBデザインB	214237				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキルC WEB)
		DTP編集Ⅰ	214238			①		①				3	◎学同	(文化:コンピュータスキルF　デジタル編集)
		DTP編集Ⅱ	214239				①		①			3	◎学同	(文化:コンピュータスキルF　デジタル編集)
		ITと社会の変容	214240			②	②	②	②			3	◎学同★	(英コミ)
		メディアリテラシー概論	214241						②		②	3	◎学同	(英コミ)
		情報技術と倫理	214242					②		②		3	◎学同	(英コミ)

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	学年 3年次 前期	学年 3年次 後期	学年 4年次 前期	学年 4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
国際貢献・グローバルキャリア	日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	214243	②		②						1	◎同	(日文) 隔年開講
			言語政策論Ⅰ	214244			②		②		②		3	◎同	(日文)
			言語政策論Ⅱ	214245			②		②		②		3	◎同	(日文)
		言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	214246	②		②		②				1	◎同	(日文)
			異文化間コミュニケーションⅡ	214247		②		②		②			1	◎同	(日文)
			社会言語学	214248		②		②		②		②	2	◎同	(日文)
		言語と心理	第二言語教育概説	214249	②		②		②				2	◎同	(日文)
			第二言語習得論	214250		②		②		②			2	◎同	(日文)
		言語と教育	日本語教育概論Ⅱ	214251	②		②						1	◎同	(日文) 隔年開講
			日本語教育学ⅠA(音声)	214252	②		②		②				2	◎同	(日文)
			日本語教育学ⅠB(書写)	214253			②		②				2	◎同	(日文)
			日本語教育学ⅠC(文法)	214254	②	②	②	②	②	②			2	◎同	(日文)
			日本語教育学ⅡA(聴解・会話)	214255				②		②		②	3	◎同	(日文) 隔年開講
			日本語教育学ⅡB(作文・読解)	214256			②	②	②	②			3	◎同	(日文)
			日本語教育学ⅡC(教材・教具)	214257				②		②			2	◎同	(日文)
			コースデザイン・評価論	214258				②		②		②	3	◎同	(日文) 隔年開講
			日本語教育指導方法論	214259			②		②				2	◎同	(日文) 隔年開講
			日本語教育実習Ⅰ(教壇'YY)	214260					①	①	①	①	3	◎同	(日文)
			日本語教育実習Ⅱ(教壇'YY)	214261					①	①	①	①	3	◎同	(日文)
			日本語教育実習(個別'YY)	214262			①	①	①	①	①	①	3	◎同	(日文)
			日本語教育実習(海外'YY)	214263			①	①	①	①	①	①	3	◎同	(日文)
			日本語教育言語分析法研究	214264	②		②		②		②		2	◎同	(日文)
			日本語文法論	214265	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎同	(日文)
			日本語表現法	214266		②		②		②			2	◎同	(日文)
			日英対照研究	214267				②		②		②	3	◎同	(日文)
			日韓対照研究	214268				②		②		②	3	◎同	(日文)
			日中対照研究	214269				②		②		②	3	◎同	(日文)
卒業演習			比較文化演習Ⅰ～Ⅲ	214270						①	①	①	3･4		
			国際協力演習Ⅰ～Ⅲ	214271						①	①	①	3･4		
			NPOマネジメント演習Ⅰ～Ⅲ	214272						①	①	①	3･4		
			地域演習A(アメリカ)Ⅰ～Ⅲ	214273						①	①	①	3･4		
			地域演習B(アメリカ)Ⅰ～Ⅲ	214274						①	①	①	3･4		
			地域演習C(ヨーロッパ)Ⅰ～Ⅲ	214275						①	①	①	3･4		
			地域演習D(ヨーロッパ)Ⅰ～Ⅲ	214276						①	①	①	3･4		
			地域演習E(中国)Ⅰ～Ⅲ	214277						①	①	①	3･4		
			地域演習F(韓国)Ⅰ～Ⅲ	214278						①	①	①	3･4		
			日本社会演習Ⅰ～Ⅲ	214279						①	①	①	3･4		
			言語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅲ	214280						①	①	①	3･4		
卒業論文・卒業プロジェクト				214281							6		4		

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

日本語教育実習4科目('YY)には、年度(西暦)が表記される。複数回履修可。

3単位以上選択必修

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
資格関連	社会調査士	社会科学と社会調査	214282			②		②				2	同	（人間社会学部）社会調査士 A
		社会調査の理論と方法	214283			②		②				2･3	同	（人間社会学部）社会調査士 B
		情報機器の操作とデータ分析	214284		②							1	同	（人間社会学部）社会調査士 C
		社会経済統計Ⅰ	214285			②	②	②	②	②		3	同	（人間社会学部）社会調査士 D
		社会経済統計Ⅱ	214286				②	②	②	②	②	3･4	同	（人間社会学部）社会調査士 E
		フィールドワークと質的分析	214287				②		②			2･3	同	（人間社会学部）社会調査士 F
		社会調査実習Ⅰ	214288					②	②	②		3･4	同	（人間社会学部）社会調査士 G
		社会調査実習Ⅱ	214289						②	②	②	3･4	同	（人間社会学部）社会調査士 G
	教職科目（英語）	ことばの成り立ちと仕組み	214290					②		②		3	同	（英コミ：形態論）
		社会言語学（言葉と場面）	214291						②		②	3	同	（英コミ：社会言語学）
		20 世紀アメリカ小説 C	214292			②		②		②		3	同	（英コミ：アメリカ散文 A）
		20 世紀アメリカ小説 D	214293				②		②		②	3	同	（英コミ：アメリカ散文 B）
		19 世紀イギリス小説（ヴィクトリア朝の肖像）	214294			②		②	②	②	②	3	同★	（英コミ：イギリス散文 A・イギリス散文 B）

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③□印は同系列学生履修可
④同印は同時開設科目
⑤★印前・後期同一内容
⑥＃印は一般教養にならない

1.「グローバルキャリア（国際学科専用教育科目）」は一般教養科目として認める。但し、必修科目については専門科目として認める。
2. 認定留学について
上海交通大学留学プログラム、ソウル女子大学留学プログラム、および大学が認定する留学プログラムにおいて修得した単位は、留学期間 1 セメスター 15 単位、2 セメスター 30 単位を上限として卒業要件単位として認める。
3. 日本語関連科目について
国際学科開設選択科目の中で「日本語教育関連科目」の表示がある科目は日本語教育専攻に必要な科目として読み替えること（ダブルカウント）ができる。なお、詳細については日本語日本文学科に問い合わせること。

○語学単位認定について

本学科では下記の資格と TOEIC（IP テストを含む）のスコアを専門科目の卒業要件単位として認定しています。認定される単位数は以下の通りとします。

単位	英語		フランス語	ドイツ語		スペイン語	韓国語		中国語
	TOEIC	実用英語技能検定	実用フランス語技能検定	ドイツ語技能検定	ドイツ語統一試験	スペイン語検定試験	「ハングル」能力検定試験	韓国語能力試験	中国語検定
1単位	650点以上		3級	3級	ZD	4級			3級
2単位	730点以上	準1級	2級	2級		3級	2級	5級	2級
4単位	850点以上	1級	準1級	準1級	ZMP	2級	1級	6級	準1級

注１：認定される単位は最高 4 単位までとし、下位の認定を受けたものがさらに上位の「級」または「スコア」を取得した場合には　既得認定単位との差が加算される。
注２：同一言語で 2 つの検定を取得した場合は、高いレベルのどちらか一方の単位を認定する。

○社会調査士について（国際学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、E と F はどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、A・B 科目を履修した後に G 科目を、C・D 科目を履修した後に E 科目を履修してください。F は履修順序に関係なく履修することができます。

	科目名	開講年次・学期	備　考
A	社会科学と社会調査	2・3 年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3 年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	情報機器の操作とデータ分析	1 年　後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	3・4 年　前期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	3・4 年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3 年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4 年　前期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4 年　後期	

7. 心理学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	221001	②		②						1	同	現代教養分野※ / （現代・福祉・初教）※少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修
		社会をみる目Ⅱ	221002		②		②					1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅰ	221003	②		②						1	同	現代教養分野※
		経済をみる目Ⅱ	221004		②		②					1	同	現代教養分野※
		社会福祉の歴史	221005	②		②						1	同	福祉社会分野※
		社会福祉哲学	221006	②		②						1	同	福祉社会分野※
		人間形成原論	221007	②		②						1	同◎	初等教育分野※
		教育哲学	221008		②		②					1	同◎	初等教育分野※
総論		心理学概説Ⅰ	221009	2								1	同	（現代・福祉・初教）
		心理学概説Ⅱ	221010		2							1	同	（現代・福祉・初教）
		発達心理学	221011	2								1		
		社会心理学	221012		2							1		
		臨床心理学	221013			2						2		
研究法		心理基礎実験	221014	2								1		〔4〕
		心理統計法	221015		2							1		社会調査士D
		データ解析実習Ⅰ	221016			2						2		社会調査士C
		データ解析実習Ⅱ	221017				2					2		社会調査士E
		心理学研究法	221018			2						2		
		心理臨床面接実習	221019					②		②		3		〔4〕 / 4単位以上選択必修
		心理実験法実習	221020					②		②		3		〔4〕 / 4単位以上選択必修
		質問紙調査法実習	221021					②	②	②	②	3	★	社会調査士G 〔4〕 / 4単位以上選択必修
		心理査定法実習	221022						②		②	3		〔4〕 / 4単位以上選択必修
各論		アメリカ心理学事情（ボストンサマーセッション）	221023	②		②		②		②		–		
		心理支援コミュニティ・サービスラーニング	221024	②		②		②		②		2		前・後期を通年でとること
		児童心理学	221025		②		②		②		②	1	◎	*注1 20単位以上選択必修
		青年心理学	221026		②		②		②		②	1	◎	*注1 20単位以上選択必修
		乳幼児心理学	221027		②		②		②		②	1		*注1 20単位以上選択必修
		学習心理学	221028				②		②		②	2		*注1 20単位以上選択必修
		家族葛藤の心理学	221029				②		②		②	2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		家族心理学	221030			②		②		②		2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		感情心理学	221031				②		②		②	2		*注1 20単位以上選択必修
		教育心理学	221032			②		②		②		2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		広告と消費の心理学	221033				②		②		②	2		*注1 20単位以上選択必修
		災害の社会心理学	221034				②		②		②	2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		産業組織心理学	221035			②		②		②		2		*注1 20単位以上選択必修
		思考心理学	221036				②		②		②	2		*注1 20単位以上選択必修
		集団の社会心理学	221037			②		②		②		2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		人格心理学	221038			②		②		②		2	◎	*注1 20単位以上選択必修
		精神医学	221039			②	②	②	②	②	②	2	同	（福祉：前期のみ）
		生理心理学	221040				②		②		②	2		*注1 20単位以上選択必修

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
													開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
各論	対人関係論	221041				②		②		②	2	◎	
	認知心理学	221042			②		②		②		2		
	発達臨床心理学	221043				②		②		②	2		
	比較行動学（心理）	221044			②		②		②		2	◎	
	非行臨床心理学	221045				②		②		②	2		
	マスコミュニケーションの社会心理学	221046			②		②		②		2	◎	
	臨床心理面接	221047				②		②		②	2		
	臨床心理地域援助	221048				②		②		②	2		
	観光心理学	221049					②		②		3		
	健康心理学	221050					②		②		3		
	心理アセスメント	221051					②		②		3		
	心理学外書講読	221052					②		②		3		
	精神分析理論	221053						②		②	3	◎	
	犯罪心理学	221054						②		②	3	◎	
演習	心理学入門演習	221055				2					2		2単位必修
	心理学基礎演習	221056					2	2			3		4単位必修
	臨床心理学演習A	221057							②	②	4		4単位以上選択必修
	臨床心理学演習B	221058							②	②	4		
	臨床心理学演習C	221059							②	②	4		
	臨床心理学演習D	221060							②	②	4		
	臨床心理学演習E	221061							②	②	4		
	社会心理学演習A	221062							②	②	4		
	社会心理学演習B	221063							②	②	4		
	社会心理学演習C	221064							②	②	4		
	社会心理学演習D	221065							②	②	4		
	発達心理学演習A	221066							②	②	4		
	発達心理学演習B	221067							②	②	4		
	発達心理学演習C	221068							②	②	4		
	発達心理学演習D	221069							②	②	4		
	認知心理学演習A	221070							②	②	4		
	認知心理学演習B	221071							②	②	4		
卒業論文		221072							8		4		
教科専門科目 *注2	法学概論（国際法を含む）	221073	②		②		②		②		3	同	（教養・歴文・現代）▼
	現代政治論	221074			②		②		②		2	同	（現代・歴文・国際）
	社会学	221075	②		②		②				1	同	（現代）▼
	現代社会論	221076				②		②		②	2	同◎	（現代）
	哲学概論	221077	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同	（教養・現代）▼
	倫理学概論	221078	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文・現代）
	歴史学概論	221079	②		②		②				1	同	（歴文・現代）
	日本史通論	221080			②		②		②		2	同	（歴文・現代）

授業科目		整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	備考
			単位		単位		単位		単位				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
教科専門科目 *注2	世界史通論	221081				②		②		②	2・3	同	(歴文・現代)
	日本中世史	221082	②	②	②	②	②	②			2	同◎	(歴文・現代)
	日本近世史	221083	②	②	②	②	②	②			1	同◎	(歴文・現代) 隔年開講
	日本近現代史	221084	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同◎	(歴文・現代・国際)
	古代オリエント文化史	221085	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同◎	(歴文・現代) 隔年開講
	東洋史概説	221086	②	②	②	②	②	②			1	同◎	(歴文・現代)
	人文地理学概論	221087	②	②	②	②	②	②			1	同◎	(歴文・現代)
	自然地理学概論	221088	②	②	②	②	②	②			1	同◎	(歴文・現代)
	地誌通論A－日本地誌－	221089	②		②		②				2	同◎	(歴文・現代)
	地誌通論B－世界地誌－	221090		②		②		②			2	同◎	(歴文・現代)
	日本女性史	221091	②	②	②	②	②	②			2	同	(歴文・現代)
	比較女性史論	221092		②		②		②		②	2	同◎	(歴文・現代)
	文化人類学概論	221093	②		②						1	同◎	(歴文・現代・国際) 夏期集中講義
	キリスト教文化史	221094	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同◎	(歴文・現代)
	禅と日本文化	221095	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同◎	(歴文・現代)
社会調査士	社会科学と社会調査	221096			②		②		②		2・3	同	社会調査士A (現代・福祉・初教)
	社会調査の理論と方法	221097			②		②		②		2・3	同	社会調査士B (現代・福祉・初教)
	フィールドワークと質的分析	221098				②		②		②	2・3	同	社会調査士F (現代・福祉・初教)

＊注1　必修および選択必修の最低単位数以外にさらに 10 単位の履修が必要。
教職免許か社会調査士取得を目指さない者は各論からさらに 10 単位分を履修することが望ましい。

＊注2　心理学科の学部共通科目および教科専門科目に記載されている科目は、他学科の授業科目一覧表中で、◎がついていても一般教養科目として履修することができないため充分に注意すること。

＊注3　「▼」がついている科目に限り、一般教養として履修することも可能であるが、履修登録手続きの際には間違えないよう注意すること。

○社会調査士について　（心理学科）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を修得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、ＥとＦはどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、Ｃ・Ｄ科目を履修した後にＥ科目を履修してください。また、Ｇ科目の履修にあたっては、Ａ・Ｂ科目を履修済みであることが望ましく、少なくとも同時に履修中であるようにしてください。Ｆは履修順序に関係なく履修することができます。

平成20年度以降入学者が履修する科目

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	２・３年　前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	２・３年　前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	データ解析実習Ⅰ	２年　前期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	心理統計法	１年　後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	データ解析実習Ⅱ	２年　後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	２・３年　後期	質的な分析の方法に関する科目
G	質問紙調査法実習	３・４年　前・後期	社会調査の実習を中心とする科目

○認定心理士資格取得に必要な科目（平成20年度以降入学者用）

認定心理士の資格認定に必要な単位は「基礎科目」と「選択科目」の２種に「その他の科目」を加えた３種類に分類されています。このうち、「基礎科目」は３領域の合計で最低12単位以上、「選択科目」は５領域の合計で最低16単位以上、および「その他」の心理学関係の単位を加えた総計36単位以上の単位が必要と決められています。

ａからｉまでのカテゴリーごとに、心理学科で開設している該当科目を以下に示しました。**太字科目**は必修科目、その他の科目は選択必修科目です。

①基礎科目　　下記３領域について、ａ、ｂは各４単位、ｃは３単位以上を含む基礎科目合計12単位以上であること

ａ．心理学概論……**心理学概説Ⅰ、心理学概説Ⅱ**

ｂ．心理学研究法……**心理統計法、データ解析実習Ⅰ、データ解析実習Ⅱ、心理学研究法**

ｃ．心理学実験・実習……**心理基礎実験**、心理実験法実習、心理査定法実習、心理臨床面接実習

②選択科目　　下記５領域中３領域で各４単位以上を含み，合計16単位以上であること

ｄ．知覚心理学・学習心理学……認知心理学、学習心理学、思考心理学、感情心理学

ｅ．生理心理学・比較心理学……生理心理学、比較行動学

ｆ．教育心理学・発達心理学……**発達心理学**、教育心理学、児童心理学、青年心理学、発達臨床心理学、乳幼児心理学

ｇ．臨床心理学・人格心理学……**臨床心理学**、人格心理学、非行臨床心理学、健康心理学、犯罪心理学、心理アセスメント、精神医学、臨床心理面接、臨床心理地域援助、精神分析理論

ｈ．社会心理学・産業心理学……**社会心理学**、産業組織心理学、広告と消費の心理学、集団の社会心理学、対人関係論、マスコミュニケーションの社会心理学、家族葛藤の心理学、家族心理学、質問紙調査法実習

③その他の科目（①と②の合計単位数が36単位以上の場合は必ずしも必要ではない）

ｉ．心理学関連科目．卒業論文・卒業研究……**卒業論文**

④総単位　　総計36単位以上

（社団法人日本心理学会認定心理士資格申請の手引き第４版より）

8. 福祉社会学科

		授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	コース別履修方法 前期	コース別履修方法 後期	備考
学部共通科目	人間社会学総論	社会をみる目Ⅰ	222001	②		②						1·2	同			現代教養分野
		社会をみる目Ⅱ	222002		②		②					1·2	同			現代教養分野
		経済をみる目Ⅰ	222003	②		②						1·2	同			現代教養分野
		経済をみる目Ⅱ	222004		②		②					1·2	同			現代教養分野
		心理学概説Ⅰ	222005	②		②						1·2	同			心理分野
		心理学概説Ⅱ	222006		②		②					1·2	同			心理分野
		社会心理学	222007		②		②					1·2	同			心理分野
		人間形成原論	222008	②		②						1·2	◎同			初等教育分野
		教育哲学	222009		②		②					1·2	◎同			初等教育分野
																（現代·心理·初教） ※少なくとも2分野から2単位、合計4単位以上選択必修
学科共通科目		福祉社会総論	222010	2								1				
		福祉社会とボランティア	222011	2	②							1	◎(後期)★			※（教養）「ボランティア論」と重複しての履修不可
		コミュニティ・サービスラーニング（福祉社会とボランティア）	222012		②		②					1	◎			学科推奨科目　一般教養科目としても履修可（注）参照 ※受講条件：「福祉社会とボランティア」または（教養）「ボランティア論」の単位を取得済みのこと
		女性とキャリア形成	222013			2						2	◎同			（現代「ジェンダーと社会」）
		社会福祉哲学	222014	②		②						1·2	同			（現代・心理・初教）
		社会福祉の歴史	222015	②		②						1·2	同			（現代・心理・初教）
		現代社会と福祉	222016	2	2							1	同（前期）			（初教「社会福祉原論」）
		地域福祉の理論と方法	222017	②								1	同			（初教「地域福祉論」）
		社会保障	222018	②	②							1				
		低所得者に対する支援と生活保護制度	222019				②					2				
		児童や家庭に対する支援と児童·家庭福祉制度	222020		②							1				
		高齢者に対する支援と介護保険制度	222021	②	②							1				
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	222022	②								1				
		女性に対する支援と福祉施策	222023	②		②		②				1·2	◎			
		心理学理論と心理的支援	222024		②							1				
		社会理論と社会システム	222025		②							1				※（教養）「社会学」と重複しての履修不可
		人体の構造と機能及び疾病	222026		②							1				
		家族と福祉	222027	②								1	◎同			（初教「家族福祉論」）
		養護原理	222028	②								1				
		教育原理（保育士）	222029		②							1				
		教育心理学（保育士）	222030		②							1				
		保育内容-言葉	222031	①	①							1	★			
		保育内容-健康	222032	①	①							1	★			
		保育内容-表現	222033	①	①							1	★			
		子どもと環境	222034	①	①							1	★			
		対人コミュニケーション	222035	①	①							1	★			
		保育内容総論（保育士）	222036	②	②							1	★			
		音楽実技	222037	①	①							1	同			（初教「音楽基礎C」）
		情報機器の操作とデータ分析	222038		②							1	同			教職資格·社会調査士資格の取得を目指す者のみ（国際）
		社会調査の基礎	222039			②		②				2·3				
		福祉科教育法	222040			②	②	②	②			3	同			（教職）教職資格の取得を目指す者のみ

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	コース別履修方法 前期	コース別履修方法 後期	備考
															開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
学科共通科目	社会福祉総合講座	222041					①	①	①	①	4				
	海外ボランティア演習	222042	②		②		②		②		–	◎			ボストンサマーセッション　一般教養科目としても履修可　(注)参照
	基礎演習	222043	1								1				
	専門演習Ⅰ	222044					1	1			3				卒業論文関連演習
	専門演習Ⅱ	222045							1	1	4				卒業論文関連演習
	卒業論文	222046							4		4				
コース別専門科目 ソーシャルワークコース専門科目	福祉行財政と福祉計画	222047			②						2				
	福祉サービスの組織と経営	222048			②						2	同	◆		(初教「地域施設マネジメント」)
	保健医療サービス	222049			②						2		◆		
	就労支援サービス	222050				②					2			◇	4単位選択必修
	権利擁護と成年後見制度	222051				②					2			◇	4単位選択必修
	更生保護制度	222052			②						2		◇		4単位選択必修
	相談援助の基盤と専門職	222053	②	②							1		◆	◆	
	相談援助の理論と方法	222054			②	②					2		◆	◆	
	相談援助演習Ⅰ	222055			①	①					2				
	相談援助演習Ⅱ	222056					①	①			3				
	相談援助演習Ⅲ	222057							①		4				
	相談援助実習指導Ⅰ	222058				①					2				
	相談援助実習指導Ⅱ	222059					①	①			3				
	相談援助実習	222060					②	②			3				
	精神保健福祉論	222061			②						2		◆		
	精神医学	222062			②						2	同			(心理)精神保健福祉士資格取得希望者のみ
	精神保健学	222063			②						2				
	精神科リハビリテーション学	222064					②				3				
	精神保健福祉援助技術総論	222065					②				3				
	精神保健援助技術各論	222066						②			3				
	精神保健福祉援助演習	222067							②		4				
	精神保健福祉援助実習	222068							②	②	4				精神保健福祉士資格取得希望者のみ
	臨床ソーシャルワーク論	222069					②				3		◆		
	ソーシャルワーク特別実習	222070							②	②	4				
福祉キャリアコース専門科目	福祉社会と社会政策	222071						②		②	3·4	◎		◆	
	福祉マネジメント論	222072			②		②		②		2·3		◆		
	福祉キャリア論	222073				②		②			2			◆	
	福祉キャリア演習	222074					②		②		3			◆	
	CSRと福祉	222075						②		②	3				
	コミュニティ・ビジネス論	222076				②		②			2	◎		◇	2単位選択必修 ※(教養)「コミュニティとまちづくり」と重複しての履修不可
	コミュニティとまちづくり	222077				②					2			◇	2単位選択必修 ※(教養)「コミュニティとまちづくり」と重複しての履修不可
	福祉NPO	222078					②		②		3·4	◎同	◆		(国際)※「福祉社会とボランティア」または(教養)「ボランティア論」を履修済みであることが望ましい。
	福祉サービスの組織と経営(再掲)	222079			②						2	同			(初教「地域施設マネジメント」)
	福祉行財政と福祉計画(再掲)	222080			②						2		◆		

		授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲	コース別履修方法 前期	コース別履修方法 後期	備考
				単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位					開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
コース別専門科目	福祉キャリアコース専門科目	行政と地方自治	222081					②		②		3	同	◇		（現代） 2単位選択必修 （現代）
		公共政策と文化	222082				②		②			2･3	同	◇		
		バリアフリーデザイン	222083				②		②			2･3				
		コミュニティとスポーツ	222084						②		②	3			◇	（現代「職業とジェンダー」） 4単位選択必修 （環境・健康「家庭経営学」）
		労働とジェンダー	222085					②		②		3･4	◎同	◇		
		生活福祉経営論	222086			②		②				2･3	同	◇		
		福祉社会と地域	222087						②		②	3･4			◇	
		雇用・労働と社会政策	222088						②		②	3･4	◎同			（現代「現代社会と労働」）
		国際福祉論	222089			②		②		②		3･4	◎同			（国際）
		社会経済統計Ⅰ	222090			②	②	②	②	②	②	2･3･4	同★			（現代）
		福祉ジェンダー統計論	222091						②		②	3･4	◎			
		就労支援サービス（再掲）	222092				②					2				
		福祉インターンシップ	222093					②		②		3･4				
	子ども家庭支援コース専門科目	保育原理（保育士）	222094			②	②					2		◆	◆	
		家族援助論	222095			②						2		◆		
		相談援助の理論と方法（再掲）	222096			②	②					2		◆		
		相談援助演習Ⅱ（再掲）	222097					①	①			3･4				
		養護内容	222098			①	①					2				
		乳児保育	222099			②	②					2				
		障害児保育	222100				①					2				
		発達心理学（保育士）	222101			②						2				
		小児栄養	222102			②						2				
		小児保健Ⅰ	222103			②	②					2				
		小児保健Ⅱ	222104						①			3				
		精神保健	222105				②					2				
		幼児体育	222106			①	①					2	★	◆	◆	
		アート基礎	222107	①	①							1	★			
		保育実習Ⅰa	222108				①					3				履修登録は2年次後期・3年次前期に行い、成績は3年次前期に評価する
		保育実習Ⅰb	222109					②				3				
		保育実習Ⅰc	222110					②				3				
		総合演習（保育士）	222111			①	①					2				
		児童・家庭ソーシャルワーク	222112					②				3	同	◆		（初教）
		保育ソーシャルワーク	222113						②			3	◎同		◆	（初教）
		労働とジェンダー（再掲）	222114					②		②		3	◎同			（現代「職業とジェンダー」）
		就労支援サービス（再掲）	222115				②					2				
		臨床心理学	222116				②					2	同			（初教）
		音楽実技	222117	①	①							1	同			（初教「音楽基礎C」）
		保育実習Ⅱ	222118							②		4				
		保育実習Ⅲ	222119							②		4				
		国際福祉論（再掲）	222120			②		②		②		2	◎同	◆		（国際）（食物「社会福祉特論」）

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲	コース別履修方法 前期	コース別履修方法 後期	備考
コース別専門科目	子ども家庭支援コース専門科目	福祉サービスの組織と経営（再掲）	222121			②		②		②		4	同	◇		（初教「地域施設マネジメント」） 2単位選択必修 （国際）※「福祉社会とボランティア」または（教養）「ボランティア論」を履修済みであることが望ましい。
		福　祉　NPO（再　掲）	222122					②		②		3	◎同	◇		
		野外活動論及び実習	222123	②								1		◇		
		レクリエーション理論	222124		②							1			◇	2単位選択必修
		レクリエーション演習	222125			②						2		◇		
社会調査士科目		社会科学と社会調査	222126			②		②		②		2･3	同			（現代･心理･初教）
		社会調査の理論と方法	222127			②		②		②		2･3	同			（現代･心理･初教）
		情報機器の操作とデータ分析（再掲）	222128		②							1	同			（国際）
		社会経済統計Ⅰ（再掲）	222129			②	②	②	②	②	②	2･3･4	同★			（現代）
		社会経済統計Ⅱ	222130			②	②	②	②	②	②	2･3･4	同★			（現代･初教）
		フィールドワークと質的分析	222131				②		②		②	2･3	同			（現代･心理･初教）
		社会調査実習Ⅰ	222132					②	②	②		3･4	同★			（現代･初教）
		社会調査実習Ⅱ	222133						②	②	②	3･4	同★			（現代･初教）

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

（注）専門科目または一般教養科目として履修可能。履修登録時に専門科目か一般教養科目かを選ぶこと。

1．福祉社会学科の学生は、卒業要件を満たすために、下記の要件に従い、合計で 80 単位以上を履修しなければならない。
（1）学部共通科目から、合計 4 単位以上履修すること。ただし、「現代教養分野」、「心理分野」、「初等教育分野」の中から二つの分野を選択し、一つの分野から最低 2 単位を履修すること。
（2）学科共通科目から、必修科目の単位を含め合計 29 単位以上履修すること。
（3）選択したコース別専門科目の中から、コース別必修科目（◆印）および選択必修科目（◇印）を含め 22 単位以上履修すること。
（4）学部共通科目 4 単位、学科共通科目 29 単位、コース別専門科目 22 単位を除く他の単位は、学部共通科目、学科共通科目、コース別専門科目、社会調査士科目で満たすこと。ただし、外国語科目 4 単位を含めてもよい。
（5）2 年次 4 月に「ソーシャルワークコース」、「福祉キャリアコース」、「子ども家庭支援コース」のうちいずれか一つを選択し、登録する（必須）。
2．卒業論文作成にあたっては、原則として所属コースの卒業論文指導教員が開講する「専門演習Ⅰ」及び「専門演習Ⅱ」を履修すること。
卒業論文提出の締切日は卒業年次の 11 月最終週の水曜日 17 時までとする。早期卒業者の卒業論文締切日は別途定める。
3．社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士資格、教育職員免許（福祉）、社会調査士、社会福祉主事、幼稚園教諭免許状（1 種）の各資格取得については、諸資格の記載を参照のこと。
4．社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士の資格取得を希望する学生は、1 年次4月に行われる社会福祉実習室のガイダンスに参加し、登録すること。
また、資格取得を取りやめる場合は、理由を付して直ちに社会福祉実習室に登録の取り消しを願い出ること。
社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、保育士の資格取得を希望する学生は、それぞれの実習の履修条件をクリアする必要がある。履修条件については別途内規を定める。
5．幼稚園教諭免許状（1 種）の取得は、子ども家庭支援コース所属の学生に限定し、保育士及び幼稚園免許状を取得した後、将来認定子ども園への就職の意志が明確な者 10 名以内とする。1 年次 4 月に行われる社会福祉実習室および初等教育学科ガイダンスに参加し、登録すること。
6．資格科目については、開講年次に履修しない場合は、4 年間で資格取得が不可能になることがある。

9. 現代教養学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
学部共通科目	人間社会学総論	心理学概説Ⅰ	223001	②		②						1・2	同	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
		心理学概説Ⅱ	223002		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会心理学	223003		②		②					1・2	同	心理分野※
		社会福祉の歴史	223004	②		②						1・2	同	福祉社会分野※
		社会福祉哲学	223005	②		②		②		②		1・2	◎同	福祉社会分野※
		人間形成原論	223006	②		②						1・2	◎同	初等教育分野※
		教育哲学	223007		②		②					1・2	◎同	初等教育分野※
	学科入門科目群	現代教養入門	223008	2								1		5クラス
		社会をみる目Ⅰ	223009	2								1	同	2クラス（心理・福祉・初教）
		社会をみる目Ⅱ	223010		2							1	同	2クラス（心理・福祉・初教）
		経済をみる目Ⅰ	223011	2								1	同	（心理・福祉・初教）
		経済をみる目Ⅱ	223012		2							1	同	（心理・福祉・初教）
		環境をみる目	223013	2	2							1	★	前期1クラス・後期1クラス
		世界をみる目	223014		2							1		2クラス
		文化をみる目	223015		2							1		2クラス
関心領域科目群	情報・メディア	情報とコミュニケーション	223016	②		②						1		
		情報とマーケティング	223017		②		②					1		
		経営と情報	223018		②		②					1		
	広報	企業と広報	223019	②		②						1	◎同	（国際）
		消費者の行動	223020	②		②						1		
		日本の社会とビジネス	223021		②		②					1	同	（国際）オムニバス
	企業とマーケティング	マーケティングの経済学	223022	②		②						1	◎	
		市場社会の仕組み（ミクロ経済学）	223023		②		②					1	◎	
		マーケティング・リサーチ入門	223024		②		②					1		
	社会貢献	社会貢献と企業メセナ	223025	②		②						1		オムニバス
		NPOマネジメント入門	223026	②		②						1		
		国際貢献とNGO（国際協力入門）	223027		②		②					1		
	国際事情	新聞で知る日本と世界	223028	②		②						1	同	（国際）
		国際理解入門	223029	②		②						1	◎同	（文化）
		くらしと地球環境	223030		②		②		②			1		
		食とグローバル社会	223031		②		②					1		
	仕事と教育	教育・労働・経済	223032	②		②						1		
		人的資源の管理	223033	②		②						1		
		教育・家族・社会	223034		②		②					1	同	（初教「教育社会学」）
	環境	環境の社会学	223035	②		②						1	◎	
		環境生態学	223036	②		②		②				1	同	（福祉「生態環境論」）
		環境と国際社会	223037	②		②						1		
	地域社会	現代都市事情	223038	②		②						1	◎	
		地域社会の活性化（農村）	223039	②		②						1	◎	
		地域社会のデザイン（都市）	223040		②		②					1	◎	

※少なくとも2分野から各2単位合計4単位以上選択必修（心理・福祉・初教）

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
関心領域科目群	ことばと表現	こ と ば と 社 会	223041	②		②						1		
		こ と ば と 教 育	223042	②		②						1		
		こ と ば と 心	223043	②		②						1		
学科基盤科目		現 代 社 会 と 社 会 学	223044		②		②					2		
		日本経済と経済学（マクロ経済学）	223045			②		②				2	◎	
		現 代 の 経 営 と 経 営 学	223046				②		②			2	◎	
		日 本 の 金 融 と 金 融 論	223047				②		②			2	◎	
		グ ロ ー バ ル 社 会 と 経 済	223048				②		②			2		
		現 代 経 済（世 界 と 日 本）	223049				②		②			2		
		現 代 政 治 と 政 治 学	223050				②		②			2		
		グローバル社会の政治経済学	223051				②		②			2		
		哲 学 入 門	223052			②		②				2	◎	
		哲 学	223053				②		②			2		
		市民社会の法（法を考える）	223054			②		②				2		
		国 際 社 会 の 法	223055				②		②			2		
		国 際 関 係 史	223056			②		②				2		
		人 口 動 態 と 社 会	223057			②		②				2		
		ジ ェ ン ダ ー と 社 会	223058			②		②				2	◎同	（福祉「女性とキャリア形成」）
		科 学 と 社 会	223059				②		②			2		
		古 典 で 学 ぶ 社 会 科 学	223060			②		②				2		
		国 際 協 力 論	223061				②		②			2		
		消 費 と 経 済	223062			②		②				2		
		社 会 と 開 発	223063			②		②				2		
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論	223064				②		②			2		
		ビジネス・マネジメント	223065				②		②			2		
		現 代 企 業 論（組 織 と 戦 略）	223066			②		②				2	◎同	（国際）
		社 会 と 経 済 の 発 展 史	223067				②		②			2		
		グ ロ ー バ ル 社 会 の 歴 史	223068			②		②				2		
		アート・マネージメントⅠ	223069			②		②				2	◎	
		アート・マネージメントⅡ	223070				②		②			2	◎	
		文 学 と 社 会	223071			②		②				2	◎	
		映 像 と 社 会	223072				②		②			2	◎	
		環 境 の 経 済 学	223073			②		②				2		
		環 境 政 策	223074				②		②			2		
		ＮＧＯ／ＮＰＯ の 歴 史	223075			②		②				2		
		環境問題のマネジメント	223076				②		②			2		
		公 共 政 策 と 文 化	223077			②		②				2	同	（福祉）
		現 代 都 市 論	223078				②		②			2	◎	
		文 化 と 社 会 表 現	223079				②		②			2		
		現 代 日 本 の 政 治 と 経 済	223080				②		②			2		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
				単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			
学科基盤科目		現代日本の国際関係	223081			②		②				2	同	(国際)
		日本と世界	223082				②		②			2		
		日本の政治(現状と問題)	223083			②		②				2		
		国際機構論	223084			②		②				2		
		グローバルガバナンス論	223085				②		②			2		
		異文化間コミュニケーション	223086				②		②			2		
		ゲームと戦略	223087			②		②				2	◎	
		社会科学の数学	223088				②		②			2	◎	
		社会科学と社会調査	223089			②		②				2	同	(心理、福祉、初教) 社会調査士 A
		統計分析基礎	223090			②	②	②	②			2	◎★	人数制限あり 社会調査士 C
		社会経済統計Ⅰ	223091			②	②	②	②	②	②	3	同★	(福祉) 社会調査士 D
		現代アメリカ文化論	223092				②		②			2	◎同	(英コミ) 教職(英語)は必修
		現代英国文化論	223093			②		②				2	◎同	(英コミ) 教職(英語)は必修
		現代金融ビジネス入門Ⅰ	223094			②		②		②		2	◎	朝日生命寄付講座
		現代金融ビジネス入門Ⅱ	223095				②		②		②	2	◎	朝日生命寄付講座
学科専門科目	現代社会	多文化社会論	223096				②		②		②	3		
		マスコミュニケーション論	223097					②		②		3		
		労働社会学	223098			②		②		②		3	◎	
		現代社会論	223099				②		②		②	3	◎同	(心理)
		政策の分析と決定	223100				②		②		②	3		
		公共政策	223101					②		②		3		
		行政と地方自治	223102					②		②		3	同	(福祉)
		現代政治論	223103			②		②		②		3	同	(心理・歴文・国際)
		政策過程論	223104					②		②		3		
		職業とジェンダー	223105					②		②		3	◎同	(福祉「労働とジェンダー」) セミナー
		現代社会と労働	223106						②		②	3	◎同	(福祉「雇用・労働と社会政策」) セミナー
		マスメディアと現代社会	223107				②		②		②	3		セミナー
		社会問題概観	223108						②		②	3		セミナー
		消費と環境	223109				②		②		②	3		セミナー
		地域政策	223110				②		②		②	3		
	経済・マネジメント	社会経済政策Ⅰ	223111					②		②		3		セミナー
		社会経済政策Ⅱ	223112						②		②	3		セミナー
		生活経営研究	223113				②		②		②	3		セミナー
		アンペイド・ワーク論	223114					②		②		3		
		社会経済学	223115				②		②		②	3		
		産業組織論	223116					②		②		3		
		公共経済学	223117				②		②		②	3		
		経済学研究	223118				②		②		②	3		セミナー
		経営学研究	223119					②		②		3		セミナー

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
学科専門科目	経済・マネジメント	国際開発研究Ⅰ	223120					②		②		3		セミナー
		国際開発研究Ⅱ	223121						②		②	3		セミナー
	国際社会	国際協力政策	223122					②		②		3		
		国際関係外書講読	223123					②		②		3		
		国際関係研究	223124				②		②		②	3		セミナー
		地域研究（欧州）	223125					②		②		3		セミナー
		東アジア言語社会研究	223126				②		②		②	3	◎同	セミナー （歴文「北アジア文化特論（前期）」）
		地域研究（北アジア）	223127					②		②		3	◎同	セミナー （歴文「北アジア文化特論（後期）」）
		都市社会論	223128				②		②		②	3		
		都市情報論	223129				②		②		②	3		セミナー
		地域研究（環地中海）	223130					②		②		3		セミナー
		演劇文化研究	223131					②		②		3		セミナー
		エコロジー研究	223132				②		②		②	3		セミナー
		地域研究（スペイン語圏）	223133				②		②		②	2・3		セミナー
卒業論文・演習	現代社会	現代マスコミュニケーション論演習	223134						①	①	①	3・4		
		現代社会論演習	223135						①	①	①	3・4		
		地域環境デザイン論演習	223136						①	①	①	3・4		
		メディア表象論演習	223137						①	①	①	3・4		
		ファミリー・リソース・マネジメント演習	223138						①	①	①	3・4		
	経済・マネジメント	社会経済政策演習	223139						①	①	①	3・4		
		国際経済論演習	223140						①	①	①	3・4		
		現代経済論演習	223141						①	①	①	3・4		
		現代経営論演習	223142						①	①	①	4		
	国際社会	応用言語学演習	223143						①	①	①	3・4		
		国際関係論演習	223144						①	①	①	3・4		
		言語社会論演習	223145						①	①	①	3・4		
		現代都市論演習	223146						①	①	①	3・4		
		社会表現論演習	223147						①	①	①	3・4		
		エコロジー論演習	223148						①	①	①	3・4		
英語科目群	専門必修	Current Topics Ⅰ	223149	2								1		〔2×2〕4クラス
		Current Topics Ⅱ	223150		2							1		〔2×2〕4クラス
		Current Topics for Reading Ⅰ	223151	2								1		〔2×2〕4クラス
		Current Topics for Reading Ⅱ	223152		2							1		〔2×2〕4クラス
	内容別英語	Intermediate Authentic Listening Ⅰ	223153			①		①				2	同	（国際）
		Intermediate Authentic Listening Ⅱ	223154				①		①			2	同	（国際）
		Intermediate Authentic Listening Ⅲ	223155					①		①		3	同	（国際）
		Intermediate Authentic ListeningⅣ	223156						①		①	3	同	（国際）
		Intermediate Intensive Reading Ⅰ	223157			①		①				2	同	（国際）
		Intermediate Intensive Reading Ⅱ	223158				①		①			2	同	（国際）
		Intermediate Intensive Reading Ⅲ	223159					①		①		3	同	（国際）
		Intermediate Intensive ReadingⅣ	223160						①		①	3	同	（国際）

備考：
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
英語科目群	内容別英語	Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅰ	223161			①		①				2	同	(国際)
		Intermediate Public Speaking in Current Topics Ⅱ	223162				①		①			2	同	(国際)
		Intermediate Discussion on Current Topics Ⅲ	223163					①		①		3	同	(国際)
		Intermediate Discussion on Current Topics Ⅳ	223164						①		①	3	同	(国際)
		Intermediate Extensive Reading Ⅰ	223165			①		①				2	同	(国際)
		Intermediate Extensive Reading Ⅱ	223166				①		①			2	同	(国際)
		Intermediate Extensive Reading Ⅲ	223167					①		①		3	同	(国際)
		Intermediate Extensive ReadingⅣ	223168						①		①	3	同	(国際)
		Intermediate Grammar Workshop Ⅰ	223169			①		①				2	同	(国際)
		Intermediate Grammar Workshop Ⅱ	223170				①		①			2	同	(国際)
		Intermediate Grammar Workshop Ⅲ	223171					①		①		3	同	(国際)
		Intermediate Grammar WorkshopⅣ	223172						①		①	3	同	(国際)
		Intermediate Oral Expression Ⅰ	223173			①		①				2	同	(国際)
		Intermediate Oral Expression Ⅱ	223174				①		①			2	同	(国際)
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅰ	223175			①		①				2	同	(国際)
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅱ	223176				①		①			2	同	(国際)
		Intermediate TOEIC Preparation Ⅲ	223177					①		①		3	同	(国際)
		Intermediate TOEIC PreparationⅣ	223178						①		①	3	同	(国際)
		Advanced Research on Current Topics Ⅰ	223179			②						2		〔2×2〕 Advanced 科目を履修する者はこの 4 科目を必ず含めること
		Advanced Research on Current Topics Ⅱ	223180				②					2		〔2×2〕
		Advanced Research on Current Topics Ⅲ	223181					②				3		〔2×2〕
		Advanced Research on Current TopicsⅣ	223182						②			3		〔2×2〕
		Advanced Authentic Listening Ⅰ	223183			①		①				2	同	(国際)
		Advanced Authentic Listening Ⅱ	223184				①		①			2	同	(国際)
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅰ	223185			①		①				2	同	(国際)
		Advanced Discussion on Current Topics Ⅱ	223186				①		①			2	同	(国際)
		Advanced Extensive Reading Ⅰ	223187			①		①				2	同	(国際)
		Advanced Extensive Reading Ⅱ	223188				①		①			2	同	(国際)
		Advanced Extensive Reading Ⅲ	223189					①		①		3	同	(国際)
		Advanced Extensive ReadingⅣ	223190						①		①	3	同	(国際)
		Advanced Writing on Current Topics Ⅰ	223191			①		①				2	同	(国際)
		Advanced Writing on Current Topics Ⅱ	223192				①		①			2	同	(国際)
		Advanced Writing on Current Topics Ⅲ	223193					①		①		3	同	(国際)
		Advanced Writing on Current TopicsⅣ	223194						①		①	3	同	(国際)
		通訳・翻訳研究	223195					②	②	②	②	3	同	(英コミ)
日本語発信・表現科目群	必修	日本語表現(話し方/基礎)	223196	2	2							1	★	前期3クラス、後期2クラス
		日本語表現(書き方/基礎)	223197	2	2							1	★	前期2クラス、後期3クラス
	選択必修	日本語表現(書き方/応用)	223198			②		②		②		2		
		日本語表現(書き方/実用)	223199			②		②		②		2		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
日本語発信・表現科目群	選択必修	日本語表現（話し方 / プレゼンテーション）A	223200			②		②		②		2	★	「日本語表現（話し方 / 基礎）」を前年度までに履修した 2 年生から可
		日本語表現（話し方 / プレゼンテーション）B	223201		②		②		②		②	2		「日本語表現（話し方 / 基礎）」を 1 年前期に履修した 1 年生以上から可
		日本語表現（話し方 / ナレーション）A	223202			②		②		②		2	★	「日本語表現（話し方 / 基礎）」を前年度までに履修した 2 年生から可
		日本語表現（話し方 / ナレーション）B	223203		②		②		②		②	2		「日本語表現（話し方 / 基礎）」を 1 年前期に履修した 1 年生以上から可
	選択	日本語表現（話し方 / 上級）	223204				②		②		②	2		「日本語表現（話し方 / プレゼンテーション）」を履修した者
		論理的表現法	223205				②		②		②	2		
社会調査士・情報分析科目群	必修	コンピュータ基礎	223206	1								1		5 クラス
		情報論	223207		2							1		
	選択	情報検索	223208			①		①				2・3		人数制限あり
		情報収集と編集	223209				②		②			2	◎	人数制限あり
		情報収集と伝達	223210				②		②			2	◎	人数制限あり
		社会調査の理論と方法	223211			②		②				2・3	同	（心理、福祉、初教）社会調査士 B
		社会経済統計Ⅱ	223212				②	②	②	②	②	3・4	同★	（福祉、初教）人数制限あり 社会調査士 E
		フィールドワークと質的分析	223213				②		②			2・3	同	（心理、福祉、初教）社会調査士 F
		社会調査実習Ⅰ	223214					②	②	②		3・4	同★	人数制限あり（福祉、初教）社会調査士G 社会調査実習Ⅰ、Ⅱともに履修のこと。
		社会調査実習Ⅱ	223215						②	②	②	3・4	同★	
キャリア展開科目群	選択	職業とキャリアをみる目	223216			②		②				2		
		国内インターンシップ	223217				②					2・3		
		海外インターンシップ	223218				②					2・3		
演習科目群	社会調査研修	国内社会調査研修 1（地方＜農村＞調査）	223219				②					2・3		
		国内社会調査研修 2（東京＜都市＞調査）	223220				②					2・3		
		国際社会調査研修（地域研究研修）	223221				②					2・3		
卒業論文			223222							8		4		

○英検および TOEIC について

本学科では実用英語技能検定（英検）および TOEIC の資格を単位として認定しています。資格取得者に認定される単位は以下の通りとします。

認定される資格	単　位
英検　準 1 級／ TOEIC　650 点以上	2単位（専門）
英検　　1 級／ TOEIC　850 点以上	3単位（専門）

注：英検と TOEIC の両方の単位を取っても単位の認定は 1 回のみとします。（3 単位まで）
単位認定の申請手続きについては「英検・TOEIC・漢検の単位認定」の項の「単位認定の申請方法」を参照してください。

○社会調査士について（現代教養学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を修得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、EとFはどちらかひとつを選択してください。なお、履修にあたっては、A·B科目を履修した後にG科目を、C·D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。

	科目名	備　考
A	社会科学と社会調査	前期 社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	前期 調査設計と実施方法に関する科目
C	統計分析基礎	前期 基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	社会経済統計Ⅰ	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	

授業科目			整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
情報図書館論		図書館サービス論	223223		②	②	②	②	②			2	同★	
		情報サービス概説	223224		②	②	②	②	②			2	同★	図書館司書資格を目指す者のみ履修を認めます。資格が取れなかった場合には、卒業用件の単位になりません。
		レファレンスサービス演習	223225			①	①	①	①	①	①	3	同★	
		情報検索演習	223226			①	①	①	①	①	①	3	同★	
教科専門科目	公民・社会共通	法学概論（国際法を含む）	223227	②		②		②		②		3	同	（教養・歴文）
		社会学	223228	②		②						1	同	（心理）社会・公民必修
		哲学概論	223229	②	②	②	②	②	②	②	②	1	同	（教養）社会・公民選択必修
		倫理学概論	223230			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文・心理）社会・公民選択必修
	中学社会	歴史学概論	223231	②		②		②				1	同	（歴文）
		日本史通論	223232					②		②		3	同	（歴文・心理）社会必修
		世界史通論	223233						②		②	3	同	（歴文）社会必修
		日本中世史	223234	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文・心理）
		日本近世史	223235	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文・心理） 隔年開講
		日本近現代史	223236	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴文・心理）
		古代オリエント文化史	223237	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
		東洋史概説	223238	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文）
		人文地理学概論	223239	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
		自然地理学概論	223240	②	②	②	②	②	②			1	同	（歴文） 社会必修
		地誌通論A―日本地誌―	223241	②		②		②				2	同	（歴文）社会必修 AとB合わせて履修すること
		地誌通論B―世界地誌―	223242		②		②		②			2	同	
		日本女性史	223243	②	②	②	②	②	②			2	同	（歴文）
		比較女性史論	223244			②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
		文化人類学概論	223245	②		②						1	同	（歴文）夏季集中講義
		キリスト教文化史	223246	②	②	②	②	②	②	②	②	3	同	（歴文）
		禅と日本文化	223247	②	②	②	②	②	②	②	②	2	同	（歴文）
	中学・高校英語	イギリス散文A	223248					②		②		3	同	（英コミ・国際）
		イギリス散文B	223249						②		②	3	同	（英コミ・国際）
		アメリカ散文A	223250					②		②		3	同	（英コミ・国際）
		アメリカ散文B	223251						②		②	3	同	（英コミ・国際）
		英米詩	223252					②		②		3	同	（英コミ）
		ファンタジー・児童文学	223253					②		②		3	同	（英コミ）
		ニューイングランド文学・文化	223254					②		②		3	同	（英コミ）
		比較文学・文化	223255						②		②	3	同	（英コミ）
		英語の歴史	223256					②		②		3	同	（英コミ）
		英語音声学	223257					②		②		3	同	（英コミ）
		形態論	223258					②		②		3	同	（英コミ・国際）
		文法研究	223259					②		②		3	同	（英コミ）
		意味論	223260						②		②	3	同	（英コミ）
		社会言語学	223261						②		②	3	同	（英コミ・国際）
		第二言語習得	223262					②		②		3	同	（英コミ）

開講単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
教科専門科目	中学・高校英語	Film Criticism	223263					②		②		3	同	(英コミ)
		Language of Advertising	223264					②		②		3	同	(英コミ)

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

履修方法

専門教育科目は、学部共通科目・必修科目・選択必修科目・選択科目を、計76単位以上履修してください。

現代教養学科の専門教育科目は、人間社会学総論、学科入門科目群、関心領域科目群、学科基盤科目群、学科専門科目群、卒業論文演習、英語科目群、日本語発信・表現科目群、社会調査士・情報分析科目群、キャリア展開科目群、演習科目群で構成されています。

＊群、領域の区分の仕方や名称は入学年度により異なります。必ず入学年度のカリキュラム表に基づいてください。

履修条件

人間社会学総論（学部共通科目）

心理分野、福祉社会分野、初等教育分野のうち、少なくとも2分野から各2単位、合計4単位以上選択必修。

学科入門科目群

16単位必修。

関心領域科目群（1年次中心）、学科基盤科目群（2年次中心）、学科専門科目群（3年次中心）

上記の3科目群から、4科目8単位以上ずつ選択必修。

卒業論文演習

所属するゼミの教員の演習を選び、3単位を履修した上で、卒業論文（8単位）を提出する。

英語科目群

・現代教養学科では、英語は専門教育科目に含まれる。
専門必修8単位を含み、12単位以上を履修すること。
ただし、Advanced科目は各クラス定員20名とし、Advanced Research on Current Topics Ⅰ／Ⅱ（2年次）、Advanced Research on Current Topics Ⅲ／Ⅳ（3年次）必ず含んで履修すること。この分野の科目は、12単位以上履修することが望ましい。

・その他の言語（総合教育センター開設）
英語を除く言語は「外国語」として履修する（12単位必修）。12単位を超えて履修した場合は、専門科目の単位として計算できる（2年次以上の内容別科目に限る）。

日本語発信・表現科目群

必修科目4単位の他、選択必修科目から2単位以上を履修する。

社会調査士・情報分析科目群

情報・コンピュータ関連の3単位が必修。

10. 初等教育学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	小学校・幼稚園 1年次 単位 後期	小学校・幼稚園 2年次 単位 前期	小学校・幼稚園 2年次 単位 後期	小学校・幼稚園 3年次 単位 前期	小学校・幼稚園 3年次 単位 後期	小学校・幼稚園 4年次 単位 前期	小学校・幼稚園 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	幼稚園・保育士 1年次 単位 後期	幼稚園・保育士 2年次 単位 前期	幼稚園・保育士 2年次 単位 後期	幼稚園・保育士 3年次 単位 前期	幼稚園・保育士 3年次 単位 後期	幼稚園・保育士 4年次 単位 前期	幼稚園・保育士 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
学部共通科目	心理学概説Ⅰ		224001	②		②						1·2	同	◇		◇						選択必修4単位	◇		◇						選択必修4単位	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前·後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
	心理学概説Ⅱ		224002		②		②					1·2	同		◇		◇							◇		◇						
	社会心理学		224003		②		②					1·2	同		◇		◇							◇		◇						
	社会福祉の歴史		224004	②		②						1·2	同	◇		◇							◇		◇						
	社会福祉哲学		224005	②		②						1·2	同	◇		◇							◇		◇						
	社会をみる目Ⅰ		224006	②		②						1·2	同	◇		◇							◇		◇						
	社会をみる目Ⅱ		224007		②		②					1·2	同		◇		◇							◇		◇						
	経済をみる目Ⅰ		224008	②		②						1·2	同	◇		◇							◇		◇						
	経済をみる目Ⅱ		224009		②		②					1·2	同		◇		◇							◇		◇						
学科共通科目	人間形成・教育教養	人間形成原論	224010	②		②		②		②		1	同◎	◇		◇		◇		◇		選択必修8単位	◇		◇		◇		◇		選択必修8単位	(心理·福祉·現代) (心理·福祉·現代) (現代:教育·家族·社会) (文化:メディアリテラシーⅡ(児童)) 専門関連科目 (福祉:音楽実技) 社会調査士 C
		自己形成史分析	224011		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		教育哲学	224012		②		②		②		②	1	同◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		教育史	224013	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
		教育社会学	224014		②		②		②		②	1	同		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		教育経営	224015		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
	現代社会における教育教養	メディア教育	224016	②		②		②		②		1	同◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
		多文化共生教育	224017		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		人権教育	224018	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
		環境教育	224019		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		地域社会教育	224020		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		特別支援教育	224021	②		②		②		②		1	◎	◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇			
		現代保育論	224022		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
		比較教育	224023		②		②		②		②	1	◎		◇		◇		◇		◇			◇		◇		◇		◇		
	基礎教養・技術	言語表現基礎	224024	①	①							1		◇	◇							必修2単位+選択必修3単位	◇	◇							必修5単位+選択必修2単位	
		数学基礎	224025		①							1			◇									◇								
		科学基礎	224026		①							1			◇									◇								
		社会基礎	224027		①							1			◇									◇								
		音楽基礎A(楽典)	224028	①								1		◇									◇									
		音楽基礎B(ソルフェージュ)	224029	①	①							1		◇	◇								◆	◆								
		音楽基礎C(実技)	224030	①	①							1	同	◇	◇								◇	◇								
		身体表現基礎	224031	①								1		◇									◇									
		造形基礎	224032	①	①							1		◇	◇								◆	◇								
		情報機器の操作	224033	②								1		◆									◆									
		情報機器の操作とデータ分析	224034		②							1			◇									◇								
		対人コミュニケーション	224035			②						2				◇									□							

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
学科共通科目	応用・発展	児童文学	224036					①	①			3	◎					◇	◇			選択必修4単位					◇	◇			必修1単位＋選択必修4単位	開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
		伝統と言語文化	224037					①	①			3						◇	◇								◇	◇				
		児童文化	224038					①				3	◎					◇									◇					
		幼児体育	224039					①	①			3						◇	◇								◆	◇				
		幼児音楽	224040			①	①					2				◇	◇								□	□						
		幼児造形	224041				①					2					◇									□					
		救急法演習	224042				①					2	◎				◇									◇					
		児童英語教育概論	224043					②				3	同					◇									◇					
		児童英語活動の研究	224044						②			3	同						◇									◇				
		カウンセリング研究	224045								①	4									◇										◇	
		問題行動研究	224046								①	4									◇										◇	
		教育実践研究	224047			①						2				◇									◇							
		保育実践研究	224048							①		4								◇									□			
	演習	教育学基礎演習Ⅰ	224049	1	1							1		◆	◆							必修7単位	◆	◆							必修7単位	
		教育学基礎演習Ⅱ	224050			1						2				◆									◆							
		教育学演習Ⅰ	224051					1	1			3						◆	◆								◆	◆				
		教育学演習Ⅱ	224052							1	1	4								◆	◆								◆	◆		
	卒論	卒業研究	224053							⑥		4								◆		必6							◆		必6	
小学校・幼稚園	教科	国語（書写を含む）	224054				②					2					◇					選択必修6単位（△を除く）				◇					選択必修4単位	（教職）
		社会	224055				②					2					△															
		算数	224056			②						2				◇									◇							
		理科	224057			②						2				△																
		生活	224058			②						2				◇									◇							
		音楽	224059			②						2				◇									◇							
		図画工作	224060			②						2				◇									◇							
		家庭	224061				②					2					△															
		体育	224062			②						2				◆						必2			◆						必2	
	教職	教職概論	224063	②								1		◆								必修12単位＋選択必修6単位	◆								必修14単位＋選択必修4単位	
		教育原理	224064	②								1		◆									◆									
		保育原理Ⅰ	224065	②								1		◆									◆									
		保育原理Ⅱ	224066		②							1			◇									◆								
		教育法規	224067						②			3	同						◇									◇				
		教育行政学	224068								②	4									◆										◆	
		教育評価	224069							②		4								◆									◇			
		教育心理学Ⅰ	224070		②							1			◆									◆								
		教育心理学Ⅱ	224071			②						2				◇									□							
		発達心理学	224072	②								1		◇									◆									
		乳幼児心理学	224073				②					2					◇									□						
		学級経営研究	224074					②				3						◇									◇					
		教育統計基礎	224075		②							1			◇									◇								
		特別支援教育論	224076						②			3							◇									◇				

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
小学校・幼稚園	教職	小学校教育課程論	224077					②				3						◆				必修44単位									開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
		国語科教育法	224078					②				3						◆													
		社会科教育法	224079					②				3						◆													
		算数科教育法	224080					②				3						◆													
		理科教育法	224081					②				3						◆													
		生活科教育法	224082				②					2					◆													
		音楽科教育法	224083				②					2					◆													
		図工科教育法	224084				②					2					◆													
		家庭科教育法	224085				②					2					◆													
		体育科教育法	224086				②					2					◆													
		道徳教育研究	224087				②					2					◆													
		特別活動研究	224088				②					2					◆													
		教育の方法と技術	224089				②					2					◆								◆					必修20単位	
		幼稚園教育課程論	224090						②			3							◆										◆			
		人間関係指導法	224091		②							1			◆									◆							
		環境指導法	224092		②							1			◆									◆							
		健康指導法	224093			②						2				◆									◆							
		言葉指導法	224094			②						2				◆									◆							
		表現指導法	224095				②					2					◆									◆						
		生徒・進路指導の研究	224096								②	4									◆											
		教育相談の研究	224097					②				3						◆									◆					
		幼児理解の研究	224098			②						2				◆									◆							
		保育内容総論	224099		②							1			◇							選択必修8単位（＊の科目から2単位以上を含む）		◆							
		国語科教育法演習	224100						①			3							◇													
		社会科教育法演習	224101						①			3							◇													
		算数科教育法演習	224102						①			3							◇													
		理科教育法演習	224103						①			3							◇													
		生活科教育法演習	224104					①				3						◇													
		音楽科教育法演習	224105					①				3						◇													
		図工科教育法演習	224106					①				3						◇													
		家庭科教育法演習	224107					①				3						◇													
		体育科教育法演習	224108					①				3						◇													
		道徳教育演習	224109					①				3						◇													
		特別活動演習	224110					①				3						◇													
		人間関係指導法演習	224111					①				3						◇										◇			選択必修3単位	
		環境指導法演習	224112					①				3						◇										◇				
		健康指導法演習	224113						①			3							◇										◇			
		言葉指導法演習	224114						①			3							◇										◇			
		表現指導法演習	224115					①				3						◇										◇			

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	学年 3年次 単位 前期	学年 3年次 単位 後期	学年 4年次 単位 前期	学年 4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	小学校・幼稚園 1年次 単位 後期	小学校・幼稚園 2年次 単位 前期	小学校・幼稚園 2年次 単位 後期	小学校・幼稚園 3年次 単位 前期	小学校・幼稚園 3年次 単位 後期	小学校・幼稚園 4年次 単位 前期	小学校・幼稚園 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	幼稚園・保育士 1年次 単位 後期	幼稚園・保育士 2年次 単位 前期	幼稚園・保育士 2年次 単位 後期	幼稚園・保育士 3年次 単位 前期	幼稚園・保育士 3年次 単位 後期	幼稚園・保育士 4年次 単位 前期	幼稚園・保育士 4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
保育士	必修	社会福祉原論	224116	②								1	同										◆								（福祉:現代社会と福祉）
		社会福祉援助技術	224117		②							1												◆							
		児童福祉論	224118		②							1												◆							
		養護原理	224119	②								1											◆								
		小児保健Ⅰ	224120	②	②							1											◆	◆							
		小児保健Ⅱ	224121	①								1											◆								
		小児栄養	224122				②					2														◆					
		精神保健	224123				②					2														◆					
		児童・家庭ソーシャルワーク	224124			②						2	同												◆						（福祉）
		乳児保育	224125	②								1											◆								
		障害児保育	224126			①						2													◆						
		養護内容	224127			①						2													◆						
	選択必修	家族福祉論	224128			②						2	同◎												□						（福祉:家族と福祉）
		地域福祉論	224129					②				3	同													□					（福祉:地域福祉の理論と方法）
		地域施設マネジメント論	224130					②				3	同													□					（福祉:福祉サービスの組織と経営）
		保育行政論	224131							②		4																□			
		保育環境論	224132							②		4																□			
		児童館の機能と運営	224133							②		4																□			
		臨床心理学	224134						②			3	同														□				（福祉）
		保育ソーシャルワーク	224135				②					2	同◎													□					（福祉）
		児童の健全育成と福祉	224136						②			3															□				
		病児保育研究	224137					②				3	◎														□				
		在宅保育研究	224138								②	4																	□		
		レクリエーション理論	224139			②						2													□						
		レクリエーション援助法	224140				②					2														□					
社会調査士	選択	社会科学と社会調査	224141			②		②		②		2·3	同																		（心理·福祉·現代） 社会調査士 A
		社会調査の理論と方法	224142			②		②		②		2·3	同																		（心理·福祉·現代） 社会調査士 B
		社会経済統計Ⅱ	224143			②	②	②	②	②	②	2·3·4	同★																		（福祉·現代） 社会調査士 E
		フィールドワークと質的分析	224144				②		②		②	2·3	同																		（心理·福祉·現代） 社会調査士 F
		社会調査実習Ⅰ	224145					②	②	②		3·4	同★																		（福祉·現代）社会調査実習Ⅱも履修のこと 社会調査士 G
		社会調査実習Ⅱ	224146						②		②	3·4	同★																		（福祉·現代）社会調査実習Ⅰも履修のこと 社会調査士 G
教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	224147								②	4									◆	必2									
		保育・教職実践演習（幼稚園）	224148								②	4																		◆	必2

履修方法（最低単位）：必修23単位

履修方法（最低単位）：選択必修12単位（他欄の□も含めた中から）

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前·後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目		整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	小学校・幼稚園 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	幼稚園・保育士 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	履修方法（最低単位）	備考
実習	介護等体験の指導	224149		①							1			◆							必1									〔1〕
	教育実習Ⅰ	224150			①						2				◆						必修7単位			◆						必修7単位
	教育実習の指導Ⅰ	224151						①			3							◆									◆			
	教育実習の指導Ⅱ	224152							①		4								◆									◆		
	教育実習ⅡA	224153							④		4								◆									◆		
	教育実習ⅡB	224154							②		4								△											
	保育実習の指導ⅠA	224155				①					2													◆						必修6単位
	保育実習ⅠA(保育所)	224156				②					2													◆						
	保育実習の指導ⅠB	224157					①				3														◆					
	保育実習ⅠB(施設)	224158					②				3														◆					
	保育実習Ⅱ(保育所)	224159							②		4																	◇		選択必修2
	保育実習Ⅲ(施設)	224160							②		4																	◇		
研修・実習	アメリカ初等教育演習	224161		②		②		②		②	1			△		△		△		△			△		△		△		△	
	教育現場体験（インターンシップ）	224162					②		②		3						△		△							△		△		

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

◆必修、◇選択必修、△選択、□保育士固有の選択必修

1．専門関連科目の「人間形成・教育教養」科目群、「現代社会における教育教養」科目群のうち、8単位は一般教養科目に読み替えることができる。
履修時に「専門」か「教養」かを選択すること。

○社会調査士について （初等教育学科の場合）

社会調査士は、下記の表にある科目の単位を取得し大学を卒業することによって、資格を取得できます。ただし、EとFはどちらかひとつを選択してください。
なお、履修にあたっては、A・B科目を履修した後にG科目を、C・D科目を履修した後にE科目を履修してください。Fは履修順序に関係なく履修することができます。

	科目名	開講年次・学期	備考
A	社会科学と社会調査	2・3年 前期	社会調査の基本的事項に関する科目
B	社会調査の理論と方法	2・3年 前期	調査設計と実施方法に関する科目
C	情報機器の操作とデータ分析	1年 後期	基本的な資料とデータの分析に関する科目
D	教育統計基礎	1年 後期	社会調査に必要な統計学に関する科目
E	社会経済統計Ⅱ	2・3・4年 前後期	量的データ解析の方法に関する科目
F	フィールドワークと質的分析	2・3年 後期	質的な分析の方法に関する科目
G	社会調査実習Ⅰ	3・4年 前後期	社会調査の実習を中心とする科目
	社会調査実習Ⅱ	3・4年 前後	

11．環境デザイン学科

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
																		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
1年次専門講義科目	生活科学概論	231001	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	家政学の内容を含む [家]
	被服学概論	231002	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	[家]
	住居学概論	231003	②	②	②	②					1		△A	△A	△A	△A	△A	[家]
	食物学概論（栄養学を含む）	231004	②	②	②	②					1	◎	△A	△A	△A	△A	△A	[家]教職資格希望者優先
	西洋美術史	231005	②	②	②	②					1		△A	△A	△A	△A	△A	
	生活福祉概論	231006	②								1		△A	△A	△A	△A	△A	
	基礎科学A（数学）	231007	②								1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学B（力学）	231008		②							1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学C（物理学）	231009	②								1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学D（化学）	231010	②								1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学E（有機化学）	231011	②		②						1		△S	△S	△S	△S	△S	
	基礎科学F（科学一般）	231012		②							1		△S	△S	△S	△S	△S	
	住生活史	231013		②		②		②		②	1		◇		◇	◇		
	造形美学	231014	②								1		△A	△A	△A	△A	△A	
	デザイン概論Ⅰ	231015	②	②	②	②					1		◆	△A	△A	△A	△A	[家]
	人体表現基礎	231016		②		②		②			1		△A			◇		
	現代ファッション論	231017		②		②		②			1	専	△A				◇	
	色彩学	231018	②		②						1･2		◆	◇	◇	◇	◇	
	環境の科学	231019	②								1			△E	◇			
	図学	231020		②							1					◇		
2年次専門講義科目	プロデューサー概論	231021			②		②		②		2･3		◇					
	デザイン概論Ⅱ	231022			②	②					2		△A			◇		
	統計学（実験計画法基礎）	231023				②		②		②	2		◇			◇	◇	
	発想とイメージ	231024			②						2		◇			◇	◇	
	機器測定法	231025			②						2	専					◇	
	生体環境論	231026		②		②		②		②	2	◎同	◇			◇	◇	（専生）
	保育学（実習を含む）	231027		②		②		②		②	2	◎						[家]
	家庭経営学	231028			②		②		②		2	◎同						[家]（健康）（福祉「生活福祉経営論」）
	消費者経済学	231029			②		②		②		2	◎				◇	◇	
	建築史（日本）	231030			②		②		②		2	◎	◇	◆	◇			[家]
	建築史（西洋）	231031				②		②		②	2		◇	◆	◇			[家]
	住生活学	231032			②	②	②	②	②	②	2		◇	◇	◇	◇		[家]
	キッチンデザイン	231033				②		②		②	2	同	◇	◇	◇	◇		（文化）
	住居計画	231034			②	②					2		◇	◆	◇			[家]
	インテリア計画	231035			②	②	②	②			2		◇	◇	◇	◇		[家]
	建築構造Ⅰ	231036			②		②		②		2		◇	◆	◇			[家]
	構造力学Ⅰ及び演習	231037			②	①	②	①	②	①	2		◇	◆	◇	◇		
	家具デザイン	231038			②						2	同	◇	◇	◇	◇		（文化）
	インテリアデザイン概説A	231039			②		②				2･3		◇		◇	◇		
	インテリアデザイン概説B	231040				②		②			2･3		◇		◇	◇		

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位								開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
2年次専門講義科目	材料学A	231041				②		②		②	2·3	専	◇	△B	◇	◇		[家]
	材料学B	231042				②		②			2·3	専	◇		◇	◇	◇	[家]
	材料学C	231043				②		②			2·3	専	◇	△B	◇	◇	◇	[家]
	建築デザイン論	231044			②	②	②	②	②	②	2·3	同	◇	◇	◇	◇		(専生)
	環境工学	231045			②	②	②	②	②	②	2·3		◇	◆	◇			
	建築材料学	231046			②		②				2		◇	◆	◇			[家]
	服飾史Ⅰ	231047			②		②		②		2	◎同	◇			◇	◇	[家](歴文)
	服飾史Ⅱ	231048				②		②		②	2	◎同	◇			◇	◇	[家](歴文)
	被服材料学	231049			②		②				2		◇			◇	◇	[家]
	素材と製品の科学	231050			②		②				2	専	◇			◇	◇	
	繊維製品試験法	231051				②		②			2·3						◇	
	被服構成学	231052			②						2	◎	◇			◇	◇	[家]
	アパレル企画論	231053				②		②			2	◎	◇			◇	◇	[家]
	被服整理学	231054				②		②		②	2						◇	[家]
	テキスタイルデザイン論	231055				②					2		◇			◇	◇	
	ユニバーサルデザイン	231056			②		②				2	同	◇			◇	◇	(福祉)
	被服衛生学	231057			②		②		②		2					◇	◇	[家]
	工業デザイン論	231058			②	②					2	同	◇	◇	◇	◇	◇	(文化)
	デザインプロセス	231059			②						2		◇			◇		
	デザインエレメント	231060				②					2		◇			◇		
	人間工学	231061			②						2		◇	◇	◇	◇	◇	
	デザイン技法	231062				②					2		◇			◇		
	ヒューマンセンタードデザイン	231063				②					2		◇			◇		
	デザイン企画Ⅰ	231064			②	②	②	②	②	②	2		◆			◇		
	工芸デザイン論	231065				②					2	同	◇		◇	◇	◇	(文化)
3年次専門講義科目	家庭科教育法	231066			②	②	②	②			3	同	◇		◇	◇	◇	教職資格の取得を目指す者のみ(健康)
	家庭科教育法(教材研究)	231067			②	②	②	②			3	同						教職志望者は家庭科教育法を優先履修のこと(健康)
	家族関係論	231068			②		②		②		2·3	◎同	◇	◇	◇		◇	[家](健康)
	情報論同演習	231069						②	②		3·4	★	◇		◇	◇	◇	[家]
	デザイン構想論	231070						②		②	3		◇			◇		H23年度開講
	西洋家具とインテリアの歴史	231071					②				3		◇		◇	◇		
	環境心理学	231072					②	②			3	同	◇	◇	◇			[家](健康「住居学B」)(専生)
	環境計画	231073					②		②		3	専	◇	◇	◇			
	家庭機械及び家庭電気	231074						②		②	3	同						[家](健康)
	居住福祉論	231075						②		②	3	同	◇	◇	◇			(福祉)
	建築法規	231076					②		②		3		◇	◆	◇			
	構造力学Ⅱ及び演習	231077					②	①	②	①	3	専	◇	◇	◇			
	建築構造Ⅱ	231078					②		②		3	専	◇	◆	◇			
	建築構造Ⅲ	231079						②		②	3	専	◇	◆	◇			
	構造設計	231080					②	②			3	専	◇	◇	◇			

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位								開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
3年次専門講義科目	建築計画Ⅰ	231081					②		②		3	同	◇	◆	◇			(専生)
	建築計画Ⅱ	231082						②		②	3	同	◇	◆	◇			(専生)
	構法・施工A	231083					②		②		3	専	◇	△C	◇			
	構法・施工B	231084					②		②		3	専	◇	△C	◇			
	生活プロダクツ概説	231085			②		②				2·3		◇	◇	◇	◇	◇	
	空間企画論	231086					②				3	専	◇	△F	◇			
	都市計画	231087						②			3	専	◇	◆	◇			
	積算	231088						②			3		◇	△F	◇			
	構造デザイン論	231089					②				3	専	◇	◇	◇			
	建築設備	231090					②	②	②	②	3·4	同	◇	◆	◇			[家](専生)
	都市デザイン論	231091					②		②		3·4	同	◇	◇	◇			(専生)
	近代建築史	231092					②		②		3·4	同		◇	◇			(専生)
	ファッションデザインマネジメントA	231093					②		②		3						◇	偶数年度開講(H22～)
	ファッションデザインマネジメントB	231094					②		②		3						◇	奇数年度開講(H23～)
	染色理論	231095					②				3	専	◇			◇	◇	[家]
	繊維加工学	231096						②		②	3	同	◇			◇	◇	[家](専生)
	ファッション商品論	231097						②		②	3		◇			◇	◇	
	プロダクトデザイン論	231098				②		②		②	3	専	◇			◇		
	服飾デザイン	231099					②		②		3	専	◇				◇	[家]
	被服造形科学	231100					②		②		3	同					◇	[家](専生)
	マーケティング論	231101						②		②	3	同	◇			◇	◇	(専生)
	ベーシックプレゼンテーション	231102						②			3		◇			◇		
	デザインマネジメント	231103						②			3		◇		◇	◇	◇	
	プロダクトマテリアル	231104					②				3					◇		H23年度開講
	デザイン企画Ⅱ	231105					②		②		3		◆			◇		H23年度開講
4年次専門講義科目	デザイン計画特講A	231106					②	②	②	②	3·4		◇	◇	◇	◇	◇	(環6制)H22·25年度開講
	デザイン計画特講B	231107					②	②	②	②	3·4		◇	◇	◇	◇	◇	(環6制)H23·26年度開講
	デザイン計画特講C	231108					②	②	②	②	3·4		◇	◇	◇	◇	◇	(環6制)H24·27年度開講
	消費生活論	231109							②		4	◎専					◇	
	消費科学	231110								②	4	専					◇	
	造園	231111							②		4	専	◇	◇	◇	◇		
情報論・CAD	CG概論	231112			②		②				2·3		◇			◇		
	CGIA	231113		①							1		◇			◇		
	CGIB	231114			①						2							
	CGIC	231115			①						2						◇	
	CGⅡ(DTP)	231116				①					2		◇			◇		
	CGⅡ(3D)	231117				②		②			2·3		◇			◇		[4]
	CAD Ⅰ	231118		①							1		◇	△E				
	CAD Ⅱ	231119			①						2		◇	△E				

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
																		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
情報論・CAD	映像デザイン演習Ⅰ	231120				①					2		◇					
	映像デザイン演習Ⅱ	231121					①				3		◇					H23年度開講
	マルチメディア演習	231122				①					2							
	ファッションコンピュータ演習	231123				②		②		②	3		◇				◇	〔4〕
	データ分析基礎	231124			①						2							
デザイン関係演習科目	デッサンⅠ	231125	①	①							1	★	◇		◇	◇	◇	
	デッサンⅡ	231126		①		①					1		◇		◇	◇	◇	
	意匠学	231127	①	①							1	★	◇			◇		
	デザイン基礎	231128	②								1		◇					〔4〕
	製図基礎	231129		②							1		◇	◆	◇			〔4〕[家]
	立体基礎	231130		②							1		◇			◇		〔4〕
	造形基礎	231131		②							1		◇				◇	〔4〕
	造形プロデュース基礎	231132		②							1		◇					〔4〕
	基礎表現	231133		①							1		◇			◇	◇	
	色彩学演習	231134		①		①					1·2		◇		◇	◇	◇	
	デザイン画描法	231135			②	②	②	②	②	②	2	◎	◇		◇	◆	◇	〔4〕[家]
	構造デザイン演習	231136				①		①			2		◇	◇	◇			
	設計製図-教職-	231137	①		①		①		①		2	◎						[家]、建築学コース不可
	被服学実習-教職-	231138				②		②			2	同						〔4〕[家](健康「被服学及び実習」)、服飾コース不可
	デザイン企画演習Ⅰ1	231139			②						2		◇					〔4〕
	デザイン企画演習Ⅰ2	231140				②					2		◇					〔4〕
	デザイン企画演習Ⅱ1	231141					②				3		◇					〔4〕
	デザイン企画演習Ⅱ2	231142						②			3		◇					〔4〕
	デザイン企画演習Ⅲ	231143							②		4		◇					〔4〕
	設計製図Ⅰ1	231144			②						2		◇	◆	◇	◇		〔4〕[家]
	設計製図Ⅰ2	231145				②					2		◇	◆	◇	◇		〔4〕[家]
	設計製図Ⅱ1	231146					②				3	同	◇	◆	◇	◇		〔4〕[家](専生)(院環・環6制「設計演習」※非常勤教員担当のみ)
	設計製図Ⅱ2	231147						②			3	同	◇	◆	◇	◇		〔4〕[家](専生)(院環・環6制「設計演習」※非常勤教員担当のみ)
	設計製図Ⅲ	231148							②		4			◇				〔4〕[家]
	プロダクトデザイン演習Ⅰ1A	231149			②		②				2		◇		◇	◆	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅰ1B	231150			②		②				2		◇		◇	◇	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅰ2A	231151				②		②			2		◇		◇	◆	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅰ2B	231152				②		②			2		◇		◇	◇	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅱ1A	231153					②		②		3		◇		◇	◆	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅱ1B	231154					②		②		3		◇		◇	◇	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅱ2A	231155						②		②	3		◇		◇	◆	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅱ2B	231156						②		②	3		◇		◇	◇	◇	〔4〕
	プロダクトデザイン演習Ⅲ	231157							②		4							〔4〕
	コミュニケーションデザイン	231158					②				3		◇			◇		〔4〕
	プロダクトデザイン特別演習	231159								①	4					◇		

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
デザイン関係演習科目	造形デザイン演習Ⅰ1（モード）	231160			②						2		◇		◇		◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅰ1（テキスタイル）	231161			②						2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅰ1（クラフト）	231162			②						2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅰ2（モード）	231163				②					2		◇		◇		◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅰ2（テキスタイル）	231164				②					2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅰ2（クラフト）	231165				②					2		◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅱ1（モード）	231166					②				3	専	◇		◇		◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅱ1（テキスタイル）	231167					②				3	専	◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅱ1（クラフト）	231168					②				3	専	◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅱ2（モード）	231169						②			3	専	◇		◇		◇	〔4〕[家]、注参照
	造形デザイン演習Ⅱ2（テキスタイル）	231170						②			3	専	◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅱ2（クラフト）	231171						②			3	専	◇		◇		◇	〔4〕
	造形デザイン演習Ⅲ	231172							②		4							〔4〕[家]
	服飾DM総合演習Ⅰ	231173				①					2						◇	注参照
	服飾DM総合演習Ⅱ1	231174					①				3						◇	注参照
	服飾DM総合演習Ⅱ2	231175						①			3						◇	注参照
	デザイン実務演習Ⅰ1	231176			②		②		②		2・3		◇	◇				
	デザイン実務演習Ⅰ2	231177				②		②		②	2・3		◇	◇				
	語学研修（3ヶ月コース）	231178			⑯		⑯		⑯		2・3		△P					春の15週間ボストン留学プログラム
	語学研修（1ヶ月コース）	231179	④		④		④		④		-		△P					ボストン・サマーセッション
	DP総合演習A	231180	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					注参照
	DP総合演習B	231181	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					注参照
	DP総合演習C	231182	①	①	①	①	①	①	①	①	-		◇					注参照
	海外デザイン演習	231183		①		①		①		①	-			◇				研修旅行
実験実習科目	造形材料学実験	231184				②		②		②	2						◇	〔4〕[家]
	調理実習	231185				②		②		②	2・3							〔4〕[家]
	衣料鑑別実験	231186					②				3						◇	〔4〕[家]
	被服整理学実験	231187					①				3	専					◇	[家]
	染色加工実験	231188						①			3					◇	◇	[家]
	建築学実験A	231189						②			3			△D	◇			〔4〕
	建築学実験B	231190						②			3			△D	◇			〔4〕
	建築学実験C	231191						②			3			△D	◇			〔4〕
	建築学実験D	231192						②			3			△D	◇			〔4〕
	測量	231193						②	②	②	3・4	★		△D	◇			〔4〕
	衣料管理実習	231194							①		4						◇	校外実習、衣料管理士希望者のみ
卒業研究関連演習科目	デザイン構想演習	231195							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	モードデザイン演習	231196							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	被服人間工学演習	231197							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	テキスタイル造形演習	231198							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	染色・整理学演習	231199							①	①	4		△K		△K	△K	△K	

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	デザインプロデュースコース	建築・インテリアデザインコース 建築グループ	建築・インテリアデザインコース 建築・インテリアグループ	プロダクトデザインコース	服飾デザインマネジメントコース	備考
			単位		単位		単位		単位									開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
卒業研究関連演習科目	服飾造形演習	231200							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	被服造形科学演習	231201							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	繊維材料学演習	231202							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	造形計画演習	231203							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	住居・建築史演習	231204							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	都市環境学演習	231205							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	建築デザイン演習	231206							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	地域施設計画演習	231207							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	機能図形情報学演習	231208							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	空間デザイン演習	231209							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	住生活学演習	231210							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	設計プロセス演習	231211							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	環境心理学演習	231212							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	材料・環境科学演習	231213							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	建築歴史演習	231214							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	建築構造学演習	231215							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	ライフデザイン演習	231216							①	①	4		△K		△K	△K	△K	
	システムデザイン演習	231217							①	①	4					△K		
	環境デザイン学演習	231218							①	①	4		△K	△K	△K	△K	△K	
	卒業論文	231219							⑥		4		□	□	□	□	□	
	卒業制作	231220							⑥		4		□	□	□	□	□	
	卒業設計	231221							⑥		4		□	□	□	□	□	

各コース・グループの学生は、卒業要件を満たすために専門科目の中から 76 単位以上を選択して履修しなければいけないが、選択にあたって各々のコース・グループの◆印の必修科目と選択必修科目の合計で 74 単位以上の専門科目を履修しなければならない。ただし、建築・インテリアデザインコース建築グループの履修条件は JABEE 条件表を参照のこと。

選択必修条件は、◇印の選択必修科目のほかに、コース・グループごとに以下の単位を選択し履修すること。

【全コース対象】

・△A 印専門科目の中から 12 単位(但し 12 単位数を超えて履修した分に関しては 74 単位に含めない)、△K 印専門科目の中から 2 単位、□印専門科目の中から 6 単位。以上計 20 単位を 74 単位の中に含んで履修する。
・△S 印専門科目の「基礎科学 A ～ F」の中から 4 単位以上履修すること。△S 印専門科目は教養科目として登録すること。建築・インテリアデザインコースは「基礎科学 B(力学)」を履修すること。但し建築グループは必修。
・「製図基礎」「立体基礎」「造形基礎」「造形プロデュース基礎」を履修するためには「デザイン基礎」の知識が取得されていることを履修条件とする。
・「設計製図」「プロダクトデザイン演習」「造形デザイン演習」「デザイン企画演習」等のデザイン系の演習科目を履修するためには、「デッサン」「意匠学」「色彩学」「色彩学演習」に関する充分な知識が必要であり、2 年次以降はそれらのいずれかの知識があるものとして取り扱う。
・「設計製図Ⅰ」を履修するためには「製図基礎」の知識が、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」を履修するためには「立体基礎」の知識が、「造形ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習Ⅰ」を履修するためには「造形基礎」の知識が、「デザイン企画演習Ⅰ」を履修するためには「造形プロデュース基礎」の知識が取得されている(又は相当の学力が取得されている)ことを履修条件とする。
・「デザイン実務演習」の履修に当たっては、環境デザイン学科教務担当の指示に従うこと。
・教育職員免許、建築士、インテリアプランナー、JABEE、商業施設士、人間工学準専門家、衣料管理士については諸資格の記載を参照。
・各コースの欄の◆印は必修、◇印は選択必修。
・備考欄の〔4〕は 1 回の授業につき 4 時間(45 分／1 時間で計算)連続して行うものである。
・備考欄の [家] は教育職員免許(家庭)教科に関する専門科目。
・備考欄の( )内は同時開設している学科名及び科目名を表す。
・教職科目については、生活科学部健康デザイン学科開設専門科目で互換できることがある。所属学科教務担当の指示に従うこと。
・学芸員資格については、人間文化学部歴史文化学科の指示に従うこと。
・「基礎科学 A ～ F」の履修・クラス分けに関しては、年度始めのガイダンスに従うこと。
・履修可能範囲の専印は短大専攻科履修可。

【デザインプロデュースコース】
・△P 印専門科目は教養科目として登録すること。
・「語学研修(３ヶ月コース)」を履修する場合は、16 単位が評価のうえ認定される。内訳は外国語科目(英語)8 単位、一般教養 6 単位、外国語科目(英語)もしくは一般教養 2 単位。
　詳細については、便覧 p36 の「春期 15 週間ボストンプログラム」を参照すること。
・「語学研修(1 ヶ月コース)」を履修する場合は、外国語科目(英語)2 単位、一般教養科目 2 単位の計 4 単位が評価のうえ認定される。
　詳細については、便覧 p35 の「ボストン・サマーセッション」を参照すること。
・「卒業設計」、または「卒業制作」を履修する場合には、「デザイン企画演習Ⅰ」前後期 4 単位、「デザイン企画演習Ⅱ」前後期 4 単位、「デザイン企画演習Ⅲ」前期 2 単位の計１０単位を履修すること。
・他コースの演習を履修する場合は、環境デザイン学科教務担当の指示に従うこと。
・「DP 総合演習 A」「DP 総合演習 B」「DP 総合演習 C」から 1 単位以上履修すること。3 単位以上履修しても卒業要件として認める。

【建築・インテリアデザインコース】
・「卒業設計」、または「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
　a.「設計製図Ⅰ」もしくは「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「造形デザイン演習Ⅰ」の中から前後期 4 単位、
　　「設計製図Ⅱ」もしくは「プロダクトデザイン演習Ⅱ」、「造形デザイン演習Ⅱ」の中から前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
　b.「設計製図Ⅲ」あるいは「プロダクトデザイン演習Ⅲ」、「造形デザイン演習Ⅲ」のいずれかを 2 単位履修。
・JABEE 認定を希望する学生は建築・インテリアデザインコース建築グループに所属し、このグループ欄の条件に従うこと。(ただし詳細は別表(技術者認定プログラム条件表)に従うこと)
　△B ～△F：JABEE 条件である。技術者認定プログラム条件表参照。

【プロダクトデザインコース】
・「プロダクトデザイン演習Ⅰ」及び「プロダクトデザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「プロダクトデザイン演習(A)」を必修とする。
・「卒業制作」を履修する場合は、「プロダクトデザイン演習Ⅰ(A)」・「プロダクトデザイン演習Ⅱ(A)」、「プロダクトデザイン演習Ⅲ」および「プロダクトデザイン特別演習」を履修すること。

【服飾デザインマネジメントコース】
・「造形デザイン演習Ⅰ」及び「造形デザイン演習Ⅱ」の履修においては各学期ごとに「造形デザイン演習(モード)」を含み計 2 科目以上履修すること。
・「服飾 DM 総合演習Ⅰ・Ⅱ」を履修すること。ただし、編入生に関しては編入学以降の適用とする。
・「卒業制作」を履修する場合には以下の条件を卒業までに満たす必要がある。
　a.「造形デザイン演習Ⅰ」前後期 4 単位、「造形デザイン演習Ⅱ」前後期 4 単位の計 8 単位を履修。
　b.「造形デザイン演習Ⅲ」を 2 単位履修。

環境デザイン学科・環境デザイン研究専攻6年制カリキュラム

授業科目			整理番号	学年 4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	5年次 単位 前期	5年次 単位 後期	6年次 単位 前期	6年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	建築・インテリアデザインコース	実務関連	備考
4～6年次専門講義科目		デザイン計画特講A	231222			②	②	②	②	5・6		●		H22･25年度開講
		デザイン計画特講B	231223			②	②	②	②	5・6		●		H23･26年度開講
		デザイン計画特講C	231224			②	②	②	②	5・6		●		H24･27年度開講
	大学院 環境デザイン研究専攻開設科目（再掲）	建築計画研究ⅠA	231225	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築計画研究ⅠB	231226	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築計画研究ⅠC	231227	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		居住様式研究Ⅰ	231228	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		環境計画研究Ⅰ	231229	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築構法材料研究Ⅰ	231230	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		材料基礎研究Ⅰ	231231	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		材料科学研究Ⅰ	231232	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		環境基礎学Ⅰ	231233	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		建築史研究Ⅰ	231234	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築デザイン研究ⅠA	231235	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築デザイン研究ⅠB	231236	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		ランドスケープデザイン研究Ⅰ	231237	②	②	②	②	②	②	5・6		●		
		構造設計特論	231238	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
		建築生産計画論	231239	②	②	②	②	②	②	5・6		●	▲	
その他科目		設計製図Ⅳ(インターンシップ)	231240			④		④		5・6		●	▲b	〔8〕
		設計製図Ⅴ(インターンシップ)	231241				④		④	5・6		●	▲b	〔8〕
		設計演習	231242			②	②	②	②	5・6	同	●	▲a	（環境「設計製図Ⅱ」）
		デザイン実務演習Ⅱ-1(ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ)	231243			④	④	④	④	5・6		●	▲b	
		デザイン実務演習Ⅱ-2(ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ)	231244			④	④	④	④	5・6		●	▲b	
		デザイン実務演習Ⅱ-3(ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ)	231245			②	②	②	②	5・6		●	▲b	
		環境科学演習Ⅰ-1	231246			①	①			5		◇		
		環境科学演習Ⅰ-2	231247					①	①	6		◇		
		環境科学実験Ⅰ-1	231248			①	①			5		◇		
		環境科学実験Ⅰ-2	231249					①	①	6		◇		
		環境科学特別研究（論文）	231250			④	④	④	④	6		□		
		環境科学特別研究（設計）	231251			④	④	④	④	6		□	▲a	
		環境科学特別研究（制作）	231252			④	④	④	④	6		□		

備考：
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

6年制課程の学生は4年制の履修条件を満たし、かつ以下の履修条件を満足するよう履修しなければならない。
・所属するゼミの指導教員の研究科目を4単位履修し、演習または実験(◇印)のいずれかを2年間で4単位選択必修すること。
・コースの欄の□印専門科目の中から8単位履修すること。
・上記以外でコースの欄●印科目で14単位以上履修すること。
備考欄の〔8〕は1回の授業につき8時間(45分／1時間で計算)連続して行うものである。
「設計演習」は学部「設計製図Ⅱ」(非常勤教員担当)を代替えとできる。(履修にあたっては教務部委員に相談のこと)
建築士受験資格の実務年限2年を認定するための履修方法：▲bを14単位以上＋▲aを8単位まで＋▲を8単位まで 合計で30単位以上を履修すること。
建築士受験資格の実務年限1年を認定するための履修方法：▲bを4単位以上＋▲aを8単位まで＋▲を8単位まで 合計で15単位以上を履修すること。
4年次に大学院の科目として認定される単位数の上限は10単位までとする。
教員職員免許状　高(専修)、中(専修)に必要な単位については、大学院 環境デザイン研究専攻のカリキュラム表を確認すること。
上記の大学院 環境デザイン研究専攻開設科目は、学部(4年制)の卒業要件に含まない。
大学院入学後(5･6年次)の卒業要件については、大学院 環境デザイン研究専攻のカリキュラム表を確認すること。

12. 健康デザイン学科

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
基礎科目（専門関連科目）	健康デザイン概論	234001	2		2		2		2		1		
	化学A	234002	②		②		②		②		1		§
	化学B	234003		②		②		②		②	1		§
	生物学	234004	②		②		②		②		1		§
	微生物学	234005		②		②		②		②	1		■
	化学実験	234006	①		①		①		①		1		§[4]
	生物学実験	234007	①		①		①		①		1		§[4]
	微生物学実験	234008			①		①		①		2		[4]
	統計・情報処理演習	234009	②		②		②		②		1		▲△■◇▼§●[4]
	基礎調理学及び実習	234010	②		②		②		②		1		●[4]
社会生活と健康	社会福祉概論	234011			②		②		②		2		☆
	衛生・公衆衛生学	234012				②		②		②	2		☆■▼
人体の構造と機能	人体の構造と機能A	234013		②		②		②		②	1		☆■
	人体の構造と機能B	234014			②		②		②		2		☆■
	生化学	234015		②		②		②		②	1		☆§
	病理・疾病	234016				②		②		②	2		☆◆
	生化学・解剖生理学実験	234017				②		②		②	2		☆§[6]
食品と衛生	食品学	234018		②		②		②		②	1		☆△
	食品と加工	234019						②		②	3		☆◇■▼
	食品衛生学	234020			②		②		②		2		☆◇■▼
	食品科学実験	234021						②		②	3		☆◇[6]
	食品マーケティング論	234022							②		4		◇
栄養と健康	栄養と健康	234023		②		②		②		②	1		☆◇△◆
	応用栄養学	234024			②		②		②		2		☆■◆
	臨床栄養学総論	234025				②		②		②	2		☆
	臨床栄養学各論	234026					②		②		3		☆
	栄養学実習	234027				②		②		②	2		☆[6]◆
	臨床栄養学実習	234028						②		②	3		☆[6]
栄養の指導	栄養指導論総論	234029			②		②		②		2		☆
	栄養指導論各論	234030				②		②		②	2		☆
	公衆栄養学	234031					②		②		3		☆
	栄養指導論実習	234032					②		②		3		☆[6]
給食の運営	調理科学	234033		②		②		②		②	1		◇
	調理学実習	234034			②		②		②		2		☆◇△[6]
	食品官能評価・鑑別論	234035					②		②		3		◇[4]
	給食管理論Ⅰ	234036			②		②		②		2		☆
	給食管理論Ⅱ	234037				②		②		②	2		☆
	給食実務論実習	234038				②		②		②	2		☆[6]
	校外実習A	234039						①		①	3		☆ 栄養士免許希望者は1単位以上履修のこと
	校外実習B	234040						②		②	3		☆
	校外実習事前事後の指導	234041						①		①	3		☆

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位			開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
食科学領域	食のデザイン	234042		②		②		②		②	1		♪
	食品素材の科学	234043			②		②		②		2		◇♪
	食品情報処理	234044			②		②		②		2		[4]♪
	サプリメント論	234045				②		②		②	3		
	調理と理論	234046					②		②		3		[4]
	生体調節と食品成分	234047					②		②		3		[4]
	食行動と食育	234048						②		②	3		
	世界の食	234049								②	4		[4]
	食品創生に関わる素材と新技術	234050							②		4		
	食の安全	234051							②		4		
	食べ物とアレルギー	234052								②	4		
	おいしさの科学と評価	234053							②		4		[4]
感覚領域	メイクアップの科学	234054	②		②		②		②		1		♪
	バイオテクノロジー	234055			②		②		②		2		§♪
	感覚学概論	234056				②		②		②	2		♪
	臨床薬理学	234057						②		②	3		「食科学領域」科目としても履修可
	感覚評価・鑑別論	234058					②		②		3		[4]
	色彩科学	234059					②		②		3		
	脳とおいしさの科学	234060						②		②	3		
	皮膚科学	234061					②		②		3		
	化粧心理学	234062					②		②		3		【集中】
	香粧料化学	234063						②		②	3		
	サイコレオロジー	234064							②		4		
	サクセスフルエイジング	234065								②	4		
	薬事法	234066							②		4		
	臨床カウンセリング論	234067								②	4		
運動領域	健康管理概論	234068		②		②		②		②	1		■▼♪◆
	運動生理学	234069				②		②		②	2		▼♪◆
	体育実技A	234070		①		①		①		①	1		▼◆
	体育実技B	234071		①		①		①		①	1		▼◆
	スポーツ実習A・アクアスポーツ	234072	①		①		①		①		1		【集中】◆
	スポーツ実習B・スノースポーツ	234073		①		①		①		①	1		【集中】
	パワーエクササイズ（指導法を含む）	234074		①		①		①		①	1		【集中】◆
	スポーツ医学	234075					②		②		3		◆
	スポーツ栄養学	234076					②		②		3		♪◆
	スポーツトレーニング論	234077						②		②	3		◆
	体力測定・評価	234078						②		②	3		◆
	バイオメカニクス	234079						②		②	3		◆
	スポーツトレーニング論演習	234080							②		4		[4]◆
	体力測定・評価演習	234081							②		4		[4]◆
	スポーツ現場実習	234082							①		4		◆

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
フードスペシャリスト科目	フードスペシャリスト論	234083				②		②		②	2		◇ 専門科目の卒業要件単位に含めることはできない
	フードコーディネート論	234084					②		②		3		◇
家庭科教員免許科目	家族関係論	234085	②		②		②		②		1	同	△（環境）
	家庭経営学	234086			②		②		②		2	同	△（環境・福祉）
	家庭経済学A	234087					②		②		3	◎	△
	住居学A	234088	②		②		②		②		1	◎	△ 教員免許希望者は1科目選択必修のこと
	住居学B	234089	②		②		②		②		1	同	△（環境「環境心理学」）
	住居学演習	234090	①		①		①		①		1		△[4]
	被服学A	234091	②		②		②		②		1	◎	△
	被服学B	234092		②		②		②		②	2	◎	△
	被服学及び実習	234093				②		②		②	2	同	△[4]（環境「被服学実習－教職－」）
	家庭機械及び家庭電気	234094						②		②	3	同	△（環境）
	保育学	234095				②		②		②	2		△
	家庭科教育法	234096			②	②	②	②			3	同	△（環境）
	家庭科教育法（教材研究）	234097			②	②	②	②			3	同	（環境）「家庭科教育法」を優先して履修
理科教員免許科目	物理学	234098		②		②		②			2		§
	物理学実験	234099			①		①		①		3		§[4]【集中】
	地学	234100			②		②		②		2		§
	地学実験	234101				①		①		①	3		§[4]【集中】
	理科教育法	234102			②	②	②	②			3		§
保健・保健体育教員免許科目	運動学	234103		②		②		②		②	1		▼
	学校保健A	234104					②		②		3		■▼
	学校保健B	234105						②		②	3		■▼
	スポーツ社会学	234106		②		②		②		②	1		◆「運動領域科目」としても履修可 保健体育科教員免許希望者は選択必修
	スポーツ心理学	234107								②	4		
	体育経営管理学	234108					②		②		3		
	体育原理	234109				②		②		②	2		
	保健科教育法	234110			②	②	②	②			3		■
	保健体育科教育法	234111			②	②	②	②			3		▼
アメリカ栄養士体験コース		234112			②		②		②		-		
特別演習A（外書講読）		234113							①		4		
特別演習B（輪講）		234114								①	4		
卒業研究		234115							8		4		
特別研究		234116							⑧		5		

履修可能範囲等
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

注：備考欄の●印は、健康デザイン学科専用教養科目。♪は領域必修科目。
備考欄の☆印は栄養士必修科目、△印は家庭科教員免許必修科目、§ 印は理科教員免許必修科目、■印は保健科教員免許必修科目、▼印は保健体育科教員必修科目、◇印はフードスペシャリスト受験資格必修科目、◆印は健康運動指導士受験資格必修科目。
栄養教諭を希望する者は、管理栄養学科に開設されている「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」「栄養教育実習事前事後の指導」「栄養教育実習」及び▲印科目を必ず履修すること。
備考欄の [4] は 180 分授業を、[6] は 270 分授業を、【集中】は集中講義授業を示す。

13. 管理栄養学科

	授業科目	整理番号	学年 1年次 単位 前期	1年次 単位 後期	2年次 単位 前期	2年次 単位 後期	3年次 単位 前期	3年次 単位 後期	4年次 単位 前期	4年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
													開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
基礎科目（専門関連科目）	管理栄養士概論	233001	2		2		2		2		1		
	化学A	233002	2		2		2		2		1		◆●
	化学B	233003		2		2		2		2	1		◆●
	生物学	233004	②		②		②		②		1		●
	微生物学	233005	2		2		2		2		1		◆●
	化学実験	233006		①		①		①		①	1		●[4]
	生物学実験	233007	①		①		①		①		1		●[4]
	微生物学実験	233008		1		1		1		1	1		◆●[4]
	統計・情報処理演習	233009		②		②		②		②	1		▲●[4]
	基礎調理学及び実習	233010		②		②		②		②	1		●[4]
社会・環境と健康	人間と社会生活	233011					2		2		3		☆◆
	社会環境と福祉	233012				②		②		②	2		☆
	健康管理概論	233013			②		②		②		2		☆
人体の構造と機能疾病の成り立ち	人体の構造と機能A（総論）	233014		②		②		②		②	1		☆
	人体の構造と機能B（解剖学）	233015			2		2		2		2		☆◆
	人体の構造と機能C（生理学）	233016			2		2		2		2		☆◆
	生化学	233017		2		2		2		2	1		☆◆
	栄養生化学	233018			2		2		2		2		☆◆
	臨床医学総論（病理も含む）	233019			2		2		2		2		☆◆
	臨床医学各論（病理と遺伝子、遺伝子治療含む）	233020				②		②		②	2		☆
	生化学実験	233021				2		2		2	2		☆◆〔6〕
	解剖生理学実験A(人体の構造と生理)	233022			2	2	2	2	2	2	2		☆◆〔6〕★
	解剖生理学実験B(人体の生理と分子医学)	233023			2	2	2	2	2	2	2		☆◆〔6〕★
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）	233024		2		2		2		2	1		☆◆
	食品素材の科学	233025			②		②		②		2		☆
	食品と加工	233026							2		4		☆◆
	食品衛生学	233027				2		2		2	2		☆◆
	調理科学	233028			②		②		②		2		☆
	食品学実験	233029				2		2		2	2		☆◆〔6〕
	食品衛生学・食品加工学実験	233030							2		4		☆◆〔6〕
	調理学実習	233031			②		②		②		2		☆〔6〕
	調理学実験	233032						②		②	3		〔6〕
基礎栄養学	基礎栄養学	233033		2		2		2		2	1		☆◆
	分子栄養学（分子生物学の基礎を含む）	233034								②	4		
	基礎栄養学実習	233035				1		1		1	2		☆◆〔3〕
応用栄養学	応用栄養学A(母性・乳幼児)	233036			2		2		2		2		☆◆
	応用栄養学B（学童期～高齢期）	233037				2		2		2	2		☆◆
	応用栄養学C（特殊環境）	233038							2		4		☆◆
	応用栄養学実習	233039				1		1		1	2		☆◆〔3〕

	授業科目	整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位				開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学　学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
栄養教育論	栄養教育論総論	233040			②		②		②		2		☆
	栄養教育論各論	233041				②		②		②	2		☆
	カウンセリング論	233042					②		②		3		☆
	栄養教育論実習Ⅰ	233043					①		①		3		☆〔3〕
	栄養教育論実習Ⅱ	233044								①	4		〔4〕
臨床栄養学	臨床栄養学総論	233045				②		②		②	2		☆
	臨床栄養学各論A	233046					②		②		3		☆
	臨床栄養学各論B	233047					②		②		3		☆
	臨床栄養学各論C（病気と遺伝子含む）	233048							②		4		
	食事介助と在宅医療	233049							②		4		☆
	臨床栄養学特論	233050								②	4		
	臨床栄養学実習	233051					②		②		3		☆〔6〕
	臨床療法調理学実習	233052							②		4		☆〔6〕
公衆栄養学	公衆栄養学総論	233053				②		②		②	2		☆
	公衆栄養学各論	233054					②		②		3		☆
	公衆栄養学実習	233055					①		①		3		☆〔3〕
給食経営管理論	給食管理論	233056				②		②		②	2		☆
	給食経営管理論	233057					②		②		3		☆
	給食経営管理実習	233058					②		②		3		☆〔6〕
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習	233059						①			3･4		☆
	栄養情報処理論（演習）	233060						①		①	3		
	臨地実習事前事後集中講義（総合演習A）	233061					①				2~3		☆
	臨地実習事前事後集中講義（総合演習B）	233062							①		4		☆
	臨地実習A−a（給食の運営）	233063							①		3･4		☆
	臨地実習A−b（給食の運営）	233064							②		3･4		☆
	臨地実習B−a（公衆栄養学）	233065							①		3･4		☆
	臨地実習B−b（公衆栄養学）	233066							②		3･4		☆
	臨地実習C−a（臨床栄養学）	233067							①		3･4		☆
	臨地実習C−b（臨床栄養学）	233068							②		3･4		☆
	臨地実習C−c（臨床栄養学）	233069							③		3･4		☆
	臨地実習D（給食経営管理論）	233070							①		3･4		☆
栄養教諭	学校栄養教育論Ⅰ	233071				②		②		②	2	◎＃	▲(食専・健康のみ)
	学校栄養教育論Ⅱ	233072					②		②		3	◎＃	▲(食専・健康のみ)
	栄養教育実習事前事後の指導	233073							①		4	◎＃	▲(食専・健康のみ)〔1〕
	栄養教育実習	233074							①		4	◎＃	▲(食専・健康のみ)
国家試験対策講座	国試対策（社会・環境と健康）	233075								②	4		
	国試対策（人体の構造と機能および疾病の成り立ちA）	233076							①	①	4		〔1〕
	国試対策（人体の構造と機能および疾病の成り立ちB）	233077							②		4		
	国試対策（食べ物と健康A）	233078							①	①	4		〔1〕
	国試対策（食べ物と健康B）	233079							①	①	4		〔1〕

総合演習：栄養士免許希望者は、「給食の運営」1単位以上を含む4単位以上を履修のこと。

授業科目		整理番号	学年 1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
			単位		単位		単位		単位				
国家試験対策講座	国試対策(基礎栄養学)	233080							①	①	4		〔1〕
	国試対策(応用栄養学)	233081							①	①	4		〔1〕
	国試対策(栄養教育論)	233082							①	①	4		〔1〕
	国試対策(臨床栄養学)	233083							②	②	4		
	国試対策(公衆栄養学)	233084							①	①	4		〔1〕
	国試対策(給食経営管理論)	233085							①	①	4		〔1〕
	国試対策(応用力試験)	233086								②	4		
	国試対策(試験演習)	233087								②	4		
アメリカ栄養士体験コース		233088			②		②		②		-		
特別演習A(外書講読)		233089							①		4		
特別演習B(輪講)		233090								①	4		
卒業研究		233091							8		4		
特別研究		233092							⑧		5		

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

注：備考欄の●印は、管理栄養学科専用教養科目。
備考欄の☆印は栄養士必修科目、◆印は食品衛生管理者・監視員必修科目、▲印は栄養教諭必修科目。
備考欄の [1] は 45 分授業を、[3] は 135 分授業を、[4] は 180 分授業を、[6] は 270 分授業を示す。
3 年次編入生は食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格をとることはできない。

14. 文化創造学科

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
文化創造基礎科目	ゼミ	基礎ゼミⅠ	520001	1				1		
		基礎ゼミⅡ	520002		1			1		
		文化研究ゼミⅠ	520003			1		2		
		文化研究ゼミⅡ	520004				1	2		
	基礎教養	人間と倫理	520005	②		②		2		
		社会心理	520006			②	②	2	同	(教養)
		ことばと社会	520007		②		②	1		
		女性と社会	520008	②		②		1		
		生活概論	520009		②		②	1	◎	
		環境共生論	520010		②		②	1		
		社会福祉入門	520011		②		②	1・2	◎	
		ボランティア論	520012	②		②		1	同	(教養)
		コミュニティ・サービスラーニング(ボランティア論)	520013		②		②	1	同	(教養)
		IT概論	520014	②		②		1	◎	
	スキル	日本語講座Ⅰ(書く)	520015	①	①	①	①	1	★	
		日本語講座Ⅱ(話す)	520016	①	①	①	①	1		
		硬筆書道	520017	①	①	①	①	1・2		
		数理基礎	520018	①	①	①	①	1	★	
		コンピュータスキルA(ワード)Ⅰ	520019	①	①	①	①	1	★	
		コンピュータスキルA(エクセル・パワーポイント)Ⅱ	520020		①		①	1		
		コンピュータスキルB(PhotoShop&Illustrator)	520021	①	①	①	①	1	同	(国際)イメージ編集Ⅰ・Ⅱ
		コンピュータスキルC(WEB)	520022	①	①	①	①	1	同	(国際)WEBデザインA・B
		コンピュータスキルD(パソコン検定)	520023	①	①	①	①	1・2	★	
		コンピュータスキルE(Vector Works CG)	520024	①	①	①	①	1		
		コンピュータスキルF(デジタル編集)	520025	①	①	①	①	1	同	(国際)DTP編集Ⅰ・Ⅱ
		コンピュータスキルG(MCAS)	520026	①	①	①	①	1		
専門教科科目	文化史	日本文化史	520027	②		②		2	◎	
		日本伝統文化A(能)	520028	②		②		1・2		
		日本伝統文化B(茶道)	520029	①	①	①	①	1・2	★	
		日本の芸能	520030	②	②	②	②	1・2		
		日本美術史概説	520031	②	②	②	②	2	同	(歴文)
		日本住居史	520032		②		②	1・2	◎	
		日本仏教文化	520033	②	②	②	②	2		
		アジアの思想	520034	②	②	②	②	2		
		近代文化論	520035		②		②	2	◎	
		中国の文化と文学	520036		②		②	1	◎	
		アメリカ文化事情	520037	②	②	②	②	1・2		
		イギリス文化論	520038	②	②	②	②	1・2	同	(教養)
		異文化間コミュニケーション	520039		②		②	1・2		
		食の文化A	520040		②		②	1		
		食の文化B	520041	②		②		1		

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目				整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
											開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
専門教科科目	文学・語学	文学・語学	日本古典文学史	520042	②		②		1	◎	
			日本近代文学史	520043		②		②	1	◎	
			王朝物語文学	520044		②		②	1	◎	
			王朝和歌文学	520045	②		②		2	◎	
			日本近代小説	520046	②		②		1	◎	
			日本語学概論	520047		②		②	2	◎	
			アメリカ文学史	520048	②	②	②	②	1・2	★	
			イギリス文学史	520049		②		②	1・2		
			ニューイングランド文学	520050	②		②		1・2		
			イギリス・ゴシック文学	520051	②		②		1・2		
			イギリス女性文学論	520052		②		②	1・2		
			アメリカ文学の女性像	520053	②		②		1・2	同	（教養）
			現代アメリカ文学	520054		②		②	1・2		
			国際理解入門	520055	②		②		1・2	同	（現代）人数制限あり
			英語学概論	520056	②		②		2		
		イングリッシュスキル	Social Issues (Grammar & Reading) Ⅰ	520057	①		①		1		
			Social Issues (Grammar & Reading) Ⅱ	520058		①		①	1		
			Fiction&Journal (Reading & Writing) Ⅰ	520059	①		①		1		
			Fiction&Journal (Reading & Writing) Ⅱ	520060		①		①	1		
			College Life (Speaking)	520061	①		①		1		
			Short Stories (Intensive Reading) Ⅰ	520062	①		①		1		
			Short Stories (Intensive Reading) Ⅱ	520063		①		①	1		
			Japanese Tradition (Oral Communication)	520064		①		①	1		
			History & Media (Reading Fluency)	520065		①		①	1		
			Business English	520066	①		①		1		
			Travel English	520067		①		①	1		
			Understanding Culture (Reading)	520068			①		2		
			World News (Listening & Discussion)	520069				①	2		
			American History (Intensive Reading)	520070				①	2		
			Current Topics (Listening & Discussion)	520071			①		2		
			Presentation Skill	520072				②	2		[2×2]
			Academic Writing	520073			②		2		[2×2]
			English Communication Ⅰ	520074			①		2		
			English Communication Ⅱ	520075				①	2		
	ボストン	レギュラープログラム	Current American Topics (Listening & Speaking)	520076		②			1		
			Discussing American Issues (Discussion)	520077		②			1		
			American History (Reading)	520078		②			1		
			Introduction to New England Literature (Reading)	520079		②			1		
			Introduction to American Society (Reading)	520080		②			1		
			Community Service (Visits and Writing)	520081		②			1		
			American Culture Electives Ⅰ	520082		②			1		

授業科目				整理番号	学年 1年次 前期	学年 1年次 後期	学年 2年次 前期	学年 2年次 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
専門教科科目	ボストン	レギュラープログラム	American Culture Electives Ⅱ (Writing Project)	520083		②			1		
			Field Trip Study (Class and Excursion)	520084		②			1		
		エクステンション・プログラム	Grammar Structure and Usage	520085		①			1		
			Conversation and Listening	520086		①			1		
			Reading and Writing	520087		①			1		
	メディア・社会		現代社会論	520088	②		②		1		
			法学(日常生活における法)	520089	②	②	②	②	1･2		
			入門経済学	520090	②	②	②	②	1･2	同★	(教養)
			現代金融ビジネス入門Ⅰ	520091			②		2	同	(現代) 人数制限あり
			現代金融ビジネス入門Ⅱ	520092				②	2	同	(現代) 人数制限あり
			企業と広報	520093			②		2	同	(現代) 人数制限あり
			マーケティング論	520094				②	2	同	(現代) 人数制限あり
			アパレル企画論	520095		②		②	1		
			ファッションデザイン	520096		②		②	2		
			ファッションブランド研究	520097	②		②		1		
			販売論	520098		②		②	2		
			くらしと NPO (市民にできる社会貢献)	520099		②		②	1		
			現代社会事情概説 (女性記者の視点から)	520100			②		2	同	(教養) 人数制限あり
			現代女性の社会参加	520101				②	2	同	(教養) 人数制限あり
			メディア概論	520102	②		②		1		
			メディアリテラシーⅠ(TV)	520103	②		②		1		
			メディアリテラシーⅡ(児童)	520104	②		②		1	同	(初教：メディア教育)
			メディアリテラシーⅢ(映画)	520105	②		②		2		
			メディアリテラシーⅣ(IT)	520106		②		②	1		
			メディアリテラシーⅤ(広告)	520107		②		②	1		
			創作表現A(小説)	520108	①	①	①	①	1･2		
			創作表現B(脚本)	520109	②	①	②	①	1･2		
			創作表現C(毛筆書道Ⅰ)	520110	①	①	①	①	1	◎同	(日文：書道実習Ⅰ)
			創作表現D(毛筆書道Ⅱ)	520111	①	①	①	①	2	◎同	(日文：書道実習Ⅱ)
			創作表現E(短歌)	520112	①	①	①	①	1		
			創作表現F(パフォーマンス)	520113	②	②	②	②	2		[4]
			映像論及び制作Ⅰ	520114	③				1		[4]
			映像論及び制作Ⅱ	520115		③			1		[4]
			映像論及び制作Ⅲ	520116			③		2		[4]
			映像論及び制作Ⅳ	520117				③	2		[4]
	生活デザイン		住生活概論	520118	②		②		1	◎	
			カラーデザイン	520119		②		②	1	◎	
			西欧の家具･インテリア史	520120	②		②		1	◎	
			デザイン基礎A	520121	②				1		[4]
			製図基礎	520122		②		②	1		[4]
			設計製図Ⅰ1	520123			②		2		[4]

備考
開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前･後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

授業科目			整理番号	学年 1年次 単位 前期	学年 1年次 単位 後期	学年 2年次 単位 前期	学年 2年次 単位 後期	開講中心年次	履修可能範囲等	備考
専門教科科目	生活デザイン	基礎デザイン論	520124	②	②			1		
		デザイン演習	520125			②	②	2		[4]
		家具デザイン	520126			②		2	同	(環境)
		キッチンデザイン	520127				②	2	同	(環境)
		工業デザイン論	520128			②	②	2	同	(環境)
		工芸デザイン論	520129				②	2	同	(環境)
		デザイン基礎B	520130	②				1		[4]
		造形デザイン演習(テキスタイル)	520131	①	①			1		
		被服構成学及び実習	520132		①		①	1		[3]
	卒業演習	文化創造演習Ⅰ	520133			①		2		
		文化創造演習Ⅱ	520134				①	2		
卒業研究			520135			④		2		
進路支援	就職	インターンシップ	520136	①				1		
		SPI対策講座Ⅰ(非言語)	520137	①	①	①	①	1·2	★	
		SPI対策講座Ⅱ(言語)	520138		①		①	1		
	進学	英語Reading Ⅰ	520139	①		①		1		
		英語Reading Ⅱ	520140		①		①	1		
		日本語読解・小論文Ⅰ	520141	①		①		1		
		日本語読解・小論文Ⅱ	520142		①		①	1		
資格支援	図書館情報学	司書必修科目 甲群 生涯学習概論	520143	①	①			1	★#	[1]
		図書館概論	520144	②	②			1	★#	
		図書館サービス論	520145	②	②			1	★#	
		情報サービス概説	520146	②	②			1	★#	
		図書館資料論	520147	②	②			1	★#	
		資料組織概説	520148	②	②			1	★#	
		図書館経営論	520149		①	①	①	2	★#	[1]
		専門資料論	520150		①	①	①	2	★#	[1]
		児童サービス論	520151	①	①	①	①	1	★#	[1]
		レファレンスサービス演習	520152		①	①	①	2	★#	
		情報検索演習	520153			①	①	2	★#	
		資料組織演習A	520154		①	①	①	2	★#	
		資料組織演習B	520155		①	①	①	2	★#	
		司書選択科目 乙群 図書及び図書館史	520156	①		①		2	#	[1]
		資料特論	520157		①		①	2	#	[1]
		コミュニケーション論	520158			①		2	#	[1]
		情報機器論	520159		①		①	2	#	[1]
		図書館特論	520160		①		①	2	#	[1]

図書館司書の資格取得を目指す学生のみ履修を認める。資格が取れない場合、卒業要件単位として認められません。

2科目2単位選択必修

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学 学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前·後期同一内容
⑦#印は一般教養にならない

15. ① 国語国文学専攻

授業科目	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
文学理論	511001	2	2		開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
国語学特殊講義A	511002	2	2	同	(日文：日本語学Ⅱ(こいろ))
国文学特殊講義A	511003	2	2		
国語学特殊講義B	511004	②	②	同	(日文：日本語学Ⅰ(御伽草子の語法))
国文学特殊講義B	511005	②	②	□	
国文学特殊講義C	511006	②	②		
国文学特殊講義D	511007	②	②		
国文学特殊講義E	511008	②	②	同	(日文：古典文学Ⅱ(隠者文学))
比較文学特殊講義	511009	②	②	同	(日文：近代文学Ⅱ(比較文学))
国語国文学演習A	511010	①	①		どちらか通年で選択必須
国語国文学演習B	511011	①	①		
国語国文学研究	511012	4			

＊専攻科生は修了に必要な 30 単位のうち、6 単位までを「日本語日本文学科の専門科目」の履修によって修得できる。
「日本語日本文学科の専門科目」とは、日本語日本文学科カリキュラム表の備考欄に専印を付した科目である。

＊文学理論、国語学特殊講義 A、国語学特殊講義 B、国文学特殊講義 A、国語国文学演習 A・B、国語国文学研究を除く専攻科の科目は、
文化創造学科の 2 年次生が履修を希望した場合、担当教員の許可があれば履修することができる。

15. ② 英語英文学専攻

授業科目	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
					開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
イギリス文学研究Ⅰ	512001		②	同	(英コミ)
イギリス文学研究Ⅱ	512002	②	②	同★	(英コミ:19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像))
イギリス文学研究Ⅲ	512003	②		同	(英コミ)
アメリカ文学研究Ⅰ	512004		②		
アメリカ文学研究Ⅱ	512005	②		同	(英コミ:「喪失の世代」のアメリカ)
アメリカ文学研究Ⅲ	512006		②	同	(英コミ:19世紀アメリカ小説)
英米児童文学	512007	②		同	(英コミ)
応用言語学	512008		②		
社会言語学研究	512009	②			
英語の語源学	512010	②		同	(英コミ:英語の語源学・言葉の誕生を知る)
コミュニケーションⅠ	512011	②			
コミュニケーションⅡ	512012		②		
Multicultural America	512013	②		同	(英コミ:異文化コミュニケーションⅡ)
Advanced Reading	512014	2	②		[2×2]
卒業研究A(文学系)	512015	2	②		前期はA・Bの2科目とも必修 後期は2科目のうち、1科目を選択必修
卒業研究B(言語・文化系)	512016	2	②		

1. 専攻科生は、30 単位以上履修すること。

2. 本学の専攻科英語英文学専攻を修了した後、更に本学又は他大学の学部で科目等履修生として一定数の単位を履修・修得 し、「学位授与機構」で総修得単位を認定され、論文を提出した上で審査に合格すれば学士(文学)の学位を取得することができます。
また、本学の文化創造学科、人間文化学科または英語英文学科、および本専攻科を修了した後、更に本学で科目等履修生として一定の単位を履修・修得し、「学位授与機構」で学士(文学)の学位を取得すれば、昭和女子大学から同様の学士(文学)の学位が追認されます。

3. 英検および TOEIC について
本専攻科では実用英語技能検定(英検)および TOEIC の資格を単位として認定しています。
資格取得者に認定される単位は、以下の通りとします。
英検準 1 級＝TOEIC 650 点以上→1 単位
英検 1 級＝TOEIC 850 点以上→2 単位
上記の単位は専攻科の単位として認定されます。
ただし、本学の短期大学部人間文化学科・英語英文学科および二部の人間文化学科・英語英文学科で上記の英検および TOEIC の資格を申請して認定された単位を再度申請することはできません。また、本専攻科の修了に必要な 30 単位には含まれません。
認定される単位は最高 2 単位までとし、下位の単位認定を受けた者がさらに上位の「級」を取得した場合には、既得認定単位との差が加算されます。
英検と TOEIC の両方を取っても単位の認定は 1 回のみとします。
単位認定の申請手続きについては「英検・TOEIC・漢検の単位認定」の項の「単位認定の申請方法」を参照してください。

15. ③ 生活文化学専攻

授業科目	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
テキスタイル・インテリア造形論	513001		②		
テキスタイル・インテリア造形演習A	513002	①			
テキスタイル・インテリア造形演習B	513003		①		
生体環境論	513004		②	同	(環境)
被服造形科学	513005	②		同	(環境)
染色加工学	513006	②			
色彩情報論	513007		②		
繊維加工学	513008		②	同	(環境)
マーケティング論	513009		②	同	(環境)
ファッションサイエンス特別演習	513010	①	①		
近代建築史	513011	②		同	●(環境)
建築史特講(日本建築の特質)	513012		②	同	●(環境)
住居史	513013	②	②	□	●
建築計画Ⅰ	513014	②		同	●(環境)
建築計画Ⅱ	513015		②	同	●(環境)
都市デザイン論	513016	②		同	●(環境)
建築デザイン論	513017	②	②	同	●(環境)
建築設備	513018	②	②	同	●(環境)
環境心理学	513019	②	②	同	●(環境)
インテリアデザイン及び演習	513020	②	①		●
設計演習	513021	②	②	同	[4]　▲(環境：設計製図Ⅱ)
住居史演習	513022	①	①		■
建築計画演習	513023	①	①		■
住環境演習	513024	①	①		■
特別研究	513025	4			▲

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

1．専攻科生は、修了に必要な 30 単位中、7 単位までを「環境デザイン学科の専門科目」の履修によって修得することができる。
「環境デザイン学科の専門科目」とは、同学科カリキュラム表の履修可能範囲欄に「専」と書かれている科目である。

2．2級建築士・木造建築士試験受験資格（卒業後実務 2 年）を短期大学部文化創造学科で取得し、専攻科において「実務 0 年」の受験資格を得ようとするものは、●印の科目から 20 単位以上、■印の科目から 1 科目 2 単位、▲印の科目を通年で修得しなければならない。

15. ④ 食物科学専攻

	授業科目	整理番号	学年 専攻科 単位 前期	学年 専攻科 単位 後期	履修可能範囲等	備考
						開設単位: ①無印は必修科目 ②○印は選択科目 履修可能範囲: ①無印は本学科学生のみ ②◎印は他学科学生履修可 ③◎学 学部内他学科学生履修可 ④□印は同系列学生履修可 ⑤同印は同時開設科目 ⑥★印前・後期同一内容 ⑦＃印は一般教養にならない
専門科目	公衆衛生学特論	514001	②		□	
	病理学特論	514002	2		□	
	食物学特論Ⅰ	514003	2		□	
	食物学特論Ⅱ	514004	②		□	
	食物学特論Ⅲ	514005	②			
	食品衛生学特論	514006	②		□	
	食物学特論実験	514007	②		□	〔4〕＊：2科目中いずれか1科目必修
	微生物学特論演習	514008		②		〔4〕
	栄養学特論	514009		2	□	
	臨床栄養学特論	514010		②		
	栄養生化学特論実験	514011	②		□	〔4〕＊：2科目中いずれか1科目必修
	栄養教育特論	514012	2			
	公衆栄養学特論	514013		②		
	栄養教育特論演習	514014		2		〔4〕
	調理学特論	514015	②			
	調理学特論演習	514016		②		〔4〕
	特別研究	514017	4			
専門関連科目	社会福祉特論	514018	②		同	（福祉「高齢者の生活と福祉」）
	臨床心理学特論	514019		2		
	情報処理演習	514020		2		
	外国文献講読演習	514021		1		
	消費者経済特論	514022		②	□	
健康デザイン学科開設科目	食のデザイン	514023		②	同	（健康）
	食品素材の科学	514024	②		同	（健康）
	食品情報処理	514025	②		同	（健康）〔4〕人数制限あり
	サプリメント論	514026	②		同	（健康）
	調理と理論	514027	②		同	（健康）〔4〕
	生体調節と食品成分	514028	②		同	（健康）〔4〕
	食行動と食育	514029		②	同	（健康）
	臨床薬理学	514030		②	同	（健康）
	メイクアップの科学	514031	②		同	（健康）人数制限あり
	バイオテクノロジー	514032	②		同	（健康）
	感覚学概論	514033		②	同	（健康）
	色彩科学	514034	②		同	（健康）
	脳とおいしさの科学	514035		②	同	（健康）
	皮膚科学	514036	②		同	（健康）
	化粧心理学	514037	②		同	（健康）集中講義
	香粧料化学	514038		②	同	（健康）
	健康管理概論	514039		②	同	（健康）

授業科目		整理番号	学年 / 専攻科 / 単位 前期	学年 / 専攻科 / 単位 後期	履修可能範囲等	備考
健康デザイン学科開設科目	スポーツ医学	514040	②		同	（健康）
	スポーツ栄養学	514041	②		同	（健康）
	スポーツトレーニング論	514042	②		同	（健康）
	体力測定・評価	514043		②	同	（健康）
	バイオメカニクス	514044		②	同	（健康）
アメリカ栄養士体験		514045	②			

開設単位:
①無印は必修科目
②○印は選択科目
履修可能範囲:
①無印は本学科学生のみ
②◎印は他学科学生履修可
③◎学　学部内他学科学生履修可
④□印は同系列学生履修可
⑤同印は同時開設科目
⑥★印前・後期同一内容
⑦＃印は一般教養にならない

1．専攻科生は、専門科目・専門関連科目から 31 単位以上履修すること。
2．本学の食物科学科の専攻科を修了した後、更に本学又は他大学の学部等で科目等履修生として一定の単位を履修・修得し、［学位授与機構］で、総修得単位を認定され、論文を提出した上で審査に合格すれば学士（栄養学）の学位を取得することができ、昭和女子大学から学士の学位が追認されます。
3．本専攻科修了者は、修業年限 3 年の栄養士養成施設修了の適用を受けることができます。
4．管理栄養士国家試験の際、実務経験を 2 年に軽減することができます。
5．備考欄の（　）内は、同時開設している学科名を表す。
6．授業時間数は備考欄に［　］表示するものを除いて通常 90 分とする。［4］180 分授業。

16. 大学院

修了について

＜博士前期課程・修士課程＞

本大学院の博士前期課程ならびに修士課程は、学部の教育課程を基礎にして、さらに深奥な学術の理論とその応用能力を広い視野に立って学び、同時に研究能力を養い、学術の発展と人類の福祉の増進に貢献することを目的とする。

課程の修了要件は大学院に2年以上在学し、所定の開設科目を30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び最終試練に合格することとする。ただし在学期間に関しては、特に成績優秀な者は1年とすることもある。標準年限を短縮して修了する場合は、指導教員と相談のうえ修了半年前に教務担当に申し出ること。

課程を修了した者には修士の学位が授与される。

学則第17条第2項を適用し、次の専攻においては、特定の課題についての研究成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

環境デザイン専攻…修士設計、修士制作

人間教育学専攻…芸術作品とその作成経過報告、教職にかかわる実践報告

修士論文題目提出（　）カッコ内は後期入学者

1年次10月中旬（4月中旬）

修士論文提出（　）カッコ内は後期入学者

2年次1月中旬（7月上旬）

＜博士後期課程＞

本大学院の博士後期課程は博士前期課程および修士課程の教育課程を基礎にして、さらに専攻分野について研究者として自立し研究活動を行うのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

課程の修了要件は各課程の定める年限以上在学し各課程の定める単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年（博士前期課程および修士課程を修了した者にあっては当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。標準年限を短縮して修了する場合は、指導教員と相談のうえ修了半年前に教務担当に申し出ること。修了者には博士の学位が授与される。

博士論文中間発表会（　）カッコ内は後期入学者

2年次11月（5月）頃行う。

博士論文公開審査会

博士論文の審査会は3回以上行う。その内1回を公開審査会とする。

情報伝達

大学院学生への情報は専攻並びに担当教員等からの直接の伝達または、学生ポータルサイトUPSHOWAの掲示を通じて行われる。

履修登録

履修登録に関する公示・説明・時間割はUPSHOWAを通じて配信する。UPSHOWAでは以下のことを確認すること。

・時間割
・登録期間
・エントリーシートによる履修の登録方法
・履修の削除方法
・聴講（単位の修得を目的としない履修）の方法

学部開設科目については担当教員の了解のもと、履修を許可する場合がある。但し学部開設科目はその入学資格が女子に限定されていることから、男子学生の履修・聴講を許可していない。

成績の通知

大学院学生の成績は前期分については9月上旬に本人宛に郵送する。また後期分については4月当初に専攻から配布される。UPSHOWAからも確認を行うことができる。

資格課程

・大学院を主開設とする資格課程の履修を希望する場合、専攻の指示に従うこと。
・教職課程の履修を希望する場合、1年次4月（後期入学者は10月）第1週目に教育支援センター教務担当窓口に申し出て指示に従うこと。
・図書館学関連科目（短期大学部開設）の履修を希望する場合、4月または10月の第1週目までに教育支援センター教務担当窓口に申し出て科目等履修生の手続きを取ること。科目等履修生として登録できるのは女子学生のみである。

休学・復学・退学（学則第5章参照）

※各種願い出については大学のキャンパスガイド「諸届願」を準用する。「クラスアドバイザー」は専攻主任にこれを読み替える。

・休学

疾病その他やむを得ない理由で休学を希望する者は、その理由を詳記し保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。休学期間は在学年数に参入しない。休学中の学費は在籍登録料として授業料の半額を納入する。ただし、学期途中で休学する場合はその期の学費を完納していること。

・復学

休学の理由が解消して復学をしようとする者は、保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。

・退学

退学したい者は、その理由を詳記し保証人連書で願い出て、教授会の議を経て学長の許可を得ること。ただし、授業料等の学納金が未納のまま退学することはできない。退学を願い出る時は、同時に学生証と校章を返却すること。

転学

特別な事情があり、転学を希望する者の所属専攻が認め、転学先の専攻に余裕がある場合、選考の上これを許可することがある。指導教員に事前に十分に相談すること。必要書類については学生便覧「Ⅱ．教育課程　5学籍と修業年限（10）転科」に準ずる。

再入学

正当な理由で退学をした者が再入学を願い出た時は、学期の始めに限り選考の上これを許可することがある。手続き、専攻方法について各専攻に相談すること。

除籍

次のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

最長在学年限をもって卒業できない者
学費の滞納が3か月以上におよび、催促しても納入しない者
正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者
退学を正当な手続きによっておこなわない者

長期履修学生制度

この制度は、職業等を有している等のため、標準の修業年限（修士課程及び博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難な学生を対象に、長期在学期間を計画的に設定して履修することができる制度である。新入生だけではなく、在学中に条件が変化した在学生も収容定員内の範囲で長期履修生に変更することができる。

申請期限

(1) 入学予定者は、入学手続時
(2) 在学生で後期から長期履修学生を希望する場合は6月末日、前期から希望する場合は前年度の12月15日とする。ただし、修了年次での申請書等の提出期限は4月入学者は修了年度の6月末日、10月入学者は修了前年度の12月15日とする。なお、曜日の関係で、締切日が前日等になる場合もあるので、必ず事前に締切日を教育支援センターに確認すること。

16. ① 日本文学専攻　博士前期課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
日本文学特別演習Ⅰ	A001	2	2	修士論文指導	
日本文学特別演習Ⅱ	A002	2	2	修士論文指導	
日本文学特別演習Ⅲ	A003	2	2	修士論文指導	
日本文学特別演習Ⅳ	A004	2	2	修士論文指導	
日本文学特別演習Ⅴ	A005	2	2	修士論文指導	
日本語学特別演習	A006	2	2	修士論文指導	
上代文学特殊研究	A007	2	2	書物としての『萬葉集』	
中古文学特殊研究	A008	2	2	『蜻蛉日記』を読む	
中世文学特殊研究Ⅰ	A009	2	2	世阿弥能楽論の研究	
中世文学特殊研究Ⅱ	A010	2	2	西行とその周辺	
近世文学特殊研究	A011	2	2	蕪村研究	
近代文学特殊研究ⅠA	A012	2	2	泉鏡花研究	
近代文学特殊研究ⅠB	A013	2	2	村上春樹研究	
近代文学特殊研究Ⅱ	A014	2	2	文学史研究	
近代文学特殊研究Ⅲ	A015	2	2	近代作品研究	
日本文学特殊研究	A016	2	2	現代文学研究	
上代文学演習Ⅰ	A017	2	2		H22年度開講せず
上代文学演習Ⅱ	A018	2	2		H22年度開講せず
中古文学演習Ⅰ	A019	2	2	『源氏物語』を読む	
中古文学演習Ⅱ	A020	2	2	『源氏物語』を読む	H22年度開講せず
中世文学演習ⅠA	A021	2	2	中世和歌研究	H22年度開講せず
中世文学演習ⅠB	A022	2	2	中世文学の諸相	H22年度開講せず
中世文学演習ⅡA	A023	2	2	中世和歌研究	
中世文学演習ⅡB	A024	2	2	中世文学の諸相	
近世文学演習Ⅰ	A025	2	2	注釈の方法	H22年度開講せず
近世文学演習Ⅱ	A026	2	2	注釈の方法	
近代文学演習ⅠA	A027	2	2	短編小説の読解	H22年度開講せず
近代文学演習ⅠB	A028	2	2	現代女性文学研究	H22年度開講せず
近代文学演習ⅡA	A029	2	2	短編小説の読解	
近代文学演習ⅡB	A030	2	2	現代女性文学研究	
日本文学演習	A031	2	2	現代小説を読む	
日本語学特殊研究Ⅰ	A032	2	2	現代日本語研究Ⅰ	H22年度開講せず
日本語学特殊研究Ⅱ	A033	2	2	現代日本語研究Ⅱ	
日本語学演習Ⅰ	A034	2	2	渡辺実「国語文法論」研究	H22年度開講せず
日本語学演習Ⅱ	A035	2	2	中世文法史研究	
中国文学特殊研究	A036	2	2	『顔氏家訓』を読む	

（履修方法）
各分野の特殊研究4科目16単位、専攻する専門分野の演習2科目8単位および特別演習4単位を必修、他は選択として合計30単位以上履修し、修士論文を提出する。

16. ② 日本文学専攻　博士後期課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
日本文学特論ⅠA	B001	2	2	博士論文指導	
日本文学特論ⅠB	B002	2	2	博士論文指導	H22年度開講せず
日本文学特論ⅠC	B003	2	2	博士論文指導	H22年度開講せず
日本文学特論ⅡA	B004	2	2	博士論文指導	
日本文学特論ⅡB	B005	2	2	博士論文指導	H22年度開講せず
日本文学特論ⅡC	B006	2	2	博士論文指導	H22年度開講せず
日本文学特論ⅢA	B007	2	2	中世文学研究方法論	
日本文学特論ⅢB	B008	2	2	中世文学研究方法論	H22年度開講せず
日本文学特論ⅢC	B009	2	2	中世文学研究方法論	H22年度開講せず
日本文学特論ⅣA	B010	2	2	近代文学研究の方法論	
日本文学特論ⅣB	B011	2	2	近代文学研究の方法論	H22年度開講せず
日本文学特論ⅣC	B012	2	2	近代文学研究の方法論	H22年度開講せず
日本文学特論ⅤA	B013	2	2	現代文学研究	
日本文学特論ⅤB	B014	2	2	現代文学研究	H22年度開講せず
日本文学特論ⅤC	B015	2	2	現代文学研究	H22年度開講せず
日本語学特論A	B016	2	2	日本語学研究方法論	
日本語学特論B	B017	2	2	日本語学研究方法論	H22年度開講せず
日本語学特論C	B018	2	2	日本語学研究方法論	H22年度開講せず
上代文学特殊研究	B019	2	2	書物としての『萬葉集』	
中古文学特殊研究	B020	2	2	『蜻蛉日記』を読む	
中世文学特殊研究Ⅰ	B021	2	2	世阿弥能楽論の研究	
中世文学特殊研究Ⅱ	B022	2	2	西行とその周辺	
近世文学特殊研究	B023	2	2	蕪村研究	
近代文学特殊研究ⅠA	B024	2	2	泉鏡花研究	
近代文学特殊研究ⅠB	B025	2	2	村上春樹研究	
近代文学特殊研究Ⅱ	B026	2	2	文学史研究	
近代文学特殊研究Ⅲ	B027	2	2	近代作品研究	
上代文学演習Ⅰ	B028	2	2		H22年度開講せず
上代文学演習Ⅱ	B029	2	2		H22年度開講せず
上代文学演習Ⅲ	B030	2	2		H22年度開講せず
中古文学演習Ⅰ	B031	2	2	『源氏物語』を読む	
中古文学演習Ⅱ	B032	2	2	『源氏物語』を読む	H22年度開講せず
中古文学演習Ⅲ	B033	2	2	『源氏物語』を読む	H22年度開講せず
中世文学演習ⅠA	B034	2	2	中世和歌文学研究	
中世文学演習ⅡA	B035	2	2	中世和歌文学研究	H22年度開講せず
中世文学演習ⅢA	B036	2	2	中世和歌文学研究	H22年度開講せず
中世文学演習ⅠB	B037	2	2	中世文学の諸相	H22年度開講せず
中世文学演習ⅡB	B038	2	2	中世文学の諸相	
中世文学演習ⅢB	B039	2	2	中世文学の諸相	H22年度開講せず
近世文学演習Ⅰ	B040	2	2	注釈の方法	H22年度開講せず
近世文学演習Ⅱ	B041	2	2	注釈の方法	
近世文学演習Ⅲ	B042	2	2	注釈の方法	H22年度開講せず
近代文学演習ⅠA	B043	2	2	短編小説の読解	H22年度開講せず

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
近代文学演習ⅡA	B044	2	2	短編小説の読解	
近代文学演習ⅢA	B045	2	2	短編小説の読解	H22年度開講せず
近代文学演習ⅠB	B046	2	2	現代女性文学研究	H22年度開講せず
近代文学演習ⅡB	B047	2	2	現代女性文学研究	
近代文学演習ⅢB	B048	2	2	現代女性文学研究	H22年度開講せず
日本語学特殊研究Ⅰ	B049	2	2	現代日本語研究Ⅰ	H22年度開講せず
日本語学特殊研究Ⅱ	B050	2	2	現代日本語研究Ⅱ	
日本語学演習Ⅰ	B051	2	2	現代日本語の語り分析Ⅰ	H22年度開講せず
日本語学演習Ⅱ	B052	2	2	現代日本語の語り分析Ⅱ	
日本語学演習Ⅲ	B053	2	2	現代日本語の語り分析Ⅲ	H22年度開講せず

（履修方法）
＊開設授業科目の中から10科目20単位以上選択必修とする。ただし、別に特論４単位以上を履修しなければならない。

16. ③ 英米文学専攻　博士前期課程

授業科目	整理番号	単位		副題	備考
		前期	後期		
英米文学特別演習Ⅰ	C001	2	2	論文指導	
英米文学特別演習Ⅱ	C002	2	2	論文指導	
英米文学特別演習Ⅲ	C003	2	2	論文指導	
英語学特別演習Ⅰ	C004	2	2	論文指導	
英語学特別演習Ⅱ	C005	2	2	論文指導	
英米文学特殊研究ⅠA	C006	2		イギリス文学批評研究	
英米文学特殊研究ⅠB	C007		2	イギリス文学批評研究	
英米文学特殊研究ⅡA	C008	2		18・19世紀イギリス小説研究	
英米文学特殊研究ⅡB	C009		2	18・19世紀イギリス小説研究	
英米文学特殊研究ⅢA	C010	2		現代アメリカ文学研究	
英米文学特殊研究ⅢB	C011		2	現代アメリカ文学研究	
英米文学特殊研究ⅣA	C012	2		アメリカ小説研究	
英米文学特殊研究ⅣB	C013		2	アメリカ小説研究	
英米文学特殊研究ⅤA	C014	2		シェイクスピア研究	
英米文学特殊研究ⅤB	C015		2	シェイクスピア研究	
英米文学特殊研究ⅥA	C016	2		アメリカ演劇研究	
英米文学特殊研究ⅥB	C017		2	アメリカ演劇研究	
英米文学演習ⅠA	C018	2		イギリス詩演習	
英米文学演習ⅠB	C019		2	イギリス詩演習	
英米文学演習ⅡA	C020	2			
英米文学演習ⅡB	C021		2		
英米文学演習ⅢA	C022	2		現代イギリス小説演習	
英米文学演習ⅢB	C023		2	現代イギリス小説演習	
英米文学演習ⅣA	C024	2		現代アメリカ文学演習	
英米文学演習ⅣB	C025		2	現代アメリカ文学演習	
英米文学演習ⅤA	C026	2		アメリカ小説演習	
英米文学演習ⅤB	C027		2	アメリカ小説演習	
英米文学演習ⅥA	C028	2			
英米文学演習ⅥB	C029		2		
英語学特殊研究ⅠA	C030	2		中英語研究	
英語学特殊研究ⅠB	C031		2	中英語研究	
英語学特殊研究ⅡA	C032	2		翻訳研究	
英語学特殊研究ⅡB	C033		2	翻訳研究	
英語学特殊研究ⅢA	C034	2		古英語研究	
英語学特殊研究ⅢB	C035		2	古英語研究	
英語学演習ⅠA	C036	2		中英語演習	
英語学演習ⅠB	C037		2	中英語演習	
英語学演習ⅡA	C038	2		認知意味論演習	
英語学演習ⅡB	C039		2	認知意味論演習	
アメリカ文化特殊研究A	C040	2			
アメリカ文化特殊研究B	C041		2		
言語学演習A	C042	2		言語と人間	
言語学演習B	C043		2	言語と人間	

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
言語学特殊研究A	C044	2		認知言語学と文法	
言語学特殊研究B	C045		2	認知言語学と文法	
言語学特殊研究C	C046	2		日本語論	
言語学特殊研究D	C047		2	日本語論	

（履修方法）
1）開設科目の中から特別演習４単位を含めて14科目30単位以上を履修し、別に修士論文を提出しなければならない。
2）特別演習４単位は、修士論文の提出年次に履修すること。

16. ④ 英米文学専攻　博士後期課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
英米文学特論Ⅰ	D001	2	2	論文指導	
英米文学特論Ⅱ	D002	2	2		
英米文学特論Ⅲ	D003	2	2	論文指導	
英米文学特論Ⅳ	D004	2	2	論文指導	
英米文学特殊研究ⅠA	D005	2		イギリス文学批評研究	
英米文学特殊研究ⅠB	D006		2	イギリス文学批評研究	
英米文学特殊研究ⅡA	D007	2			
英米文学特殊研究ⅡB	D008		2		
英米文学特殊研究ⅢA	D009	2		現代アメリカ文学研究	
英米文学特殊研究ⅢB	D010		2	現代アメリカ文学研究	
英米文学特殊研究ⅣA	D011	2		アメリカ小説研究	
英米文学特殊研究ⅣB	D012		2	アメリカ小説研究	
英米文学特殊研究ⅤA	D013	2		シェイクスピア研究	
英米文学特殊研究ⅤB	D014		2	シェイクスピア研究	
英米文学特殊研究ⅥA	D015	2		アメリカ演劇研究	
英米文学特殊研究ⅥB	D016		2	アメリカ演劇研究	
英米文学演習ⅠA	D017	2		イギリス詩演習	
英米文学演習ⅠB	D018		2	イギリス詩演習	
英米文学演習ⅡA	D019	2			
英米文学演習ⅡB	D020		2		
英米文学演習ⅢA	D021	2		現代イギリス小説演習	
英米文学演習ⅢB	D022		2	現代イギリス小説演習	
英米文学演習ⅣA	D023	2		現代アメリカ文学演習	
英米文学演習ⅣB	D024		2	現代アメリカ文学演習	
英米文学演習ⅤA	D025	2		アメリカ小説演習	
英米文学演習ⅤB	D026		2	アメリカ小説演習	
英米文学演習ⅥA	D027	2			
英米文学演習ⅥB	D028		2		
英語学特論Ⅰ	D029	2	2		
英語学特論Ⅱ	D030	2	2	論文指導	
英語学特論Ⅲ	D031	2	2	論文指導	
英語学特殊研究ⅠA	D032	2			
英語学特殊研究ⅠB	D033		2		
英語学特殊研究ⅡA	D034	2		翻訳研究	
英語学特殊研究ⅡB	D035		2	翻訳研究	
英語学特殊研究ⅢA	D036	2		古英語研究	
英語学特殊研究ⅢB	D037		2	古英語研究	
英語学演習ⅠA	D038	2		中英語演習	
英語学演習ⅠB	D039		2	中英語演習	
英語学演習ⅡA	D040	2		認知意味論演習	
英語学演習ⅡB	D041		2	認知意味論演習	
アメリカ文化特殊研究A	D042	2			
アメリカ文化特殊研究B	D043		2		

授業科目	整理番号	単位		副題	備考
		前期	後期		
言語学演習A	D044	2			
言語学演習B	D045		2		
言語学特殊研究A	D046	2		認知言語学と文法	
言語学特殊研究B	D047		2	認知言語学と文法	
言語学特殊研究C	D048	2		日本語論	
言語学特殊研究D	D049		2	日本語論	

（履修方法）
1）開設科目の中から20単位以上を履修し、別に特論４単位以上を履修しなければならない。

16. ⑤ 言語教育・コミュニケーション専攻　博士前期課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
文化間コミュニケーションA	E001	2		異文化コミュニケーションの背景と問題	
文化間コミュニケーションB	E002		2	日英語の背景文化とコミュニケーション	
言語学特殊講義A	E003	2		認知言語学と文法(1)	H22年度開講せず
言語学特殊講義B	E004		2	認知言語学と文法(2)	
言語学特殊講義C	E005	2		日本語論(1)	
言語学特殊講義D	E006		2	日本語論(2)	H22年度開講せず
言語教授法研究	E007	2	2	言語教授法理論の研究	
第二言語習得A	E008	2		学習者言語の研究 1	
第二言語習得B	E009		2	学習者言語の研究 2	
言語学IA	E010	2		日英語の統語構造	
言語学IB	E011		2	言語学と言語教育の接点	
Distinguished Lecture	E012	2		Current Issues	集中
日本語学IA	E013	2		日本語音声コミュニケーションの諸相	集中
日本語学IB	E014		2	日本語音声コミュニケーションの諸相	集中
日本語教育論A	E015	2		語彙・意味論	◎
日本語教育論B	E016		2	語用論	◎
日本語教育論C	E017	2		授業設計と教材作成	
日本語教育論D	E018		2	評価法とテスト作成	
日本語教育特殊講義A	E019	2		日本語教育事情	
日本語教育特殊講義B	E020		2	日本語教育学	
日本語教育特殊講義C	E021	2		第二言語習得と日本語教育	H22年度開講せず
日本語教育特殊講義D	E022		2	第二言語習得と日本語教育	
日本語教育特殊講義E	E023	2		日本文化	
日本語教育特殊講義F	E024		2	日本文化	
日本語教育演習IA	E025	2	2	日本語指導法	○
日本語教育演習IB	E026	2	2	日本語教育関連諸研究の検討	○
日本語教育演習ⅡA	E027	2	2	日本語教育諸問題の研究	○
日本語教育演習ⅡB	E028	2	2	日本語・教授法研究	○
日本語教育実習I	E029	2		日本語教育現場実習	
日本語教育実習ⅡA	E030	1		日本語教育現場実習	
日本語教育実習ⅡB	E031		1	日本語教育現場実習	
日本語教育特別演習A	E032	2	2	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特別演習B	E033	2	2	研究指導、論文作成指導	
英語教育論A	E034	2		文法指導とフィードバック	H22年度開講せず
英語教育論B	E035		2	教師のことばと発話の引き出し方	
英語教育特殊講義A	E036	2		英語教授法理論	
英語教育特殊講義B	E037		2	英語教授法理論	
英語教育特殊講義C	E038	2		Research Method	
英語教育特殊講義D	E039		2	音声指導	
英語教育演習A	E040	2		授業改善のためのアクション・リサーチ	H22年度開講せず
英語教育演習B	E041		2	英語教授法演習	
英語教育演習C	E042		2	コーパス研究	集中
英語教育演習D	E043	2		児童英語教育	集中

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
英語教育演習E	E044	2		心理言語学	
英語教育演習F	E045		2	教材論	
英語教育演習G	E046	2		授業改善のためのアクション・リサーチ	H22年度開講せず
英語教育演習H	E047	2		授業改善：タスク中心教授法とタスク開発演習	
英語教育特殊研究	E048		2	ボストン研修	集中
英語教育特別演習A	E049	2	2	研究指導、論文作成指導	
英語教育特別演習B	E050	2	2	研究指導、論文作成指導	
英語教育特別演習C	E051	2	2	研究指導、論文作成指導	

（履修方法）
（1）特別演習は4単位を必修とする。
（2）日本語教育課程の学生は、必修科目（◎のある科目）と選択必修科目（○）を含み、共通科目・日本語教育科目から合計30単位以上履修する。他に、修士論文を提出する。
（3）英語教育課程の学生は、共通科目、英語教育のほか、文学研究科英米文学専攻博士前期課程の科目を最高8単位含み、合計30単位以上履修する。他に修士論文を提出する。
ただし、専修免許の取得を希望する場合は、英語教育開設科目および共通科目より24単位以上修得すること。

16. ⑥ 言語教育・コミュニケーション専攻　博士後期課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
言語学特殊講義A	F001	2		認知言語学と文法(1)	H22年度開講せず
言語学特殊講義B	F002		2	認知言語学と文法(2)	
言語学特殊講義C	F003	2		日本語論(1)	
言語学特殊講義D	F004		2	日本語論(2)	H22年度開講せず
第二言語習得A	F005	2		学習者言語の研究 1	
第二言語習得B	F006		2	学習者言語の研究 2	
言語学Ⅱ A	F007	2		日英語の統語構造	
言語学Ⅱ B	F008		2	言語学と言語教育の接点	
文化間コミュニケーションA	F009	2		日英語の背景文化とコミュニケーション 1	
文化間コミュニケーションB	F010		2	日英語の背景文化とコミュニケーション 2	
Distinguished Lecture	F011	2		Current Issues	集中
日本語教育特論Ⅰ	F012	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特論Ⅱ	F013	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特論Ⅲ	F014	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特論Ⅳ	F015	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特論Ⅴ	F016	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語教育特論Ⅵ	F017	1	1	研究指導、論文作成指導	
日本語学Ⅱ A	F018	2		日本語音声コミュニケーションの諸相	集中
日本語学Ⅱ B	F019		2	日本語音声コミュニケーションの諸相	集中
日本語教育論A	F020	2		意味論	
日本語教育論B	F021		2	語用論	
日本語教育特殊講義A	F022	2		日本語教育事情	
日本語教育特殊講義B	F023		2	日本語教育学	
日本語教育特殊講義C	F024	2		現代日本語文法研究 1	
日本語教育特殊講義D	F025		2	現代日本語文法研究 2	
日本語教育特殊講義E	F026	2		日本文化 1	
日本語教育特殊講義F	F027		2	日本文化 2	
日本語教育演習Ⅰ	F028	2	2	日本語の意味分析	
日本語教育演習Ⅱ	F029	2	2	日本語の語用分析	
日本語教育演習Ⅲ	F030	2	2	意味・語用論の言語教育への応用	
言語コミュニケーション論A	F031	2		言語コミュニケーションのメカニズム 1	H22年度開講せず
言語コミュニケーション論B	F032		2	言語コミュニケーションのメカニズム 2	H22年度開講せず
英語教育特論Ⅰ	F033	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育特論Ⅱ	F034	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育特論Ⅲ	F035	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育特論Ⅳ	F036	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育特論Ⅴ	F037	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育特論Ⅵ	F038	1	1	研究指導、論文作成指導	
英語教育論A	F039	2		文法指導とフィードバック	H22年度開講せず
英語教育論B	F040		2	教師のことばと発話の引き出し方	
英語教育特殊講義A	F041	2		英語教授法理論	
英語教育特殊講義B	F042		2	英語教授法理論	
英語教育演習A	F043	2		授業改善のためのアクションリサーチ	H22年度開講せず

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
英語教育演習B	F044		2	英語教授法演習	
英語教育演習C	F045		2	コーパス研究	集中
英語教育演習G	F046	2		授業改善のためのアクションリサーチ	H22年度開講せず
英語教育演習H	F047	2		授業改善：タスク中心教授法とタスク開発演習	

（履修方法）
修了要件の２０単位に加えて、博士論文の作成に関わる特論６単位を修得する。
日本語教育を専門とする者は日本文学専攻(博士後期課程)、英語教育を専門とする者は英米文学専攻(博士後期課程)開設科目から４単位までを修了要件単位として履修することが出来る。

16. ⑦ 生活機構学専攻　博士後期課程

	授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
生活文化研究大講座	生活文化史研究Ⅱ A	G001	2	2	地域研究上方法論的問題の研究	
	生活文化史研究Ⅱ B	G002	2	2	日本の基層文化を探る	
	生活文化史研究Ⅱ C	G003	2	2	女性文化研究	
	生活文化史研究Ⅱ D	G004	2	2	東南アジアの考古遺産研究	
	生活文化史研究Ⅱ E	G005	2	2	民俗芸能伝承論	
	生活文化史研究Ⅱ F	G006	2	2	中近世絵画史研究	
	生活文化史研究Ⅱ G	G007	2	2	鎌倉時代史研究	
	生活文化史研究Ⅱ H	G008	2	2	中近世仏教文化史の諸問題	
	文化財研究Ⅱ A	G009	2	2		H22年度開講せず
	文化財研究Ⅱ B	G010	2	2	文化財の保存修復研究	
	生活文化史演習Ⅱ－1	G011	1	1		
	生活文化史演習Ⅱ－2	G012	1	1		
	生活文化史演習Ⅱ－3	G013	1	1		
	生活文化史特別研究Ⅱ	G014	2	2		
	臨床心理研究Ⅱ A	G015	2	2	実践事例検討を中心として	
	臨床心理研究Ⅱ B	G016	2	2	事例研究を通した心理臨床の基本	
	臨床心理研究Ⅱ C	G017	2	2	事例検討と心理査定	
	社会心理研究Ⅱ	G018	2	2	態度と説得の社会心理学	
	発達心理研究Ⅱ	G019	2	2	教育支援と発達	
	発達臨床心理研究Ⅱ	G020	2	2	発達臨床の基礎理論	
	認知心理研究Ⅱ	G021	2	2	ポジティヴ心理学	
	生活心理演習Ⅱ－1	G022	1	1		
	生活心理演習Ⅱ－2	G023	1	1		
	生活心理演習Ⅱ－3	G024	1	1		
	生活心理特別研究Ⅱ	G025	2	2		
	道徳教育研究Ⅱ	G026	2	2	道徳性育成・徳育に関する理論的・実践的研究	
	理科教育研究Ⅱ	G027	2	2	自然認識の構造と構成	
	音楽教育研究Ⅱ	G028	2	2	音楽の表現形式を核とした教育実践とカリキュラムの研究	
	教育学演習Ⅱ－1	G029	1	1		
	教育学演習Ⅱ－2	G030	1	1		
	教育学演習Ⅱ－3	G031	1	1		
	教育学特別研究Ⅱ	G032	2	2		
生活素材研究大講座	材料基礎研究Ⅱ	G033	2	2	現象解析と simulation 技法	
	材料科学研究Ⅱ	G034	2	2		
	建築構法材料研究Ⅱ	G035	2	2	構造デザイン・形態の理論	
	繊維材料研究Ⅱ	G036	2	2	繊維材料の化学構造と物性の関連	
	造形材料演習Ⅱ－1	G037	1	1		
	造形材料演習Ⅱ－2	G038	1	1		
	造形材料演習Ⅱ－3	G039	1	1		
	造形材料特別研究Ⅱ	G040	2	2		
	食品素材研究Ⅱ	G041	2	2	有用微生物の探索とその利用	
	食品材料研究Ⅱ	G042	2	2	食品のレオロジーと構造と機能	
	調理科学研究ⅡⅡ	G043	2	2	調理による食品の変化と解析	

	授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
生活素材研究大講座	食品素材・材料演習Ⅱ－1	G044	1	1		
	食品素材・材料演習Ⅱ－2	G045	1	1		
	食品素材・材料演習Ⅱ－3	G046	1	1		
	食品素材・材料特別研究Ⅱ	G047	2	2		
生活機能研究大講座	建築計画研究ⅡA	G048	2	2	建築・都市の計画論	
	建築計画研究ⅡB	G049	2	2		
	環境計画研究Ⅱ	G050	2	2	建築環境学 と省エネルギー論	
	建築史研究ⅡB	G051	2	2	歴史的建築の保存、活用、復元に関する考察	
	建築意匠研究Ⅱ	G052	2	2	環境心理学研究と建築デザイン論	
	居住様式研究Ⅱ	G053	2	2	生活の質を高める居住様式の探求	
	環境科学演習Ⅱ－1	G054	1	1		
	環境科学演習Ⅱ－2	G055	1	1		
	環境科学演習Ⅱ－3	G056	1	1		
	環境科学特別研究Ⅱ	G057	2	2		
	服飾意匠計画研究Ⅱ	G058	2	2	着ごこちの良い衣服の設計と評価	
	被服整理学研究Ⅱ	G059	2	2		H22年度開講せず
	被服科学演習Ⅱ－1	G060	1	1		
	被服科学演習Ⅱ－2	G061	1	1		
	被服科学演習Ⅱ－3	G062	1	1		
	被服科学特別研究Ⅱ	G063	2	2		
	生活政策研究Ⅱ	G064	2	2	少子高齢社会の社会保障と国民生活	
	社会福祉研究Ⅱ	G065	2	2	社会福祉の原理・理論・実践方法・価値観の探究	
	教育社会学研究Ⅱ	G066	2	2	高等教育政策論	
	労働とジェンダー研究Ⅱ	G067	2	2	現代の労働態様と労働、福祉政策をジェンダー視点から考察	
	福祉政策研究Ⅱ	G068	2	2	日本における福祉社会の構築を目指す政策展開の研究	
	現代国際関係研究Ⅱ	G069	2	2	現代の諸問題に対して広領域学として国際関係学の方法論を用いる	
	福祉科学演習Ⅱ－1	G070	1	1		
	福祉科学演習Ⅱ－2	G071	1	1		
	福祉科学演習Ⅱ－3	G072	1	1		
	福祉科学特別研究Ⅱ	G073	2	2		
	栄養・生理学研究Ⅱ	G074	2	2	栄養と生体調節機能	
	栄養・生化学研究Ⅱ	G075	2	2	栄養・食品成分の生理機能解析	
	生物機能解析Ⅱ	G076	2	2	微細藻類の生理機能解析	
	栄養・生化学演習Ⅱ－1	G077	1	1		
	栄養・生化学演習Ⅱ－2	G078	1	1		
	栄養・生化学演習Ⅱ－3	G079	1	1		
	栄養・生化学特別研究Ⅱ	G080	2	2		
	栄養評価機能研究Ⅱ	G081	2	2	加齢と栄養の相互性研究	
	公衆栄養研究Ⅱ	G082	2	2	保健・医療・福祉の栄養ケア・栄養教育と評価	
	臨床栄養研究Ⅱ	G083	2	2	医療現場における実践栄養アプローチ	
	栄養評価機能演習Ⅱ－1	G084	1	1		
	栄養評価機能演習Ⅱ－2	G085	1	1		
	栄養評価機能演習Ⅱ－3	G086	1	1		

授業科目		整理番号	単位		副題	備考
			前期	後期		
生活機能研究大講座	栄養評価機能特別研究Ⅱ	G087	2	2		

（履修方法）
博士後期課程では、最低16単位の履修を必修とする。
所属する大講座の研究科目（4単位）と、その研究科目に関連する演習科目（2単位を3年間で6単位）、及び特別研究Ⅱ（4単位）の合計14単位を必修とし、残り2単位を選択科目として履修する。

16. ⑧ 生活文化研究専攻　修士課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
生活文化研究ⅠA	H001	2	2	近代女性文献研究	
生活文化研究ⅠB	H002	2	2	服飾文化研究	H22年度開講せず
考古学研究ⅠA	H003	2	2	縄文時代文化研究の諸問題	1級考古調査士関連科目
考古学研究ⅠB	H004	2	2	石器時代文化研究と民族誌考古学	1級考古調査士関連科目
考古学研究ⅠC	H005	2	2	東南アジア考古学研究	
埋蔵文化財行政学特論A	H006	2		埋蔵文化財行政をめぐる諸問題	1級考古調査士関連科目
埋蔵文化財行政学特論B	H007		2	埋蔵文化財調査報告書作成法	1級考古調査士関連科目
地域文化研究ⅠA	H008	2	2	神楽研究	
地域文化研究ⅠB	H009	2	2	地域文化研究の理論と実践	
地域文化研究ⅠC	H010	2	2	人形芝居研究	
地域文化研究ⅠD	H011	2	2	遊牧の文化とことば	
美術研究ⅠA	H012	2	2	西洋近代美術研究	
美術研究ⅠB	H013	2	2	中近世絵画研究	
歴史文化研究ⅠA	H014	2	2	日本中世の武士社会	
歴史文化研究ⅠBa	H015	2	2	日本近世文化史(1)	
歴史文化研究ⅠBb	H016	2	2	日本近世文化史(2)	H22年度開講せず
歴史文化研究ⅠC	H017	2	2	日本近現代政治外交史	
歴史文化研究ⅠD	H018	2	2	唐招提寺文書の研究	
歴史文化研究ⅠE	H019	2	2	古代エジプト研究	
歴史文化研究ⅠFa	H020	2	2	日本女性文化史研究(1)	H22年度開講せず
歴史文化研究ⅠFb	H021	2	2	日本女性文化史研究(2)	H22年度開講せず
文化財研究(文化)ⅠA	H022	2	2	文化財保護制度と国際協力(1)	
文化財研究(文化)ⅠB	H023	2	2	文化財保護制度と国際協力(2)	H22年度開講せず
文化財研究(文化)ⅠC	H024	2	2	文化財修復基礎研究・文献と実技	
文化財研究(文化)ⅠD	H025	2	2	歴史的建造物の保存・活用・復元	
文化財研究(文化)ⅠE	H026	2	2	出土漆製品の技術研究	
生活文化演習ⅠAa	H027	2	2	母性主義の諸問題(1)	
生活文化演習ⅠAb	H028	2	2	母性主義の諸問題(2)	H22年度開講せず
考古学演習ⅠAa	H029	2	2	日本考古学の諸問題(1)	
考古学演習ⅠAb	H030	2	2	日本考古学の諸問題(2)	H22年度開講せず
考古学演習ⅠBa	H031	2	2	ベトナム考古学の諸問題(1)	
考古学演習ⅠBb	H032	2	2	ベトナム考古学の諸問題(2)	H22年度開講せず
地域文化演習ⅠAa	H033	2	2	年中行事と民俗(1)	
地域文化演習ⅠAb	H034	2	2	年中行事と民俗(2)	H22年度開講せず
地域文化演習ⅠBa	H035	2	2	地域と文化に関する諸問題(1)	
地域文化演習ⅠBb	H036	2	2	地域と文化に関する諸問題(2)	H22年度開講せず
地域文化演習ⅠCa	H037	2	2	文楽と各地の人形芝居(1)	
地域文化演習ⅠCb	H038	2	2	文楽と各地の人形芝居(2)	H22年度開講せず
美術演習ⅠAa	H039	2	2	西洋近代絵画	
美術演習ⅠAb	H040	2	2	スペイン語圏の近代美術	H22年度開講せず
美術演習ⅠBa	H041	2	2	日本絵画史と彫刻史	
美術演習ⅠBb	H042	2	2	画史をよむ	H22年度開講せず
歴史文化演習ⅠAa	H043	2	2	中世武家社会の研究	

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
歴史文化演習ⅠAb	H044	2	2	日本中世社会の研究	H22年度開講せず
歴史文化演習ⅠBa	H045	2	2	中近世戒律復興の諸問題	
歴史文化演習ⅠBb	H046	2	2	中近世戒律文化の研究	H22年度開講せず
歴史文化演習ⅠCa	H047	2	2	ヒエログリフ史料解読（1）	
歴史文化演習ⅠCb	H048	2	2	ヒエログリフ史料解読（2）	H22年度開講せず
歴史文化演習ⅠDa	H049	2	2	明治期史料の読解	
歴史文化演習ⅠDb	H050	2	2	昭和期史料の読解	H22年度開講せず
文化財演習ⅠAa	H051	2	2	文化財修復報告書講読	
文化財演習ⅠAb	H052	2	2	文献による修復実態の理解	H22年度開講せず
生活文化特定研究	H053	2		海外研修	
生活文化特別研究Ⅰ	H054	4	4	修士論文作成指導	

注意：演習のaとbは隔年開講です。

（履修方法）
研究科目から4単位を選択履修し、指導教授の演習を2ヵ年にわたり8単位履修する。さらに、特別研究8単位を必修として計20単位を履修する。その他、指導教授の指導により、選択履修し、合計30単位以上を履修する。

16. ⑨ 心理学専攻　心理学講座

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考	
心理学統計法	I001	②			14単位以上選択必修	
心理学研究法	I002		②			
人格心理学研究Ⅱ	I003		②	コヒアランスの探求	集中	
教育心理学研究Ⅰ	I004	②				
心理査定研究	I005	②				
発達心理学研究Ⅰ	I006	②		認知の発達		
発達心理学研究Ⅱ	I007		②	言語の発達とその支援	集中	
発達心理学研究Ⅲ	I008	②		社会認識と自己の発達		
発達心理学研究Ⅳ	I009		②	言語発達	集中	H22年度開講せず
発達臨床心理学研究	I010	②				H22年度開講せず
認知心理学研究Ⅰ	I011	②		ポジティブサイコロジー		
認知心理学研究Ⅱ	I012		②	ポジティブサイコロジーの応用		
認知心理学研究Ⅲ	I013		②	推論の認知心理学		
認知心理学研究Ⅳ	I014	②		神経生理心理学の基礎と応用	集中	
認知心理学研究Ⅴ	I015		②	認知心理学の源流と今後の課題		
実験心理学研究Ⅰ	I016	②		知覚・認知の実験心理学		
実験心理学研究Ⅱ	I017		②	知覚・認知の実験心理学		
社会心理学研究Ⅰ	I018	②		態度と説得の社会心理学		
社会心理学研究Ⅱ	I019		②	態度と説得の社会心理学		
社会心理学研究Ⅲ	I020		②	向社会的行動の社会心理学		
社会心理学研究Ⅳ	I021	②		対人関係の社会心理学		
社会心理学研究Ⅴ	I022	②		質問紙調査の方法と実践		
家族心理学研究	I023	②			集中	
犯罪心理学研究	I024		②			
精神医学研究Ⅰ	I025	②			集中	
精神医学研究Ⅱ	I026	②			集中	
発達支援論研究	I027	②				
障害児心理学研究	I028		②			
グループ・アプローチ研究	I029		②			
精神分析学研究	I030	②				
家族療法研究	I031	②			集中	H22年度開講せず
学校教育相談研究	I032		②			
コミュニティ・アプローチ研究	I033		②			H22年度開講せず
臨床心理査定研究Ⅰ	I034	②				
発達臨床実習Ⅰ	I035	②				
発達臨床実習Ⅱ	I036		②			
心理学演習Ⅰ	I037	2	2			
心理学演習Ⅱ	I038	2	2			
心理学特別研究Ⅰ	I039	4	4			

（履修方法）
【心理学講座】
1. 必修16単位、その他から14単位以上選択必修、合計30単位以上を履修する
2. 単位数の無印は必修、○数字は選択必修

16. ⑩ 心理学専攻　臨床心理学講座

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
臨床心理学特論Ⅰ	I040	2			
臨床心理学特論Ⅱ	I041		2		
臨床心理面接特論Ⅰ	I042	2			
臨床心理面接特論Ⅱ	I043		2		
臨床心理査定演習Ⅰ	I044	2			
臨床心理査定演習Ⅱ	I045	2			
臨床心理基礎実習Ⅰ	I046	1			〔4〕
臨床心理基礎実習Ⅱ	I047		1		〔4〕
臨床心理実習Ⅰ	I048	1			〔4〕
臨床心理実習Ⅱ	I049		1		〔4〕
心理学統計法	I050	②			2単位以上選択必修
心理学研究法	I051		②		
人格心理学研究Ⅱ	I052		②	コヒアランスの探求	集中
教育心理学研究Ⅰ	I053	②			
心理査定研究	I054	②			
発達心理学研究Ⅰ	I055	②		認知の発達	
発達心理学研究Ⅱ	I056		②	言語発達とその支援	集中
発達心理学研究Ⅲ	I057	②		社会認識と自己の発達	
発達心理学研究Ⅳ	I058		②	言語の発達	集中　H22年度開講せず
発達臨床心理学研究	I059	②			H22年度開講せず
認知心理学研究Ⅰ	I060	②		ポジティブサイコロジー	
認知心理学研究Ⅱ	I061		②	ポジティブサイコロジーの応用	
認知心理学研究Ⅲ	I062		②	推論の認知心理学	
認知心理学研究Ⅳ	I063	②		神経生理心理学の基礎と応用	集中
認知心理学研究Ⅴ	I064		②	認知心理学の源流と今後の課題	
実験心理学研究Ⅰ	I065	②		知覚・認知の実験心理学	
実験心理学研究Ⅱ	I066		②	知覚・認知の実験心理学	
社会心理学研究Ⅰ	I067	②		態度と説得の社会心理学	
社会心理学研究Ⅱ	I068		②	態度と説得の社会心理学	
社会心理学研究Ⅲ	I069		②	向社会的行動の社会心理学	
社会心理学研究Ⅳ	I070	②		対人関係の社会心理学	
社会心理学研究Ⅴ	I071	②		質問紙調査の方法と実践	
家族心理学研究	I072	②			集中
犯罪心理学研究	I073		②		
精神医学研究Ⅰ	I074	②			集中
精神医学研究Ⅱ	I075	②			集中
発達支援論研究	I076	②			
障害児心理学研究	I077		②		

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
グループ・アプローチ特論	I078		②		2単位以上選択必修 集中 H22年度開講せず
精神分析学研究	I079	②			
家族療法研究	I080	②			
学校臨床心理学研究	I081		②		
コミュニティ・アプローチ研究	I082		②		H22年度開講せず
臨床心理査定特論Ⅰ	I083	②			
発達臨床実習Ⅰ	I084	②			
発達臨床実習Ⅱ	I085		②		
心理学演習Ⅰ	I086	2	2		
心理学演習Ⅱ	I087	2	2		
心理学特別研究Ⅰ	I088	4	4		

（履修方法）
【臨床心理学講座】
1. 必修32単位、上記５群の各群から２単位以上選択必修、合計42単位以上を履修する
2. 単位数の無印は必修、○数字は選択必修

16. ⑪ 福祉社会研究専攻　修士課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
社会福祉研究Ⅰ	J001	2	2	社会福祉の原理・思想・視点・実践の研究	★
社会福祉演習Ⅰ1	J002	1	1		★
社会福祉演習Ⅰ2	J003	1	1		★
居住福祉研究Ⅰ	J004	2	2	人間らしい居住を保障する方法論の探求	★
居住福祉演習Ⅰ1	J005	1	1		★
居住福祉演習Ⅰ2	J006	1	1		★
ユニバーサルデザイン評価研究Ⅰ	J007	2	2	ユニバーサルデザインの考え方とユニバーサルデザインの評価	★
ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ1	J008	1	1		★
ユニバーサルデザイン評価演習Ⅰ2	J009	1	1		★
労働とジェンダー研究Ⅰ	J010	2	2	現代の労働の態様と労働・福祉政策をジェンダー視点から考察	▲
労働とジェンダー演習Ⅰ1	J011	1	1		▲
労働とジェンダー演習Ⅰ2	J012	1	1		▲
国際男女共同参画社会研究Ⅰ	J013	2	2	差別撤廃条約、国連文書と男女共同参画社会研究	▲
国際男女共同参画社会演習Ⅰ1	J014	1	1		▲
国際男女共同参画社会演習Ⅰ2	J015	1	1		▲
現代国際関係研究Ⅰ	J016	2	2	現代の諸問題に対して広領域学として国際関係学の方法論を用いる	▲
現代国際関係演習Ⅰ1	J017	1	1		▲
現代国際関係演習Ⅰ2	J018	1	1		▲
福祉政策研究Ⅰ	J019	2	2	日本における福祉社会の構築をめざす政策展開の研究	★
福祉政策演習Ⅰ1	J020	1	1		★
福祉政策演習Ⅰ2	J021	1	1		★
社会調査研究Ⅰ	J022	2	2	社会調査の理論と方法	▲
社会調査演習Ⅰ1	J023	1	1		▲
社会調査演習Ⅰ2	J024	1	1		▲
女性史研究Ⅰ	J025	2	2	母性主義と女性文化	▲
現代経済研究Ⅰ	J026	2	2	製造業を中心に現代のグローバル経済を研究	▲
現代経済演習Ⅰ1	J027	1	1		▲
現代経済演習Ⅰ2	J028	1	1		▲
児童福祉研究Ⅰ	J029	2	2	子どもの福祉を人権保障の視点から探究	★
児童福祉演習Ⅰ1	J030	1	1		★
児童福祉演習Ⅰ2	J031	1	1		★
高齢者ソーシャルサービス研究Ⅰ	J032	2	2	高齢者福祉・生活支援サービスについて生活経営・生活福祉の視点から研究	★
高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ1	J033	1	1		★
高齢者ソーシャルサービス演習Ⅰ2	J034	1	1		★
言語社会研究Ⅰ	J035	2	2	ことばと国家、民族、地域問題の研究	▲
言語社会学演習Ⅰ1	J036	1	1		▲
言語社会学演習Ⅰ2	J037	1	1		▲
地域環境計画研究Ⅰ	J038	2	2	地域計画（地域づくり）の理論と手法	▲
地域環境計画演習Ⅰ1	J039	1	1		▲
地域環境計画演習Ⅰ2	J040	1	1		▲
医療福祉研究Ⅰ	J041	2	2	EBN に基づく、医療福祉、精神保健、在宅ケア領域の研究	★

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
ソーシャルワーク研究Ⅰ	J042	2	2	ソーシャルワーク実践とその教育・訓練に関する実証研究	★
ソーシャルワーク演習Ⅰ1	J043	1	1		★
ソーシャルワーク演習Ⅰ2	J044	1	1		★
福祉社会特別研究Ⅰ	J045	4	4	修士論文作成指導	

（履修方法）
1. ひとつの研究科目（4単位）とその研究科目に関連する演習科目（2単位を2年間で4単位）を必修とし、合計8単位が必修科目。福祉社会特別研究Ⅰ（8単位）が修士論文のための研究としてこれに加算され、合計で16単位を必修とする。残りを関連する研究科目や他専攻の研究科目で14単位を選択科目として履修し、修了要件として合計30単位以上を必要とする。
2. 専修免許：高専免（福祉）、中専免（社会）取得に必要な条件
   1）専修免許取得に必要な最低修得単位　24単位
   2）専修免許取得に必要な学位　修士（学術）
   3）「福祉」又は「社会」の専修免許を取得する場合、「福祉」は★印、「社会」は▲印の科目から24単位を取得しなければならない。

16. ⑫ 人間教育学専攻　修士課程

授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
道徳教育研究ⅠA	K001	2		人格・道徳性形成と教育研究	14単位以上選択必修
道徳教育研究ⅠB	K002		2	道徳教育の指導と実践	
幼児教育研究ⅠA	K003	2		幼児の発達と保育学研究	小学校専修免許の単位には認められない
幼児教育研究ⅠB	K004		2	幼児教育の指導と実践	小学校専修免許の単位には認められない
理科教育研究ⅠA	K005	2		自然認識の発達と教育研究	幼稚園専修免許の単位には認められない
理科教育研究ⅠB	K006		2	自然認識教育の指導と実践	幼稚園専修免許の単位には認められない
音楽教育研究ⅠA	K007	2		音楽表現の創造と教育研究	
音楽教育研究ⅠB	K008		2	音楽表現研究の指導と実践	
造形表現教育研究ⅠA	K009	2		造形表現と教育研究	
造形表現教育研究ⅠB	K010		2	造形表現教育の指導と実践	
教育工学研究ⅠA	K011	2		認識と教育工学研究	
教育工学研究ⅠB	K012		2	視聴覚・コンピュータ教材の開発と学習指導	
情報教育研究ⅠA	K013	2		情報教育研究	
情報教育研究ⅠB	K014		2	情報活用機能の充実と学校経営	
特別活動研究ⅠA	K015	2		生徒指導とカウンセリング研究	
特別活動研究ⅠB	K016		2	学校・学級経営の充実と特別活動の指導	
教育経営特別演習	K017	2			（隔年開講：奇数年）
授業研究特別演習	K018		2		（隔年開講：偶数年）
教育学演習Ⅰ-1	K019	2	2		必　修
教育学演習Ⅰ-2	K020	2	2		必　修
教育学特別研究Ⅰ	K021	4	4		必　修

（履修の方法及び修了要件）

①1 年の前期中に、指導教員を決定しその指導によって授業科目を履修する。

②課程修了要件の 30 単位のうち、修士論文等の作成にかかわる演習（教育学演習Ⅰ-1、教育学演習Ⅰ-2）及び教育学特別研究Ⅰの合計 16 単位を必修とする。他を講義及び演習科目として修得する。

16. ⑬ 環境デザイン研究専攻　修士課程

	授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	建築士実務関連	副題	備考
建築環境系研究コース	建築計画研究ⅠA	L001	2	2	▲	建築都市の計画論を考察	
	建築計画研究ⅠB	L002	2	2	▲	都市、建築の形成における諸要素	
	建築計画研究ⅠC	L003	2	2			
	居住様式研究Ⅰ	L004	2	2	▲	生活の質を高める居住空間の様式を探求	
	環境計画研究Ⅰ	L005	2	2	▲	建築環境学と省エネルギー論	
	建築構法材料研究Ⅰ	L006	2	2	▲	建築のデザインと構造システム	
	材料基礎研究Ⅰ	L007	2	2		シミュレーションと材料	
	材料科学研究Ⅰ	L008	2	2	▲	環境調和型の材料設計や材料選択を考察	
	環境基礎学Ⅰ	L009	2	2		大学院生として学ぶ生態学と環境学	
	建築史研究Ⅰ	L010	2	2	▲	歴史的建築の保存・活用・復元に関する考察	
	建築デザイン研究ⅠA	L011	2	2	▲	環境心理学研究とデザイン論	
	建築デザイン研究ⅠB	L012	2	2	▲	建築デザインの設計プロセスとその実践	
	ランドスケープデザイン研究Ⅰ	L013	2	2		環境創生における造園学的視点と意匠研究	
	構造設計特論	L014	2	2	▲	インターンシップと直結した構造設計	
	建築生産計画論	L015	2	2	▲	インターンシップと直結した建築施工・工事管理・契約実務・技術者倫理等	
	設計製図Ⅳ(インターンシップ)	L016	4		▲b	課題による設計演習：インターンシップと直結した建築設計	
	設計製図Ⅴ(インターンシップ)	L017		4	▲b	課題による設計演習：インターンシップと直結した建築設計	
	デザイン実務演習Ⅱ-1(インターンシップ)	L018	4	4	▲b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	デザイン実務演習Ⅱ-2(インターンシップ)	L019	4	4	▲b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	デザイン実務演習Ⅱ-3(インターンシップ)	L020	2	2	▲b	建築設計(デザイン・構造・設備)・工事管理に関する実務	
	設計演習	L021	2	2	▲a	環境デザイン学科の設計製図Ⅱ1、Ⅱ2	
	環境科学演習Ⅰ-1	L022	1	1			
	環境科学演習Ⅰ-2	L023	1	1			
	環境科学実験Ⅰ-1	L024	1	1			
	環境科学実験Ⅰ-2	L025	1	1			
プロダクト系研究コース	意匠計画研究ⅠA	L026	2	2		デザインのことば	
	意匠計画研究ⅠB	L027	2	2		デザインの意味と目的	
	意匠工学研究ⅠA	L028	2	2			H22年度開講せず
	意匠工学研究ⅠB	L029	2	2			H22年度開講せず
	意匠システム演習Ⅰ-1	L030	1	1			
	意匠システム演習Ⅰ-2	L031	1	1			
	意匠工学実験Ⅰ-1	L032	1	1			H22年度開講せず
	意匠工学実験Ⅰ-2	L033	1	1			H22年度開講せず
衣環境系研究コース	被服材料研究Ⅰ	L034	2	2		繊維高分子の特性と化学構造	
	被服整理学研究Ⅰ	L035	2	2		衣服の汚れと洗浄性	
	被服加工学研究Ⅰ	L036	2	2		染色現象と染色堅ろう性	
	被服造形科学研究Ⅰ	L037	2	2		各種素材と衣服の機能性	
	服飾意匠計画研究ⅠA	L038	2	2		着ごこちの良い衣服の設計と評価	

	授業科目	整理番号	単位 前期	単位 後期	建築士実務関連	副題	備考
衣環境系研究コース	服飾意匠計画研究ⅠB	L039	2	2		機能的で美しい衣服デザインの研究	
	服飾文化研究Ⅰ	L040	2	2		服飾の造形的・文化史的考察	
	被服科学演習Ⅰ-1	L041	1	1			
	被服科学演習Ⅰ-2	L042	1	1			
	被服科学実験Ⅰ-1	L043	1	1			
	被服科学実験Ⅰ-2	L044	1	1			
共通	環境科学特別研究（論文）	L045	4	4		修士論文の作成指導	
	環境科学特別研究（設計）	L046	4	4	▲a	修士設計の作成指導	
	環境科学特別研究（制作）	L047	4	4		修士制作の作成指導	

（履修方法）
専攻する研究コースの授業科目から4単位を選択必修し、演習または実験のいずれかを2年間で4単位選択必修する。さらに環境科学特別研究8単位を必修として計16単位を履修する。その他、指導教員の指導により、他の研究コース（他専攻を含む）の関連科目を含んで選択履修し、合計30単位以上を履修する。
建築士受験資格の実務年限2年を認定するための履修方法:▲bを14単位以上+▲aを8単位まで+▲を8単位まで合計で30単位以上を履修すること。
建築士受験資格の実務年限1年を認定するための履修方法:▲bを 4単位以上+▲aを8単位まで+▲を8単位まで合計で15単位以上を履修すること。
教育職員免許状専修（中）、専修（高）:「家庭」に必要な単位は、環境科学特別研究を含み建築環境系研究コースおよび衣環境系研究コースの中から24単位以上履修すること。

16. ⑭ 生活科学研究専攻　修士課程

授業科目			整理番号	単位 前期	単位 後期	副題	備考
食・栄養コース	食品機能解析系	食品材料機能開発Ⅰ	M001	2	2	食品の製造と機能開発・評価	
		食品材料機能解析研究Ⅰ	M002	2	2	食品の機能特性と物性評価	
		食品材料科学ⅠA	M003	2	2	加工食品と食品添加物及び包装	
		調理機能研究ⅠA	M004	2	2	食品の構造と調理機能	
		調理機能研究ⅠB	M005	2	2	食品素材の調理機能と感覚評価	
		食品材料科学ⅠB	M006	2	2	食品構成成分の加工適性評価	
		食品機能解析演習Ⅰ	M007	1	1		
		食品機能解析実験Ⅰ	M008	1	1		
	栄養生理・生化学系	栄養・生化学研究ⅠA	M009	2	2	酵素の活性発現と化学修飾	
		栄養・生理学研究Ⅰ	M010	2	2	肥満と生理・食品成分との関わり	
		脂質栄養研究Ⅰ	M011	2	2	脂質の栄養・生理作用を中心に研究	
		生物機能解析Ⅰ	M012	2	2	微細藻類の分子生理	
		栄養・生化学研究ⅠB	M013	2	2	構造脂質と生体膜機能	
		栄養生理・生化学演習Ⅰ	M014	1	1		
		栄養生理・生化学実験Ⅰ	M015	1	1		
	栄養生理機能解析系	栄養食品成分機能解析研究ⅠA	M016	2	2	新開発栄養・食品の生理機能解析評価	
		生体調節・栄養生理研究ⅠA	M017	2	2	栄養素と生体調節成分	
		生体調節・栄養生理研究ⅠB	M018	2	2	生体と食品機能成分の関わり	
		生体システム研究Ⅰ	M019	2	2	身体運動のシステム生理	
		栄養食品成分機能解析研究ⅠB	M020	2	2	酵素の応用的特性	
		栄養生理機能解析演習Ⅰ	M021	1	1		
		栄養生理機能解析実験Ⅰ	M022	1	1		
	食・栄養特別研究Ⅰ		M023	4	4	修士論文作成指導	
実践栄養コース	臨床栄養系	母子栄養評価研究Ⅰ	M024	2	2	授乳と乳児期栄養を中心に研究	
		臨床栄養研究Ⅰ	M025	2	2	医療現場における実践栄養的アプローチ	
		食教育評価研究Ⅰ	M026	2	2	食教育と保健・福祉の実践的研究	
		臨床栄養演習ⅠA	M027	1	1		
		臨床栄養演習ⅠB	M028	1	1		
	公衆栄養系	公衆栄養研究ⅠA	M029	2	2	保健・医療・福祉での栄養ケア・栄養教育・評価	
		栄養教育評価研究Ⅰ	M030	2	2	健康増進を目的とした栄養教育･評価	
		公衆栄養研究ⅠB	M031	2	2	栄養教育評価基礎研究	
		公衆栄養演習ⅠA	M032	1	1		
		公衆栄養演習ⅠB	M033	1	1		
	実践栄養特別研究Ⅰ		M034	4	4	修士論文作成指導(ケーススタディを含む)	

(履修方法)

食・栄養コース

指導教員の担当科目から4単位、演習と実験については指導教員のみのものとして2単位以上、特別研究8単位を必修とし、他の系の関連科目から最低4単位を選択し、合計30単位を最低単位として履修する。　学位：修士（学術）

実践栄養コース

指導教員の担当科目の4単位を含み実践栄養コースの科目から12単位、指導教員の演習で2単位以上、特別研究として8単位を必修とし、他の科目と合わせて合計30単位を最低単位として履修する。　学位：修士（栄養）

Ⅳ

諸資格の取得

諸資格の取得

【取得資格一覧】

資格種類 ＼ 学部・学科 ／ 単位認定分野			文学研究科			生活機構研究科						人間文化学部			
			日本文学専攻	英米文学専攻	言語教育コミュニケーション専攻	生活文化研究専攻	心理学専攻	福祉社会研究専攻	人間教育学専攻	環境デザイン研究専攻	生活科学研究専攻	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科	国際学科
教育職員免許状	高（専修）	専門	○	○	○	○	○	○		○	○				
	高（一種）	専門										○	○	○	○
	中（専修）	専門	○	○	○	○		○		○	○				
	中（一種）	専門										○	○	○	○
	中（二種）	専門													
	小（専修）	専門							○						
	小（一種）	専門													
	小（二種）	専門													
	幼（専修）	専門							○						
	幼（一種）	専門													
	幼（二種）	専門													
栄養（一種）		専門													
栄養（二種）		専門													
博物館学芸員		教養その他										○	○	○	○
		専門												○	
司書		その他										○	○	○	○
		専門													
司書教諭		その他										○	○	○	○
日本語教員		教養その他										○	○	○	○
		専門										○			○
社会福祉主事		教養										△	△	△	△
		専門													
考古調査士（1級）		専門				○									
考古調査士（2級）		専門												○	
社会調査士		専門													○
臨床心理士		専門					※								
学校心理士（補）		専門					□								
臨床発達心理士		専門					□								
児童指導員		専門													
児童福祉司		専門													
認定心理士		専門													
社会福祉士		専門													
精神保健福祉士		専門													
保育士		専門													
レクリエーションインストラクター		専門													
キャンプインストラクター		専門													
児童厚生二級指導員		専門													
認定ベビーシッター		専門													
一級建築士		専門													
二級建築士		専門													
設備士		専門													
インテリアプランナー		専門													
JABEE※1		専門													
商業施設士		専門													
一級衣料管理士		専門													
人間工学準専門科		専門													
栄養士		専門													
管理栄養士		専門													
サプリメントアドバイザー		専門													
フードスペシャリスト		専門													
健康運動指導士		専門													
食品衛生監視員・食品衛生管理者		専門													

〔備考〕
① ○印は取得資格並びに単位認定分野を示す。
② ★印は当該資格の受験資格を示す。
③ ☆印は実務経験を経た後に、当該資格の受験資格を示す。
④ 大学院の教免資格は、学部においての教員免許取得を前提とする。
⑤ 司書教諭については、教員免許取得を前提とする。
⑥ ※印は指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。
⑦ ◎印については、現代教養学科カリキュラム表を参照のこと。
⑧ インテリアプランナーについては、後出のインテリアプランナーの項を参照のこと。
⑨ △印は任用資格を示す。「任用資格」とは、公務員に採用された後、特定の業務に任用されるのに必要となる資格。資格のみを取得することはできないが、特定の科目を履修した者だけがその職務に就くことができる。
⑩ ▲印は、卒業後、厚生労働省で定める施設での1年以上の実務経験が必要な任用資格。
⑪ 児童福祉司は、社会福祉士のほか、大学において心理学・教育学もしくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者で1年以上児童等の相談援助業務に従事した者などを要件とする任用資格。
⑫ □学校心理士（補）については、後出の学校心理士・学校心理士（補）の項を参照のこと。臨床発達心理士については、後出の臨床発達心理士の項を参照のこと。
⑬ ●印は、日本サプリメントアドバイザー認定機構の学校登録申請校に該当する。（詳細はガイダンスにて確認のこと。）
⑭ ◆印は、10名のみ（選抜あり）とし、修得した単位は卒業要件外とする。（履修は初等教育学科で行い、詳細はガイダンスにて確認のこと。）
⑮ ◇印は、管理栄養学科開設の栄養教諭科目を履修することにより、栄養二種免許を取得することができる。ただし、修得した単位は卒業要件外とする。卒業後、管理栄養士免許を取得した場合、一種に上申可能。
⑯ ＊印は、指定科目を履修する必要がある。

資格種類	単位認定分野	学部	人間社会学部				生活科学部			短大	専攻科			
		学科	心理学科	福祉社会学科	現代教養学科	初等教育学科	環境デザイン学科	健康デザイン学科	管理栄養学科	文化創造学科	国語国文学専攻	英語英文学専攻	食物科学専攻	生活文化学専攻
教育職員免許状	高（専修）	専門												
	高（一種）	専門	○	○	○		○	○						
	中（専修）	専門												
	中（一種）	専門	○		○		○	○						
	中（二種）	専門												
	小（専修）	専門												
	小（一種）	専門				○								
	小（二種）	専門												
	幼（専修）	専門												
	幼（一種）	専門		◆		○								
	幼（二種）	専門												
栄養（一種）		専門							○					
栄養（二種）		専門						◇						
博物館学芸員		教養その他	○	○	○	○	○	○	○					
		専門												
司書		その他	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		専門			◎					○				
司書教諭		その他	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
日本語教員		教養その他	○	○	○	○	○	○	○	○				
		専門												
社会福祉主事		教養	△	△	△	△	△	△	△	△				
		専門		△										
考古調査士（1級）		専門												
考古調査士（2級）		専門												
社会調査士		専門	○	○	○	○								
臨床心理士		専門												
学校心理士（補）		専門												
臨床発達心理士		専門												
児童指導員		専門	△	△		△								
児童福祉司		専門	▲	△		▲								
認定心理士		専門	*											
社会福祉士		専門		★										
精神保健福祉士		専門		★										
保育士		専門		○		○								
レクリエーションインストラクター		専門		○		○								
キャンプインストラクター		専門		○										
児童厚生二級指導員		専門				○								
認定ベビーシッター		専門				○								
一級建築士		専門					☆							
二級建築士		専門					★							★
設備士		専門					☆							
インテリアプランナー		専門					☆							
JABEE※1		専門					○							
商業施設士		専門					★							
一級衣料管理士		専門					○							
人間工学準専門科		専門					○							
栄養士		専門						○	○					
管理栄養士		専門						☆	★				☆	
サプリメントアドバイザー		専門						●	●				●	
フードスペシャリスト		専門						★					★	
健康運動指導士		専門						★						
食品衛生監視員・食品衛生管理者		専門							△					

※1　平成22年に取得予定。

1. 教育職員免許状

教育職員免許状の取得を希望する学生は、卒業要件の単位を修得した上で「教育職員免許法」及び関連法令で定められた学びをしなければならない。本学が定める「教職課程に関する内規」を熟読して、積極的な姿勢で臨むこととする。

①大学院で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

●専修免許状取得希望者は、同一学校種同一教科の一種免許状に係る単位を修得していなければならない。

専攻＼事項	免許状の種類	免許教科	教科または教職に関する科目	基礎資格
日本文学専攻	高等学校専修 中学校専修	国語	24	修士の学位を有すること
英米文学専攻	同上	外国語（英語）	24	
言語教育・コミュニケーション専攻（英語教育課程）	同上	外国語（英語）	24	
生活文化研究専攻	高等学校専修	地理・歴史	24	
	中学校専修	社会	24	
心理学専攻	高等学校専修	公民	24	
福祉社会研究専攻	高等学校専修	福祉	24	
	中学校専修	社会	24	
人間教育学専攻	小学校専修		30	
	幼稚園専修		30	
環境デザイン研究専攻	高等学校専修 中学校専修	家庭	24	
生活科学研究専攻	同上	家庭	24	

**履修の仕方については、別途ガイダンスで配布のカリキュラム表によること。

②人間文化学部・人間社会学部・生活科学部で取得できる教育職員免許状の種類と必要単位数

学科＼事項	免許状の種類	免許教科	教科に関する科目	教職に関する科目	その他必要な科目 体育	日本国憲法	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	介護等の体験	基礎資格
日本語日本文学科	高等学校一種	国語	28	31	2	2	2	2	不要	学士の学位を有すること
	中学校一種	国語	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	書道	28	31	2	2	2	2	不要	
英語コミュニケーション学科	高等学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	要	
歴史文化学科	高等学校一種	地理歴史	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
国際学科	高等学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	要	
心理学科	高等学校一種	公民	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
福祉社会学科	高等学校一種	福祉	28	31	2	2	2	2	不要	
現代教養学科	高等学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	外国語（英語）	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	公民	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	社会	28	31	2	2	2	2	要	
初等教育学科	小学校一種		8	41	2	2	2	2	要	
			10							
	幼稚園一種		6	35	2	2	2	2	不要	
			10							
環境デザイン学科	高等学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	要	
健康デザイン学科	高等学校一種	理科	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	理科	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	保健体育	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	保健体育	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	保健	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	保健	28	31	2	2	2	2	要	
	高等学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	不要	
	中学校一種	家庭	28	31	2	2	2	2	要	
	栄養教諭二種		2	24	2	2	2	2	不要	・同上 ・栄養士
管理栄養学科	栄養教諭一種		4	24	2	2	2	2	不要	・同上 ・管理栄養士

③履修のしかた

◆教職に関する科目（中学校一種・高等学校一種）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備考
科目	各項目に含める必要事項	中学校一種	高等学校一種	授業科目名	単位数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教職概論	2★	
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	○教育原理	*2★	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教育心理学	*2★	
	・教育に関する社会的,制度的又は経営的事項			教育行政学 教育法規	2 2	2単位以上選択必修
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	12	12	○教育課程論	2	
	・各教科の指導法			国語科教育法 社会科教育法 地理歴史科教育法 公民科教育法 理科教育法 書道科教育法 保健体育科教育法 保健科教育法 家庭科教育法 福祉科教育法 英語科教育法	**4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4 **4	取得する免許教科の教科教育法を選択必修
	・道徳の指導法			○道徳教育の研究	2	
	・特別活動の指導法			○特別活動の研究	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			○教育工学	2★	
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	4	○生徒指導･進路指導の研究	2★	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2★	心理学科以外
				○臨床心理地域援助	2	心理学科用
教育実習		5	5	○教育実習の指導 ○教育実習	1★ 4★	
教職実践演習		2	2	○教職実践演習(中･高)	2★	
その他				教職課程特講 介護等体験の指導	2 1	
				学習支援コミュニティ･サービスラーニング	2	前･後期を通年でとること(通年で2単位)
計		31	31		31	

注 1）○は、必修科目。
注 2）★は、編入学生が短大等で修得した教職に関する科目の単位のうち、学部で認定できる単位。
注 3）＊の2科目は、一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。
　　なお、心理学科は、「教育心理学」の代わりに、「道徳教育の研究」の単位を数える。
注 4）＊＊の科目は，取得する免許教科の教科教育法を選択する。
　　この科目は、専門科目の卒業要件単位の中に含めることができる。（学科により異なるので、学科の指示に従うこと。）
注 5）介護等の体験を行う年度に、「介護等体験の指導」の授業を受けること。

◆教職に関する科目（栄養教諭）

免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数		該当専門教育科目		備考
科目	各項目に含める必要事項	栄養教諭一種	栄養教諭二種	授業科目名	単位数	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	○教職概論	2	
教職の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4	2	○教育原理	*2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			○教育心理学	*2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教育行政学 教育制度論	2 2	2単位以上選択必修
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	4	2	○教育課程論	2	
	・道徳及び特別活動に関する内容			○道徳教育の研究	2	
				○特別活動の研究	2	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			○教育工学	2	
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	4	2	○生徒指導の研究	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			○教育相談の研究	2	
栄養教育実習		2	2	○栄養教育実習事前事後の指導 ○栄養教育実習	1 1	
教職実践演習		2	2	○教職実践演習（栄養教諭）	2	
その他				学習支援コミュニティ・サービスラーニング	2	前・後期を通年でとること（通年で2単位）

注 1）○は、必修科目。
注 2）＊の2科目は、一般教養科目の卒業要件単位の中に含めることができる。

◆教科に関する科目

国　語（中学校）〔日本語日本文学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論(4) 言語学 文語文法の基礎 日本語学Ⅰ （パソコン日本語学入門を除く） 日本語学Ⅱ
国文学（国文学史を含む）	10	○日本文学入門(4) 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB 古典文学Ⅱ 近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論(4) 漢文の基礎 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	4	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（国語）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

国　語（高等学校）〔日本語日本文学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目 （　）内は必要単位数
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む）	8	○日本語学概論(4) 言語学 文語文法の基礎 日本語学Ⅰ （パソコン日本語学入門を除く） 日本語学Ⅱ
国文学（国文学史を含む）	12	○日本文学入門（4） 古典文学ⅠA 古典文学ⅠB 古典文学Ⅱ 近代文学Ⅰ 近代文学Ⅱ 児童文学Ⅰ（子どもと文学）
漢文学	6	○中国文学概論(4) 漢文の基礎 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ
書道（書写を中心とする）	2	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
計	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（国語）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

書　道（高等学校）〔日本語日本文学科〕（高等学校一種の国語と併せて、書道を取得する場合）

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数	該当専門教育科目
書道（書写を含む）	10	書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ 書道実習Ⅲ 書道実習Ⅳ 書道実習Ⅴ 書道実習Ⅵ
書道史	4	書道史
「書論、鑑賞」	4	日本の書芸
「国文学、漢文学」	10	上記,国語教免の国文学・漢文学10単位をもって充当する。
計	28	

（注）編入学生は、「国文学、漢文学」も含んだ全ての単位を編入学後に履修する必要がある。

英　語〔英語コミュニケーション学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	英語研究概論 A 英語研究概論 B 英語の歴史 英語音声学 形態論 文法研究 意味論 社会言語学 第二言語習得
英米文学	1	1	英米文学・文化概論 A 英米文学・文化概論 B イギリス散文 A イギリス散文 B アメリカ散文 A アメリカ散文 B 英米詩 ファンタジー・児童文学
英語コミュニケーション	1	1	○Speaking and Listening Ⅰ A (1) ○Speaking and Listening Ⅰ B (1) ○Reading Ⅰ (2) ○Grammar and Writing Ⅰ (1) Interviewing A Interviewing B Public Speaking A Public Speaking B Technical Writing
異文化理解	1	1	ニューイングランド文学・文化 イギリス文化研究 アメリカ文化研究 Film Criticism 比較文学・文化 Language of Advertising
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（英語）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

社　会（中学校）〔歴史文化学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	8	○日本史通論(2) ○歴史学概論(2) 日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近現代史 ○世界史通論(2) 古代オリエント文化史 西洋中･近世史 東洋史概説
*地理学（地誌を含む）	8	○人文地理学概論(2) ○自然地理学概論(2) ○地誌通論A(2) ○地誌通論B(2) 地理学特論
「法律学、政治学」	2	○法学概論（国際法を含む）又は現代政治論(2)
「社会学、経済学」	2	○「経済学概論」又は「社会学概論」(2) 比較女性史論 日本女性史 文化人類学概論
「哲学、倫理学、宗教学」	4	○「倫理学概論」又は「宗教学概論」(2) 日本思想史 キリスト教文化史 禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から、○印（20単位）を含んで28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（社会）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

地理・歴史（高等学校）〔歴史文化学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史	4	○日本史通論(2) 日本古代史 日本中世史 日本近世史 日本近現代史
外国史	4	○世界史通論(2) ○歴史学概論(2) 古代オリエント文化史 西洋中･近世史 東洋史概説
人文地理学及び自然地理学	8	○人文地理学概論(2) ○自然地理学概論(2) 地理学特論
地誌	4	○地誌通論A(2)　○地誌通論B(2)
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から、○印（14単位）を含んで28単位以上修得しなければならない。

○必修科目

英　語〔国際学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	○ことばの成り立ちと仕組み　○社会言語学(言葉と場面) ○Sounds of English　世界の英語
英米文学	1	1	○20世紀アメリカ小説C 20世紀アメリカ小説D ○19世紀イギリス小説(ヴィクトリア朝の肖像) Literary Reading Ⅰ Literary Reading Ⅱ
英語コミュニケーション	1	1	○Comprehensive English for International Communication Ⅰ ○Comprehensive English for International Communication Ⅱ Comprehensive English for International Communication Ⅲ ○Comprehensive English for International Communication Ⅳ Comprehensive English for International Communication Ⅴ ○Critical Reading Ⅰ Critical Reading Ⅱ Discussion on International Issues Ⅰ Discussion on International Issues Ⅱ
異文化理解	1	1	○異文化コミュニケーション 比較文化論 アメリカの社会と文化 アメリカ現代史 イギリスの社会と文化
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生は、短大時に修得した中学校二種（英語）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

公　民（高等学校）〔心理学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目
「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論
「社会学、経済学（国際経済を含む）」	2	○社会学（2）　現代社会論 マスコミュニケーションの社会心理学
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2	△哲学概論　青年心理学 心理学概説Ⅰ　△倫理学概論 心理学概説Ⅱ　思考心理学 発達心理学　対人関係論 社会心理学　精神分析理論 臨床心理学　犯罪心理学 認知心理学　家族葛藤の心理学 家族心理学　非行臨床心理学 人格心理学　比較行動学（心理） 乳幼児心理学　産業組織心理学
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）
（注）編入学生のうち、「公民」（高等学校）の免許取得が可能な学科から編入した学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。
他にも読み替え可能な場合があるため、読み替えについては、学科の教務部委員の教員に確認すること。

社　会（中学校）〔心理学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	2	○日本史通論（2）　日本近現代史 歴史学概論　○世界史通論（2） 日本中世史　東洋史概説 日本近世史　古代オリエント文化史
地理学（地誌を含む）	2	○人文地理学概論（4）　○地誌通論A（2） ○自然地理学概論（4）　○地誌通論B（2）
「法律学、政治学」	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論
「社会学、経済学」	2	○社会学（2）　文化人類学概論 比較女性史論　現代社会論 日本女性史
「哲学、倫理学、宗教学」	2	△倫理学概論　キリスト教文化史 △哲学概論　禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれかを選択）
（注）編入学生のうち、「社会」（中学校）の免許取得が可能な学科から編入した学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。
他にも読み替え可能な場合があるため、読み替えについては、学科の教務部委員の教員に確認すること。

福　祉（高等学校）〔福祉社会学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
社会福祉学（職業指導を含む）	1	○現代社会と福祉（4） 福祉社会と社会政策 ○地域福祉の理論と方法 △社会保障 △低所得者に対する支援と生活保護制度 △国際福祉論 社会福祉の歴史
高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	1	○児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ○障害者に対する支援と障害者自立支援制度 養護原理 児童・家庭ソーシャルワーク
社会福祉援助技術	1	○相談援助の基盤と専門職（4） ○相談援助の理論と方法（4） レクリエーション援助法 福祉サービスの組織と経営 保健医療サービス
介護理論及び介護技術	1	○高齢者に対する支援と介護保険制度（2）*
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む）	1	○相談援助実習指導Ⅰ ○相談援助実習指導Ⅱ（1）** 相談援助実習
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印と△印（6単位以上）を含み、28単位以上修得すること。

○必修科目　△選択必修科目（6単位以上）
*「高齢者に対する支援と介護保険制度」必修2単位は前期開設科目を受講すること
**「相談援助実習指導Ⅱ」必修1単位は前期開設科目を受講すること

（注）編入学生は、短大時に修得した教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。ただし、何ら課程認定をうけていない短大からの編入生に限る。

公　民（高等学校）〔現代教養学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	2	法学概論（国際法を含む）　現代政治論 国際関係研究
「社会学、経済学（国際経済を含む）」	2	○社会をみる目（4）　現代経済（世界と日本） ○経済をみる目（4）　現代社会と労働 ○世界をみる目（2）　○社会学（2） 現代社会論　社会と開発 社会問題概観　グローバル社会と経済
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2	△心理学概説（2）　△哲学概論（2） 社会心理学　△倫理学概論（2） マスメディアと現代社会
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれか1科目以上を選択）

社　会（中学校）〔現代教養学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
日本史及び外国史	2	○日本史通論（2）　日本近現代史 歴史学概論　○世界史通論（2） 日本中世史　古代オリエント文化史 日本近世史　東洋史概説
地理学（地誌を含む）	2	○人文地理学概論（4）　○地誌通論A（2） ○自然地理学概論（4）　○地誌通論B（2）
「法律学、政治学」	2	現代政治論　法学概論（国際法を含む） 国際関係研究
「社会学、経済学」	2	○社会をみる目（4）　現代経済（世界と日本） ○経済をみる目（4）　現代社会と労働 ○世界をみる目（2）　○社会学（2） 現代社会論　比較女性史論 社会問題概観　日本女性史 文化人類学概論 社会と開発 グローバル社会と経済
「哲学、倫理学、宗教学」	2	△倫理学概論（2）　キリスト教文化史 △哲学概論（2）　禅と日本文化
最低修得単位数	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目（各専門科目内で△のいずれか1科目以上を選択）
（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（社会）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

英　語〔現代教養学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
英語学	1	1	英語の歴史 英語音声学 形態論 文法研究 意味論 社会言語学 第二言語習得
英米文学	1	1	イギリス散文A イギリス散文B アメリカ散文A アメリカ散文B 英米詩 ファンタジー・児童文学 ○ニューイングランド文学・文化
英語コミュニケーション	1	1	○Current Topics Ⅰ（2） ○Current Topics Ⅱ（2） ○Current Topics for Reading Ⅰ（2） ○Current Topics for Reading Ⅱ（2） Advanced Research on Current Topics Ⅰ Advanced Research on Current Topics Ⅱ Advanced Extensive Reading Ⅰ Advanced Extensive Reading Ⅱ Advanced Authentic Listening Ⅰ Advanced Authentic Listening Ⅱ
異文化理解	1	1	○現代英国文化論 ○現代アメリカ文化論 Film Criticism 比較文学・文化 Language of Advertising
最低修得単位数	28	28	上記の専門教育科目の中から○印を含み28単位以上修得すること。

○必修科目

（注）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（英語）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

家　庭〔環境デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目	備考
	中学校一種	高等学校一種		
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	4	4	家庭経営学　家族関係論 ○生活科学概論（前期のみ）	「教科に関する科目」欄に記載の条件を満足するように履修すること。
被服学（被服製作実習を含む）（注1）	4	4	被服学概論　被服整理学 被服構成学　造形デザイン演習Ⅰ1（モード） アパレル企画論　造形デザイン演習Ⅱ1（モード） 材料学B　被服整理学実験 被服材料学　造形材料学実験 造形デザイン演習I2（モード）　服飾デザイン 服飾史Ⅰ　染色理論 服飾史Ⅱ　造形デザイン演習Ⅱ2（モード） デザイン画描法　染色加工実験 衣料鑑別実験　造形デザイン演習Ⅲ 繊維加工学　被服造形科学 被服衛生学　被服学実習－教職－	
食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む）（注1）	4	4	食物学概論（栄養学を含む） ○調理実習	
住居学（製図を含む）（注1）	2	2	住居学概論　材料学C 建築史（日本）　設計製図－教職－ 住生活学　建築史（西洋） インテリア計画　住居計画 設計製図Ⅰ1　建築構造Ⅰ 設計製図Ⅰ2　デザイン概論Ⅰ 環境心理学　建築材料学 設計製図Ⅱ1　設計製図Ⅲ 設計製図Ⅱ2　建築設備 材料学A　製図基礎	
保育学（実習及び家庭看護を含む）	2	2	○保育学（実習を含む）	
家庭電気・機械及び情報処理		4	○家庭機械及び家庭電気　○情報論同演習	
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目を最低28単位以上を修得しなければならない。 （健康デザイン学科の専門教育科目をあてることもある。）	

○必修科目

注1）被服製作実習、食品学及び調理実習、製図を必ず含むこと。「被服製作実習」に該当する科目は、造形デザイン演習Ⅰ～Ⅲ（モード）、被服学実習－教職－、「製図」に該当する科目は、設計製図－教職－、製図基礎、設計製図Ⅰ～Ⅲ

注2）編入学生は、短大時に修得した中学校二種（家庭）の教科に関する科目の単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

注3）家庭電気・機械及び情報処理は中学校一種の必要単位にはならない。

理　科（中学校）〔健康デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 中学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
物理学	2	○物理学（2）　サイコレオロジー
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	1	○物理学実験（1）
化学	4	○化学A（2）　○化学B（2）
化学実験（コンピュータ活用を含む）	1	○化学実験（1）
生物学	4	○生物学（2）　○生化学（2）　感覚学概論 色彩科学
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	5	○生物学実験（1）　微生物学実験　食品科学実験 ○生化学・解剖生理学実験（2）　○バイオテクノロジー（2） 生体調節と食品成分
地学	2	○地学（2）
地学実験（コンピュータ活用を含む）	1	○地学実験（1）
最低修得単位数	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

理　科（高等学校）〔健康デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数 高等学校一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
物理学	2	○物理学（2）　サイコレオロジー
化学	4	○化学A（2）　○化学B（2）
生物学	4	○生物学（2）　○生化学（2）　感覚学概論 色彩科学
地学	2	○地学（2）
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	8	○物理学実験（1）　○化学実験（1）　○生物学実験（1） 微生物学実験　○生化学・解剖生理学実験（2）　食品科学実験 ○バイオテクノロジー（2）　生体調節と食品成分　○地学実験（1）
最低修得単位数	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

保健体育〔健康デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
体育実技	2	2	○体育実技A（1）　○体育実技B（1） スポーツ実習A・アクアスポーツ　スポーツ実習B・スノースポーツ
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学（運動方法学を含む。）	4	4	○運動学（2）　△スポーツ社会学（2）　△体育経営管理学（2） △体育原理（2）　△スポーツ心理学（2）
生理学（運動生理学を含む。）	2	2	○運動生理学（2）　人体の構造と機能A　人体の構造と機能B スポーツ医学　スポーツトレーニング論　体力測定・評価 バイオメカニクス　スポーツトレーニング論演習　体力測定・評価演習 栄養学実習
衛生学及び公衆衛生学	6	6	○衛生・公衆衛生学（2）　○食品と加工（2） ○食品衛生学（2）
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	6	6	○学校保健A（2）　○学校保健B（2）　○健康管理概論（2）
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印と△印(2単位以上)を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目
△選択必修科目

保　健〔健康デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
生理学 栄養学 微生物学 解剖学	8	8	○人体の構造と機能A　(2)　病理･疾病　○微生物学　(2) ○人体の構造と機能B　(2)　サプリメント論 ○応用栄養学　(2)　栄養学実習 公衆栄養学　栄養指導論各論
衛生学及び公衆衛生学	6	6	○衛生・公衆衛生学　(2)　○食品と加工　(2) ○食品衛生学　(2)
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む）	6	6	○学校保健A　(2) ○学校保健B　(2) ○健康管理概論　(2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印の科目を含み最低28単位以上修得すること。

○必修科目

(注) 編入学生は、短大時に修得した中学校二種（保健）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

家　庭〔健康デザイン学科〕

教科に関する科目	免許法に基づき本学が設定する必要単位数		該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
	中学校一種	高等学校一種	
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む）	6	6	○家庭経営学　(2)　○家庭経済学A　(2)　○家族関係論　(2)
被服学（被服製作実習を含む）	6	6	○被服学A　(2)　○被服学B　(2) ○被服学及び実習　(2)
食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む）	6	6	○栄養と健康　(2)　○調理学実習　(2) 栄養指導論総論　おいしさの科学と評価 ○食品学　(2)　食品素材の科学 調理科学　調理と理論 基礎調理学及び実習
住居学（製図を含む）	3	3	△住居学A　(2)　○住居学演習　(1) △住居学B　(2)
保育学（実習及び家庭看護を含む）	2	2	○保育学　(2)
家庭電気・機械及び情報処理		2	○家庭機械及び家庭電気　(2)
最低修得単位数	28	28	上記専門教育科目から○印と△印(2単位以上)を含み最低28単位以上修得すること。 （一部環境デザイン学科の専門教育科目をあてることもある）

○必修科目
△選択必修科目
(注) 編入学生は、短大時に修得した中学校二種（家庭）の教科に関する科目単位のうち、最大14単位までを「該当専門教育科目」として読み替えることができる。

栄　養〔健康デザイン学科〕

免許法に基づく科目区分	免許法に基づく必要単位数 栄養二種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	2	○学校栄養教育論Ⅰ(2)
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
食生活に関する歴史的及び文化的事項		
食に関する指導の方法に関する事項		○学校栄養教育論Ⅱ(2)

○必修科目
(注)管理栄養学科開設の科目を履修する。

栄　養〔管理栄養学科〕

免許法に基づく科目区分	免許法に基づく必要単位数 栄養一種	該当専門教育科目 （　）内は最低必要単位数
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	○学校栄養教育論Ⅰ(2)
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
食生活に関する歴史的及び文化的事項		
食に関する指導の方法に関する事項		○学校栄養教育論Ⅱ(2)

○必修科目

幼稚園教諭一種・小学校教諭一種免許状取得のための最低修得単位数〔初等教育学科〕

◆教科に関する科目

規定科目	最低修得単位数		該当専門教育科目 （　）内は単位数
	幼稚園教諭一種	小学校教諭一種	
国語（書写を含む）	国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育のうち3以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育のうち4以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）(2)
社会			社会(2)
算数			算数(2)
理科			理科(2)
生活			生活(2)
音楽			音楽(2)
図画工作			図画工作(2)
家庭			家庭(2)
体育			体育(2)
計	6	8	

単位履修の方法は、初等教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

◆教職に関する科目〔初等教育学科〕

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低修得単位数		該当専門科目	
科目	各科目に含める必要事項	小学校一種	幼稚園一種	授業科目名	単位数
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	教職概論	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教育原理	2
				保育原理Ⅰ	2
				保育原理Ⅱ	2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び学習の過程を含む）			教育心理学Ⅰ	2
				教育心理学Ⅱ	2
				発達心理学	2
				乳幼児心理学	2
				特別支援教育論	2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			教育法規	2
				教育行政学	2
				学級経営研究	2
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成方法	22		小学校教育課程論	2
	・各教科の指導法			国語科教育法	2
				社会科教育法	2
				算数科教育法	2
				理科教育法	2
				生活科教育法	2
				音楽科教育法	2
				図工科教育法	2
				家庭科教育法	2
				体育科教育法	2
				国語科教育法演習	1
				社会科教育法演習	1
				算数科教育法演習	1
				理科教育法演習	1
				生活科教育法演習	1
				音楽科教育法演習	1
				図工科教育法演習	1
				家庭科教育法演習	1
				体育科教育法演習	1
	・道徳の指導法			道徳教育研究	2
				道徳教育演習	1
	・特別活動の指導法			特別活動研究	2
				特別活動演習	1
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）		18	教育の方法と技術	2
				教育評価	2
				教育統計基礎	2
	・教育課程の意義及び編成方法			幼稚園教育課程論	2
	・各領域の指導法			人間関係指導法	2
				環境指導法	2
				健康指導法	2
				言葉指導法	2
				表現指導法	2
				人間関係指導法演習	1
				環境指導法演習	1
				健康指導法演習	1
				言葉指導法演習	1
				表現指導法演習	1
				保育内容総論	2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4		生徒・進路指導の研究	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法		2	教育相談の研究	2
	・幼児理解の理論及び方法			幼児理解の研究	2
教育実習		5	5	教育実習の指導Ⅰ	1
				教育実習Ⅰ	1
				教育実習の指導Ⅱ	1
				教育実習ⅡA	4
				教育実習ⅡB	2
教職実践演習		2		教職実践演習（幼・小）	2
			2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2

注1）上記で満たした上で、さらに「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から10単位修得することが必要
注2）上記のほか、体育、法学（憲法）、外国語コミュニケーション、情報機器の操作・各2単位の修得が必要
注3）小学校教諭免許取得希望者は、7日間の介護等体験を行う。
注4）単位履修の方法は、初等教育学科専門科目のカリキュラム表によること。

幼稚園教諭一種免許状取得のための最低修得単位数〔福祉社会学科〕

※福祉社会学科の幼稚園教諭一種免許状の取得要件については、福祉社会学科のカリキュラム表欄外を参照のこと。（10名以内限度）初等教育学科の科目を履修し、修得した単位は卒業要件外とする。

◆教科に関する科目

規定科目	最低修得単位数 幼稚園教諭一種	該当専門教育科目 （　）内は単位数
国語（書写を含む）	国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育のうち3以上の科目について修得する。	国語（書写を含む）(2)
社会		社会(2)
算数		算数(2)
理科		理科(2)
生活		生活(2)
音楽		音楽(2)
図画工作		図画工作(2)
家庭		家庭(2)
体育		体育(2)
計	6	

◆教職に関する科目

免許法施行規則に定めた科目区分等		最低修得単位数	該当専門科目	
科　目	各科目に含める必要事項	幼稚園 一　種	授業科目名	単位数
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	教職概論	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2
			保育原理Ⅰ	2
			保育原理Ⅱ	2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び学習の過程を含む）		教育心理学Ⅰ	2
			教育心理学Ⅱ	2
			発達心理学	2
			乳幼児心理学	2
			特別支援教育論	2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育法規	2
			教育行政学	2
			学級経営研究	2
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成方法		小学校教育課程論	2
	・各教科の指導法		国語科教育法	2
			社会科教育法	2
			算数科教育法	2
			理科教育法	2
			生活科教育法	2
			音楽科教育法	2
			図工科教育法	2
			家庭科教育法	2
			体育科教育法	2
			国語科教育法演習	1
			社会科教育法演習	1
			算数科教育法演習	1
			理科教育法演習	1
			生活科教育法演習	1
			音楽科教育法演習	1
			図工科教育法演習	1
			家庭科教育法演習	1
			体育科教育法演習	1
	・道徳の指導法		道徳教育研究	2
			道徳教育演習	1
	・特別活動の指導法		特別活動研究	2
			特別活動演習	1
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	18	教育の方法と技術	2
			教育評価	2
			教育統計基礎	2
	・教育課程の意義及び編成方法		幼稚園教育課程論	2
	・各領域の指導法		人間関係指導法	2
			環境指導法	2
			健康指導法	2
			言葉指導法	2
			表現指導法	2
			人間関係指導法演習	1
			環境指導法演習	1
			健康指導法演習	1
			言葉指導法演習	1
			表現指導法演習	1
			保育内容総論	2
生徒指導,教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法		生徒･進路指導の研究	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	2	教育相談の研究	2
	・幼児理解の理論及び方法		幼児理解の研究	2
教育実習		5	教育実習の指導Ⅰ	1
			教育実習Ⅰ	1
			教育実習の指導Ⅱ	1
			教育実習ⅡA	4
			教育実習ⅡB	2
教職実践演習		2	教職実践演習(幼･小)	2
			保育･教職実践演習(幼稚園)	2

注1）上記を満たした上で、さらに「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から10単位修得することが必要
注2）上記のほか、体育、法学（憲法）、外国語コミュニケーション、情報機器の操作・各2単位の修得が必要

◆その他必要な科目

○体育
「体育実技」2単位を修得する。
＊初等教育学科は学科の指示に従うこと

○日本国憲法
一般教養科目で開設されている法学の科目のうち、法学（憲法）を2単位以上修得する。
＊初等教育学科は学科の指示に従うこと

○外国語コミュニケーション
外国語科目で開設されている外国語のうち、日本語を除き2単位以上修得する。

○情報機器の操作
各学科の該当科目を2単位以上修得する。

学　科	該当科目	単位数
日本語日本文学科	日本文学研究とコンピュータ	2
	日本語研究とコンピュータ	2
	パソコン日本語学入門A	2
	パソコン日本語学入門B	2
英語コミュニケーション学科	Computer Literacy A	2
	Computer Literacy B	2
歴史文化学科	視聴覚教育メディア論	2
国際学科	メディアコミュニケーションI（文書作成、データ管理）	1
	メディアコミュニケーションⅡ（情報検索、メール作成、SNS）	1
心理学科	データ解析実習Ⅰ	2
福祉社会学科	情報機器の操作とデータ分析	2
現代教養学科	コンピュータ基礎	1
	情報検索	1
	情報収集と編集	2
	情報収集と伝達	2
初等教育学科	情報機器の操作	2
環境デザイン学科	データ分析基礎	1
	CADⅠ	1
	CADⅡ	1
	マルチメディア演習	1
	CGⅠB	1
	CGⅡ（3D）	2
	CGⅠC	1
	ファッションコンピュータ演習	2
健康デザイン学科	統計･情報処理演習	2
管理栄養学科	統計･情報処理演習	2

※体育、日本国憲法、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の単位は、それぞれ、一般教養科目、外国語科目、各学科の専門教育科目の単位としても数える。

教職課程履修に関する事務連絡会等の日程

1.【幼一種免・小一種免】

学年	日程		介護等体験	教育実習	教育職員免許状申請　他
1年	4月		「介護等体験の指導」履修	初等教育学科で行う	
	2月	上旬	申し込み説明会		
2年	4月	中旬	資料配布 教職課程費第1期納入		
	7月	上～中旬	体験先決定、資料配布		
	8月	上旬～	体験開始（～3月末まで）		
	体験終了後		体験日誌、証明書コピー、自己評価票等の提出		
	9月	末頃	レントゲン検診		
	11月	中～下旬			（教員採用試験受験者による報告会）
3年	後期開講				教員採用試験対策講座開催予定（オープンカレッジ）
	11月	中～下旬			（教員採用試験受験者による報告会）
	12月	中旬			東京都教育委員会による翌年度東京都公立学校教員採用候補者選考に関する説明会
4年	7月	下旬			教育職員免許状一括申請申し込み
	後期開講				教員採用試験対策講座開催予定（オープンカレッジ）
	11月	中～下旬			（教員採用試験受験者による報告会）
	12月	中旬			教育職員免許状一括申請授与申請書記載事項の確認と署名押印
	3月	中旬			教育職員免許状交付（卒業式終了後）

＊介護等体験は、小一種免取得の場合に必要

2. 【中一種免・高一種免・栄養教諭】

学年	日程		介護等体験	教育実習	教育職員免許状申請　他
1年	4月	初旬	教職課程履修ガイダンス		
	7月	上～中旬		教育実習終了者による報告会	
	2月	上旬	教職課程履修ガイダンス（教職課程履修登録）		
			申し込み説明会		
2年	4月	上旬	「介護等体験の指導」履修教科書、資料配布 教職課程費第1期納入		
	7月	上～中旬	体験先決定、資料配布	教育実習終了者による報告会	
	8月	上旬～	体験開始（～3月末まで）		
	体験終了後		体験日誌、証明書コピー、自己評価票等の提出		
	9月	末頃	レントゲン検診		
	11月	中～下旬			教員採用試験受験者による報告会
	2月	上旬	教職課程履修ガイダンス		
3年	4月	上旬		教育実習履修登録・実習校への内諾依頼について	
	4月～5月上旬			実習希望校訪問（内諾依頼）	
	7月	上～中旬		教育実習終了者による報告会	
		末日まで		内定届・東京都公立学校実習申込　提出締め切り	
	後期開講				教員採用試験対策講座開催予定（オープンカレッジ）
	11月	中～下旬			教員採用試験受験者による報告会
	12月	中旬			東京都教育委員会による翌年度東京都公立学校教員採用候補者選考に関する説明会
	2月	上旬	教職課程履修ガイダンス		
	2月～3月				私立学校教員希望者への説明会
4年	4月	上旬		教育実習事前指導及び連絡	
		下旬		教育実習関係書類配布	
	5月	下旬		教職課程費第2期納入	
	実習終了後2週間以内			実習日誌提出	
	7月	上～中旬		教育実習終了者による報告会（必修）	
		下旬			教育職員免許状一括申請申し込み
	後期開講				教員採用試験対策講座開催予定（オープンカレッジ）
	11月	中～下旬			教員採用試験受験者による報告会
	12月	中旬			教育職員免許状一括申請授与申請書記載事項の確認と署名押印
	3月	中旬			教育職員免許状交付（卒業式終了後）

*介護等体験は、中一種免取得の場合に必要

問い合わせ及び書類等提出先
教育実習・介護等体験・教育職員免許状一括申請
教育支援センター教務担当窓口（大学1号館1階）

※なお、大学院生、編入学生の教職課程履修者(各実習含む)は、個別に教育支援センター教務担当にて履修相談を受けてください。

2. 博物館学芸員

（人間文化学部・人間社会学部・生活科学部）

卒業時に博物館学芸員の資格を取得するためには、下記(1)、(2)について指定の科目を履修し、規定の単位を修得することが必要です。

履修は1年次又は2年次から開始することを原則とし、4月始めに行われる履修ガイダンスに必ず出席してください。（ガイダンス日時は掲示で告知）

(1) 必修科目

授業科目	単位		開設学科	備　考
	前期	後期		
博物館学A	2		歴文	
博物館学B	2		〃	
博物館学C		2	〃	
教育学概論	2	2	〃	前･後期いずれか
生涯学習概論		2	〃	
視聴覚教育メディア論	2	2	〃	前･後期いずれか
博物館実習Ⅰ	1		〃	
博物館実習Ⅱ		1	〃	
博物館実習Ⅲ	1		〃	
文化財保存学	2	2	〃	
館務実習	1		〃	外部実習

(注1) 同時に教職課程を履修する者は、「教育原理」を修得することにより、「教育学概論」を修得したものとみなす。

(注2) 上記科目を履修する他に、研修旅行に参加しなければならない。

(2) 選択必修科目

次の選択必修A･Bのいずれの条件も満たすよう選択履修する。

＜選択必修A＞

授業科目名	単位		開設学科	備　考
	前期	後期		
日本史A		2	教養	この中から8単位を選択する。
日本史B		2	〃	
西洋史	2	2	〃	
東洋史概説	2	2	歴文	
考古学概論	2	2	歴文	
考古学	2	2	教養	
日本美術史概説	2	2	歴文	
西洋美術史概論	2	2	〃	
東洋美術史概説	2	2	〃	
民俗学概論	2	2	〃	
日本民俗学	2	2	日文	

(注1) 必ずしも通年の履修でなくても可。

(注2) 環境デザイン学科学生は、学科専門科目で読み替えられる科目がある。別途指示する。

＜選択必修B＞

90分の授業を半期履修した場合を1コマとして4コマを選択する。

授業科目	コマ数		開設学科	備　考
	前期	後期		
測量	2	2	環境	この中から4コマを選択する。
設計製図　－教職－	1		〃	
史料解読	1	1	歴文･日文	
古文書解読	1	1	歴文	
服飾史資料基礎	1	1	〃	
考古学実習A	1		〃	
考古学実習B		1	〃	
日本美術史基礎	1	1	〃	
西洋美術史基礎	1	1	〃	
日本芸能史基礎		1	〃	
民俗調査法	1		〃	
文化財保存修復学基礎	1	1	〃	

(注1) 必ずしも通年の履修でなくても可。

(注2) 環境デザイン学科学生は、学科専門科目で読み替えられる科目がある。別途指示する。

学芸員課程の履修に関する内規

●目　的

本課程履修者の資質向上を目的として本内規を定める。

●履修条件

博物館実習Ⅲおよび館務実習を履修することができる者は、次の通りとする。

イ. 人間文化学部・人間社会学部・生活科学部の学生であること。

ロ. 将来、学芸員としての職に就くことに関して確固とした志望のある者。

ハ. 3年次までに、博物館実習Ⅲおよび館務実習以外の必修科目、研修旅行のすべてを履修し、単位を修得した者。

ニ. 各自の資格要件全科目の平均点が70点以上であり、かつ3年次までの全履修科目の平均点が70点以上の者。ただし、提出物等の期限を厳守した者に限る。

ホ. 前ハ項、ニ項の規定にかかわらず、博物館学科目群担当者が適当と認め、歴史文化学科会議で承認された者。

ヘ. 3年次編入者については、前ハ項を適用しない。また、前ニ項については、3年次の全履修科目の平均点が70点以上の者と読み替える。

●実習費の徴収について（歴史文化学科学生を除く）

第1期……博物館実習Ⅰ・Ⅱの履修者は7，500円を指定の期日までに納入する。

第2期……本履修内規のハ項からヘ項までの規定に合格した博物館実習Ⅲの履修者は、指定の期日までに実習費年額10，000円を納入する。

●館務実習及び研修旅行について

イ. 館務実習は原則として卒業年次に行う。実習期間（1～2週間）は実習先の指示に従う。館務実習履修者は定められた館務実習費12,000円を納入するものとする。この館務実習費の中から実習館への謝礼が支払われる。

ロ. 研修旅行は原則として3年次に行う。日程は年度ごとに企画される。必要経費（宿泊費・交通費等）の納入は指示に従うこと。

●学芸員の資格申請

学芸員の資格を申請（教育支援センター経由）できる者は下記の通りとする。

イ. 前述の必修科目・選択必修科目の単位をすべて修得し、そのうち成績不良科目（申し合わせとして69点以下）が5科目以内の者。

ロ. 卒業年次までの全履修科目の平均点が70点以上である者。

ハ. 卒業年次に実施する資格授与試験を受け、認められた者。（試験日時は掲示で告知）

ニ. 前イ項、ロ項にかかわらず、歴史文化学科会議で承認された者。

Ⅲ学部卒業生の学芸員資格取得に関する内規Ⅲ

イ. 学部卒業生で学芸員の資格取得を希望する者は、次の条件を満たしていなければならない。

a） 学士の学位を有する者。

b） 在学中の成績が「学芸員課程の履修に関する内規」に合致していること。

c） 上記条件を満たし、学則第55条に基づいて履修を許可された者。

ロ. 履修の手続き

上記イa）、b）の条件を満たしたことを示す証明書を添付し、資格取得課程履修願を指定の期日までに、教育支援センターを経て学長に提出すること。

ハ. 履修料について

上記ロで履修を許可された者は、学則第62条に基づいて半期1科目につき登録料10，000円、聴講料20，000円を納入すること。

ニ. 履修を許可された者は、学則第58条から第65条の科目等履修生に関する規定を適用する。

ホ. 資格の付与

前述の「学芸員課程の履修に関する内規」に合致した者に、その資格を付与する。

3. 司書・司書教諭

図書館学課程は、大学・専門・公共図書館の専門職員である「司書」の資格と、小・中・高等学校図書館のメディア専門職である、「司書教諭」の資格を取得するために、短期大学部に開設されています。

現代の高度情報化社会では、情報リテラシー能力が重視されています。当課程では、メディア専門職としての知識と技術を体系的に学習でき、図書館だけでなく、様々な公共機関や学校、企業の資料室や調査部門などで幅広く活躍できる能力を身につけることができます。

資格取得を希望する学生は、所定の単位を修得しなければなりません。

学部の学生が単位修得する場合、当課程は短大開設であるため、学則第14条第４項に定める60単位の内数として、履修するものとします。

当課程によって修得した単位は、原則として卒業要件になりません。

当課程は、受講科目の履修順序がありますので（履修順序を守らないと履修出来ない科目があります。）、履修を開始する場合は、年度初めに行われる「図書館学課程（司書・司書教諭）ガイダンス」に、必ず出席してください。

履修を希望する学生（科目等履修生を含む）は、当課程の登録料として、10,000円を納入しなければなりません。納入方法については、別途連絡します。

次の受講生が資格取得を希望する場合は、下記のことに注意してください。

○専攻科の学生が、「司書」及び「司書教諭」の資格取得を希望する場合

⇒図書館学課程担当教員に相談してください。

○院生が、「司書」及び「司書教諭」の資格取得を希望する場合

⇒所定の手続きを取り、「科目等履修生」として履修してください。

なお、専門科目と時間割が重なった等の理由により、他大学で単位を修得し、本学で資格を取得する場合は、当課程に「単位修得証明書」を提出してください。

●司　書

司書の資格は、図書館法（1950年）に規定されています。司書講習は、図書館法で定められている（同法第５条第１項）、司書資格授与のための講習です。

次の表の必修科目18単位、選択科目２単位（２科目２単位を選択）合計20単位を修得しなければなりません。

科目名		単位
必修科目	生涯学習概論	1
	図書館概論	2
	図書館サービス論	2
	情報サービス概説	2
	図書館資料論	2
	資料組織概説	2
	図書館経営論	1
	専門資料論	1
	児童サービス論	1
	レファレンスサービス演習	1
	情報検索演習	1
	資料組織演習A	1
	資料組織演習B	1
選択科目	図書及び図書館史	1
	資料特論	1
	コミュニケーション論	1
	情報機器論	1
	図書館特論	1
合計	必修科目18単位　選択科目2単位	

●司書教諭

司書教諭の資格は、学校図書館法（1953年）に規定されています。司書教諭講習は、学校図書館法に定められている（同法第５条第３項）司書教諭資格授与のための講習です。

資格取得を希望する学生は、小学校、中学校、高等学校いずれかの教育職員免許を取得し、かつ下表にある所定の単位を、修得しなければなりません。

科目名	単位
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2
合計　10単位	

○当課程に関する情報は、次の掲示板を必ず見るようにしてください。
・大学3号館　1階
・80年館　1階　インフォメーションルーム
○当課程に関する不明な点は、文化創造学科・図書館学課程担当教員（大学3号館4階4T01）まで、問い合わせてください。

4. 日本語教員

日本語教育の現場は、海外の大学・高校・小学校等の教育機関、国内の大学・専門学校、日本語学校、インターナショナルスクール、公立の小中高校、地域のボランティア団体など様々です。これら多様な学習者のニーズに適合した教育プログラムを行っていくために、日本語教員には幅広い専門的な知識、能力が要求されています。

本学日本語日本文学科（平成21年度以降は国際学科同時開設）では、日本語教員の養成のための「日本語教育科目」が開設されています。平成12年に示された『日本語教育のための教員養成について』（文化庁日本語教員養成に関する調査研究協力者会議）における「日本語教員養成において必要とされる教育内容」を参照して科目を示すと次頁のようになります。

関心のある学生はそれぞれの専門性を意識しながら日本語教育科目を位置づけ、履修計画をたててください。各区分から所定の単位数を修め、必要な手続きを取った者に対して本学日本語教育科目の「主専攻（45単位）「副専攻（26単位）」の認定証を発行しています。

日本語教育科目は全学科の学生の受講が可能ですが、単位の認定にあたって学科別の取り決め事項があります。年度初めに行われる「日本語教育ガイダンス」に必ず出席して履修のシステムをよく理解してください。また、不明な点は日本語日本文学科の担当教員に問い合わせてください。

現在、日本語を教える教員のための免許制度はありません。就職にあたっては、各教育機関が独自の採用基準を設けています。現在一般的には、「大学および大学院で日本語教育に関する科目を主専攻程度の単位数履修した者」あるいは「副専攻程度単位数を履修し、『日本語教育能力検定試験』(財団法人日本国際教育支援協会実施)に合格した者」で、かつ「現場での実務能力があると認められる者」という基準が最も重視されるようです。

本学大学院には、日本語教師としての専門性をさらに高め、海外の高等教育機関でも教えられるような人材を育成するために、文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻に「日本語教育コース」が開設されています。

授業科目			学年 1年次 単位		2年次 単位		3年次 単位		4年次 単位		開講中心年次	履修可能範囲
日本語教育	文化・地域・社会	日本語教育概論Ⅰ	②		②						1	◎
		言語政策論Ⅰ			②		②		②		3	◎
		言語政策論Ⅱ			②		②		②		3	◎
	言語と社会	異文化間コミュニケーションⅠ	②		②		②				1	◎
		異文化間コミュニケーションⅡ		②		②		②			1	◎
		社会言語学		②		②		②		②	2	◎
	言語と心理	第二言語教育概説	②		②		②				2	◎
		第二言語習得論		②		②		②			2	◎
	言語と教育	日本語教育概論Ⅱ	②		②						1	◎
		日本語教育学ⅠA(音声)	②		②		②				2	◎
		日本語教育学ⅠB(書写)			②		②				2	◎
		日本語教育学ⅠC(文法)	②	②	②	②	②	②			2	◎
		日本語教育学ⅡA(聴解・会話)				②		②		②	3	◎
		日本語教育学ⅢB(作文・読解)			②	②	②	②			3	◎
		日本語教育学ⅡC(教材・教具)				②		②			2	◎
		コースデザイン・評価論				②		②		②	3	◎
		日本語教育指導方法論			②		②				2	◎
		日本語教育実習Ⅰ('YY)					①	①	①	①	3	◎
		日本語教育実習Ⅱ('YY)					①	①	①	①	3	◎
		日本語教育実習(個別'YY)			①	①	①	①	①	①	3	◎
		日本語教育実習(海外'YY)			①	①	①	①	①	①	3	◎
	言語	日本語教育言語分析法研究	②		②		②		②		2	◎
		日本語文法論	②	②	②	②	②	②	②	②	2	◎
		日本語表現法		②		②		②			2	◎
		日英対照研究				②		②		②	3	◎
		日韓対照研究				②		②		②	3	◎
		日中対照研究				②		②		②	3	◎

('YY) には年度（西暦）が表記される。複数回履修可。

5. 社会福祉主事

〔社会福祉主事任用資格〕

◆社会福祉主事は社会福祉法第19条第1項第1号に基づく任用資格で、厚生労働省告示による指定科目のうち、3科目以上を履修すると取得できます。取得者は社会福祉関連の事業所に就職した場合、有資格者として次の職名が得られます。

① 福祉事務所の社会福祉主事
② 各種福祉施設の生活指導員・児童指導員・福祉指導員
③ 社会福祉協議会の福祉活動指導員

◆社会福祉主事の資格に関する指定科目(厚生労働省)

科目
社会福祉概論
社会福祉事業史
社会福祉援助技術論
社会福祉調査論
社会福祉施設経営論
社会福祉行政論
社会保障論
公的扶助論
児童福祉論
家庭福祉論
保育理論
身体障害者福祉論
知的障害者福祉論
精神障害者保健福祉論
老人福祉論
医療社会事業論
地域福祉論
法学
民学
経済学
社会政策
心理学
社会学
公衆衛生学
医学一般
リハビリテーション論
看護学
介護概論
栄養学
計 29科目

本学開設科目の中で、読み替えによって認められる科目があります。詳細は教育支援センター教務担当に問い合わせてください。

6. 考古調査士（人間文化学部歴史文化学科・大学院生活機構研究科生活文化研究専攻）

1．考古調査士とは

埋蔵文化財調査には様々な知識と技術が必要です。遺跡発掘に関わる調査・記録技術や安全対策、衛生管理などの管理技術、考古学的な専門知識などが必要です。調査成果を的確に報告書にまとめあげる知識と技能も必要です。さらに近年では、それらを社会に向けて発信し、地域の歴史として地域住民に還元することが重要な任務になってきました。

埋蔵文化財の調査と保存・活用に関する技術と知識は、専門的な領域に属し、一朝一夕で修得できるものではありません。大学で、長期の時間と費用を費やして修得するものです。また社会での実務経験も必要です。

考古調査士資格とは、そのような長年にわたる埋蔵文化財関係の訓練を積んだ人に対して、与えられる専門資格です。しかし、弁護士や医師のような国家資格ではなく、民間組織が発行する資格であり、独占的な資格ではありません。

大学などの教育機関で、考古学を専門に勉強した学生や、あらためて学びなおしたい社会人からの申請に基づき、資格認定機構が、その内容を審査し、資格を授与するものです。

考古調査士資格認定機構は、考古調査士資格申請に加盟する全国の大学・研究機関共通の統一的な資格審査・授与機構の組織です。

「２級考古調査士」資格取得者が大学院に進学し、所定の関連科目の単位を取得すると、「１級考古調査士」資格が与えられます。

2．資格要件

２級考古調査士

⑴　本学歴史文化学科が開設する科目のうち、別紙の科目から、３科目群５科目以上、10単位取得を必須要件とする。

⑵　第５科目群を１科目取得を必修とする。

本学では「文化財論」（歴史文化学科　４年次前期必修科目）がこれに相当する。

⑶　１科目群内、最高２科目４単位まで申請が可能

⑷　考古学に関する卒業論文は、テーマに応じて第１科目群から第７科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができる。２単位相当

⑸　上記の要件により単位を取得した場合、「考古調査士資格認定機構」に申請することにより、資格が授与される。

１級考古調査士

⑴　学部において２級考古調査士資格を取得し、大学院（修士課程）において、指定科目を４科目８単位取得を必須要件とする。

⑵　第５科目群１科目取得を必修とする。

⑶　考古学に関する修士論文は、テーマに応じて第１科目群から第７科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができる。２単位相当

3．資格の申請

⑴　資格取得希望者は、「考古調査士資格認定機構」が定める手続きに従い、大学から発行される「単位取得証明書」を添えて、所定申請期間内に必要な書類とともに「考古調査士資格認定機構事務局」に資格申請を行うことができる。

⑵　「考古調査士資格認定機構・資格審査専門委員会」が申請書類を審査し、「資格認定機構委員会」の承認を得て、合否を決定し、資格を授与する。

⑶　申請料　２級考古調査士　￥25,000
　　１級考古調査士　￥30,000

4．科目群の内訳

第１科目群　考古学の概説
第２科目群　考古学の基礎的方法論を扱う科目群
第３科目群　考古学の個別分野を特論的に扱う科目群
第４科目群　考古学調査の技術的実習分野
第５科目群　埋蔵文化財の保存と活用を扱う科目群

関連科目群（平成22年度）

２級考古調査士

科目群	授業科目	単位	
		前期	後期
1	考古学概論	2	
1	考古学概論		2
3	日本考古学特論Ａ	2	
3	日本考古学特論Ａ		2
3	日本考古学特論Ｂ	2	
3	日本考古学特論Ｂ		2
4	実験考古学	2	
4	考古学実習Ａ	1	
4	考古学実習Ｂ		1
5	文化財論	2	

１級考古調査士

科目群	授業科目	単位	
		前期	後期
3	考古学研究ＩＡ	2	
3	考古学研究ＩＡ		2
3	考古学研究ＩＢ	2	
3	考古学研究ＩＢ		2
5	埋蔵文化財行政学特論Ａ	2	
4	埋蔵文化財行政学特論Ｂ		2

7. 社会調査士

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する『調査の専門家』のことです。

激しく変化する社会の現状を把握し、複雑な社会問題の解決を図るためには、社会調査の方法を身につけることが不可欠です。ところが、その重要性が高まっているにも関わらず、調査の担い手となる専門的人材の育成システムはまだ未整備な状態にあります。その重要性と必要性を鑑みて、三つの学会（教育社会学会、行動計量学会、社会学会）の連携協力により、平成15年11月に『社会調査士資格認定機構』（平成20年12月に一般社団法人社会調査協会に組織替え）が創設されました。この『機構』の事業の一つが「社会調査士」の資格認定です。

1）＜取得方法＞

認定機構が定めた「標準カリキュラム」に準拠した科目と設置している資格制度参加校（大学）で取得することができます（本学は、平成20年度から参加することになりました）。調査に関する５科目と実習１科目の単位を取得することで、学部卒業時に資格が交付されます。また、上記科目を３科目以上取得、２科目以上履修中であることを条件に、在学時、就職活動等に活用できる社会調査士（取得見込み）証明書が発行されます。

2）＜社会調査士の能力＞

社会調査士は、調査企画から報告書の作成までの社会調査の全過程を体験することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘する能力を修得します。

3）＜認定された本学の社会調査士科目＞

平成20年度から本学の人間社会学部も社会調査士の科目認定を受け、資格制度に参加することになりました。社会調査士の標準カリキュラムは、次のＡからＧまでの７科目になっていますが、ＥとＦは、選択制で、二つのどちらかの科目単位を取得すればよいことになっています。

Ａ：社会調査の基本的事項に関する科目（90分×15週）
Ｂ：調査設計と実施方法に関する科目（90分×15週）
Ｃ：基本的な資料とデータの分析に関する科目（90分×15週）
Ｄ：社会調査に必要な統計学に関する科目（90分×15週）
Ｅ：量的データの解析の方法に関する科目（90分×15週）（Ｅ／Ｆは選択制）
Ｆ：質的な分析の方法に関する科目（90分×15週）（Ｅ／Ｆは選択制）
Ｇ：社会調査の実習を中心とする科目（90分×30週）

以上の標準カリキュラムに準拠した本学の開設科目は次のようになっています。

Ｃ／Ｄ／Ｇについては、複数の科目が設置されています。複数の科目のうち一つを取得すればよいのですが、基本的に所属している学科の科目を履修してください。

履修にあたっては、Ａ・Ｂ科目を履修した後にＧ科目を、Ｃ・Ｄ科目を履修した後にＥ科目を履修してください。Ｆ科目は履修順序に関係なく履修することができます。

	授業科目名	期	開設学科	単位
A	「社会科学と社会調査」	前	人間社会学部全学科	2
B	「社会調査の理論と方法」	前	人間社会学部全学科	2
C	「統計分析基礎」	前･後	現代	2
	「情報機器の操作とデータ分析」	後	初教･福祉	2
	「データ解析実習Ⅰ」	前	心理	2
D	「社会経済統計Ⅰ」	前･後	現代・福祉	2
	「教育統計基礎」	後	初教	2
	「心理統計法」	後	心理	2
E	「社会経済統計Ⅱ」	前･後	現代･福祉･初教	2
	「データ解析実習Ⅱ」	後	心理	2
F	「フィールドワークと質的分析」	後	人間社会学部全学科	2
G	「社会調査実習Ⅰ」「社会調査実習Ⅱ」	前･後	現代･福祉･初教	4
	「質問紙調査法実習」	前･後	心理	2

※人間文化学部国際学科は、社会調査士の授業科目を履修し、資格を取得することができる。

8. 臨床心理士

臨床心理士は、日本臨床心理士資格認定協会が定める資格です。本学における資格取得方法は、以下のようになっています。

指定科目を修めて、大学院生活機構研究科心理学専攻臨床心理学講座を修了し、日本臨床心理士資格認定協会が行う試験に合格すること。なお、これらに該当する学生は、実習費を納入しなければなりません。納入方法等については別途指示します。

授業科目	単位	備考
臨床心理学特論Ⅰ	2	必修
臨床心理学特論Ⅱ	2	必修
臨床心理面接特論Ⅰ	2	必修
臨床心理面接特論Ⅱ	2	必修
臨床心理査定演習Ⅰ	2	必修
臨床心理査定演習Ⅱ	2	必修
臨床心理基礎実習Ⅰ	1	必修
臨床心理基礎実習Ⅱ	1	必修
臨床心理実習Ⅰ	1	必修
臨床心理実習Ⅱ	1	必修
心理学統計法	2	2単位以上選択必修
心理学研究法	2	
人格心理学研究Ⅱ	2	2単位以上選択必修
教育心理学研究Ⅰ	2	
心理査定研究	2	
発達心理学研究Ⅰ	2	
発達心理学研究Ⅱ	2	
発達心理学研究Ⅲ	2	
発達心理学研究Ⅳ	2	
発達臨床心理学研究	2	
認知心理学研究Ⅰ	2	
認知心理学研究Ⅱ	2	
認知心理学研究Ⅲ	2	
認知心理学研究Ⅳ	2	
認知心理学研究Ⅴ	2	
実験心理学研究Ⅰ	2	
実験心理学研究Ⅱ	2	
社会心理学研究Ⅰ	2	2単位以上選択必修
社会心理学研究Ⅱ	2	
社会心理学研究Ⅲ	2	
社会心理学研究Ⅳ	2	
社会心理学研究Ⅴ	2	
家族心理学研究	2	
犯罪心理学研究	2	
精神医学研究Ⅰ	2	2単位以上選択必修
精神医学研究Ⅱ	2	
発達支援論研究	2	
障害児心理学研究	2	
グループ・アプローチ特論	2	2単位以上選択必修
精神分析学研究	2	
家族療法研究	2	
学校臨床心理学研究	2	
コミュニティ・アプローチ研究	2	
臨床心理査定特論Ⅰ	2	

9. 学校心理士・学校心理士補

学校心理士は、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本発達心理学会、日本LD学会の5学会が共同・連合して設立した、学校心理士認定運営機構が定める資格です。本学では、大学院修士課程において、学校心理学に関する所定7科目14単位以上を修得し、1年以上の学校心理学に関する専門的実務経験を有する人が申請できます。ただし、実務経験が不十分な場合に限り、学校心理士補を申請することができます。

学校心理学に関する所定7科目は以下の通りになります。具体的な授業名については、心理学科教授室に問い合せてください。

教育心理学に関する科目
発達心理学に関する科目
臨床心理学に関する科目
障害児の教育と心理に関する科目
生徒指導・進路指導（実習含む）に関する科目
教育評価・心理検査（実習含む）に関する科目
学校カウンセリング（実習含む）に関する科目

10. 臨床発達心理士

臨床発達心理士は、日本発達心理学会・日本感情心理学会・日本教育心理学会の3学会が共同・連合して設立した、「臨床発達心理士」認定運営機構が定める資格です。発達心理学関連諸科学の修士課程在学生、あるいは修了者は、以下の3条件に合致すれば、＜基本タイプ＞として申請することが出来ます（基本タイプのほかには、現職者タイプがあります）。基本タイプの申請条件と審査の概要は以下の通りです。

（1）基本タイプの申請条件

①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）。

②以下の５つの指定科目（１科目４単位：計20単位）すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で取得している。

臨床発達心理学の基礎に関する科目
認知発達とその支援に関する科目
社会・情動とその支援に関する科目
言語発達とその支援に関する科目
育児・保育現場での発達とその支援に関する科目

③200時間以上の臨床実習の経験を有する。

（2）基本タイプの審査概要

A．一次審査

１）書類審査

①発達心理学隣接諸科学修士課程を修了している（修了予定である）ことを確認

②５つの指定科目すべての単位を、大学院の授業または臨床発達心理士資格認定委員会が開催する「指定科目取得講習会」で修得していることを確認

③臨床実習報告書（原稿用紙30枚程度）により、臨床実習経験を確認

２）筆記試験

多肢選択問題と記述問題

B．二次審査

臨床発達心理士としての資質に関する20分程度の口述審査

本学心理学専攻は、申請条件①に合致します。

また、申請条件②の科目に該当する具体的な授業名は、心理学科教授室に問い合わせてください。

申請条件③の、臨床実習報告書作成についての指導は、「発達臨床実習」で行います。

11. 社会福祉士

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次の通りです。

指定科目を修めて大学（福祉社会学科）を卒業し、社会福祉士試験（国家試験）に合格すること。

資格を取得し、登録することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につく上で有利になります。

就職に有利となる主な職種は、次のとおりです。

①社会福祉施設の相談援助専門職、児童指導専門職
②福祉事務所や更生相談所のケースワーカー
③児童相談所の相談援助専門職
④社会福祉協議会や地域包括センターの地域福祉活動専門職
⑤病院等の医療ソーシャルワーカー
⑥その他 民間の福祉事業分野の専門職

社会福祉士国家試験受験の要件となる指定科目（福祉社会学科）

厚生労働省指定科目	学科開設科目	単位数	備考
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	3科目のうち1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	2	
社会保障	社会保障	4	
社会調査の基礎	社会調査の基礎	2	
相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職	4	
相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法	4	
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法	2	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	
現代社会と福祉	現代社会と福祉	4	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度	4	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
保健医療サービス	保健医療サービス	2	
就労支援サービス	就労支援サービス	2	3科目のうち1科目選択必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	2	
更生保護制度	更生保護制度	2	
相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	2	
	相談援助演習Ⅱ	2	
	相談援助演習Ⅲ	1	
相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	1	
	相談援助実習指導Ⅱ	2	
相談援助実習	相談援助実習	4	

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合は、４年間で資格取得ができないことがあります。

12. 精神保健福祉士

精神保健福祉士は「精神保健福祉士法」に基づく資格です。本学における資格取得の方法は次の通りです。

指定科目を修めて大学（福祉社会学科）を卒業し、精神保健福祉士試験（国家試験）に合格すること。

なお、資格取得希望者が20名を超えた場合は、選抜を行います。

◆精神保健福祉士国家試験受験の要件となる指定科目（福祉社会学科）

学科開設科目	単位数	備　考
現代社会と福祉	2	
社会保障	4	
低所得者に対する支援と生活保護制度	2	
地域福祉の理論と方法	2	
人体の構造と機能及び疾病	2	3科目のうち1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	2	
権利擁護と成年後見制度	2	
保健医療サービス	2	
福祉行財政と福祉計画	2	
精神医学	2	
精神保健学	2	
精神科リハビリテーション学	2	
精神保健福祉論	2	
精神保健福祉援助技術総論	2	
精神保健福祉援助技術各論	2	
精神保健福祉援助演習	2	
精神保健福祉援助実習	4	

資格を取得し、登録することによって社会福祉の施設や機関において相談・援助業務等の専門職につく上で有利になります。

就職に有利となる主な職場は、次のとおりです。

①精神病院、診療所、クリニック
②精神保健センター、保健所（センター）
③援護寮、授産施設、作業所等の社会復帰施設

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合は、4年間で資格取得ができないことがあります。

13. 保育士

人間社会学部福祉社会学科、初等教育学科において保育士の資格を取得するためには、本学の学則に定める規定（各学科のカリキュラム参照）に基づき、児童福祉法施行規則に定める教育内容に関する各学科が定める科目について単位を修得し、当該学科を卒業することが必要です。

なお、保育士資格取得について指定を受けている人数は、福祉社会学科60名、初等教育学科100名となっています。したがって、福祉社会学科へ編入後、保育士資格取得を希望する場合は、定員の範囲内とします。初等教育学科は編入生の保育士資格取得を認めていません。

なお、保育実習は、休業期間中（夏季・春季休暇）に行う場合があります。

福祉社会学科は、編入生も含め資格取得希望者が60名を超えた場合は選抜を行います。

福祉社会学科

	系列	科目名（ ）内は単位	単位	必要単位数
教養科目		外国語（英語U－A）		2
		スポーツを考える		1
		体育実技		1
		その他一般教養科目		4
最低単位修得数				8
専門必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	現代社会と福祉	4	2
		相談援助演習Ⅱ	2	2
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	2
		保育原理（保育士）	4	4
		養護原理	2	2
		教育原理（保育士）	2	2
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学（保育士）	2	2
		教育心理学（保育士）	2	2
		小児保健Ⅰ	4	4／5
		小児保健Ⅱ	1	1／5
		小児栄養	2	2
		精神保健	2	2
		家族援助論	2	2
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容総論（保育士）	2	2
		保育内容－表現	1	1
		保育内容－健康	1	1
		保育内容－言葉	1	1
		子どもと環境	2	1
		対人コミュニケーション	2	1
		乳児保育	2	2
		障害児保育	1	1
		養護内容	1	1
	基礎技能	音楽実技	1	1／4
		幼児体育	2	2／4
		アート基礎	1	1／4
	保育実習	保育実習Ia	1	1／5
		保育実習Ib	2	2／5
		保育実習Ic	2	2／5
	総合演習	総合演習（保育士）	2	2
専門最低単位修得数				51
専門選択必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	地域福祉の理論と方法	2	8
		心理学理論と心理的支援	2	
		社会理論と社会システム	2	
		労働とジェンダー	2	
	保育の対象の理解に関する科目	臨床心理学	2	
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	
		家族と福祉	2	
	保育の内容・方法の理解に関する科目	海外ボランティア演習	2	
		就労支援サービス	2	
	基礎技能	アート基礎	1	
		音楽実技	1	
	保育実習	保育実習Ⅱ	2	2以上
		保育実習Ⅲ	2	
最低単位修得数				10
専門最低単位修得数				69

※資格取得の登録期限を過ぎてからの登録・履修の場合は、4年間で資格取得ができないことがあります。

初等教育学科

	系列	科目名（ ）内は単位		履修必要単位
教養科目		外国語（英語U－A）		2
		スポーツを考える		1
		身体と運動の科学		
		体育実技		1
		その他一般教養科目		4
最低単位修得数				8
専門必修科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	社会福祉原論	(2)	2
		社会福祉援助技術	(2)	2
		児童福祉論	(2)	2
		保育原理Ⅰ	(2)	2
		保育原理Ⅱ	(2)	2
		養護原理	(2)	2
		教育原理	(2)	2
	保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	(2)	2
		教育心理学Ⅰ	(2)	2
		小児保健Ⅰ	(4)	4
		小児保健Ⅱ	(1)	1
		小児栄養	(2)	2
		精神保健	(2)	2
		児童・家庭ソーシャルワーク	(2)	2
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容総論	(2)	2
		人間関係指導法	(2)	2
		環境指導法	(2)	2
		健康指導法	(2)	2
		言葉指導法	(2)	2
		表現指導法	(2)	2
		乳児保育	(2)	2
		障害児保育	(1)	1
		養護内容	(1)	1
	基礎技能	音楽基礎B（ソルフェージュ）	(2)	2
		音楽基礎C（実技）	(2)	
		造形基礎	(2)	1
		幼児体育	(2)	1
	保育実習	保育実習の指導IA	(1)	1
		保育実習の指導IB	(1)	1
		保育実習IA（保育所）	(2)	2
		保育実習IB（施設）	(2)	2
	総合演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	(2)	2
最低単位修得数				57
選択科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	家族福祉論	(2)	12
		地域福祉論	(2)	
		地域施設マネジメント論	(2)	
		保育行政論	(2)	
		保育環境論	(2)	
		児童の健全育成と福祉	(2)	
		児童館の機能と運営	(2)	
	保育の対象の理解に関する科目	教育心理学Ⅱ	(2)	
		乳幼児心理学	(2)	
		臨床心理学	(2)	
		対人コミュニケーション	(2)	
	保育の内容・方法の理解に関する科目	保育実践研究	(1)	
		保育ソーシャルワーク	(2)	
		病児保育研究	(2)	
		在宅保育研究	(2)	
		レクリエーション理論	(2)	
		レクリエーション援助法	(2)	
	基礎技能	幼児音楽	(2)	
		幼児造形	(1)	
	保育実習	保育実習Ⅱ（保育所）	(2)	2
		保育実習Ⅲ（施設）	(2)	
最低単位修得数				14
総履修単位修得数				79

14. 建築士等、インテリアプランナー、JABEEに関する資格

1）一、二級建築士、木造建築士

生活科学部環境デザイン学科に所属し、下記の表に示される科目のうち定められた単位数を修得すると、卒業後に受験資格が得られます。ただし、受験申請時に、環境デザイン学科の卒業証明書（教育支援センターで発行）を添付する必要があります。また、受験するためにはそれぞれ下記の年限の実務経験が必要とされますので、受験申請説明書を良く検討する必要があります。

一級建築士：2年、3年、4年

二級建築士、木造建築士：実務経験は不要

建築士等の受験資格取得のための条件

授業科目	単位数	必要単位数
設計製図Ⅰ1〈前期〉	2	8単位以上選択必修
設計製図Ⅰ2〈後期〉	2	
設計製図Ⅱ1〈前期〉	2	
設計製図Ⅱ2〈後期〉	2	
設計製図Ⅲ〈前期〉	2	
住生活史〈後期〉	2	4単位以上選択必修
建築史(日本)〈前期〉	2	
建築史(西洋)〈後期〉	2	
近代建築史〈前期〉	2	
住生活学〈前期〉	2	12単位以上選択必修
住生活学〈後期〉	2	
住居計画〈前期〉	2	
住居計画〈後期〉	2	
インテリア計画〈前期〉	2	
インテリア計画〈後期〉	2	
建築計画Ⅰ〈前期〉	2	
建築計画Ⅱ〈後期〉	2	
環境心理学〈前期〉	2	選択必修
環境心理学〈後期〉	2	選択必修
都市計画〈後期〉	2	選択必修
都市デザイン論〈前期〉	2	選択必修
環境工学〈前期〉	2	必修
環境工学〈後期〉	2	必修
建築学実験A〈後期〉	2	選択必修
建築設備〈前期〉	2	必修
建築設備〈後期〉	2	必修
構造力学I及演習〈前期〉	2	必修
構造力学I及演習〈後期〉	1	2単位以上選択必修
構造力学Ⅱ及演習〈前期〉	2	
構造力学Ⅱ及演習〈後期〉	1	
建築構造Ⅰ〈前期〉	2	4単位以上選択必修
建築構造Ⅱ〈前期〉	2	
建築構造Ⅲ〈後期〉	2	
材料学A〈後期〉	2	2単位以上選択必修
材料学C〈後期〉	2	
建築材料学〈前期〉	2	必修
建築学実験B〈後期〉	2	選択必修
建築学実験D〈後期〉	2	選択必修
積算〈後期〉	2	選択必修
構法・施工A〈前期〉	2	2単位以上選択必修
構法・施工B〈前期〉	2	
建築法規〈前期〉	2	必修
建築デザイン論〈前期〉	2	選択必修
建築デザイン論〈後期〉	2	選択必修
造園〈前期〉	2	選択必修
測量〈前期・後期〉	2	選択必修
実務経験年数2年の場合合計		60単位以上
実務経験年数3年の場合合計		50単位以上
実務経験年数4年の場合合計		40単位以上

2）インテリアプランナー

資格取得のためには、以下の条件を満たす必要があります。

受験資格：満20歳以上

登録条件：試験を合格（登録は合格後5年以内）
環境デザイン学科建築・インテリアデザインコース卒業
実務経験2年以上

1），2）の資格についての詳細は、財）建築技術教育普及センターのホームページを参照してください。

http://www.jaeic.or.jp

3）JABEEプログラム

環境デザイン学科建築・インテリアデザインコース建築グループは2010年度に申請・審査を受ける予定で、これが認定されれば2007年度入学生からJABEEの認定を受けることになります。

JABEEとは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education／設立1999年11月19日）の略で、国際的に通用する技術者教育のために、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかを審査・認定を行う非政府団体です。

建築・インテリアデザインコース建築グループに所属し、別表のJABEE履修科目チェック表（環境デザイン学科ホームページよりダウンロード可）に従って所定の単位を修得して卒業すると、認定を受けることができます。希望者は４月初めのガイダンスに必ず出席してください。

◆プログラム名：建築グループ
（Educational Program for Architecture Group）

◆学習・教育目標の特色

建築は個人から集団までの人間生活のすべてに関わります。それは、文系的な側面と理系的な側面を同時に併せ持つということです。このプログラムでは、その両方を統合的に習得して、よりよい建築、都市、環境作りを創造できるような人材を育成することを目標にしています。

建築デザイナー養成プログラムの学習・教育目標は、包括的な専門知識・能力の習得、および本大学が独自に設定する生活とデザイン領域に関するより専門的知識・能力の習得のために設定しています。また、本大学の伝統を継承し、建築学へ活用、展開するような個性的なプログラムの目標を掲げるようにしました。そして本大学の環境デザイン学科が持つ特色を生かしたデザインを使ったコミュニケーション能力を涵養することを重視しています。

本プログラムの持つ特色は、以下の５項目に整理できます。

１．多様な価値観：異なる文化、歴史、芸術を通しての多様な価値観を理解し、それをもとに物事を倫理的に判断する能力。
２．生活環境の提案：社会的環境の観察、分析、考察から、豊かで魅力ある生活環境を提供し、自然と人間社会の共生や地域文化に寄与するような現実味のある提案を創出する能力。
３．社会交流：社会とのコミュニケーションを生活の中で把握し実践でき、人間生活と社会の向上のための方策を考えられる人間の育成。日常場面での英語による口頭コミュニケーションができる能力。
４．包括的な専門領域：包括的な建築学の専門領域の学習・教育目標を掲げる。
５．デザインと独創性：建築デザイン領域において広い視野と技術を習得し、独創的な提案を創出し、表現者や表現行為に関わる者を志す人材を育成する。

◆学習・教育目標（概要）
（A）豊かな感性と広い教養と外国語の習得
芸術、文化、歴史に触れ、また法律や経済などの社会や人間活動の幅広い知識の習得。また、技術理解に必要な外国語の知識の習得。
（B）生活デザインの知識と能力
生活、デザインの基礎を学び、社会に対する分析力、想像力、総合力により、確固とした価値観に基づいた個人から身の回りそして国際レベルまでの総合的な考え方の行える能力の育成。
（C）理系教養の知識と能力
理系教養の基本的知識と建築や社会にどのように応用されているかまで判断できる理解力、応用力の育成。
（D）コンピュータの知識と能力
情報技術に関する基本的な知識と技量を修得し、それらを活用できる能力。
（E）建築学の基礎学力の習得
建築学の基礎学力を修得し、それを生活空間の現実的な事象として把握できる。
（F）建築学専門知識の発展と応用
建築学の知識・技術を利用してより社会や地域の歴史的、文化的、地理的な要求を建築の専門的に解決・構築するための能力の育成。
（G）建築デザイン領域の専門知識の習得
建築デザイン領域に関する専門的知識と生活者の視点からの識見を持ち、生活環境の形成と維持、改善、解決する能力の育成。時代の動向を踏まえた教育の展開を目指す。
（H）建築設計とデザインの能力
建築の幅広い知識を総合し、説得力のある建築的提案を創出する能力。デジタルメディアの活用により多角的な表現ができる。
（I）コミュニケーションの能力
自らの制作した成果物を口頭による発表により、相手とコミュニケーションできる能力の育成。
（J）建築に関する総合能力
建築学に関するテーマに対し、調査・分析し、総合化を行ない発表する能力。

詳細については、環境デザイン学科のホームページを参照してください。

建築グループ：JABEE履修条件

※「履修条件」の記号については環境デザイン学科カリキュラム表を参照のこと。

認定条件時間数			候補科目名	単位		開設条件等	1回の授業時間	授業時間	履修条件	備　考
全体で1800時間以上必要	人文科学・社会科学・語学で250時間以上	一般	語学	6		*1	1.5	135	◆	卒業要件12単位のうちの6単位をJABEE単位とする。 *1　半期1.5時間授業で1単位
		専門	生活科学概論	2	2		1.5	45	△A	△Aから12単位(135時間)取得する。
			被服学概論	2	2		1.5	45		
			住居学概論	2	2		1.5	45		
			食物学概論	2	2		1.5	45		
			西洋美術史	2	2		1.5	45		
			生活福祉概論	2			1.5	22.5		
			造形美学	2			1.5	22.5		
			デザイン概論Ⅰ	2	2		1.5	45		
	自然科学・情報技術・数学で250時間以上	一般	数学A	2	2		1.5	45	△E	△E+△Sを250時間以上取得する。 △Sは4単位以上取得する。 基礎科学Aの履修を推奨する。 基礎科学Bは必修。
			数学B	2	2		1.5	45		
			数学C	2	2		1.5	45		
			情報処理	2	2		1.5	45		
			比較行動学	2	2		1.5	45		
			人間と環境	2	2		1.5	45		
			自然保護論	2	2		1.5	45		
			森林と環境		2		1.5	22.5		
		専門	環境の科学	2			1.5	22.5		
			データ分析基礎	1			1.5	22.5		
			CADⅠ		1		1.5	22.5		
			CADⅡ	1			1.5	22.5		
			基礎科学A(数学)	2			1.5	22.5	△S	
			基礎科学B(力学)		2		1.5	22.5		
			基礎科学C(物理)	2			1.5	22.5		
			基礎科学D(化学)	2			1.5	22.5		
			基礎科学E(有機化学)	2			1.5	22.5		
			基礎科学F(科学一般)		2		1.5	22.5		
	専門分野で900時間以上	専門	製図基礎		2		3	45	◆	
			住居計画	2	2		1.5	45	◆	
			設計製図Ⅰ	2	2		3	90	◆	
			建築計画Ⅰ	2			1.5	22.5	◆	
			設計製図Ⅱ	2	2		3	90	◆	
			建築計画Ⅱ		2		1.5	22.5	◆	
			環境工学	2	2		1.5	45	◆	
			建築設備	2	2		1.5	45	◆	
			建築材料学	2			1.5	22.5	◆	
			建築構造Ⅰ	2			1.5	22.5	◆	
			構造力学Ⅰ及び演習	2	1		1.5	45	◆	
			建築構造Ⅱ	2			1.5	22.5	◆	
			建築構造Ⅲ		2		1.5	22.5	◆	
			建築史(日本)	2			1.5	22.5	◆	
			建築史(西洋)		2		1.5	22.5	◆	
			建築法規	2			1.5	22.5	◆	
			都市計画		2		1.5	22.5	◆	
			材料学A		2		1.5	22.5	△B	少なくとも△Bから2単位(22.5時間)取得する。ただし2単位を超えて取得したものもJABEE単位に認める。
			材料学C		2		1.5	22.5		
			構法・施工A	2			1.5	22.5	△C	△Cから2単位(22.5時間)取得する。
			構法・施工B	2			1.5			
			建築学実験A		2		3	45	△D	少なくとも△Dから2単位(45時間)取得する。ただし実験と測量を両方の単位を取得した場合は、4単位までJABEE単位に認める。
			建築学実験B		2		3			
			建築学実験D		2		3			
			測量	2	2	★	3	45		
			空間企画論	2			1.5	22.5	△F	少なくとも△Fから2単位(22.5時間)取得する。ただし2単位を超えて取得したものもJABEE単位に認める。
			積算		2		1.5	22.5		
			卒業研究演習科目	1	1		1.5	45	△K	△Kから2単位(45時間)取得する。
			卒業論文	6				45	□	□から6単位(45時間)取得する。
			卒業制作	6						
			卒業設計	6						
			色彩学	2			1.5	22.5	◇	概論等
			生活プロダクツ概説	2			1.5	22.5	◇	
			デザイン計画特講A	2	2		1.5	45	◇	
			デザイン計画特講B	2	2		1.5	45	◇	
			デザイン計画特講C	2	2		1.5	45	◇	
			住生活学	2	2		1.5	45	◇	建築設計・計画演習・設計製図
			インテリア計画	2	2		1.5	45	◇	
			構造デザイン演習		1		1.5	22.5	◇	
			造園	2			1.5	22.5	◇	
			設計製図Ⅲ	2			3	45	◇	
			人間工学	2			1.5	22.5	◇	計画各論
			家族関係論	2			1.5	22.5	◇	
			環境心理学	2	2		1.5	45	◇	
			居住福祉論		2		1.5	22.5	◇	
			建築デザイン論	2	2		1.5	45	◇	デザイン各論
			家具デザイン	2			1.5	22.5	◇	
			工業デザイン論	2	2		1.5	45	◇	
			キッチンデザイン		2		1.5	22.5	◇	
			構造デザイン論	2			1.5	22.5	◇	
			都市デザイン論	2			1.5	22.5	◇	
			環境計画	2			1.5	22.5	◇	建築環境・設備
			構造力学Ⅱ及び演習	2	1		1.5	45	◇	建築構造
			構造設計	2	2		1.5	45	◇	
			近代建築史	2			1.5	22.5	◇	建築史
			デザイン実務演習Ⅰ1	2				60	◇	最大60時間まで認める。
			デザイン実務演習Ⅰ2		2			60		
			海外デザイン演習	1				30	◇	最大30時間まで認める。 研修旅行。1日の見学時間を平均3時間として10日分。

15. 商業施設士等に関する資格

商業施設士はあらゆる商業施設の運営・管理システムや、店舗の構成・デザインなどを総合的に計画して監理まで行う専門資格です。

生活科学部環境デザイン学科に所属し、在学中に下記の表に示される科目を履修し、定められた単位を修得すると、商業施設士および商業施設士補の受験資格が得られます。ただし、申請時に環境デザイン学科卒業の証明書を添付する必要があります。

卒業後一年以上の実務経験の後、商業施設士を受験することができます。

商業施設士補は、単位修得後在学中でも受験可能です。商業施設士補の資格を有すると、卒業後直ちに商業施設士の第二次試験が受験可となります（一次試験免除)。

授業科目	単位数	必要単位数
デザイン概論	4	4単位以上
建築史（日本）	2	
建築史（西洋）	2	
建築デザイン論	4	
都市デザイン論	2	
建築計画Ⅰ	2	10単位以上
建築計画Ⅱ	2	
建築法規	2	
建築構造Ⅰ	2	
建築構造Ⅱ	2	
建築構造Ⅲ	2	
インテリア計画	4	
家具デザイン	2	
建築材料学	2	4単位以上
材料学A	2	
材料学B	2	
材料学C	2	
建築設備	4	
構法・施工A	2	
構法・施工B	2	
空間企画論	2	
デザイン基礎	2	12単位以上
CADⅠ	1	
CADⅡ	1	
マルチメディア演習	1	
CGⅠB	1	
CGⅡ（3D）	2	
設計製図Ⅰ	4	
設計製図Ⅱ	4	
設計製図Ⅲ	2	

16. 衣料管理士

◆一級衣料管理士の資格を取得するためには、以下の科目を履修しなければなりません。以下の科目はすべて環境デザイン学科服飾デザインマネジメントコースの専門教育科目として開設されています。（条件が改定されることがあります。改定された場合は学科の指示に従うこと。）

衣料管理士　認定科目

グループ	必修科目(A) 科目	単位	必修科目(B) 科目	単位
材料	材料学B	2	繊維製品試験法	2
	被服材料学	2	機器測定法	2
	衣料鑑別実験	2	統計学	2
	造形材料学実験	2		
	単位小計	(8)		
加工・整理	被服整理学	2	繊維加工学	2
	染色理論	2	造形デザイン演習Ⅰ（テキスタイル）	1
	被服整理学実験	1		
	染色加工実験	1		
	単位小計	(6)		
企画・造形	アパレル企画論	2	被服造形科学	2
	被服構成学	2	色彩学	2
	造形デザイン演習Ⅰ-1(モード)	2		
	服飾デザイン	2		
	単位小計	(8)		
流通・消費・環境	消費科学	2	消費者経済学	2
	消費生活論	2		
	衣料管理実習	1		
	マーケティング論	2		
	ファッション商品論	2		
	被服衛生学	2		
	単位小計	(11)		
単位合計		A:33単位	B：15単位から10単位以上履修のこと	

17. 人間工学準専門家

人間工学の実践は、企業でのモノ作りにおいて欠かせないステップであり、その人材も常に産業界から求められています。国際的に通用する日本人間工学会認定人間工学専門家の下位資格、日本人間工学会認定人間工学準専門家資格は、大学卒業と同時に取得可能であり、モノ作り業界で働く希望を持つ学生は取得する価値がある資格です。

下記に示した科目のうち12単位以上を修得すると、専門教育3年経過以降に受験資格が得られます。資格の申請は書類審査のみですので、各自が日本人間工学会のサイト（http://www.ergonomics.jp/cpe/index.html）より書式を取り寄せ、申請してください。

1. 応募資格

1）学歴：大卒以上で人間工学専門教育3年以上（受験は在学中でも可能。ただし資格は卒業後に認定される）

2）実務経験：不要

3）必要な単位：人間工学に関する専門科目12単位以上

2. 必要書類

1）認定試験受験申込書（書式有）

2）経歴書（書式有）

3）専門教育受講歴、取得学位及び関連単位取得表（書式有）

4）その他

・シラバス等（科目の内容を証明できるもので、講義要目・授業概要等を含む）

・卒業（見込み）証明書

・成績証明書（修得科目名がわかるものであれば、単位修得証明書でも可）

人間工学準専門家資格に関する専門科目

授業科目	単位数	人間工学の内容分類
色彩学	2	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
人体表現基礎	2	Ⅱ　人間特性
色彩学演習	1	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
人間工学	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価 Ⅴ　人間工学の応用 Ⅵ　人間工学評価
環境工学	4	Ⅳ　環境特性
インテリア計画	4	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
ユニバーサルデザイン	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅴ　人間工学の応用
生体環境論	2	Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価
ヒューマンセンタードデザイン	2	Ⅰ　人間工学の原理 Ⅱ　人間特性 Ⅲ　人間の特性の測定･評価 Ⅴ　人間工学の応用 Ⅵ　人間工学評価
環境心理学	4	Ⅱ　人間特性 Ⅳ　環境特性
居住福祉論	2	Ⅳ　環境特性
被服人間工学演習*	2	人間工学に関連するテーマ
エルゴデザイン演習*	2	人間工学に関連するテーマ
卒業論文*	6	人間工学に関連するテーマ
卒業制作*	6	人間工学に関連するテーマ
卒業設計*	6	人間工学に関連するテーマ

注1）上記単位のうち12単位以上履修のこと。
注2）*印の科目は、人間工学に関連するテーマのみ単位として認められる。
注3）人間工学的要素が含まれる演習系は、シラバスの他に授業内容資料を提出することで認められることもある。

18. 栄養士・管理栄養士

●栄養士免許（健康デザイン学科）

生活科学部健康デザイン学科において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定(各学科のカリキュラム参照)に基づき、栄養士法施行規則に定める教育内容に関する各科の所定の科目(下表)について単位を修得することが必要です。なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し、健康デザイン学科を卒業した者については、実務経験を1年以上積んだ後、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

健康デザイン学科

内容	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
社会生活と健康	社会福祉概論	2	
	衛生・公衆衛生学	2	
人体の構造と機能	人体の構造と機能A	2	
	人体の構造と機能B	2	
	生化学	2	
	病理・疾病	2	
	生化学・解剖生理学実験		2
食品と衛生	食品学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	食品科学実験		2
栄養と健康	栄養と健康	2	
	応用栄養学	2	
	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論	2	
	栄養学実習		2
	臨床栄養学実習		2
栄養の指導	栄養指導論総論	2	
	栄養指導論各論	2	
	公衆栄養学	2	
	栄養指導論実習		2
給食の運営	給食管理論Ⅰ	2	
	給食管理論Ⅱ	2	
	調理学実習		2
	給食実務論実習		2
	校外実習A		1
	校外実習B		2
	校外実習事前事後の指導	1	

} 1単位以上履修のこと

●栄養士免許（管理栄養学科）

生活科学部管理栄養学科において栄養士の免許を取得するためには、本学の学則に定める規定に基づき、栄養士法施行規則に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については管理栄養学科のカリキュラムを参照してください。

なお、栄養士免許取得に必要な単位を修得し本学科を卒業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

管理栄養学科

内容	科目名	単位数 講義又は演習	単位数 実験又は実習
社会・環境と健康	人間と社会生活	2	
	社会環境と福祉	2	
	健康管理概論	2	
人体の構造と機能 疾病の成り立ち	人体の構造と機能A（総論）	2	
	人体の構造と機能B（解剖学）	2	
	人体の構造と機能C（生理学）	2	
	生化学	2	
	栄養生化学	2	
	臨床医学総論（病理も含む）	2	
	臨床医学各論（病理と遺伝子、遺伝子治療含む）	2	
	生化学実験		2
	解剖生理学実験A（人体の構造と生理）		2
	解剖生理学実験B（人体の生理と分子医学）		2
食べ物と健康	食べ物と健康（総論）	2	
	食品素材の科学	2	
	食品と加工	2	
	食品衛生学	2	
	調理科学	2	
	食品学実験		2
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	調理学実習		2
基礎栄養学	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
応用栄養学	応用栄養学A（母性・乳幼児）	2	
	応用栄養学B（学童期～高齢期）	2	
	応用栄養学C （特殊環境）	2	
	応用栄養学実習		1
栄養教育論	栄養教育論総論	2	
	栄養教育論各論	2	
	カウンセリング論	2	
	栄養教育論実習Ⅰ		1
臨床栄養学	臨床栄養学総論	2	
	臨床栄養学各論A	2	
	臨床栄養学各論B	2	
	食事介助と在宅医療	2	
	臨床栄養学実習		2
	臨床療法調理学実習		2
公衆栄養学	公衆栄養学総論	2	
	公衆栄養学各論	2	
	公衆栄養学実習		1
給食経営管理論	給食管理論	2	
	給食経営管理論	2	
	給食経営管理実習		2
総合演習	栄養アセスメントとマネージメント演習	1	
	臨地実習事前事後集中講義	2	
臨地実習	臨地実習（校外実習）		4

19. 健康運動指導士

健康運動指導士は、保健医療関係者と連携し、運動を通じた健康づくりのための運動プログラムの作成と指導を行う役割を担っています。健康デザイン学科に所属し、下記の表に示される科目を履修し、単位を修得すると健康運動指導士認定試験の受験資格が得られます。

開　設　科　目	単　位
健康管理概論	2
病理・疾病	2
運動生理学	2
バイオメカニクス	2
体力測定・評価	2
体力測定・評価演習	2
パワーエクササイズ	1
体育実技A	1
体育実技B	1
スポーツ実習A・アクアスポーツ	1
スポーツ現場実習	2
スポーツトレーニング論	2
スポーツトレーニング論演習	2
スポーツ医学	2
スポーツ心理学	2
スポーツ栄養学	2
栄養と健康	2
応用栄養学	2
栄養学実習	2

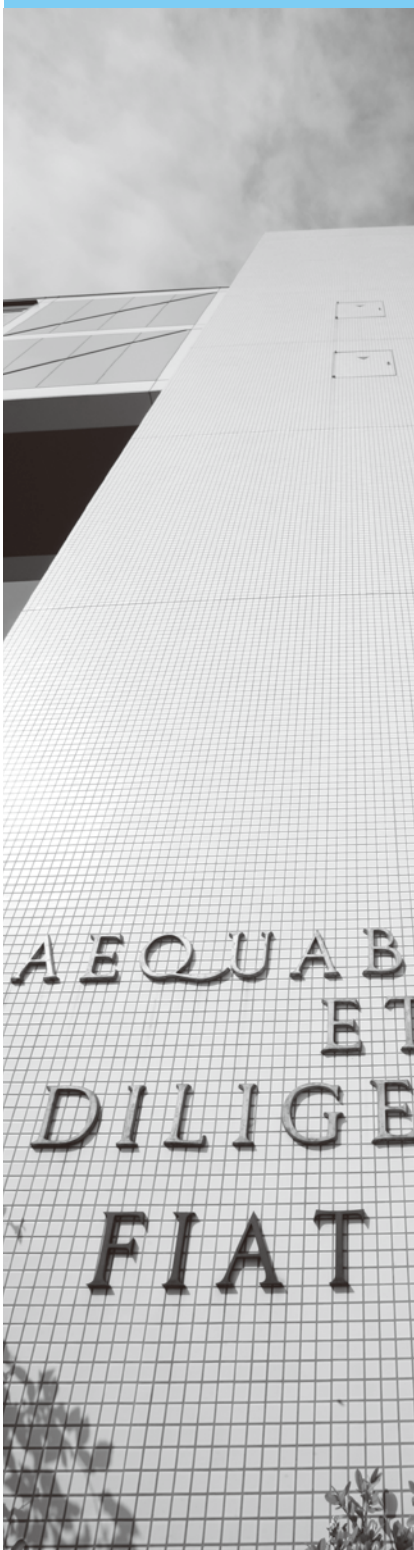
20. 食品衛生監視員及び食品衛生管理者資格

生活科学部管理栄養学科において食品衛生監視員及び食品衛生管理者の資格を取得するためには、食品衛生法に定める下表の科目について、所定の単位を修得することが必要です。その該当科目及び単位の修得方法については管理栄養学科のカリキュラムを参照してください。

内　容	科目名(必修のみ記載)	単位数	
		講義又は演習	実験又は演習
A群　化学関係	化学A	2	
	化学B	2	
B群　生物化学関係	生化学	2	
	生化学実験		2
	栄養生化学	2	
	人体の構造と機能C(生理学)	2	
	食べ物と健康(総論)	2	
	食品学実験		2
C群　微生物学関係	食品と加工	2	
	微生物学	2	
	微生物学実験		2
D群　公衆衛生学関係	食品衛生学	2	
	食品衛生学・食品加工学実験		2
	人間と社会生活	2	
E群　その他関連科目	基礎栄養学	2	
	基礎栄養学実習		1
	応用栄養学A(母性・乳幼児)	2	
	応用栄養学B(学童期～高齢期)	2	
	応用栄養学C(特殊環境)	2	
	応用栄養学実習		1
	臨床医学総論(病理も含む)	2	
	解剖生理学実験A(人体の構造と生理)		2
	解剖生理学実験B(人体の生理と分子医学)		2
	人体の構造と機能B(解剖学)	2	

V

学費



学費

1. 大学院

○大学院の学費（半年分）

（単位／円）

		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	合　計
文学研究科	日本文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	英米文学専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
	言語教育･コミュニケーション専攻	9,000	397,800	5,000	2,500	414,300
生活機構研究科	生活文化研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	心理学専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	福祉社会研究専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	人間教育学専攻	9,000	412,800	7,500	2,500	431,800
	環境デザイン研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	生活科学研究専攻	9,000	427,800	30,000	2,500	469,300
	生活機構学専攻	9,000	403,800	9,000	2,500	424,300

上記の表以外の納入金
・光葉同窓会費（卒業年次後期：3万円）ただし本学卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除
＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「Ⅳ諸資格の取得」を参照

2. 学部

○人間文化学部･人間社会学部･生活科学部の学費（半年分）

（単位／円）

		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学友会費	合　計
人間文化学部	日本語日本文学科	100,000	397,800	6,000	40,000	1,200	545,000
	英語コミュニケーション学科	100,000	397,800	20,000	40,000	1,200	559,000
	歴史文化学科	100,000	412,800	15,000	40,000	1,200	569,000
	国際学科	100,000	397,800	25,000	40,000	1,200	564,000
人間社会学部	心理学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000
	福祉社会学科	100,000	412,800	30,000	40,000	1,200	584,000
	現代教養学科	100,000	407,800	15,000	40,000	1,200	564,000
	初等教育学科	100,000	407,800	15,000	40,000	1,200	564,000
生活科学部	環境デザイン学科	100,000	412,800	30,000	40,000	1,200	584,000
	健康デザイン学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000
	管理栄養学科	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000

上記の表以外の納入金
・光葉同窓会費（卒業年次後期：3万円）ただし本学短期大学部からの編入生で以前に会費を納入済みの者は免除
＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「Ⅳ諸資格の取得」を参照

3. 短期大学部

○短期大学部の学費（半年分）

（単位／円）

		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学友会費	合　計
短期大学部	文化創造学科	100,000	397,800	25,000	40,000	1,200	564,000

上記の表以外の納入金
・光葉同窓会費（卒業年次後期：3万円）
＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「Ⅳ諸資格の取得」を参照

○専攻科の学費（半年分）

（単位／円）

		施設設備金	授業料	実験実習教材費	厚生文化費	学友会費	合　計
短期大学部	国語国文学専攻	100,000	397,800	5,000	40,000	1,200	544,000
	英語英文学専攻	100,000	397,800	10,000	40,000	1,200	549,000
	生活文化学専攻	100,000	412,800	15,000	40,000	1,200	569,000
	食物科学専攻	100,000	427,800	30,000	40,000	1,200	599,000

上記の表以外の納入金
・光葉同窓会費（卒業年次後期：3万円）ただし、本学短期大学部卒業生で以前に会費を納入済みの者は免除
＊諸資格の取得に必要な実習に関する費用等については「Ⅳ諸資格の取得」を参照

VI

規程集

1．昭和女子大学大学院学則

第１章　総　則

第１条　本大学院は、建学の精神に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

第２条　本大学院は教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行う。

2　前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。

第３条　本大学院の課程は、修士課程及び博士課程とする。ただし博士課程は、前期２年及び後期３年の課程に区分し、前期２年の課程は博士前期課程とし、後期３年の課程は博士後期課程とする。

2　博士前期課程及び修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力を養うものとする。

3　博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

第４条　博士前期課程及び修士課程の標準修業年限は２年とし、その最長年限を４年とする。

2　博士後期課程の標準修業年限は３年とし、その最長年限を６年とする。

3　長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）の修業年限は、修士課程及び博士前期課程にあっては４年とし、その最長年限を６年とする。また、博士後期課程にあっては６年とし、その最長年限を８年とする。

第５条　本大学院に次の研究科を置く。それぞれの研究科に置く専攻と専攻の目的は次のとおりである。

文学研究科

(1)　日本文学専攻博士前期課程は、日本文学及び日本語学において広い視野と豊かな学識を培い、専門領域における優れた研究能力を養うことにより、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する分野で活躍し得る有為な人材の育成を目的とし、博士後期課程は、日本文学及び日本語学における広い視野と深い学識とを踏まえ、さらに高度な専門的研究を深化発展させる能力を涵養し、研究・教育をはじめ高度の専門性を有する諸関連分野で社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

(2)　英米文学専攻博士前期課程は、イギリス文学、アメリカ文学、英語学（言語学、英語史）を中心とする英語の言語文化の諸分野について、幅広い視野に立って教育指導を行い、研究者あるいはその他の専門的職業人にふさわしい高度の能力の基礎を養い育てることを目的とし、博士後期課程は、前期課程における教育を踏まえ、上記三分野について一層専門的な立場から教育指導を行い、自立した研究者や専門的職業人を養成し、そのために必要な一層深い学識や高度の専門的能力を養うことを目的とする。

(3)　言語教育・コミュニケーション専攻博士前期課程は、日本人に英語を教える教師、または日本語非母語話者に日本語を教える教師を目指す日本人学生・留学生・現職の日本語・英語教師を主な対象とし、日本語教育・英語教育の実践の場で活躍しうる有能な人材の育成を目的とする。さらに博士後期課程では前期課程での学習、実習経験を踏まえ、それぞれの分野で指導的な役割を担うことのできる専門家の育成を目的とした教育を行なう。

生活機構研究科

(1)　生活文化研究専攻（修士課程）は、多岐にわたる生活文化に関して高度で知的な素養を持ち、研究、教育および社会的活動を通して、知識基盤社会を多様に支える人材の養成を目的とする。

(2)　心理学専攻（修士課程）は、心理学諸領域（認知・発達・社会・臨床など）に関わる専門的知識と技能を修得した人材の養成を目的とする。

(3)　人間教育学専攻（修士課程）は、人格的豊かさをもち、社会や子どもの変化に的確に対応できる専門的知識と技能を修得し、高度の実践的指導力を身につけた人材の養成を目的とする。

(4)　福祉社会研究専攻（修士課程）は、現代社会の諸課題を解明すると共に、より良い福祉社会を創っていくために必要な価値観・理論・実践力を修得した人材の養成を目的とする。

(5)　環境デザイン研究専攻（修士課程）は、工学から芸術･人文系に至る幅広い学問体系を有する専攻として、服飾・インテリア・建築等生活に関わる広い環境を対象としたデザインの分野で研究・実践する人材の養成を目的とする。

(6)　生活科学研究専攻（修士課程）は、ヒトの生命の営みを、生活を取り巻く食環境とそのライフステージとの関連から解明し、食行動と健康増進に関連するテーマを多角的に研究する人材の養成を目的とする。

(7)　生活機構学専攻（博士後期課程）は、幅広い分野における人間の生活に関する総合科学の研究を自律的に行うことのできる高度の研究者・専門職の人材養成を目的とする。

2　各研究科の修士課程、博士課程の別は、次の表の右欄に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	課程の区分
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程 博士後期課程
	英米文学専攻	
	言語教育・コミュニケーション専攻	
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程
	心理学専攻	
	人間教育学専攻	
	生活科学研究専攻	
	環境デザイン研究専攻	
	福祉社会研究専攻	
	生活機構学専攻	博士後期課程

第6条　各研究科、各専攻の学生入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	入学定員			収容定員		
		修士課程	博士課程	合計	修士課程	博士課程	合計
文学研究科	日本文学専攻	5名	3名	8名	10名	9名	19名
	英米文学専攻	5名	3名	8名	10名	9名	19名
	言語教育・コミュニケーション専攻	10名	3名	13名	20名	9名	29名
	計	20名	9名	29名	40名	27名	67名
生活機構研究科	生活文化研究専攻	10名	－	10名	20名	－	20名
	心理学専攻	20名	－	20名	40名	－	40名
	人間教育学専攻	10名	－	10名	20名	－	20名
	生活科学研究専攻	5名	－	5名	10名	－	10名
	環境デザイン研究専攻	5名	－	5名	10名	－	10名
	福祉社会研究専攻	5名	－	5名	10名	－	10名
	生活機構学専攻	－	5名	5名	－	15名	15名
	計	55名	5名	60名	110名	15名	125名
合計		75名	14名	89名	150名	42名	192名

第２章　教育方法及び授業科目の履修方法

第7条　本大学院の教育は、建学の精神に則り、授業科目の授業及び学位論文の作成等に関する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

第8条　各研究科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第9条　各研究科の学位論文の作成等に関する研究指導は、各研究科教授会において定める。

第10条　各研究科の授業科目の単位の計算方法は、昭和女子大学学則を準用する。

第11条　学生は、各自の研究分野を定め、その目的に適するように指導教員の指導により授業科目を履修するものとする。

第 12 条　各研究科において教育研究上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て昭和女子大学及び本大学院の他の研究科又は他大学の大学院とあらかじめ協議のうえ、昭和女子大学及び本大学院並びに他大学の大学院の授業科目を履修させることができる。

2　前項の規定により履修した授業科目の単位は、10 単位を超えない範囲で、本大学院において修得したものとみなすことができる。

第 13 条　授業科目を履修した者に対しては、考査のうえ、その合格者に所定の単位を与える。

第 14 条　各研究科において教育上有益と認めるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、他大学の大学院及び当該大学院付置研究所とあらかじめ協議のうえ、博士課程及び修士課程の学生が、当該研究所、当該大学院において必要な研究指導を受けることができる。ただし、修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合は、当該研究指導を受ける期間は 1 年を超えないものとする。

第 15 条　各研究科において教育上特別の必要があると認められるときは、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

第 16 条　本大学院は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第 3 章　課程の修了要件及び学位

第 17 条　修士課程及び博士前期課程の修了要件は、本大学院に 2 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については大学院に 1 年以上在学すれば足りるものとする。

2　前項の場合において、当該修士課程及び博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。なお、当該審査に関する審査方法は、第 18 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 18 条　修士論文の審査及び最終試験は、各研究科教授会の定める審査委員がこれを行う。

2　前項の審査は、指導教員のほか、当該専攻の授業科目を担当する専任教員 1 名以上を加える。

3　審査委員は、論文審査及び最終試験実施のうえ、その評価に関する意見を記載した審査報告書を各研究科教授会に提出しなければならない。

4　各研究科教授会は、各審査委員から提出された審査報告書に基づいて協議のうえ、審査の結果を大学院委員会に報告するものとする。

5　大学院委員会は、各研究科教授会から提出された修士論文の審査及び最終試験の結果に基づいて総合審査を行い、合格、不合格を決定する。

第 19 条　博士課程の修了要件は、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては、本大学院に 5 年（博士前期課程を修了した者にあっては、当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学し、本学則に定める授業科目について、50 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（博士前期課程を修了した者にあっては当該課程における 2 年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2　生活機構研究科博士後期課程にあっては、本大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、16 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。なお、前項の在学期間のただし書はこれを準用する。

3　第 17 条第 1 項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程及び博士前期課程を修了した者の博士課程の修了の要件は、大学院の修士課程及び博士前期課程における在学期間に 3 年を加えた期間以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては 50 単位以上、また、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 46 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に 3 年（修士課程及び博士前期課程における在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

4　本条第 1 項から第 3 項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第 156 条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、大学院に 3 年以上在学し、本学則に定める授業科目について、文学研究

科日本文学専攻、英米文学専攻及び言語教育・コミュニケーション専攻にあっては 20 単位以上、生活機構研究科生活機構学専攻にあっては 16 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

5　本大学院において教育上有益と認めるときは、本大学院に入学する前に大学院において修得した単位を、10 単位を超えない範囲で本大学院において修得したものとみなすことができる。

第 20 条　博士論文の審査及び最終試験は、第 18 条第 1 項から第 5 項までを準用する。

第 21 条　本大学院において授与する学位は、次のとおりとする。

研究科名	専攻名	課程名	授与学位
文学研究科	日本文学専攻	博士前期課程	修士(文学)
	日本文学専攻	博士後期課程	博士(文学)
	英米文学専攻	博士前期課程	修士(文学)
	英米文学専攻	博士後期課程	博士(文学)
	言語教育･コミュニケーション専攻	博士前期課程	修士(文学)
	言語教育･コミュニケーション専攻	博士後期課程	博士(文学)
生活機構研究科	生活文化研究専攻	修士課程	修士(学術)
	心理学専攻		修士(学術)
	人間教育学専攻		修士(学術)
	生活科学研究専攻(食･栄養コース)		修士(学術)
	生活科学研究専攻(実践栄養コース)		修士(栄養)
	環境デザイン研究専攻		修士(学術)
	福祉社会研究専攻		修士(学術)
	生活機構学専攻	博士後期課程	博士(学術)

2　本大学院において学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、本大学名を付記するものとする。

3　第 19 条の規定によらないで、本大学院に論文を提出して博士の学位を請求し、所定の審査及び試験に合格した者に博士の学位を授与する。

4　学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第 22 条　高等学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状の所要資格を有する者で、当該免許教科に係る高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2　本大学院各研究科修士課程及び博士前期課程において、当該所要資格を取得できる高等学校教諭専修免許状及び中学校教諭専修免許状の免許教科は、次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	免許状の種類	免許教科	免許状の種類	免許教科
文学研究科	日本文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語	高等学校教諭専修免許状	国語
	英米文学専攻	中学校教諭専修免許状	外国語(英語)	高等学校教諭専修免許状	外国語(英語)
	言語教育･コミュニケーション専攻	中学校教諭専修免許状	外国語(英語)	高等学校教諭専修免許状	外国語(英語)
生活機構研究科	生活文化研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会	高等学校教諭専修免許状	地理・歴史
	心理学専攻	—	—	高等学校教諭専修免許状	公民
	人間教育学専攻	幼稚園教諭専修免許		小学校教諭専修免許	
	生活科学研究専攻	中学校教諭専修免許状	家庭	高等学校教諭専修免許状	家庭
	環境デザイン研究専攻	中学校教諭専修免許状	家庭	高等学校教諭専修免許状	家庭
	福祉社会研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会	高等学校教諭専修免許状	福祉

第４章　学年、学期及び休業日

第 23 条　本大学院の学年・学期及び休業日は、昭和女子大学学則を準用する。

第５章　入学、休学、退学及びその他

第 24 条　入学の時期は、学年の始め又は学期の始めとする。

第 25 条　本大学院修士課程及び博士前期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者

(2)　学校教育法施行規則第 155 条第 1 項により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの

(3)　大学に 3 年以上在学した者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(4)　学校教育法施行規則第 160 条により大学に 3 年以上在学した者に準ずる者であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

第 26 条　本大学院博士後期課程に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　修士の学位又は専門職学位を有する者

(2)　学校教育法施行規則第 156 条に定める修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

第 27 条　入学志願者は、次の書類に別表（2）に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。

(1)　本大学院所定の入学願書

(2)　出身大学長の発行する成績証明書及び卒業証明書（又は卒業見込み証明書）、博士後期課程入学志願者は出身大学院の学長の発行する成績証明書及び修了証明書（又は修了見込み証明書）

(3)　最近 3 か月以内の写真

第 28 条　入学を許可する者は、本大学院の実施する入学選抜考査に合格した者とする。

2　前項の入学選抜考査の時期及び方法は、その都度定める。

第 29 条　入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書を別表（2）に定める入学金を添えて、所定の期日までに提出しなければならない。

第 30 条　保証人に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第 31 条　外国人の入学に関する事項は、別にこれを定める。

第 32 条　本大学院の開設する 1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者を科目等履修生とする。

2　科目等履修生として聴講を志望できる者は、第 25 条、第 26 条に規定する大学院入学資格を有する者とする。

3　科目等履修生の許可は研究科教授会で協議し、大学院委員会の議を経て学長が決定する。

4　科目等履修生の聴講料は、昭和女子大学学則を準用する。

5　科目等履修生に対しては、本条に規定するもののほか本学則の各条を準用する。ただし、第 4 条、第 17 条から第 22 条までの規定は、準用しない。

第 33 条　疾病その他、やむを得ない理由で学業を続けることができないときは、その理由を詳記し願い出て、休学することができる。

2　休学の期間は、1 か年以内とする。特にやむを得ない事情のある者には、休学の継続を許可することがある。ただし、その期間は 3 か年以内とする。

3　休学の理由が止んだ時は、復学願を提出しなければならない。

4　休学者は、学期の始めに復学することができる。

5　休学の期間は、在学年数に通算しない。

第 34 条　退学したい者は、その事由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第 35 条　正当の理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り、審査のうえこれを許可することがある。

第 36 条　他の大学院に転学しようとするときは、保証人連署のうえ、指導教員を経て学長の許可を得るものとする。

第 37 条　他の大学院生が本大学院に転学を希望するときは、学生収容定員に余裕のある場合に限り選考のうえこれを許可することがある。

第 38 条　長期履修学生に関し必要な事項は、別に定める。

2　長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

第６章　賞　罰

第 39 条　本章に関する事項は、昭和女子大学学則を準用する。

第７章　授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第 40 条　学生の納入金は、授業料及びその他とする。
2　各納入金の額は、別表（2）のとおりとする。
3　各納入金は、次の 2 期に分納する。
前期：4 月 15 日まで
後期：10 月 15 日まで
4　納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納入日の翌月末日を超えない範囲とする。
5　滞納が 3 か月以上におよぶときは、除籍する。
6　休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。
第 41 条　学業優秀にして、志操堅固な者には、一定の学資を給付又は貸与することがある。
2　学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。
第 42 条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第８章　教員組織並びに運営

第 43 条　本大学院の授業科目の担当並びに研究指導の教員は、昭和女子大学の教授の中から委嘱する。ただし、必要ある場合は、昭和女子大学の教授以外から委嘱することがある。
第 44 条　本大学院の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学院委員会を置く。
2　大学院委員会に関し必要な事項は、別に定める。
第 45 条　各研究科に、教育課程の編成、学生の入学及び退学その他当該研究科における重要事項を審議するため、研究科教授会を置く。
2　研究科教授会に関し必要な事項は、別に定める。
第 46 条　本大学院生活機構研究科に近代文化研究所、女性文化研究所、国際文化研究所並びに生活心理研究所を付設する。
第 47 条　本学則の細則は、別に定める。

附　則　本学則は平成 22 年 4 月 1 日から一部変更する。

2. 昭和女子大学学則

第１章　総　則

第１条　本学は、建学の精神に則り、高等教育機関として、また、学術文化の研究機関としての使命に鑑み、善を尚び美を愛し真を究めて、文化の創造と人類の福祉に貢献する女性を育成することを目的とする。

2　本学は各学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2　前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。

第３条　本学は、昭和女子大学と称する。

第４条　本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目７番57号に設置する。

第５条　本学は、次の学部及び学科を設け、修業年限を４年とし、最長在学年限は６年とする。

人間文化学部
- 日本語日本文学科
- 英語コミュニケーション学科
- 歴史文化学科
- 国際学科

人間社会学部
- 心理学科
- 福祉社会学科
- 現代教養学科
- 初等教育学科

生活科学部
- 環境デザイン学科
- 健康デザイン学科
- 管理栄養学科

第６条　各学部及び各学科の入学定員並びに収容定員は、次の表のとおりとする。

学部・学科・専攻	入学定員	収容定員
人間文化学部	435名	1740名
日本語日本文学科	120名	480名
英語コミュニケーション学科	160名	640名
歴史文化学科	85名	340名
国際学科	70名	280名
人間社会学部	325名	1300名
心理学科	75名	300名
福祉社会学科	70名	280名
現代教養学科	80名	320名
初等教育学科	100名	400名
生活科学部	307名	1254名
（3年次編入学定員）	13名	
環境デザイン学科	160名	640名
健康デザイン学科	75名	310名
（3年次編入学定員）	5名	
管理栄養学科	72名	304名
（3年次編入学定員）	8名	

第２章　教育課程

第７条　各学部及び各学科の授業科目を、必修及び選択に分ける。

第８条　各学部及び各学科の授業科目並びに単位数は、別表（1）のとおりとする。

第３章　履修、卒業及び学位

第９条　学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第10条　学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。

第11条　履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格点とする。

第12条　疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。

第13条　各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1)　講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(2)　演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。

(3)　実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(4)　芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

(5)　第1号から第4号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

2　前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。

3　第1項の授業は、第12章に定める公開講座として開講することがある。

第14条　本学を卒業するには、学生は4年以上在学し、第8条別表（1）に定めた授業科目につき、各学科共通科目から44単位以上（教養科目36単位以上、外国語科目8単位以上）、専門教育科目は76単位以上、文化講座8単位、その他学科の定める修得要件を含み計132単位以上修得しなければならない。ただし、生活科学部健康デザイン学科、管理栄養学科の専門教育科目の履修方法は、別に定める。

2　本学において教育上有益と認めるときは、大学部局長会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。

3　前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定することができる。

4　本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。

5　前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、第3項により認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

6　卒業要件として修得すべき132単位のうち、第13条第2項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

7　第3項及び第5項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。

8　大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学したときは、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の2分の1を超えない範囲で、在学期間として認定することがある。

9　学校教育法第89条に規定する早期卒業の認定については、別に定める。

第15条　教育職員免許状の授与の所要資格を取得しようとする者は、第14条の規定によるほか、教育職員免許法

及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

2 各学科において取得できる免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりとする。

学科	免許状の種類	免許教科	免許状の種類	免許教科
日本語日本文学科	中学校教諭一種免許状	国語	高等学校教諭一種免許状	国語・書道
英語コミュニケーション学科	同　上	外国語（英語）	同　上	外国語（英語）
歴史文化学科	同　上	社会	同　上	地理歴史
国際学科	同　上	外国語（英語）	同　上	外国語（英語）
心理学科	同　上	社会	同　上	公民
福祉社会学科	－	－	同　上	福祉
現代教養学科	中学校教諭一種免許状	社会 外国語（英語）	同　上	公民 外国語（英語）
初等教育学科	幼稚園教諭一種免許状		小学校教諭第一種免許状	
環境デザイン学科	中学校教諭一種免許状	家庭	高等学校教諭一種免許状	家庭
健康デザイン学科	同　上	家庭・保健 理科 保健体育	同　上	家庭・保健 理科 保健体育
	栄養教諭二種			
管理栄養学科	栄養教諭一種			

第 16 条　福祉社会学科の学生で社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、社会福祉士及び介護福祉士法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。授業科目の履修条件は、別に定める。

2 福祉社会学科の学生で精神保健福祉士の資格を取得しようとする者は第 14 条の規定によるほか、精神保健福祉士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

3 福祉社会学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。

第 17 条　初等教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、児童福祉法及び同法施行規則に基づき本学が指定する授業科目の単位を修得しなければならない。

第 18 条　環境デザイン学科の学生で 1、2 級建築士、インテリアプランナー、木造建築士及び設備士の受験資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、別に定める授業科目の単位を修得しなければならない。なお、1 級建築士、インテリアプランナー及び設備士を受験するには、定められた実務経験が必要となる。

2 環境デザイン学科の学生で 1 級衣料管理士の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、衣料管理士認定規定に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 19 条　健康デザイン学科の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

2 管理栄養学科の学生で栄養士の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、栄養士法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

3 前項に定める要件を満たした者は、管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができる。

第 20 条　学芸員の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、博物館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第 8 条別表（1）教育課程中博物館学関係科目は、第 14 条の専門教育科目の単位に含むものとする。

第 21 条　図書館司書の資格を取得しようとする者は、昭和女子大学短期大学部学則第 15 条に規定する授業科目の単位を修得しなければならない。ただし、第 14 条第 3 項に定める 60 単位の内数として修得するものとする。

第 22 条　学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、教育職員免許状の授与の所要資格を取得したうえで、第 14 条の規定によるほか、学校図書館法及び学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 23 条　第 14 条の規定による所要単位数を修得した者の卒業については、大学部局長会の議を経て学長が認定する。また、昭和女子大学短期大学部を卒業後、同短期大学部専攻科のうち大学評価・学位授与機構が認定した専攻科を修了し、かつ学位申請に必要なすべての単位を本学で修得して大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者については、大学部局長会の議を経て学長が本学を卒業したものとみなすことができる。

2　卒業を認定された者には、学士の学位を授与する。

3　学位の授与区分は、次の表のとおりとする。

学部	学科	学位
人間文化学部	日本語日本文学科・英語コミュニケーション学科・歴史文化学科	学士（人間文化学）
	国際学科	学士（国際学）
人間社会学部	心理学科・福祉社会学科 現代教養学科	学士（人間社会学）
	初等教育学科	学士（教育学）
生活科学部	環境デザイン学科 健康デザイン学科 管理栄養学科	学士（生活科学）

4　学位授与に必要な事項は、昭和女子大学学位規則に定める。

第 4 章　学年、学期及び休業日

第 24 条　学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 25 条　学年を分けて次の 2 学期とし、各学期の授業期間は原則として 15 週にわたるものとする。

前期 / 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 / 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

ただし、学長は各学期の授業期間を変更することができる。

第 26 条　休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

(1)　国民の祝日に関する法律に規定する休日
(2)　日曜日
(3)　創立記念日　5 月 2 日
(4)　夏季休業日　8 月 1 日から 9 月 30 日まで
(5)　冬季休業日　12 月 23 日から翌年 1 月 8 日まで
(6)　春季休業日　3 月 11 日から 3 月 31 日まで

第 5 章　入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

第 27 条　入学の時期は、学期の始めとする。

第 28 条　入学を許可される者は、女子にして次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

(1)　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
(2)　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
(3)　外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修

了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18歳に達したもの
(7) 本学において、個別の学力審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
(8) 学校教育法第90条第2項の規定により、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（飛び入学）
(9) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（編入学）
(10) 短期大学を卒業した者（編入学）
(11) 学士の学位を有する者（学士入学）
(12) 第9号から11号の入学志願者については、定員に余裕のある場合に選考のうえ入学させる。

第29条 入学志願者は、次の書類に別表（2）に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。
(1) 入学志願書
(2) 出身学校長の発行する調査書
(3) 最近の写真（本学所定の大きさ）

第30条 入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第31条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表（2）に定める入学金を添えて提出しなければならない。

第32条 保証人は、父母またはこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。

第33条 保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。

第34条 保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

第35条 退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第36条 疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。

第37条 休学期間は、1か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

第38条 休学期間は、在学年数に通算しない。
2 休学者は、学期の始めに復学することができる。

第39条 国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。
2 留学に関する取扱いは、別に定める。

第40条 学生が他の学科に転じることを願い出たときは、選考のうえこれを許可することがある。

第41条 本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。

第42条 正当な理由で退学した者が再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。

第43条 再入学、転入学、学士入学若しくは編入学又は転科した者については、既に専修学校専門課程、短期大学又は大学等において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定することができる。

第44条 次の各号のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て学長が除籍する。
(1) 在学6年にして卒業できない者
(2) 学費の滞納が3か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
(3) 正当な理由なく、無届で3か月以上連続欠席した者

第6章 賞 罰

第45条 本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。

第46条 本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

第 47 条　次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。
(1)　性行不良で改善の見込みがない者
(2)　成績不良で成業の見込みがない者
(3)　正当な理由なく出席常でない者
(4)　学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第７章　授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第 48 条　学生の納入金は、授業料及びその他とする。
(1)　各納入金の額は、別表（2）のとおりとする。
(2)　各納入金は、次の 2 期に分納する。
前期 / 4 月 15 日まで
後期 / 10 月 15 日まで
(3)　納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
(4)　休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。
(5)　諸資格の取得に必要な実習費等、別表（2）のほかに、納入金を徴収することがある。
第 49 条　学業優秀にして、志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。
第 50 条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第８章　教職員組織及び教授会

第 51 条　本学に学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長を置く。
(1)　学長は、教育研究に関する学務を統括する。
(2)　副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故あるときは、その職務を代行する。
(3)　学部長は、当該学部の部務を統理する。
(4)　教務部長は、教務の企画運営に当たる。
(5)　教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
(6)　学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
(7)　学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
2　各学科の科務を処理するため、学科長各 1 名を置く。
3　学長、副学長、学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。
第 52 条　本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。
(1)　教授は、学生の研究と教育を指導し、また、研究に従事する。
(2)　准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
(3)　講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
(4)　助教は、教授及び准教授、講師に準ずる職務に従事する。
(5)　助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
(6)　事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。
第 53 条　各学部に、学部の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。
2　教授会に関し必要な事項は、別に定める。
第 54 条　本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。
2　大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第９章　委託生、外国人留学生及び科目等履修生

第 55 条　委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。
第 56 条　官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。
第 57 条　外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。
第 58 条　本学の開設する授業科目のうち、1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学

公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。

第 59 条　科目等履修生として許可される者は、第 28 条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。

第 60 条　科目等履修生は毎学期初めに、その学期中に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。

第 61 条　単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。

第 62 条　科目等履修生の聴講料は、各学期 1 科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、前記登録料、聴講料の支払いを免除する。

第 63 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。

第 64 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、本条を適用しない。

第 65 条　委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。

第 10 章　図書館

第 66 条　本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。

第 11 章　博物館

第 67 条　本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

第 12 章　公開講座

第 68 条　本学の使命に鑑みて、大学教育の普及を図り、社会の向上進歩に寄与するため、公開講座を開設する。

第 69 条　公開講座は、主としてオープンカレッジで常時開設する。

第 13 章　教務部、学生部及び学寮

第 70 条　本学の教育に関する全学的事項の審議及び連絡調整を目的として教務部を設ける。教務部に関する規程は、別に定める。

第 71 条　学生生活の向上を目的として学生部を設ける。学生部に関する規程は、別に定める。

第 72 条　学生の生活支援及び厚生を目的として学寮を設ける。学寮に関する規程は、別に定める。

第 14 章　その他

第 73 条　本学則の細則は、別に定める。

附　則　この学則は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

別表ア

人間文化学部	日本語日本文学科	英語コミュニケーション学科	歴史文化学科	国際学科
	日本語日本文学科は、日本の言語文化について、日本語学・日本文学・日本語教育の三分野から学ぶことにより、広い視野と豊かな教養を培い、文化的創造及び社会の発展に寄与し得る人材の育成を目的とする。	英語コミュニケーション学科は、英語の運用能力を基礎として、英米文学・文化、英語研究、英語教育、メディアコミュニケーション、ビジネスコミュニケーションの専門的知識を高め、英語を使って、日本のみならず広く国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする。	歴史文化学科は、歴史をはじめ、考古、美術、伝統文化、地域文化、および文化財の諸分野にわたり段階的な教育を通して、歴史と文化に対する広い視野と高い識見を備えた人材の育成を目的とする。	国際学科は複文化への深い洞察、また高い実践的な能力を身につけ、複雑化する国際社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。学生は高い言語運用能力、自国の社会・文化への深い理解を基礎として、国際社会の仕組み、多様な社会・文化に対する専門知識をつける。
人間社会学部	心理学科	福祉社会学科	現代教養学科	初等教育学科
	心理学科は、「健康な人格の形成と保持に資する心理学の活用」という時代の要求に応え、人の心を幅広く理解する心理学の視点を持ち、現実の問題に実践的に対応できる援助能力を身につけた人材の育成を目的とする。	福祉社会学科は、人間の尊厳を重視した福祉社会の理念を探究する。人権と社会正義の価値を基盤とした対人援助の専門的知識と技術の習得並びに参加と共同による福祉社会の創造に資する人材の育成を目的とする。	現代教養学科は、自身の考えを的確に表現伝達する能力を育成するとともに、時代の要請に応え社会に貢献できる人材を育むことを目標におき、さまざまな角度から物事を把握する力を育て、“生きる力”を身につけた人材の育成を目的とする。	初等教育学科は、基礎教育から専門教育への連続性を踏まえた体系的教育課程を編成・実施し、子どもの望ましい心身の発達と成長を期待し、一人一人の個性や能力を引き出し、その豊かな人格の形成を指導・援助できる人材の育成を目的とする。
生活科学部	環境デザイン学科	健康デザイン学科	管理栄養学科	
	環境デザイン学科は、機能的で美しい建築やインテリアのデザイン、生活プロダクトのデザイン、衣服のデザインなど、私たちの生活空間がいかにあるべきかを考え、どのようにプロデュースするかを理論と技術の両面から学び、総合力を身につけた専門家としての人材の育成を目的する。	健康デザイン学科は、食を通して、健康の増進と生活の質の向上に資する人材の養成を目的とする。食品・栄養・運動・感覚に関する学術的な根拠に基づいた理論を展開できる能力を育み、社会に貢献する人材を育成する。	管理栄養学科は、医療、福祉、学校等、現場を支える管理栄養士として、社会に貢献する人材の養成を目的とする。人と社会や環境との関わりを学び、人体の構造とその機能に関する深い理解を基に、様々な状況の中で人の栄養に適切に対処できる人材を育成する。	

3. 昭和女子大学短期大学部学則

第１章　総　則

第１条　本学は、建学の精神に則り、高い教養と文化創造学に関する専門の学芸を教授研究し、職業又は実際生活に必要な能力を養い、社会に貢献しうる有為な女性を育成することを目的とする。

2　本学は学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表アのとおり定める。

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2　前項の点検及び評価の方法、結果の検証及び公表等に関する規程は、別に定める。

第３条　本学は、昭和女子大学短期大学部と称する。

第４条　本学は、東京都世田谷区太子堂一丁目７番57号に設置する。

第５条　本学は、次の学科を設け、修業年限を２年とし、最長在学年限を４年とする。ただし、短期大学設置基準第16条の２に規定する長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という）については、既に在学した期間を含め修業年限を４年とし、最長在学年限を６年とする。

文化創造学科

2　長期履修学生は、学期を単位に２年まで修業年限を短縮することができる。

第６条　学科の入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

学科	入学定員	収容定員
文化創造学科	120名	240名
計	120名	240名

第２章　教育課程

第７条　学科の授業科目を、必修及び選択に分ける。

第８条　学科の授業科目及び単位数は、別表（1）のとおりとする。

第３章　履修及び課程修了

第９条　学生は、学期毎にその学期に履修する授業科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更する場合も同様とする。

第10条　学生が、各学期に履修科目として登録する単位数については、別に定める。

第11条　履修授業科目の単位修得の認定は、出席時数、平常成績及び期末試験の総合成績による。成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格点とする。

第12条　疾病その他、やむを得ない事情のため期末試験を受けることができなかった者には、追試験を行うことがある。

第13条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1)　講義については、15時間の授業をもって１単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって１単位とする。

(2)　演習については、30時間の授業をもって１単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって１単位とする。

(3)　実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって１単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって１単位とする。

(4)　芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が別に定める時間の授業をもって１単位とすることができる。

(5)　第１号から第４号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

2　前項の授業は、多様なメディアを利用して行うことがある。

3　第１項の授業は、第12章に定める公開講座として開講することがある。

第 14 条　本学を卒業するには、学生は 2 年以上在学し、第 8 条別表（1）に定めた授業科目につき、教養科目は 8 単位以上、外国語科目は 4 単位以上、専門教育科目は 28 単位以上、余裕単位 6 単位以上、文化講座 4 単位を含み計 66 単位以上修得しなければならない。余裕単位は、学科の定めるところによって、教養科目及び専門教育科目に配分することができる。

2　本学において教育上有益と認めるときは、大学部局長会の議を経て、他大学又は他短期大学とあらかじめ協議のうえ、当該大学又は当該短期大学における授業科目を履修させることができる。

3　前項の規定により修得した単位並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目とみなし、30 単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定することができる。

4　本学において教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位及び短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学において修得したものとみなすことができる。

5　前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、第 3 項により認定する単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。

6　卒業要件として修得すべき 66 単位のうち、第 13 条第 2 項に定める多様なメディアを利用して行う授業により修得する単位数は、30 単位を超えないものとする。

7　第 3 項及び第 5 項の適用者の修業年限は、短縮できないものとする。

8　大学入学資格を有する者が、本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に入学した場合は、その修得単位数に応じて、相当期間を修業年限の 2 分の 1 を超えない範囲で、在学期間として認定することがある。

第 15 条　図書館司書の資格を取得しようとする者は、第 14 条の規定によるほか、図書館法及び同法施行規則に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

第 16 条　第 14 条に規定する所要単位数を修得した者の卒業については、大学部局長会の議を経て学長が認定する。

2　卒業を認定された者には短期大学士の学位を授与する。

3　短期大学士の授与区分を次のとおりとする。

学　科	学　位
文化創造学科	短期大学士（文化創造）

4　学位授与に必要な事項は、昭和女子大学短期大学部学位規則に定める。

第 4 章　学年、学期及び休業日

第 17 条　学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 18 条　学年を分けて次の 2 学期とし、各学期の授業期間は原則として 15 週にわたるものとする。

前期 / 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 / 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

ただし、学長は各学期の授業期間を変更することができる。

第 19 条　休業日を次のとおり定める。ただし、学長は休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

（1）　国民の祝日に関する法律に規定する休日

（2）　日曜日

（3）　創立記念日 / 5 月 2 日

（4）　夏季休業日 / 8 月 1 日から 9 月 30 日まで

（5）　冬季休業日 / 12 月 23 日から翌年 1 月 8 日まで

（6）　春季休業日 / 3 月 11 日から 3 月 31 日まで

第 5 章　入学の時期、入学、退学、休学、復学、転学及び除籍

第 20 条　入学の時期は、学期の始めとする。

第 21 条　入学を許可される者は、女子にして、次の各号のいずれかに該当するものでなければならない。

（1）　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

（2）　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18 歳に達したもの
(7) 本学において、個別の学力審査により、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

第 22 条 入学志願者は、次の書類に別表（2）に定める入学検定料を添えて申し込むものとする。
(1) 入学志願書
(2) 出身学校長の発行する調査書
(3) 最近の写真（本学所定の大きさ）

第 23 条 入学を許可される者は、本学の建学の精神に則って指導を受けることを志した者の中で身体健康、品行方正にして本学の実施する入学試験に合格した者とする。

第 24 条 入学を許可された者は、保証人連署の保証書並びに誓約書に、別表（2）に定める入学金を添えて提出しなければならない。

第 25 条 保証人は、父母又はこれに代わる独立の生計を営む成年者で、学生の監督の責任に任じ得る者とする。

第 26 条 保証人が死亡又は他の理由で責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を選定して直ちに届け出なければならない。

第 27 条 保証人の住居又は身分に変更が生じたときは、直ちに届け出なければならない。

第 28 条 退学したい者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

第 29 条 疾病その他やむを得ない理由で、休学を希望する者は、その理由を詳記し、保証人連署で願い出て、休学の許可を得なければならない。

第 30 条 休学期間は 1 か年以内とする。ただし、やむを得ない事情のある者については、休学の継続を許可することがある。

第 31 条 休学期間は、在学年数に通算しない。
2 休学者は、学期の始めに復学することができる。

第 32 条 国内外の大学又は短期大学において学修することを願い出たときは、審査のうえ、留学を許可することがある。
2 留学に関する取扱いは、別に定める。

第 33 条 学生が他の学科に転じることを願い出た場合は、選考のうえこれを許可することがある。

第 34 条 本学に転入学を希望する者がある場合は、学生定員に余裕のあるときに、選考のうえ相当学年に転入学を許可することがある。

第 35 条 正当な理由で退学した者が、再入学を願い出たときは、学期の始めに限り選考のうえこれを許可することがある。

第 36 条 再入学、転入学、転部及び転科した者については、既に専修学校専門課程、短期大学、大学において修得した単位並びに在学年数の全部又は一部を、本学における授業科目の単位並びに在学年数として認定することができる。

第 37 条 次の各号のいずれかに該当する者は、大学部局長会の議を経て学長が除籍する。
(1) 在学 4 年にして卒業できない者。ただし、長期履修学生については在学 6 年とする。
(2) 学費の滞納が 3 か月以上におよび、督促を受けても納入しない者
(3) 正当な理由なく、無届で 3 か月以上連続欠席した者

第 6 章 賞 罰

第 38 条 本学学生で学業優秀又は善行・美事をなした者を賞することがある。

第 39 条 本学の学則に背き、又は本学学生の本分にもとる行為があったときは、懲戒にする。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

第 40 条 次の各号のいずれかに該当した者は、退学に処する。
(1) 性行不良で改善の見込みがない者
(2) 成績不良で成業の見込みがない者

(3)　正当な理由なく出席常でない者
(4)　学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第７章　授業料、貸給費、実験実習教材費及びその他の費用

第 41 条　学生の納入金は、授業料及びその他とする。
(1)　各納入金の額は、別表（2）のとおりとする。
(2)　各納入金は、次の 2 期に分納する。
前期 / 4 月 15 日まで
後期 / 10 月 15 日まで
(3)　2 期に分納できないときは、事情を勘案のうえ、月納等支払方法を考慮することがある。
(4)　納期に納入できないときは、延納願を提出して許可を得なければならない。ただし、延納の期限は、所定の納期の翌月末日を超えない範囲とする。
(5)　休学中の授業料等納入金は、当該学期の授業料の半額とする。
第 42 条　学業優秀にして志操堅固な者には、一定額の学資を給付又は貸与することがある。学資の給付及び貸与に関する規程は、別に定める。
第 43 条　一旦納入した諸料金は、事情の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学辞退者の授業料等返還に関する手続きについては、別に定める。

第８章　教職員組織及び教授会

第 44 条　本学に学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長及び同次長を置く。
(1)　学長は、教育研究に関する学務を統括する。
(2)　副学長は、学務の運営に当たり、学長に事故があるときは、その職務を代行する。
(3)　短期大学部長は、短期大学部の部務を統理する。
(4)　教務部長は、教務の企画運営に当たる。
(5)　教務部次長は、教務部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
(6)　学生部長は、学生指導の企画運営に当たる。
(7)　学生部次長は、学生部長を補佐し、部長に事故あるときは、その部務を代行する。
2　学科の科務を処理するため、学科長各 1 名を置く。
3　学長、副学長、短期大学部長、教務部長、同次長、学生部長、同次長及び学科長の任免については、別に定める。
第 45 条　本学に教授、准教授、講師、助教、助手、副手及び事務職員を置く。
(1)　教授は、学生の研究と教育を指導し、また研究に従事する。
(2)　准教授は、教授に準ずる職務に従事する。
(3)　講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
(4)　助教は、教授及び准教授、講師に準じる職務に従事する。
(5)　助手及び副手は、配属学科の授業等の補助的業務及び資料の整理、整備等その他事務処理に従事する。
(6)　事務職員は、配属された部署の事務処理に従事する。
第 46 条　本学の教育及び研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。
2　教授会に関し必要な事項は、別に定める。
第 47 条　本学の管理、運営に関する重要事項を審議するため、大学部局長会を置く。
2　大学部局長会に関し必要な事項は、別に定める。

第９章　委託生、外国人留学生、科目等履修生及び長期履修学生

第 48 条　委託生、外国人留学生又は科目等履修生として入学を希望する者があるときは、審査のうえ入学又は聴講を許可することがある。
第 49 条　官公庁、法人の委託により本学に入学を許可した者を委託生とする。
第 50 条　外国人で本学に入学を許可した者を外国人留学生とする。
第 51 条　本学の開設する授業科目のうち、1 授業科目又は数授業科目を選択履修することを許可した者及び本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する者を科目等履修生とする。
第 52 条　科目等履修生として許可される者は、第 21 条に規定する大学入学資格を有する者でなければならない。

ただし、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたときは、この限りでない。

第 53 条　科目等履修生は、毎学期始めにその学期中に履修する科目を定めて学長の許可を得なければならない。また、これを変更するときも同様とする。

第 54 条　単位を修得した科目等履修生には、単位証明書を交付する。

第 55 条　科目等履修生の聴講料は、各学期 1 科目につき登録料 10,000 円、聴講料 20,000 円とする。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については、当該公開講座の受講料等を支払うことにより、上記登録料、聴講料の支払いを免除する。

第 56 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生で、履修科目の試験を受け、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。

第 57 条　委託生、外国人留学生及び科目等履修生は、収容定員に余裕のある場合のみ許可する。ただし、本学公開講座のうち特定の講座を受講して大学の正規単位認定を希望する科目等履修生については本条を適用しない。

第 58 条　委託生、外国人留学生に対して本章に規定するほか、各章の規定を準用する。ただし、科目等履修生に対し本章以外の規定は準用しない。

第 59 条　長期履修学生に関する取扱規程は、別に定める。

2　長期履修学生に関することは、別に規定するもののほか、各章の規定を準用する。

第 10 章　図書館

第 60 条　本学に附属図書館を設け、教育・研究に必要な図書等学術情報の収集、整理、保存及び提供等に関する業務を取り扱う。

第 11 章　博物館

第 61 条　本学に附属博物館を設け、博物館資料の収集、保存、調査研究、展示及び教育普及に関する業務を取り扱う。

第 12 章　公開講座

第 62 条　本学の使命に鑑みて、大学教育の普及を図り、社会の向上進歩に寄与するため、公開講座を開設する。

第 63 条　公開講座は、主としてオープンカレッジで常時開設する。

第 13 章　教務部、学生部及び学寮

第 64 条　本学の教育に関する全学的事項の審議及び連絡調整を目的として教務部を設ける。教務部に関する規程は、別に定める。

第 65 条　学生生活の向上を目的として学生部を設ける。学生部に関する規程は、別に定める。

第 66 条　学生の生活支援及び厚生を目的として学寮を設ける。学寮に関する規程は、別に定める。

第 14 章　専攻科

第 67 条　短期大学の課程を修了した者に、更に深い専門の学芸と国語国文学、英語英文学、生活文化学及び食物科学に関する職業又は実際生活に必要な能力を育成することを目的として、修業年限 1 年の専攻科を置く。

2　入学資格は、短期大学の課程を修了した者並びに相当年齢に達し、これと同等の学力があると認められた者。

第 68 条　専攻科に次の 4 専攻を設け、各専攻の修業年限、入学定員及び収容定員は、次の表のとおりとする。

専攻名	修業年限	入学定員	収容定員
国語国文学専攻	1 年	10 名	10 名
英語英文学専攻	1 年	20 名	20 名
生活文化学専攻	1 年	10 名	10 名
食物科学専攻	1 年	10 名	10 名
計		50 名	50 名

第 69 条　各専攻の教育課程は、別表（3）のとおりとする。

第 70 条　各専攻の課程を修了するには、学生は 1 年以上在学し、第 68 条別表（3）に定めた授業科目について 30 単位以上を修得しなければならない。

第 71 条　第 70 条の規定による各専攻の課程修了者の認定は、大学部局長会の議を経て学長が行う。修了を認定された者には修了証書を授与する。

第 72 条　各専攻の学生については、本章に規定するほか、本学則の各章の規定を準用する。

附　則　この学則は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

別表ア

	文化創造学科
短期大学部	文化創造学科は、時代の要請に応える幅広い教養と専門領域に関わる基礎を学び、自ら進路を決め、自己表現ができる人材の育成を目的とする。それに加え、幅広い年代の社会人に、生涯学習の一助として、学び直しの場を提供する。

4. 昭和女子大学学位規則

（目的）

第 1 条　本学位規則は、学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 13 条の規定に基づき本学において授与する学位、学位論文審査及び最終試験の方法その他学位に関して必要な事項を定めるものとする。

（学位）

第 2 条　本学において授与する学位は次のとおりとする。

学士・修士・博士

（学位授与の要件）

第 3 条　学士の学位は、本大学学則の定めるところにより所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

第 4 条　修士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより博士前期課程または修士課程所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

第 5 条　博士の学位は、本学大学院学則の定めるところにより博士後期課程所定の要件を満たし、課程修了を認定された者に授与する。

2　博士の学位は前項に規定する者のほか、本学大学院博士後期課程を経ない者であっても、学位論文を提出し、その審査および試験に合格し、かつ前項に該当する者と同等以上の学力が認められる者に授与することができる。

（学位論文提出による学位の授与）

第 6 条　第 5 条第 2 項により、博士の学位論文を提出した者については、この規則の定めるところにより、審査の上学位を授与することができる。

2　前項に規定する者が博士の学位論文を提出するときは、学位申請書に学位論文 5 部、参考論文のあるときは当該参考論文、研究業績書、履歴書及び審査料を添えて、学長に提出するものとする。ただし、審査料は学位論文の受理が決定してから納入するものとする。

3　学位論文の受理は研究科教授会並びに大学院委員会の議を経て学長が決定する。

4　学位論文を受理したときは、学位論文の審査のほか、本学大学院の博士課程において所定の単位を修得した者と同等以上の学力を有することを認めるための試験を行うものとする。

5　前項の試験は口答又は筆答により行う。

6　第 5 条第 2 項により学位論文を提出した者が、本学大学院の博士課程において所定の単位を修得した者であるときは、前第 4 項の試験は免除するものとする。

7　前項に該当する者が、本学を退学後 3 年以内の場合、第 5 条第 1 項に規定する者と同様に扱う。

8　学位論文の審査は本学大学院学則第 18 条及び第 20 条を準用する。

9　審査委員は、学位論文審査のため必要があるときは、学位論文提出者に対して当該学位論文の参考資料等の提出を求めることができる。

10　学位論文の審査は、受理してから 1 年以内に終了するものとする。

第 7 条　教授会は第 3 条による者については、本学学則の定めるところにより、それぞれ課程の修了について総合審査をするものとし、その結果について学長に報告するものとする。

第 8 条　研究科教授会は、第 4 条および第 5 条第 1 項による者については、本学大学院学則の定めるところにより、それぞれ課程の修了及び学位論文の可否、第 5 条第 2 項による者については、その学位論文の合否について協議し、大学院委員会の総合審査を経るものとする。

2　前項の研究科教授会は、委員総数の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

3　第 1 項の協議決定は、出席委員の過半数の賛成を必要とする。

第 9 条　大学院委員会は、前条による研究科教授会の報告に基づいて、本学大学院学則の定めるところにより総合審査を行い、それぞれの課程の修了および学位論文の可否、第 5 条第 2 項による者については、その学位論文の合否について議決する。

2　前項の大学院委員会は、委員総数の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

3　第 1 項の議決は、出席委員の過半数の賛成を必要とする。

（学長への報告）

第 10 条　大学院委員会が第 9 条の議決をしたときは、委員長は学長に報告しなければならない。

（学位記の交付）

第 11 条　学長は第 7 条および第 10 条の報告に基づいて、修了の認定、課程の修了および学位論文の可否について決定し、合格した者には学位記を授与する。

（論文要旨等の公表）

第 12 条　本学は、博士の学位を授与したときは当該博士の学位を授与した日から 3 か月以内に、その学位論文の内容の要旨および学位論文審査の結果の要旨を公表するものとする。

（学位論文の公表）

第 13 条　博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を受けた日から 1 年以内に、その学位論文を印刷公表するものとする。ただし、学位の授与を受ける前にすでに印刷公表したときはこの限りでない。

2　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者でやむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該学位論文の全文に代えてその内容を要約したものを印刷公表することができる。この場合、大学はその学位論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

（学位の名称の使用）

第 14 条　学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「学士（昭和女子大学）」、「修士（昭和女子大学）」「博士（昭和女子大学）」のように附記するものとする。

2　学位記の様式は別表第 1 から別表第 3 の通りとする。

（学位授与の取消）

第 15 条　学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は教授会、各研究科教授会及び大学院委員会の議を経て学位の授与を取消すことがある。

2　前項の議決については第 7 条から第 10 条の場合と同様に行うものとする。

（学位記の再交付）

第 16 条　学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を具し学長に願い出なければならない。

（学位授与の報告）

第 17 条　本学において博士の学位を授与したときは、学長は学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 12 条の定めるところにより、文部科学大臣に報告するものとする。

附　則　この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

5. 昭和女子大学短期大学部学位規則

（目的）

第 1 条　本学位規則は、学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 13 条の規定に基づき本学において授与する学位について必要な事項を定めるものである。

（学位）

第 2 条　本学において授与する学位は次のとおりとする。

短期大学士

（学位授与の要件）

第 3 条　短期大学士の学位は、本学学則の定めるところにより本学に 2 年以上在学し、各学科の所定の課程修了を認定された者に授与する。

（学位の授与）

第 4 条　教授会は、本学学則の定めるところにより、それぞれの課程の修了について総合審査するとし、その結果について学長に報告するものとする。

2.　学長は、前項の報告に基づき、学位を授与し、学位記を交付するものとする。

（学位の名称の使用）

第 5 条　学位の授与を受けた者が、学位の名称を用いるときは、当該学位を授与した本学名を「短期大学士（昭和女子大学短期大学部）」のように附記するものとする。

（学位授与の取消）

第 6 条　学位を授与された者が、その名誉を汚辱する行為があったとき又は不正の方法により、学位を受けた事実が判明したときは、学長は教授会の議を経て学位の授与を取消すことがある。

（学位記の再交付）

第 7 条　学位記の再交付を受けようとするときは、その事由を具し学長に願い出なければならない。

附　則　この規則は平成 18 年 3 月 8 日から施行する。

6. 大学院研究生に関する規程

（目　的）

第１条　この規程は、大学院博士後期課程を修了した者（単位満了退学者を含む）、又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者に、大学院研究生の資格を与えることにより、その研究の継続を助成することを目的とする。

（資　格）

第２条　研究生となることのできる者は、大学院博士後期課程を修了した者（単位満了退学者を含む）、又は博士前期課程若しくは修士課程を修了した者であって、指導教員の承認を得て、研究科教授会及び大学院委員会の議を経て、学長の許可を得た者とする。

（期　間）

第３条　研究生の期間は、1 年間とする。ただし、博士後期課程修了者（単位満了退学者を含む）にあっては 2 回、博士前期課程修了者及び修士課程修了者は 1 回に限り、更新を願い出ることができる。

（待　遇）

第４条　研究生は、担当教員の許可を得て聴講願を提出し、学長の許可を得たうえで大学院の授業を受けることができる。

2. 研究生は、大学院生に認められた大学の研究施設を利用することができる。

（在籍料）

第５条　研究生は、定められた期日までに在籍料等を納付しなければならない。

2. 研究生の在籍料等は次のとおりとする。但し、実験実習に関する費用は、別にこれを徴収する。

(1) 入学金 50,000 円、在籍料（1 年）200,000 円。但し、他大学出身者は、検定料 50,000 円を別途徴収する。

(2) 前号の在籍料は、前期、後期の 2 回に分納し、納期は、前期は 4 月 15 日、後期は 10 月 15 日とする。

(3) 特別の事情のある者に限り、委員会の議を経て、学長の許可を得て在籍料を免除することがある。

（監　督）

第６条　研究生に対する監督は、研究科教授会で定めた教員がこれに当たるものとする。

（規程の改廃）

第７条　この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

7. 女性文化研究所研究生に関する規程

（目　的）

第１条　当研究所は、大学院博士課程生活機構研究科の基礎として位置付けられ、学術研究機関としての活動が期待されている。したがって、その一環として、研究生の採用を行い、研究者として指導育成することを目的としてこの規程を定める。

（資　格）

第２条　研究生となることのできる者は、女性文化に関する研究計画を有し、それを遂行し得る能力を有する者（原則として、大学を卒業した者及びそれと同等以上の学力があると認められる者）とする。

（採用の願い出）

第３条　研究生採用を願い出る者は、採用願（本学規定の用紙）に、次の書類を添え、前年度の２月末までに願い出るものとする。

(1) 出身学校の卒業・修了証明書、又は見込証明書
(2) 成績証明書（修了見込みの者は過年度のもの）
(3) 健康診断書

（採用の決定）

第４条　研究生の採用の可否は、運営委員会に置く選考委員会において審議し、その答申に基づき、学長が決定する。

（研修期間）

第５条　研究生の研修期間は、各年度初めから１か年とする。ただし研究計画の進度により、さらに研究を継続しようとする者は、研究継続願を提出しなければならない。

2. その期限は１年限りとする。

（待　遇）

第６条　研究生は、指導教員の担当授業科目の聴講を希望するときは、同教員の許可を受けて聴講願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

2. 研究生は、本学図書館を利用することができる。

（監　督）

第７条　研究生に対する監督は、指導教員がこれに当たるものとする。

（在籍料）

第８条　研究生は、定められた前日までに、在籍料を納付しなければならない。

2. 研究生の在籍料は、次のとおりとする。ただし、実験実習に関する費用は別にこれを徴収する。

(1) 他大学出身者は、検定料 50,000 円が別途かかる。
　入学金 50,000 円・在籍料 200,000 円は共通
(2) 前号の在籍料は、前期・後期の２回に分納するものとし、納期は、前期は４月 15 日、後期は 10 月 15 日限りとする。
(3) 特別の事情のある者に限り、運営委員会の議を経て、学長の許可を得、在籍料の全額又は一部を免除することがある。

（規程の改廃）

第９条　この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

8. 大学研究生に関する規程

（目的）
第１条　この規程は、本学の研究生として指導を受けようとする者を助成することを目的とする。
（資格）
第２条　研究生となることのできる者は、次の者で希望する指導教員の承認を得たものとする。
(1)　大学を卒業した者
(2)　当該学科で前号と同等以上の学力があると認められた者
（採用の願い出）
第３条　研究生採用を願い出る者は、採用願（本学規定の用紙）に次の書類を添え、前年度の２月末日又は７月末日までに願い出るものとする。
(1)　出身学校の卒業・修了証明書又は見込証明書
(2)　成績証明書（修了見込みの者は経過年度のもの）
(3)　健康診断書
（採用の決定）
第４条　研究生の採用は、当該学部学科で審議し、大学部局長会の議を経て、学長の許可を得るものとする
（期間）
第５条　研究生の在学期間は、１年間とする。ただし、更新を願い出ることができる。
（待遇）
第６条　研究生は、指導教員の許可を得て、聴講願を提出し、学長の許可を得た上で、大学院・大学の授業を受けることができる。
2　研究生は、大学の施設を利用することができる。
（在籍料）
第７条　研究生は、定められた期日までに在籍料を納付しなければならない。
2　研究生の在籍料は、次のとおりとする。ただし、実験実習に関する費用は別にこれを徴収する。
(1)　入学金 50,000 円、在籍料（1 年）200,000 円、他大学出身者は、別途　検定料 50,000 円とする。
(2)　前号の在籍料は、前期、後期の２回に分納するものとする。納期は、前期は４月 15 日、後期は 10 月 15 日限りとする。
(3)　特別の事情のある者に限り、大学部局長会の議を経て、学長の許可を得て在籍料を免除することがある。

附　則　この規程は、平成 18 年４月 20 日から施行し、平成 18 年４月１日から適用する。

9. 大学研究生の在籍料免除に関する取扱規程

（目的）

第１条　この規程は、大学研究生に関する規程第７条第２項第３号に規定する在籍料免除の基準等について定める。

（免除基準）

第２条　生計を一にする世帯の所得金額が、独立行政法人日本学生支援機構（旧日本育成会）が規定する第一種奨学金（無利子貸与）の所得上限額の目安の２分の１以下である場合、在籍料を免除する。

（免除手続）

第３条　上申は、指導教員の添書を付した稟議書をもって行う。

（免除額）

第４条　免除額は、免除事由の内容を斟酌し、全額免除又は半額免除のいずれかとする。

附　則　この規程は、平成 16 年 5 月 27 日から施行する。

10. 学部五修生の大学院修士課程開設科目の履修及び大学院入学後の既修得単位の認定について

本大学院への入学を希望する学部５年次生の、大学院修士課程開設授業科目の受講を下記のとおり取り扱う。

（受講者の条件）

第１条　４年次までの成績が所属学科の３分の１以上で、かつ所属学科の学科長が推薦する者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し大学院研究科長が適当と認めた者は、受講者とすることができる。

第２条　４年次までに卒業論文を提出し、成績優秀な者。ただし、この規定に関わらず、所属学科長が推薦し、大学院研究科長が適当と認めた者は受講者とすることができる。

（単位の認定）

第３条　５年次に相当する期間において、大学院修士課程開設の科目を受講し、その科目の試験に合格した場合、所属学科の専門科目の単位として認定することができる。

（既修得単位の認定）

第４条　本大学院へ正式に入学した場合、第３条により修得した授業科目の単位のうち、10単位を超えない範囲で、大学院修士課程において修得したものとみなすことができる。

注：なお、成績優秀な者については、「大学院設置基準第16条」並びに「大学院学則第17条」を活用し、在学期間を短縮することができる。

11. 大学３年次修了者の大学院修士課程及び博士前期課程の受験資格に関する規程

第１条　この規程は学校教育法施行規則の一部改正（大学院入学資格の一部改正）に準拠して定めるものとする。

第２条　文学研究科及び生活機構研究科生活文化研究専攻にあっては、次のとおり定める。

(1)　3 年次修了時の取得見込みを含め、全履歴単位数 96 単位以上であり、かつ、その成績の基準は平均 80 点以上とする。

(2)　本学学生に対しては、ほかに文化講座 9 単位を加えるものとする。

(3)　第 1 号の単位数のうち、専攻しようとする分野の専攻科目を 52 単位以上履修してあり、その成績の基準は平均 80 点以上とする。

第３条　生活機構研究科生活科学研究専攻の食物栄養系講座にあっては、次のとおり定める。

(1)　3 年次修了時の取得見込みを含め、全履修単位数は 105 単位以上であり、かつ、その成績の基準は平均 80 点以上とする。

(2)　本学学生は、他に文化講座 9 単位を加えるものとする。

(3)　第 1 号の単位数のうち専門科目は、次号に示す分野を含めて 62 単位以上とする。その成績の基準は、平均 80 点以上とする。

(4)　専門科目の分野は、次のとおりとする。
解剖生理学、生化学、食品学（食品化学･食品加工学を含む）、栄養学、微生物学（食品微生物学を含む）、食品衛生学、公衆衛生学及び調理学

附　則　この規程は、平成 2 年 12 月 11 日から施行する。

12. 昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部間の単位互換に伴う「履修できる授業科目の範囲」（内規）

第１条　昭和女子大学学則第 14 条第２項に基づいて、昭和女子大学短期大学部（以下短期大学という）との単位の互換制度を協約する。

第２条　昭和女子大学の学部学生が、短期大学に開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。

1. 学部に開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。
2. 原則として、講義科目に限るものとする。（演習、実験、実習は許可しない）
3. 学年指定のある科目の場合履修学生の制限は当該学年を優先する。
4. 卒業要件の単位として履修できる単位は 60 単位までとする。

第３条　短期大学の学生が、昭和女子大学の学部に開設してある授業科目を履修できる科目の範囲は次のとおりとする。

1. 短期大学に開設してある授業科目と同じ授業科目の履修は許可しない。ただし、同じ授業科目であっても内容が異なる場合は許可することがある。その他は前条第２号、第３号に準ずる。
2. 卒業要件の単位として履修できる単位は 30 単位までとする。

附　則　この規定は平成 12 年４月１日から施行する。

13. 昭和女子大学大学院長期履修学生に関する取扱規程

（趣旨）

第１条　昭和女子大学大学院学則第 38 条の規程に基づき、長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という。）に関する取扱いについては、この規則の定めるところによる。

（資格）

第２条　長期履修学生として申請できる者は、入学試験に合格した者（以下「入学予定者」という。）及び在学生で職業等を有している等の事情にある者とする。

（所属）

第３条　長期履修学生の所属する学年は、当該学生の単位の修得状況及び研究計画に基づき、所属研究科が決める。

（授業料等）

第４条　長期履修学生の１学期分の授業料等の額は、標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては２年、博士後期課程にあっては３年）の場合の授業料等の１学期分の半額とする。ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては４年、博士後期課程にあっては６年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める聴講料を徴収する。

	修士／博士前期／博士後期	備考
在籍料	85,000 円	学期ごと徴収
聴講料	30,000 円	１科目当りの単価。履修科目数に乗じて徴収

２　長期履修学生がその修業年限を短縮して修了しようとするときは、標準修業年限（修士課程及び博士前期課程にあっては２年、博士後期課程にあっては３年）の間に納入する授業料等の額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入するものとする。

３　在学中に授業料が改定されたときは、改定時から新授業料を適用する。

（申請手続等）

第５条　長期履修学生として履修を希望する者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1)　長期履修学生申請書

(2)　長期履修を希望する理由書

(3)　その他本学が必要と認める書類

２　申請書等の提出期限は、次のとおりとする。

(1)　入学予定者は、入学手続時

(2)　在学生で後期から長期履修学生を希望する場合は６月末日、前期から希望する場合は前年度の 12 月 15 日ただし、修了年次での申請書等の提出期限は、４月入学者は、修了年度の６月末日、10 月入学者は、修了前年度の 12 月 15 日とする。

（修業年限の変更等）

第６条　長期履修学生が修業年限を変更して修了しようとするときは、次に掲げる書類を、６月末日又は 12 月 15 日までに、学長に提出しなければならない。

(1)　修業年限変更申請書

(2)　その他本学が必要と認める書類

２　期間の変更は学期単位とする。

（身分）

第７条　長期履修学生の身分に関する事項は、研究科教授会及び大学院委員会の議を経て学長が決める。

（その他）

第８条　この規則に定めるほか、長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

附　則　この規程は、平成 20 年６月１日から施行する。

14. 昭和女子大学短期大学部長期履修学生に関する取扱規程

（趣旨）

第１条　昭和女子大学短期大学部学則第 59 条の規程に基づき、長期にわたり計画的に教育課程を履修する者（以下「長期履修学生」という。）に関する取扱いについては、この規則の定めるところによる。

（資格）

第２条　長期履修学生として申請できる者は、入学試験に合格した者（以下「入学予定者」という。）及び在学生で職業等を有している等の事情にある者とする。

（学科所属）

第３条　長期履修学生の所属する学年、クラスについては、当該学生の単位の修得状況及び履修計画に基づき、所属学科が決める。

（授業料等）

第４条　長期履修学生の１学期分の授業料等の額は、標準修業年限（2 年）の場合の授業料等の１学期分の半額とする。ただし、すでに納入した授業料等の額が、長期履修学生の標準修業年限（4 年）の間に納入する授業料等の額に達した次学期以降については、次の表に定める在籍料及び聴講料を徴収する。

	昼間主	夜間主	備考
在籍料	85,000 円	30,000 円	学期ごと徴収
聴講料	30,000 円	30,000 円	１科目当りの単価。履修科目数に乗じて徴収

2　長期履修学生がその修業年限を短縮して卒業しようとするときは、長期履修学生の標準修業年限（4 年）の間に納入する授業料等の額からすでに納入した授業料等の額を差し引いた額を納入するものとする。

3　在学中に授業料が改定されたときは、改定時から新授業料を適用する。

（申請手続等）

第５条　長期履修学生として履修を希望する者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1)　長期履修学生申請書

(2)　長期履修を希望する理由書

(3)　その他本学が必要と認める書類

2　申請書等の提出期限は、次のとおりとする。

(1)　入学予定者は、入学手続時

(2)　在学生で、後期から長期履修学生を希望する場合は 6 月末日、前期から希望する場合は前年度の 12 月 15 日

（修業年限の変更等）

第６条　長期履修学生が修業年限を短縮して卒業しようとするときは、次に掲げる書類を、6 月末日又は 12 月 15 日までに、学長に提出しなければならない。

(1)　修業年限短縮申請書

(2)　その他本学が必要と認める書類

2　期間の変更は学期単位とする。

（身分）

第７条　長期履修学生の身分に関する事項は、部科長会の議を経て学長が決める。

（その他）

第８条　この規則に定めるほか、長期履修学生に関して必要な事項は、別に定める。

附　則　この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 18 年度以前に入学した者については、昼間主を第一部、夜間主を第二部と読替えて適用する。

15. 早期卒業の規程

第１条　（趣旨・目的）
この規程は、昭和女子大学学則第 14 条第 9 項の規定に基づき、昭和女子大学における早期卒業に関し必要な事項を定める。

第２条　（対象者）
本学に 3 年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者を対象とする。ただし、次のものは該当しない。

1. 編入学したもの
2. 本学学則第 14 条第 8 項の適用を受けて入学したもの
3. 再入学または学士入学、転入学した者で、本学入学前の在学期間に本内規の施行日前の期間が含まれているもの

第３条　（早期卒業の登録）
早期卒業を希望する者は , 所属学科の学科長に申し出るものとする。

1. 登録時期：2 年次終了時
2. 登録基準：卒業要件単位 90 単位以上かつ席次が当該学科学年の上位約 5％以内の者
3. 審査：登録の申出があったときは、学科の審議を経たうえ大学部局長会において前項の基準に基づき審査し、学長に報告する。

第４条　（学習指導）

1. 学科は、早期卒業希望者の 3 年次学習指導について、適切に実施する。
2. 希望登録した学生は、3 年次から卒業論文指導を受けることができる。
3. 学生は 3 年次前期終了時に学習状況報告書を所属学科学科長に提出する。

第５条　（早期卒業の認定）
卒業するためには次の要件をすべて充たさなければならない。

1. 必要単位：130 単位以上（卒業要件単位 132 単位から 4 年目文化講座 2 単位を免除）
2. 成績：卒業要件単位の成績（平均点）の席次が当該学科学年の上位約 5％以内
3. 卒業論文：評価が優以上（必修の場合）

第６条　（卒業認定審査）
大学部局長会は前条の要件について審査のうえ、学長が認定する。

第７条　（卒業の時期）
早期卒業の時期は、3 年終了時又は 4 年前期終了時とする。

第８条　この内規に定めるもののほか、早期卒業に関し必要な事項は、各学科において別に定めることができる。

第９条　（本学入学前の既修得単位を認定された者に関する特例）
第 3 条第 2 号及び第 5 条の規定にかかわらず、本学学則第 14 条第 4 項の適用を受けて、本学入学以前に修得した単位を 30 単位以上本学において修得したものと認められた者については、早期卒業の登録基準および早期卒業の認定要件を次のとおりとする。

登録基準：卒業要件単位 120 単位以上かつ平均点 80 点以上
早期卒業の認定

1. 必要単位：130 単位以上（卒業要件単位 132 単位から 4 年目文化講座 2 単位を免除）
2. 成績：卒業要件単位の平均点が 80 点以上

なお、早期卒業の登録基準および卒業認定要件における成績は、学生の申請した既修得単位（2 年次 120 単位および 3 年次 130 単位以上）で平均点を算出することができるものとする。

附　則　この内規は、平成 16 年 4 月入学者から適用する。

16. 転科規程

第 1 条　この規定は、昭和女子大学学則第 40 条、昭和女子大学短期大学部学則第 33 条に基づき、転科（異なる学部間で学科を転じる場合を含み、昭和女子大学と昭和女子大学短期大学部間で学科を転じる場合を除く。以下、同じ）の手続きについて定める。

第 2 条　転科を希望する学生の所属学科が認め、転科先の学科に余裕がある場合、選考のうえ転科を認める場合がある。

第 3 条　転科を希望する学生は次の基準を満たしている必要がある。

(1)　一般入試で入学した者の場合、同じ年度の当該入学試験方式で転科先の学科の合格最低点以上の点数（補欠の繰上げの合格者の最低点を含む）をとっていること。所属する学科と転科先の学科の試験科目数、科目の種類が異なっている場合は、100 点満点に換算した点数を利用する。

(2)　推薦入学および AO 入試で入学した者の場合、同じ年度の転科先の学科の出願基準を満たしていること。

第 4 条　転科に必要な書類は、次のとおりとする。

転科を希望する学生が、所属学科に提出するもの。

(1)　転科希望の理由を記載した保証人連署の転科願

(2)　転科先の学科での勉学の目的を記述した書類

転科を希望する学生の所属学科は、転科先の学科に（1）、（2）に加えて、次の書類を提出する。

(3)　成績証明書

(4)　クラスアドバイザーの添書（学科長、学部長の認印を押印したもの）

(5)　その他、転科先の学科が必要とする書類

第 5 条　転科を希望する学生の所属学科は、学部長をとおして転科先の学科へ、第 4 条に定めた書類を提出する。

第 6 条　転科先の学科は、次のとおり選考を行う。

(1)　面接

(2)　書類審査

2　第 3 条（2）号に該当する場合、それぞれの入試で行った筆記試験もしくは実技試験と同等の試験を行うことがある。

3　その他必要に応じて、筆記試験及び実技試験等を行うことがある。

第 7 条　学科による選考結果は、転科先の学部長の了承を得た後、大学部局長会の議を経て決定する。

第 8 条　転科の時期は学期の始めとし、転科する前の学期中に選考を終了していなければならない。

第 9 条　この規程の改廃は、教務部委員会で協議のうえ、大学部局長会の議を経て決定する。

附　則　この規程は、平成 17 年 12 月 8 日から施行する。

17. 再入学選考内規

第 1 条　この内規は、昭和女子大学学則第 42 条及び昭和女子大学短期大学部学則第 35 条に基づき再入学の選考について定める。

第 2 条　次のすべての条件に該当する場合、選考のうえ再入学を認める場合がある。

(1)　該当学科が受け入れ可能であること。

(2)　健康上の理由、経済的理由など正当な理由で退学した者であること。

(3)　再入学時には退学理由となる事由が解消されていること。

第 3 条　再入学希望者は、学科の事前相談を受けたうえで、再入学する学期の 2 か月前までに、次の書類を提出しなければならない。

(1)　退学した理由とその経緯、現在、その理由となる事由が解消されていることを記載した書類。

(2)　再入学の目的を含めた入学後の計画などを記述した書類。

(3)　その他、該当学科が必要とする書類。

第 4 条　該当学科は、次のとおり選考を行い、退学前の既修得単位数と学力を勘案して、再入学する学年を決める。

(1)　筆記試験

(2)　面接

(3)　書類審査

第 5 条　学科による選考結果は、学部長の了承を得た後、大学部局長会の議を経て決定する。

第 6 条　この内規の改廃は、教務部委員会で協議のうえ、大学部局長会の議を経て決定する。

附　則　この内規は、平成 17 年 12 月 8 日から施行する。

18. 認定留学に関する内規

（趣旨）

第１条　この規則は、昭和女子大学学則第 39 条並びに昭和女子大学短期大学部学則第 32 条に基づき、昭和女子大学並びに昭和女子大学短期大学部（以下「本学」という）学生の認定留学に関し、必要な事項を定める。

（認定留学の定義）

第２条　この規則における認定留学とは、研修期間の在籍を休学とせず、本学の修業年限に算入する留学とする。

2　SAF（The Study Abroad Foundation）を通じて SAF 協定大学に留学する場合は認定留学とみなし、これを SAF 認定留学と言う。

3　SAF 認定留学を「語学強化プログラム」及び「授業履修プログラム（ブリッジプログラムを含む）」の２種に分類する。

（認定留学の期間）

第３条　認定留学の期間は、１期又は２期とする。

2　認定留学の期間は、2 期を限度として修業年限に算入する。ただし、SAF 認定留学については、2 期目は「授業履修プログラム（ブリッジプログラムを含む）」に入学した場合のみ認める。

（認定留学の対象機関・団体）

第４条　認定留学の対象となる機関・団体は、本学の交流協定締結校及び海外交流専門委員会が推薦し学長が認めた教育機関・団体とする。

（認定留学者の資格）

第５条　認定留学を志望する者は、心身共に健康で明確な目的を持ち、かつ、留学先教育機関・団体が指定する要件を充たさなければならない。

2　英語コミュニケーション学科及び国際学科の学生が SAF 認定留学を希望する場合は、原則としてボストン昭和女子大学で１期以上の研修を終了することを条件とする。ただし、別に定める基準を満たし、本学が認める場合は、この限りではない。

3　前第２項の２学科以外の学生の SAF 認定留学は、ボストン昭和女子大学における研修を条件としない。ただし、SAF 認定留学出願時に、別に定める基準以上の語学力を有すると本学が認めた場合に限る。

（認定留学申請手続）

第６条　認定留学を志望する者は、留学前に次の書類を所属学科から海外交流専門委員会を経由し、学長に提出しなければならない。

(1)　認定留学願（本学所定用紙）
(2)　成績証明書の写し
(3)　その他海外交流専門委員会が必要とする書類

（選考方法）

第７条　留学者の選考方法は、面接及び書類審査とする。ただし、必要に応じ、筆記試験を課すこともある。

2　認定留学生の選考は、所属学科の推薦に基づき海外交流専門委員会が行う。

（認定留学の許可）

第８条　認定留学の許可は、海外交流専門委員会の選考結果に基づき、大学部局長会の議を経て、学長が行う。

（認定留学期間の延長）

第９条　認定留学期間の延長を希望する者は、留学期間終了の２か月前までに認定留学期間延長願を学長に提出しなければならない。

2　認定留学期間延長の許可は、海外交流専門委員会で審査の上、大学部局長会の議を経て、学長が行う。

（認定留学修了手続）

第 10 条　認定留学を修了した者は、すみやかに、次の書類を所属学科及び海外交流専門委員会を経由し、学長に提出しなければならない。

(1)　認定留学修了届
(2)　単位認定願
(3)　留学先教育機関・団体が発行する履修科目の成績証明書又はこれに準ずるもの（成績評価基準を示す文書を含む）
(4)　留学先教育機関・団体が発行する履修科目の時間数又は単位数を証明する書類

(5) その他海外交流専門委員会が必要とする書類

(修得単位の認定)

第 11 条 認定留学期間中に修得した授業科目の単位は、大学部局長会の議を経て、学長が、本学において修得したものとして認定する。

2 認定する単位は、留学期間にかかわらず 30 単位を上限とする。

(認定留学許可の取消)

第 12 条 認定留学中の者が次の各号のいずれかに該当する場合は、所属学科及び海外交流専門委員会の報告に基づき大学部局長会の議を経て、学長が認定留学の身分を取り消す。また、学則に基づき処分することもある。

(1) 許可なく留学を中止した時

(2) 留学中に学生の本分に反したとき

(3) その他学長が認定留学の身分を取り消す必要があると判断したとき

2 取り消しとなった場合の処置については、所属学科の提案に基づき、海外交流専門委員会で審査の上、大学部局長会の議を経て、学長の承認を得るものとする。

(認定留学中の学納金の取り扱い)

第 13 条 認定留学中の本学の学納金は、全額、学則に定める期日までに納入するものとする。

(認定留学中の文化講座及び研修学寮)

第 14 条 認定留学を認められた者の文化講座及び研修学寮の扱いについては、所属学科の提案に基づき、海外交流専門委員会で審査の上、大学部局長会の議を経て、学長の承認を得るものとする。

(内規の改廃)

第 15 条 この内規の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附 則 この内規は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

この内規は、平成 22 年 1 月 28 日に改定し、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。(SAF 認定留学に関する規定の追加及び規程改廃の条文追加)

19. 教職課程履修に関する内規

（目的）

第１条　この内規は、資質の高い教育職員の養成を目的とし、教職課程の履修に関し、必要な事項について定める。

（教育実習の履修条件）

第２条　教育実習を履修することのできる者は、次のとおりとする。

(1)　将来、教職に就くことに関して確固とした志望のある者。

(2)　第３年次終了までに教職に関する科目（教職概論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教科教育法、教育行政学・教育法規、教育工学）を履修し終わった者。

(3)　第２年次終了までに願い出た所属学部・学科の専門教育科目に成績不良（申し合わせとして 69 点以下）が５科目以内の者。また、全履修科目の平均点が 70 点以上の者。

(4)　前２号、３号の規定にかかわらず、当該学科の科会議ならびに教職に関する科目担当者が適当と認め、学部長が承認した者。

(5)　第３年次編入学生については、前２号、３号は、これを適用しない。

(6)　初等教育学科の学生については、前２号、３号は別途学科において定める。

２　栄養教育実習を履修することのできる者は、次のとおりとする。

(1)　将来、教職に就くことに関して確固とした志望のある者。

(2)　第３年次終了までに教職に関する科目（教職概論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教育行政学・教育制度論、教育工学）を履修し終わった者。

(3)　第２年次終了までに願い出た所属学部・学科の専門教育科目に成績不良（申し合わせとして 69 点以下）が５科目以内の者。また、全履修科目の平均点が 70 点以上の者。

(4)　前２号、３号の規定にかかわらず、当該学科の科会議ならびに教職に関する科目担当者が適当と認め、学部長が承認した者。

(5)　第３年次編入学生については、前２号、３号は、これを適用しない。

３　科目等履修生の教育実習（栄養教育実習）は、次のとおりとする。

(1)　原則として、教職に必ず就く本学卒業生とする。

(2)　在学中の成績が第１項、第２項の各第３号に抵触しない者。

(3)　人物等について出身学科及び教職に関する科目担当者が適当と認め、学長が承認した者。

(4)　原則として、科目等履修生として在籍した２年目に実習を行う。

（教育実習校の選定）

第３条　教育実習は、第４年次に全国公私立の高等学校、中学校、中等教育学校、小学校及び幼稚園の協力を得て行う。原則として、授与を受けようとする普通免許状に係る学校で行うものとし、栄養教育実習は、給食提供のある小学校もしくは中学校で行うものとする。

（実習実施期間）

第４条　教育実習の実施期間は、継続した４週間とする。ただし、中学校、高等学校及び中等教育学校においては実習校及び実習校を所管する都道府県の教育委員会の指示により、3 週間（15 日間）とする場合がある。

２　栄養教育実習の実施期間は、給食提供のある６日間とする。

３　初等教育学科の実習実施期間は、別途学科において定める。

（実習の実施にともなう正規授業との関係）

第５条　教育実習期間の授業等の欠席の取り扱いは、次のとおりとする。

(1)　教育実習期間中の欠席は、公欠とする。

(2)　実習のため帰郷を必要とする場合、その往復日数の欠席についても公欠とする。

(3)　事前打ち合わせ（就任挨拶も含む）ならびに、離任挨拶のための欠席は、両者を含めてその所要日数の２日間以内を公欠とすることもできる。

（教育実習の指導について）

第６条　教育実習の指導は、実習を行う学生の所属学科専任の教授、准教授または講師が担当する。

２　実習校への指導出張の分担は、当該学科長の指名または、所属学科教員で協議の上、決定するものとする。

３　＜省　略＞

（教職課程費について）

第７条　教職課程を履修する者は、教職課程費を納入しなければならない。

２　教職課程費は、次の２期に分納するものとし、大学が教職課程履修学生を対象に配布する本学指定の銀行振込用紙により納入する。ただし、介護等体験を行わない者は第２期のみを納入する。

第１期：第２年次（一律 15,000 円）

第２期：第４年次（学校種・教科等により異なるが、15,000 円～ 75,000 円）

３　教職課程を途中で辞退した場合であっても、一旦納入した教職課程費は返金しない。

（実習校への事務手続について）

第８条　教育実習を行う者は、次の手順に従い手続きを行わなければならない。

(1)　各学部３年次生の実習該当者は、事務連絡会で配布される教育実習内諾依頼用紙、教育実習内定届用紙を受領する。

(2)　配布を受けた学生は「教育実習内諾依頼用紙」に必要事項を記入し、各自が直接、実習校と折衝するものとする。

(3)　上記手続きの上、内諾を受けた学生は「教育実習内定届用紙」に必要事項を記入し、すみやかにクラスアドバイザーならびに教育支援センター教務担当に提出し、大学から実習前年度中に内諾校へ公文依頼状を発送する。

(4)　教育実習内定届提出後、教育実習を放棄することは原則として認められない。

２　初等教育学科の手続きについては、別途学科において行う。

（介護等体験について）

第９条　小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生は、最低７日間の介護等体験を実施しなければならない。

２　体験は、原則として第２年次に行う。

３　体験期間は、社会福祉施設で５日間、及び特別支援学校で２日間とする。また、原則として体験を行う年度に「介護等体験の指導」（教職に関する科目）の授業を必ず履修する。

（教育職員免許状の申請）

第 10 条　教育職員免許状は、本人が居住地の都道府県教育委員会に授与の申請をするものだが、本学では３月の卒業時に免許状を必要とする学生のために、大学が取りまとめをして東京都教育委員会へ一括申請を行っている。この場合、免許状は卒業式当日に授与する。

２　東京都教育委員会に一括申請することのできる者は、次のとおりとする。

(1)　必要な教職に関する科目の単位を全て修得した者。

(2)　３年次及び４年次前期までに履修した専門教育科目に成績不良科目（申し合わせとして 69 点以下）が５科目以内の者。

(3)　３年次及び４年次前期までの全履修科目の平均点が 72 点以上である者。

(4)　前２号、３号の規定にかかわらず、当該学科の科会議において教員としての資格が適当と認められ、学長が承認した者。

（規程の改廃）

第 11 条　この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附　則　本規程は、昭和 48 年６月 16 日から施行する。

本規程は、昭和 51 年６月 16 日から施行する。

本規程は、昭和 53 年 10 月 20 から施行する。

本規程は、昭和 53 年 11 月８日から施行する。

本規程は、平成８年４月１日から施行する。（第２条３項　科目等履修生の教育実習履修について追加）

本規程は、平成 10 年４月１日から施行する。（第９条介護等体験についての追加及び第７条教職課程費の改定）

本規程は、平成 15 年４月１日から施行する。（第９条３項　介護等体験の授業受講について追加）

本規程は、平成 16 年４月１日から施行する。（第７条　教職課程費の改定）

本規程は、平成 17 年４月１日から施行する。（第４条２項　栄養教育実習の追加）

本規程は、平成 21 年１月 14 日に改定し、平成 22 年４月１日から施行する。（条文の改訂、第２条１項の一部、第４条３項、第８条２項を追加）

20. 生活科学部環境デザイン学科 建築・インテリアデザインコースと生活機構研究科環境デザイン研究専攻　建築環境系研究コースの６年制課程に関する規程

（趣旨）

第１条　生活科学部環境デザイン学科建築・インテリアデザインコースと大学院生活機構研究科環境デザイン研究専攻建築環境系研究コースは、国際的な認証に耐え得る建築家の養成を目的とし、４年間の大学教育に２年間の大学院の研究を加えて６年制課程を実施する。この規程は、その６年制課程に関し、必要な事項を定める。

（仮登録）

第２条　６年制課程の履修を希望する者は、２年次前期（５修生は正規学生１年目）に大学が定める履修登録期限日までに所属学科長宛に所定の仮登録願により履修を申し出て、仮登録を行う。

（本登録）

第３条　前条により仮登録した者は、４年次前期に大学院が実施する６年制進学考査に所属学科長の推薦により願い出て、進学が許可された場合、所定の本登録願を所属学科長宛に提出し、本登録を行う。大学が定める期限日までに登録料を納入する。

（卒業及び修了要件）

第４条　６年制課程を修了するためには、４年次までに卒業要件を満たし、さらに修士課程２年次までに修了要件を満たすこととする。

（６年制課程履修の辞退）

第５条　第３条により本登録をした者が大学院進学を辞退し４年次で卒業する場合、大学が定める卒業論文提出日までに所定の辞退願を所属学科長宛に提出しなければならない。ただし、大学を卒業するためには、卒業要件を満たすこととする。

（単位の認定）

第６条　環境デザイン学科４年次に環境デザイン研究専攻開設の科目を受講し、その科目の試験に合格した場合、環境デザイン学科の専門科目の単位として認定することができる。

（既修得単位の認定）

第７条　環境デザイン研究専攻へ正式に入学した場合、第６条により修得した授業科目の単位のうち、10単位を超えない範囲で、環境デザイン研究専攻において修得したものとみなすことができる。

（早期卒業者の取り扱い）

第８条　本学が定める早期卒業の規程を満たし、環境デザイン学科を卒業した者は、早期卒業後２年間の大学院の研究を行うことで６年制課程を満たすことができる。

２　早期卒業の規程により、早期卒業の登録を認められた者は、第３条に規定する進学考査を３年次前期に受験することができるものとする。

（規程の改廃）

第９条　この規程の改廃は、学長の承認を得るものとする。

附　則　この規程は、平成18年４月１日から施行する。

21. 昭和女子大学学友会規約

第１章　総則

第１条　本会は、昭和女子大学学友会と称し、本部を大学内に置く。
第２条　本会は、昭和女子大学および昭和女子大学短期大学部の全学生を以って会員とする。
第３条　会員は、所属クラス会に出席する権利及び義務があり、その他の会議には、傍聴者として出席し、議長の承認を得て発言することができる。
第４条　本会は、昭和女子大学の建学の精神に則り、学生の自治活動により大学と協力しながら学生相互の研学・修徳・親和をはかり、併せて学生の総意を反映・実現し学園生活の向上発展に資することを目的とする。
第５条　本会に会長、副会長を置き、学生の中から選出された代表者が、これにあたる。
第６条　本会におけるクラス学生総会及び各委員会に、学生部長および学生部委員を顧問とする。
第７条　この規約を変更するには、クラス学生総会の議決を経て、同数の教職員（学長、副学長、学生部長および次長）と会長、副会長を含む代表委員会の委員とで構成された学生問題協議会の承認を必要とする。

第２章　組織および運営

第８条　本会は、クラスを代表するクラス委員を通じ、本学の全学生が本会活動に参加しその意思を反映させるクラス代議制をとることとし、次に掲げる委員会等から組織する。

第１節　クラス学生総会

第９条　クラス学生総会は、本会の最高決議機関とし、各クラスで選出されるクラス委員及び第２節に定める代表委員会の委員により構成される。
第10条　クラス学生総会は、下記の重要事項を決定する。
1. 代表委員会から提案された事項
2. 予算及び決算
3. 規約案及び同改定案
4. 会長、副会長その他執行委員の選出

第11条　クラス学生総会には、下記の役員を置き、クラス学生総会ごとに選出する。
1. 議長　１名　　クラス学生総会を代表し、議事を整理し、会務を統括する。
2. 副議長２名　　議長を補佐し、議長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書記　２名　　議事録の作成、保管を行う。

第12条　クラス学生総会を分けて、定例総会と臨時総会とする。
1. 定例総会は、前期・後期各２回これを開く。
2. 臨時総会は次の場合開くものとする。
   (1)　代表委員会が必要と認めた場合
   (2)　クラス学生総会の全委員の３分の１以上の要請があった場合

第13条　クラス学生総会は、会長がこれを召集する。
第14条　クラス学生総会の開会及び議事内容は７日前に、または緊急の場合であっても、１日前までにこれを公示しなければならない。
第15条　クラス学生総会は以下の場合成立する。
1. クラス学生総会の全委員の３分の２以上の出席があった場合
2. 議題についての有効投票数がクラス学生総会の全委員の３分の２以上あった場合

第16条　クラス学生総会の議決は以下のとおりとする。
1. 前条第１項の場合出席者の過半数
2. 前条第２項の場合有効投票数の過半数

ただし、規約改定の場合のみ３分の２以上とする。
第17条　クラス学生総会の委員は１人１議決権（票）を有し、止むを得ない事情がある場合は、委任状によることができる。

第２節　代表委員会

第 18 条　代表委員会は、下記の事項を行う。

1. クラス学生総会で議決した事項
2. クラス学生総会への提案
3. 各機関との連絡と調整に関する事項
4. その他全学生に対する公示、報告、調査等執行機関としての任務に関する事項

第 19 条　代表委員会は、次の執行部委員及び第３節に定める各種委員会委員長及び副委員長（ただし総務委員会委員は全員）からなる。

1. 会長　　１名　代表委員会を代表し、これを統括する。
2. 副会長　　２名　会長を補佐し、会長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 書記　　２名　議事録の作成、保管を行う。
4. 会計担当　　２名
5. 企画広報担当　２名

第 20 条　会長・副会長その他執行部委員の任期は１年とする。ただし重任を妨げない。なお欠員が生じた場合は補欠選挙を行い、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。執行部委員新旧交代にあたっては、その業務の重要性に鑑み、３か月を目途として引継ぎ期間を置く。

第 21 条　会長・副会長その他の執行部委員に立候補する者は、代表委員会に申し出るものとし、代表委員会はこれに基づき候補者を取り纏め、クラス学生総会にて選出する。会長、副会長は、この規約に定めるいずれかの委員会で１年以上の経験を有することが望ましい。

第 22 条　代表委員会は、必要に応じ、会長の召集によって随時開くものとする。

第３節　各種委員会

第 23 条　代表委員会の下部機関として、次の委員会を置く。

１　クラス委員会

(1)　クラス員相互の協力と調和をはかり、クラスアドバイザーとの連携を密にして、クラスの向上と生活目標を達成するため、協議を行う。

(2)　クラスの代表であるクラス委員で構成される。各クラス委員は、クラス全体の意見を聴取・取纏め、これをクラス委員会その他各種委員会、代表委員会、クラス学生総会に反映させるように、またこれら委員会の決議、提案をクラスにて周知徹底、理解してもらうように努めるものとする。

(3)　クラス委員会の中に次の委員会を置く

①総務委員会
学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。

②学報委員会
月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。

③ボランテイア委員会
誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学生生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。

④エコロジー委員会
学生一人ひとりが地球環境に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。

２　クラブ連合委員会

クラブ連合委員会は文化系クラブ、体育系クラブを統括する。

３　秋桜祭実行委員会

秋桜祭実行委員会は、学園祭を企画、運営する。

４　その他必要に応じ都度設置される新たな委員会

第 24 条　前条の各委員会には、学生有志が参加できるものとする。

第 25 条　第 23 条の各委員会の組織構成、運営その他詳細については、別に定める。

第３章　会　計

第 26 条　本会の経費は会員の納付する会費、その他の収入をもってこれにあてる。会費の増減が必要な場合には、クラス学生総会及び学生問題協議会の議決を得なければならない。

第 27 条　本会の会計は、代表委員会が管理の責任を負い、会計事務は教育支援センターに委託する。
第 28 条　会員は会費を授業料納入と同時に納入しなければならない。
第 29 条　本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終わる。
第 30 条　予算の決定はクラス学生総会の議決を得て、これを学生問題協議会に報告するものとする。
第 31 条　代表委員会は、会計年度終了後、クラス学生総会において、決算の承認を得なければならない。

第 4 章　通　則

第 32 条　クラス学生総会の議決事項は、公示によりその効果を発する。
第 33 条　本会のすべての会議は公開を建前とし、会員に限り議長の許可を得て傍聴することができる。
第 34 条　この規約に規定する各機関の役員または委員の不信任による解任は次の場合に成立する。

1. 役員、委員の選出母体の構成員の 3 分の 1 以上の要請があり、その構成員の 3 分の 2 以上の同意があった場合
2. 役員、委員を選出した機関の会議で不信任の動機が 2 分の 1 以上の支持でとり上げられ、3 分の 2 以上の賛成を以て議決された場合

第 35 条　本会及び大学のいずれかが必要と認めた場合には、学生問題協議会にて協議をすることができる。

附　則　この規約は平成 21 年 4 月 1 日に施行する。

22. 学友会クラス委員規約細則

第１章　総則

第１条　学生生活の充実向上と学園生活の円滑化をはかるために、クラスごとに代表２名をおき、クラス委員とする。

第２条　クラス委員は、クラス員相互の協力と調和をはかり、クラスアドバイザーとの連携を密にして、クラスの向上と生活目標を達成するため、協議を行う。

第３条　クラス委員は、クラス全体の意見を聴取、取纏め、これをクラス委員会その他各種委員会、代表委員会、クラス学生総会に反映させるように、またこれら委員会の決議、提案をクラスにて周知徹底、理解してもらうように努めるものとする。

第４条　クラス委員は、学生部長が主催するクラス委員会に参加し、その決定事項についてはクラス全員に正確に連絡する。また、学科・学年ごとののクラス委員会に出席して、他のクラス委員との連携を密にし、共通理解にたって問題の処理にあたる。

第２章　選出方法・任命

第５条　クラス委員の選挙は、クラス員の意思が公平に反映されるように、複式選挙の方法による。

第６条　複式選挙の方法では、選出するクラス委員２名を連記して第１次選挙を行い、即時開票、得点順に定員の倍数の４名の候補者を決め､その４名について再び２名連記で投票し､上位２名を当選者として決める。

第７条　選挙は、原則として年度はじめに行う。

第８条　クラス委員の任期は１年とし、重任することができる。

第３章　任務

第９条　クラス員相互の協力と親和をはかり、クラスアドバイザーとの連絡を密にしてクラスの向上と生活目標の達成に努める。

第10条　使用教室や備品の清潔整頓に努める。

第11条　クラス委員会およびクラス学生総会に参加して、協議事項等についてクラスのメンバーに連絡を反映し生活の充実と向上に努める。

第12条　クラスアドバイザーの行う校務の補助に当たる。

(1)　大学からの伝達、クラスアドバイザーおよび関係指導者からの連絡や指示事項の周知徹底

(2)　研修学寮の企画・運営

第４章　各種委員会の組織

第13条　学園生活の向上発展、学生中心の諸行事の円滑化をはかるため、クラス委員会の中に総務委員会、学報委員会、ボランティア委員会、エコロジー委員会を置く。

各種委員会は、各学科１名によって構成し、委員長１名、副委員長１名を置く。委員会の任務、任期等は次の通り。

1. 総務委員会
   - イ．学生の日常生活指導の検討、学生生活全般の向上、推進に努める。
   - ロ．各学科の代表で構成し、任期は１年とし、重任することができる。
   - ハ．委員会の正･副委員長は、クラス委員会の正･副議長となり、クラス委員会の運営、進行に当たる。
   - ニ．総務委員は、代表委員会の委員として任務に当たる。
2. 学報委員会
   - イ．月刊「昭和学報」の企画、取材、原稿収集、編集などを担当し、学報の発行に従事する。
   - ロ．各学科の代表と、学報作成に関心のある有志の学生で構成される。任期は１年とし、重任することができる。
3. ボランティア委員会
   - イ．誰もが人間らしく豊かに暮らしていける学園生活を目指し、自らが身近なところでできる活動を推進する。

ロ. 各学科の代表と、ボランティアに関心のある有志の学生で構成される。任期は１年とし、重任することができる。

ハ. コミュニティ･サービス･ラーニングセンター及び世田谷ボランティア協会他と協力し､活動をする。

4. エコロジー委員会

イ. 学生一人一人が地球環境の保全に何ができるかを考え、学園の環境保全活動と連携し活動する。

ロ. 各学科の代表と､環境保全に関心のある有志で構成される｡任期は1年とし､重任することができる。

2 各種委員会に顧問を置く。顧問は学生部委員があたる。

附 則 この規約細則は平成 21 年 4 月 1 日から実施する。

23. 学生問題協議会規程

1. 本会は学生問題協議会と称する。
2. 本会は、本学の学生生活に関する重要事項について、教職員および学生相互の協力関係を緊密にすることをもって目的とする。
3. 本会は学長が委嘱する教職員および学生の代表者たる委員各 6 名をもって構成する。
4. 委員の任期は 1 年とする。ただし重任を妨げない。委員の在任中に解任のあったときは、その任期は前任者の在任期間とする。
5. 本会に委員長 1 名、副委員長 1 名を置く。委員長は教職員委員の互選によって選出し、本会を代表する。副委員長は学生委員の互選によって選出し、委員長を補佐する。
6. 協議会委員長および副委員長から要請があったときに随時開催する。協議会の成立は全委員の参加が必要である。ただし委任状の行使は、教職員および学生のいずれも、委員数の 3 分の 1 を越えてはならない。
7. 協議会の議長には委員長があたる。協議会の議事は全員の賛成を得て決することを原則とする。ただしやむを得ぬときは過半数を以て決することができるが、その場合も教職員および学生の、双方の委員の過半数が共に賛成することを必要とする。
8. 本規程は昭和 47 年 3 月 14 日から実施する。

24. 学生団体に関する規約

（目的）
第１条　本学の学生が組織する学生団体（以下団体という）は、本規約の定めるところにより公認され、活動するものとする。
2　本学が公認した団体以外の団体の学内での活動は認めない。
（公認団体）
第２条　本学が公認する団体は次のとおりである。
(1)　クラス委員会
(2)　学友会クラス委員会内に設置される委員会
(3)　学友会
(4)　学友会内に設置される機関
(5)　「クラブ・サークルに関する規程」に基づいて設立されるクラブ・サークル
(6)　秋桜祭実行委員会
(7)　その他、学生の申請により本学が認める団体
（構成員）
第３条　本学が公認する団体は、原則として本学の学生のみを構成員とした団体に限る。
2　本学が公認する団体は、必ず本学の専任教員を顧問としなければならない。
（団体設立許可手続き）
第４条　団体を設立するには，学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。
2　学生による新たな団体の設立申請は、「クラブ・サークルに関する規程」に準拠して行う。
3　団体が本規程に反する場合には，学長は本条第１項の許可を取消すことができる。
（活動）
第５条　団体が、学内・学外の活動をする際には、学生部長を経由して学長の許可を得るものとする。
2　団体がその目的を逸脱して特定の団体の政治活動、営利活動、宗教宣伝活動に加担したり、または利用されてはならない。
3　団体が、学内の施設、会議室等を利用する場合には、届け出等本学の定める規程を遵守しなければならない。
（学外団体への加盟）
第６条　団体が学外団体に加盟、参加をするときは、学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。
（会計）
第７条　本学が必要と認めた場合は、団体に対して財政上の補助を行う。
2　団体がその活動のために学外団体または学外の個人からの財政上の援助を受ける場合は，学生部長を経由して学長の許可を得なければならない。
3　団体が本学または学外から財政上の援助を受けた場合は，教育支援センター学生担当を経由して学園本部事務センター会計担当の監査を受けなければならない。
（報告）
第８条　各団体は、その活動、組織、構成員、財政状況その他の事項につき、学長の要請がある場合には、都度報告を行うものとする。
（所管）
第９条　団体に関する事項は学生部委員会が所管する。
2　団体に関する事務は教育支援センター学生担当が行う。
（補則）
第10条　本規約を施行した時点で存在する、第２条各号記載の学内団体は、この規程によって公認されたとみなし、本規約を適用する。
2　学友会規約、学友会クラス委員規約細則、クラブ・サークル規程は、本規約施行以降も効力を有し適用される。
（規約の改廃）
第11条　本規約の改廃は、大学部局長会で審議の上、決定する。

附　則　この規約は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
この規約は、平成 21 年 9 月 17 に改定し、平成 21 年 10 月 1 日から施行する。（規程改廃の条文追加）
この規約は、平成 21 年 11 月 26 日に改定、施行する。（団体の名称および許可手続きの変更）

25. クラブ・サークルに関する規約

第１章　総則

第１条　クラブ・サークル（同好会）は学生の適性と希望に応じて自由に加入できる大学公認の任意団体で、学友会の組織に含まれる。クラブ・サークルは、文化系・体育系に分けられ、両分野とも学友会第 23 条第 2 項におけるクラブ連合委員会に統括される。

第２条　クラブ・サークルは学友会規約第４条に定められている目的の範囲内で、それぞれ独自の目的、部規約、組織を設けることができる。

第２章　成員

第３条　クラブ・サークルの成員の資格は本学学生に限る。

第４条　やむを得ない事情による退部は部長の承認を得なければならない。

第５条　新入生の入部期間は５月末までを原則とし、登録名簿でもって登録手続をする。それ以降の入部は部員数変更願をもってクラブ連合委員会に提出しなければならない。

第３章　役員

第６条　各クラブ・サークルは次の役員を置く。

1. 部長　　１名　　部を代表し、これを統括する。
2. 副部長　１名　　部長を補佐し、部長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 会計　　１名　　部内の会計を担当する。

第７条　役員の任期は、部独自に設けた役員を含め、すべて１年間とする。再任を妨げない。引き継ぎを確実に行い、前任者は後任者を援助しなければならない。

第４章　クラブ連合委員会

第８条　クラブ連合委員会は、下記の事項を行う。

1. クラブ・サークルとの連絡と調整に関する事項
2. クラス学生総会への提案
3. 代表委員会への提案
4. クラス学生総会および代表委員会で決議した事項

第９条　クラブ連合委員会は、次の委員を置く。

1. 委員長　　１名　全クラブ・サークルを統括する。
2. 副委員長　１名　委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、その任務を代行する。
3. 庶務　　１名　データの管理、新入生歓迎オリエンテーション等の実行委員長となる。
4. 書記　　１名　委員会等の議事録作成・保管と、掲示物等の保管を行う。
5. 会計　１～２名

第 10 条　委員長と副委員長、庶務と書記は年度毎に体育系のクラブ・サークルと文化系クラブ・サークルとの１年の交代制とする。

委員長及び副委員長は、学友会代表委員会委員となる。会計は、クラブの会計担当者の中から選出する。

第５章　顧問及びコーチ

第 11 条　クラブ・サークル活動の円滑な推進と発展のためには、顧問の助言と援助を必要とするので、各クラブ・サークルはそれぞれ顧問を本学の専任教員から依頼しなければならない。

1. 部の顧問は部の運営に対して助言を行い、部会に出席して発言することができる。
2. 顧問の任期は１年間とし、その年の４月１日から翌年３月末日までとする。ただし、部の要請があればこの限りではない。

第 12 条　クラブ･サークルが外部からコーチを委嘱したい時は、顧問の承認を受け、履歴書、技術経歴、写真を添え、指導者依嘱願を提出し、許可を得て、かつクラブ連合委員会に登録しなければならない。

第６章　活動

第 13 条　クラブ･サークルがその目的達成のために合宿を行う場合は､その計画を予めクラブ連合委員会に連絡し、教育支援センターに願書を提出し、学生部長の許可を受ける。

第 14 条　クラブ・サークルがその目的を逸脱して、特定の団体の政治活動、営利活動、宗教活動に加担したり、または利用されたりしてはならない。

第７章　新設・昇格・廃部

第 15 条　10 名以上の同行者があった時はサークルを新設することができる。

第 16 条　サークルを新設する時は、学内団体設立願に次の事項を列記して顧問と発起人代表者 2 名の連署をもってクラブ連合委員、学生部長を通して学長に提出し許可を受けなければならない。

1. 目的　2. 趣旨　3. 部の規約　4. 年度活動計画表　5. 財政計画　6. 発起人及び加入者の所属と氏名

許可を受けたのならば、ただちに上記の書類を添えてクラブ連合委員会に登録する。

第 17 条　サークル設立から 3 年以上活発な活動を続け、その業績が認められた場合、願出によりクラブに昇格することができる。

第 18 条　クラブ昇格願は活動の実績を示す資料を添え、顧問と代表 2 名の連署をもって教育支援センターとクラブ連合委員会に提出し、許可された後、学友会代表委員会の承認を得なければならない。

第 19 条　第 6 章第 14 条に該当する事実が認められた場合､クラブ連合委員会は警告を与え是正をはかるとともに、実情に応じ、教育支援センター及び学友会代表委員会に解散処置を要求するものとする。

第 20 条　クラブが 2 年連続して基準の成員を割り 9 名以下になったり、活動状況が著しく停滞している場合、クラブ連合委員会の要求要請により、学友会代表委員会の議を経てサークルに格下げするものとする。

第 21 条　サークルが年度の当初から、または年度の途中で成員に不足を生じ、次年度においても充足の見込みがない時、クラブ連合委員会は廃部願を学生部長を経由して学長宛に提出させ承認を受けた後、学友会代表委員会によって解散を求めるものとする。

第８章　会計

第 22 条　クラブ・サークルの活動費の部は、一定の基準によって学友会費から援助される。

第 23 条　クラブ・サークルは部員の合意と顧問の助言のもとに適正と思われる額を決めて、部費を徴収することができる。ただしその額はクラブ連合委員会に登録しなければならない。

第 24 条　クラブ・サークルがその目的達成のために会を開催し、入場料または一般参加者から会費を徴収する場合は、その計画書を予めクラブ連合委員会を経由して学長に提出し許可を受け、学友会代表委員会の承認を得なければならない。

なお､終了後 10 日以内に結果の概況と､収支の明細についてクラブ連合委員会に報告しなければならない。

第９章　提出書類

第 25 条　各クラブ・サークルは年度ごとに次の書類を各々 2 部作成してクラブ連合委員会に提出しなければならない。

イ．5 月頃に提出期限とするもの。

1. 部員登録名簿
2. 本年度予算計画書

ロ．3 月頃に提出期限とするもの。

1. 本年度活動報告
2. 本年度会計報告書
3. 来年度部室使用願

必要に応じてこれらの提出書類は増える場合もある。また、書類はそれぞれの顧問にも提出すること。

第 26 条　各クラブ・サークルは必ず次の書類を揃えておくものとする。

1. クラブ連合委員会に登録した事項の控
2. クラブ連合委員会に報告した書類の控
3. 部員現住所録、同帰省先住所録
4. 活動記録簿
5. 会計簿及び領収書、見積書、納入書等の会計証拠書類

第 10 章　その他

第 27 条　以上のほか、クラブまたはサークルの全般にわたる運営の細目については、「クラブ連合委員会内部規約」を別に定める。

26. 個人情報保護に関する取り組みについて（大学部門）

本学では建学の理念に基づく教育事業を展開するため、学生個人情報データベースを構築し、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲で活用しております。個人情報の保護に関して、法律や政令を遵守することはもとより、「個人情報の保護に関する規程」を制定し、全学的な体制で保護対策を講じております。

1. 学生個人情報データベースで管理する学生個人情報の保護について

(1)「学生個人情報」とは

本学において教育を受け、又は受けようとした者に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、顔写真その他の記述により特定の個人を識別することができるものをいいます。

(2)「学生個人情報データベース」とは

学生個人情報を含む情報の集合体であり、特定の学生個人情報をコンピュータを用いて検索することができるように体系的に構成したものをいいます。

(3)「学生個人データ」とは

学生個人情報のうちデータベースで管理する情報及びデータベースから引き出された情報をいいます。

(4) 利用目的の特定

学生個人情報は、教育研究、学生指導及び業務に必要な範囲に限定して利用します。

(5) 適正な取得

学生個人情報を取得するときは、適正な手段により行います。なお、思想、信条及び宗教に関する事項並びに社会的差別の原因となる事項については、特段の配慮をします。

(6) 利用目的の通知等

学生本人から直接書面等（電子媒体の様式を含む）により当該本人の学生個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対しその利用目的を明示します。利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について、本人に通知又は公表します。

(7) 管理措置

・学生個人データは、利用目的の達成に必要な範囲内において、正確かつ最新の内容に保ちます。
・漏洩、滅失又は毀損の防止その他学生個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。
・学生個人データの取扱いの全部又は一部を企業等に委託する場合は、安全管理が図られるよう、委託先と機密保持に関する契約を結ぶと共に、委託先の選定にあたってもサービスの有効性はもとより個人情報保護システムが確立していることを条件とします。

(8) 開示

学生本人から当該本人が識別される学生個人データの開示を求められたときは、本人に対し遅滞なく当該個人データを開示します。ただし、開示しないことが相当であると本学が判断したときは、学生個人データの全部又は一部について開示しないことがあります。その際は、本人に対し理由を付してその旨を通知します。開示請求手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又は進路支援センター窓口に問合せてください。

(9) 訂正等

学生本人から、当該本人が識別される学生個人データの内容が事実でないという理由によって、当該学生個人データの訂正、追加又は削除を求められたときは、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、当該学生個人データの訂正等を行います。なお、学生個人データの内容の全部もしくは一部について訂正等を行わない旨の決定をしたときは、本人に対し、遅滞なく理由を付してその旨を通知します。訂正等の手続きについては、本学ホームページ上で確認するか教育支援センター又は進路支援センター窓口に問合せてください。

2. 個人情報の利用目的について

学生及び保証人（ご父母等）の個人情報は、以下のとおり本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。利用目的を変更したときは、本人に通知又は公表します。

(1) 学生の個人情報

入学関係	入学志願者に対する選抜試験運営。入学手続（編入学、再入学を含む）。学生証交付。
教務関係	履修登録。履修相談･修学指導。研究活動支援。教職等諸資格課程登録。授業･試験運営。成績処理。単位認定。学長賞・恪勤賞・その他の賞の決定。進級・卒業判定。諸資格判定。学位記授与。単位互換協定。昭和ボストン留学。その他海外留学。短期海外研修。国際交流。休学・復学・退学手続。転部・転科手続
学生生活関係	学生生活全般に関わる支援・助言。奨学生選考。奨学金交付・償還。定期健康診断。日常的な健康相談。課外活動支援。弔慰、災害見舞。
進路関係	進路支援。求職登録。就職斡旋。資格取得のための課外講座運営。
その他	各種連絡･通知。学納金納入状況の確認。各種証明書発行。用具･備品等の貸与。同窓会名簿の管理。キャンパスライフを紹介するための広報活動。

※卒業後も、学籍・成績関係情報を在籍記録保存、各種証明書作成・発行のために、利用します。

(2) 保証人の個人情報

学生の修学指導等に必要な連絡	各種送付物（学業成績通知書、学納金納付書、大学行事案内等）の発送。 大学関係団体（「同窓会」）の要請による保証人（ご父母等）宛送付物の発送業務

3. 個人情報の第三者提供について

本学では、教育研究の観点から学生の個人情報を以下のとおり第三者に提供することがあります。なお、これ以外に提供の必要性が生じたときには、都度、本人への意思確認の手続きをとります。

(1) 学生の学業成績を保証人に提供する
本学では、保証人（ご父母等）と連携した修学指導を教育上有用な取り組みと考えており、セメスターごとに成績が確定した段階で保証人宛に「学業成績通知書」を送付し、修学状況に関する問い合わせや相談等に応じています。学業成績を保証人に通知することは「Ⅱ教育課程 ― 4. 試験・単位認定・成績」に記載してあります。外国人留学生については別途意思確認を行います。

(2) 学生の個人情報をボストン昭和女子大学に提供する
ボストン昭和女子大学への留学の機会は学部・学科の全学生に用意されており、当該学生の修学措置及び安全管理のために、学生の氏名・住所・電話番号及び保証人の氏名・住所・電話番号についてボストン昭和女子大学へ提供をします。

(3) 実習（教育実習、介護等体験、博物館実習、図書館実習等）参加を希望する学生に関しては、実習先や教育委員会に個人情報（所属学科、学生の氏名・住所・電話番号、成績等）を提供します。

(4) 学生生活の利便性向上を目的として､昭和女子大学が100％出資で設立した株式会社カリヨンへ個人情報（所属学科、学生の氏名・住所・電話番号、保証人の氏名・住所・電話番号）を提供します。
ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にその旨申し出てください。株式会社カリヨンに個人情報削除を依頼し、学生生活利便関係情報の提供サービスを停止します。

(5) 卒業後の本学に関わる情報提供を目的として、昭和女子大学光葉同窓会へ個人情報（所属学科、卒業年月、学生の氏名・住所・電話番号・生年月日・メールアドレス）を提供します。
ただし、情報の提供を希望しない場合は、教育支援センター窓口にその旨申し出てください。昭和女子大学光葉同窓会に個人情報の削除を依頼します。

(6) 法令に基づく場合及び、人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合には、例外的に本人の個人情報を第三者に提供することがあります。あらかじめご了承ください。

Memo

Memo

昭和女子大学
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57　http://www.swu.ac.jp